

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

## 2006-2007

国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信  
クラブ会長・幹事各位



2006-2007年度  
国際ロータリーのテーマ

### 率先しよう

2006~2007年度ガバナー  
田口 厚



R I 会長ご夫妻と田口ガバナー夫妻

## CONTENTS

R I 会長のメッセージ	1
2006-'07年度 会長賞	3
ガバナー就任の挨拶	5
田口厚ガバナーへ贈る言葉	7
本城直前ガバナーへの謝辞	8
ガバナー補佐挨拶	9
クラブ会長・幹事名簿	14
ガバナー公式訪問・クラブ協議会日程表	16
地区主要行事予定表	17
地区組織	19
地区予算	21
報告のしおり	23
送金のしおり	24
文庫通信	25
地区大会のご案内	26





2006 - 2007年度 RIテーマ

## LEAD THE WAY - 率先しよう

2006 - 2007年度

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド

親愛なるロータリアンの皆さん

ロータリーは、個々の部分の集まりである以上の存在です。クラブや地区の活動、奨学金や交換活動、大規模で多様な人道的プロジェクトなど、ロータリーのすべてのプログラムは、それぞれ目的を異にしています。世界中のどの2つのクラブをとっても同じではなく、このような多様性こそが私たちの強みとなっているのです。

世界中のどこにでも、より良い未来を築くことが可能だということ、そして、寛容の精神、違いに対する容認、高い倫理的価値は、成功への障壁ではなく、むしろ成功へ至る道なのだということを、私たちは共に世界に示していきます。

倫理的課題が山積みとなっている今日の世界においては、平和の構築にとって、国家間の協力と違いに対する容認が不可欠です。そんな中にあり、ロータリーは、人々が切に必要としている決然とした高潔さ、国際的な協力、ボランティア精神の模範を示しています。

2006 - 07 ロータリー年度の私のテーマ、「率先しよう」は、ロータリアンが世界を変える力を持っているという私の信念を表しています。親睦と奉仕を通じて明るい未来をもたらすために、120万人のロータリアンが力を合わせて率先していくのです。

今日の世界は、スターではなく、真の英雄を必要としています。ロータリーにいる私たちは皆、多忙な日々を送りながらも、ベストを尽くそうとする、普通の人々です。私たちは、幾千にも異なる方法で、世界をより良く、より健全かつ安全にするために黙々と活動しています。私たちロータリアンは、奉仕を選ぶ際に、感情のなすがままではなく、実用と必要性に基づいて立ち上がらなければならないと、私は強く信じています。真のニーズが何であるかを見極め、柔軟で協力的な姿勢で活動に臨まなければなりません。ロータリー

の奉仕は一方通行であってはなりません。すべてのプロジェクトは、私たちが援助する人々と協同して行わなければならないのです。

世界中には、数え切れないほどの途方もなく大きなニーズが存在します。ロータリアンとして、それらすべてを満たしたいと思うのは当然のことですが、同時に私たちは実用性を重んじ、最も必要とされているところに努力を注いでいかなければならないことを心得ています。このことを踏まえて、私は、水保全、識字率向上、保健および飢餓、ロータリー家族を、2006 - 07年度の強調事項として選びました。

ロータリーの外では、発展途上地域で清潔で安全な飲み水が不足しているという事実に対する認識が、あまりに低いのが現状です。もし、自然災害が1日に6千人の5歳以下の子供の命を奪ったとしたら、それは新聞の一面記事となるでしょう。しかし、水系伝染病によって、毎日、6千人の子供が命を失っている事実を知る人は少ないのです。このような問題は、地元での小規模なプロジェクトを通じて、非常に効果的に取り組むことができますし、長年にわたってロータリーのプロジェクトが取り上げ、成果を収めてきました。私は、ロータリー世界各地のクラブや地区に、この活動を引き続き展開し、必要とされている場所ならどこでも、一つ一つの地域社会に、清潔な飲み水をもたらすために活動していただけるよう奨励いたします。

本好きな家庭に生まれ育った私にとって、識字能力は大変重要であり、識字能力が社会にもたらす恩恵は測り知れないほど大きなものであると考えています。識字能力は、国家における民主主義、安定、繁栄の必要条件です。それは、貧困の輪から抜け出す可能性、そして次世代により良い生活をもたらす可能性を秘めています。識字率向上は、多くのR

I会長の優先事項となってきましたし、今後ともそうあり続けなければなりません。

保健および飢餓は、ロータリー・クラブが地元で行っている活動の多くで取り上げられている問題です。これらのプロジェクトはロータリーの奉仕の中核であり、ポリオ・プラスという素晴らしい業績を生み出しました。私たちは、ポリオの撲滅が実現するまでこの活動を続け、また、ロータリーの名を世界中に知らしめている数多くの多様な保健プロジェクトや飢餓救済プロジェクトを、今後とも実施していかなくてはなりません。

私は、今年度、再びロータリー家族を取り上げ、ロータリー家族のすべての人々に等しく思いやりの心を持つことを強調したいと思います。ロータリーの将来を健全に保つためには、青少年交換、インターアクト、ローターアクトといった青少年プログラムが不可欠です。これらのプログラムは、次世代に、誠実さ、寛容、無私の精神を育み、ロータリーの活動を助長するものです。ロータリー

家族とその配偶者を思い遣ることで、ロータリーの結束力は一層強まります。

2006 - 07年度、ロータリーが各個人にもたらすことのできる可能性、そして各個人がロータリーにもたらすことのできる可能性を中心に取られるよう、世界中のロータリアンにお願いしていく所存です。共に協力し、さらなる成功へ向けて「率先しよう」ではありませんか。また、引き続き真のニーズを特定し、地域社会や諸団体と協力しながら、これらのニーズが理想主義や夢想ではなく、着実な努力と確かな知識に基づいた、実用的かつ持続可能な方法で取られることをこの目で確かめていこうではありませんか。

私たちロータリアンは、より良い世界を夢見るだけでは十分でないことを知っています。より良い世界は、慎重な計画、誠実な協力、ひたむきな努力によってのみ実現するのです。

私たちロータリアンは、実現をただ待ち望むだけではありません。共に、「率先しよう」のテーマを実践していきましょう。

## 2006-2007年度

### 国際ロータリー会長 **ウィリアム B. ボイド氏** 略歴

2005-06年度国際ロータリー会長エレクト

1999-2000年度国際ロータリー財務長

1998-2000年度国際ロータリー理事

1983-84年度地区ガバナー

ウィリアム（ビル）・ボイド氏は、ゼネラル・マネジャーを務めたニュージーランドの最大手雑誌配給会社、ゴードン・アンド・ゴッチ・マガジン社を1995年に退職しました。ボイド氏は現在、New Zealand's Trees for Survival Trust および June Gray Trust の理事、ならびに全国腎臓財団および知的障害者協会の RI 代表を務めています。また氏は、長老教会の経験豊かな青少年指導者およびボーイスカウト公認指導者を務める他、31年間ラグビーの審判としても活躍してきました。また、ロータリー地域雑誌「ロータリー・タウン・アンダー」委員会委員長として奉仕しました。

1971年来のロータリアンであるボイド氏は、現在パ克蘭ガ・ロータリー・クラブの会員です。国際ロータリーでは、地区ガバナー、研修リーダー、国際協議会モデレーター、委員会委員および委員長（ニュージーランド・ポリオ・プラス委員会副委員長を含む）、ポリオ・プラス・パートナー副コーディネーター補佐、実行グループのゼネラル・コーディネーター補佐、ロータリー情報顧問、ロータリー財団地域コーディネーター、RI 理事および財務長を歴任しました。会長エレクトは、ロータリー財団功労表彰状および特別功労賞の受賞者でもあります。氏はまた、「ロータリー・タウン・アンダー」から功労賞を授与されました。

ボイド氏と夫人のローナさんは、現在ニュージーランド、オークランド市のホーウィックに在住しており、お二人の間には2人の息子さんと2人の娘さん、そして10人のお孫さんがいます。

2005年7月

# 2006 - '07年度 会長賞

2006 - 2007年度

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド

## クラブ会長各位

ロータリーに入会する理由はさまざまです。しかし、ロータリーにとどまり、活躍しているロータリアンのほとんどは、親睦と奉仕の機会を求めてクラブに来る人たちです。

2006 - 07年度、私は、共に協力し、親睦と奉仕が真に世界を変えることができることを人々に示していくよう、ロータリアンの皆さんにお願いしたいと思えます。誠実さが失われてゆく危機感を抱かすにはられないこの時代においては、ロータリーの光を投げかけることがことさら重要です。私たちは「超我の奉仕」をただ掲げるだけでなく、常に誇りをもって、生活の隅々でそれを実践しなければなりません。ロータリーの理想に従うことで、私たちは地域社会をより一層充実させ、より良い未来へ向けて「率先」していくのです。

ロータリー・クラブがなければ、ロータリーは存在しません。クラブこそが、ロータリーの最も重要な仕事の担い手なのです。この会長賞は、数多くのクラブの業績を表彰するための方法の一つです。すべてのクラブ会員が積極的にクラブのプロジェクトに参加するならば、クラブはより充実し、効果的となり、成長し繁栄する可能性も高まります。2006 - 07年度、地域社会への奉仕、クラブ・プログラムの立案、奉仕プロジェクトでの活動、世界ネットワーク活動グループへの入会など、積極的に活動に参加するようクラブの各会員に求めてください。

クラブ、職業、地域社会、そしてこの世界にとって重要であると思われるプロジェクトや活動に取り組むことによって、「率先しよう」のテーマを実践されるよう、皆さんとクラブに奨励いたします。会長賞の資格として、私は、クラブが会員増強目標を達成し、本パンフレットに挙げられている5分野のうち4分野からそれぞれ一つの活動を遂行されるようお願いいたします。プロジェクトを決める前に、どのような人々を援助するのかをよく考慮した上で、できる限りそれらの人々に、意思決定のプロセスに関与してもらおうようにしてください。

クラブがこれらの活動を果たされたならば、申込書に記入し、2007年4月1日までに地区ガバナーに提出してください。その後、ガバナーが、申請書を提出したクラブのリストを2007年4月15日までにRIに送付することになります。

クラブが取り組む活動を選定するにあたっては、実用性を重視し、野心の広さよりも着実な

計画がプロジェクトの成功を左右するという点を銘記されるようお願いいたします。引き続き真のニーズを見極めながら、これらのニーズに対し、理想主義や夢想ではなく着実な努力と確かな知識に基づいた、公明正大で協力的かつ持続可能な方法で取り組んでください。

より良い未来へ向けて「率先しよう」を実践される方々を表彰するにあたり、皆さんのクラブに2006 - 07年度会長賞を贈ることができまことを、心より楽しみにしております。

心を含めて

## 会員目標（必須）

2007年4月1日までに会員1名の純増を達成するために、会員勧誘計画を立て実施する。

## 会員増強

- ◆少なくとも1名のロータリー財団学友に対し、クラブに入会するよう勧誘する。
- ◆会員の多様性を奨励し、均整の取れた会員基盤を推進する。クラブに現在会員のいない属性のグループから新会員を入会させる。
- ◆新ロータリー・クラブのスポンサーとなる。
- ◆新会員をクラブに入会させた個人に表彰状を贈るなど、認証方法を考案する。

## クラブ奉仕

- ◆今年度に、クラブの全ロータリアンがクラブの活動に積極的に参加するよう、一人一人に呼びかける。プロジェクト委員会の委員を務めたりクラブ奉仕の一部を担当するなど、参加の形は問わない。
- ◆クラブのロータリアンで広範囲にわたるさまざまなクラブ・プロジェクトやプログラムに積極的に参加した人を、四大奉仕部門功労者として表彰する。
- ◆今後3年から5年の長期目標について話し合うため、次期役員も含めたクラブの指導者を集めて会合を開く。
- ◆ポリオ・プラスにクラブから寄付を行う。
- ◆クラブ奉仕を支援する新しいプロジェクトを立案し、着手する。
- ◆少なくとも5回、配偶者や子供をクラブ例会やクラブの行事に同伴するよう呼びかける。
- ◆奉仕や親睦活動を通して、会員の家族でロータリアンではない人々（配偶者、成人した子供、物故会員の配偶者など）をロータリー家族に迎え入れ、参加してもらう。
- ◆家族月間（12月）中、ロータリアンの家族、お

よび彼らの支援がクラブの成功にとっていかに大切であるかを認め、感謝の意を表明する。

- ◆ロータリー年度の前半期に、クラブ例会において80パーセント以上の出席率を達成する。
- ◆ポリオ・プラス、および世界ポリオ撲滅推進活動における国際ロータリーの役割に関するクラブ・プログラムを実施する。
- ◆地元の非政府団体（NGO）または市民団体から講演者を招いたり、他の地元団体と合同プロジェクトを行うなどして、地域社会とのつながりを築く。
- ◆クラブ細則を改訂するか、標準ロータリー・クラブ細則を採択する。
- ◆地元メディアに対してクラブのプロジェクトを広報する。
- ◆会員増強・退会防止、奉仕プロジェクト、広報、ロータリー財団、クラブ管理運営に取り組むためのクラブの長期計画を策定する。
- ◆親睦行事に会員全員を参加させる。

### 職業奉仕

- ◆クラブの各会員に、国際ロータリーおよびクラブの活動に関する情報を職場や専門職業団体と共有するよう求める。
- ◆職業奉仕がいかに生活の質を向上させ、ロータリアンの高い倫理観と誠実さを支える可能性を秘めているかについて、少なくとも2回、クラブ例会で取り上げ、話し合う。
- ◆職場に「四つのテスト」を掲げるよう会員に奨励する。
- ◆職場での倫理と四つのテストの適用に関する集会を開くか、またはすべての新クラブ会員に「ロータリアンの職業宣言」（200-JA）を配付する。
- ◆職場における識字率向上のためのプロジェクトを立案する。
- ◆クラブの各会員に、若い人の指導を行うよう求める。
- ◆職業奉仕を支える新しいプロジェクトを立案し、着手する。
- ◆障害者のための職業開発プロジェクトを提唱、または参加する。
- ◆職場に復帰する人々のための技能維持プロジェクトを提唱、または参加する。
- ◆職業奉仕月間（10月）中に特別職業奉仕活動を組織するか、またはクラブ会員1名をロータリー・ボランティアとして登録する。
- ◆少なくとも1名の会員に、職場で高校生や大学生のためにインターンの場を提供してもらう。

### 社会奉仕

- ◆他の地元団体と合同プロジェクトを実施し、クラブ会員が計画や実地活動に寄与する。
- ◆地元地域で水保全プロジェクトを実施する。
- ◆印刷媒体、ラジオやテレビ番組、看板などでロータリー公共イメージ・キャンペーンPSA（公共奉仕広告）を展開することによって、一般の人々にロータリーについて広める。
- ◆地域社会のニーズ査定を行い、今年度中に、

社会奉仕を支える新しい奉仕活動を実施する。

- ◆地域社会のニーズに適い、受益者にも参加してもらえる奉仕プロジェクトを実施する。
- ◆奉仕プロジェクトにクラブ会員全員を参加させる。
- ◆保健への認識向上キャンペーンもしくは保健問題に取り組むプロジェクトを提唱もしくは参加する。
- ◆インターアクト・クラブ、ローターアクト・クラブ、またはロータリー地域社会共同隊のスポンサーとなる。
- ◆ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）の行事を開催する。

### 国際奉仕

- ◆「毎年あなたも100ドルを」の目標である、一人当たり米貨100ドル以上の年次プログラム基金寄付を達成する。
- ◆少なくとも1件のポリオ・プラスまたはポリオ・プラス・パートナー・プロジェクトに参加する。
- ◆研究グループ交換、ロータリー友情交換、ロータリー青少年交換といった国際交換プログラムに参加することによって、クラブ会員にロータリーの国際性を理解してもらうよう努める。
- ◆ロータリー財団教育プログラム（国際親善奨学金、研究グループ交換のチーム・メンバーまたはリーダー、ロータリー世界平和フェローシップ、ロータリー平和および紛争解決研究プログラム、大学教員のためのロータリー補助金）に、少なくとも1名の有力かつ資質の優れた候補者の申請書を地区に提出する。
- ◆ロータリー・ボランティア・プロジェクト実施地として、プロジェクトをRIに登録する。
- ◆水保全、保健、飢餓、識字率向上プロジェクトのためにロータリー財団マッチング・グラントを申請する。
- ◆世界社会奉仕プロジェクト交換（WCS）一覧表に登録されているプロジェクトを支援もしくは登録する。
- ◆国際奉仕を支える新しいプロジェクトを立案し、着手する。

### 2006 - 07 年度ローターアクト 会長賞

ローターアクト・クラブも、「率先しよう」の理想を实践する価値ある奉仕活動を実施することにより表彰されます。本賞の受賞資格を得るには、ローターアクト・クラブは、本要項に挙げられた活動の中から少なくとも3つの活動を実行しなければなりません。ただし、そのうちの1つは社会奉仕、もう一つは国際奉仕に属するものとします。提唱ロータリー・クラブ会長がローターアクト会長賞申込書に署名し、2007年4月1日までにRI地区ガバナーに提出しなければなりません。その後、ガバナーが、申請書を提出したクラブのリストを2007年4月15日までにRIに送付することになります。



ガバナー就任の挨拶

## 国際ロータリーの現状と 新年度地区方針

国際ロータリー第2740地区

2006-'07年度ガバナー 田口 厚

### 自己紹介

1年前、当地区2006～07年度ガバナーとしてノミネートされ、その後、昨年6月の国際大会そして本年2月の国際協議会を経て、この度ガバナーに就任しました。

先ずもって、宣しくご支援ご協力下さいますよう、お願いいたします。

職業人としての私は、これまで生涯を整形外科勤務医として過ごしてきましたが、その大半は社会奉仕を使命とする赤十字社に籍を置き、災害救助と放射線障害治療そしてリウマチ専門医として、文字通り職業奉仕に徹してきました。

長崎大水害・島原普賢岳火砕流、東海村原発事故、南米在住の原爆被爆者の2度の巡回診療、旧ソ連の秘密原爆実験地セミパラチンスクの住民健康調査など、何事にも率先して飛び出した経験の持ち主であります。

また、中学1年のとき長崎駅前で原爆被爆し、国会議員であった義父の応援で県下を駆けずり回ったこともありました。

### 国際ロータリー (R I)

全世界的な国際紛争・飢餓・貧困・病気の絶え間ない現代に、親睦と奉仕を旨とし2世紀目を迎えたR Iは、昨年末で168カ国・32,462クラブ・1,210千名を数えるに至りましたが、会員数が頭打ちとなり、その活動に支障をきたす懸念が出ています。

国内のロータリークラブもご多分に洩れず、そのうえ経済不況も加わり、会員の減少と資金不足が重く押し加かっております。

当地区に於いては、大変残念ながら前年度中に生月RCが姿を消し、私の年度は地区内クラブ数57(前年初比△1)としてスタートすることになりました。

### 国際協議会

本年度の国際協議会は、去る2月15日から25日までの間、アメリカ・カリフォルニア州のサンジェゴ市で開催されました。昨年までは同じカリフォルニア州のアナハイムでしたが、今年から風光明媚・気候温暖な120万人の軍港都市(佐世保市の姉妹港)・サンジェゴに変更となりました。会場は、アメリカ西海岸最大のグランドハイヤットという

1,650室の巨大ホテルでした。

この国際協議会の出席者は、国・民族・宗教の別なく、全世界のガバナーエレクトとその配偶者、それにR I役員や事務局の方々等、総数1,600名に及びました。

受講者は、正味7日間、フルタイムのスケジュールで研修を受け、しっかりとロータリーの意義と精神を習得するとともに、全世界の同期のガバナーエレクトが一堂に会することから、友愛と親交を深めることでも大きな収穫がありました。

日本からは、国内全てのガバナーエレクトと同伴者、それに国内のR I理事・研修リーダー・S A A等を加え、総数約120名が出席していました。

会議は、同時通訳付きの14のセッションについての講義と、それぞれについて12～3名単位の日本語による90分間のグループ討論が行われるという、大変ハードな内容でした。セッション(S)ごとの講義の概要は次の通りでした。

- S(1)～大会初日、ボイド新会長のテーマ「LEAD THE WAY (率先しよう)」の提示と解説から始まりました。このテーマは、日頃の私の座右の銘である「率先垂範」と全く軌を一にしており、わが意を得たりの感でした。尚、ニュージーランド出身のボイド会長のプロフィールは、ロータリーの友3月号に掲載されています。
- S(2)×(3)～新年度の奉仕プログラムの強調事項として、前年度に引き続き、識字率向上・水保全・保健と飢餓・家族問題の4項目が示されました。
- S(4)～クラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)の提唱
- S(5)～会員増強・退会防止について(各クラブ最低1名の会員純増必達)
- S(6)×(7)×(8)～ロータリー財団について
- S(9)×(10)～青少年問題及びマスコミとの連携強化について
- S(11)～ガバナーのリーダーシップ(公式訪問・年次大会・地区協議会の運営法等)
- S(12)×(13)×(14)～ロータリーの倫理、地区目標の設定、本協議会の評価等

## 新年度地区方針

### 1. RIテーマの推進

ボイド会長のテーマ「率先しよう」を基本理念とした、親睦と奉仕の実を挙げる様なプログラムを実行し、地区内全クラブが活性化することを期待します。

### 2. 地区重点推進「奉仕プロジェクト」

RIとしては前年度から継続の4項目の奉仕プロジェクトを強調事項としていますが、中でも「水保全・保健及び飢餓」は環境に関連する事項です。

当地区としては、本年度重点推進奉仕プロジェクトとして、環境問題、特に地球温暖化防止対策を採り上げることとしたいと思います。

環境問題は、世界各国、特に発展途上国や紛争当事国と日本では事情を異にしますが、国内でも、各地の川・湖・池の汚染はまだまだ改善されておらず、健康被害も憂慮されるところです。また、地球温暖化は気候の不安定、津波・台風の頻発、季節感の喪失をきたしており、このままでは次世代への影響は極めて深刻です。

河川の浄化、流域の清掃、身近な温暖化防止対策など、職業奉仕活動として或いは社会奉仕活動として、率先して実行しましょう。

本年度地区大会では、地球温暖化防止をメインテーマとして考えています。

### 3. 地区計数目標

#### (1) 会員増強目標

…… 57名（各クラブ最低1名純増）

#### (2) ロータリー財団年次寄付目標

…… 255千ドル（@100\$）

ロータリアンの減少は世界的なものですが、

一方で各地の国際紛争や内戦による国力の疲弊化等が大きく、奉仕をする者が減少し、奉仕を受けなければならない者は急増しており、両者相俟って資金不足をきたしています。

#### (3) ロータリー財団新ベネファクター目標

…… 57名（各クラブ1名）

#### (4) 米山記念奨学会年間寄付目標

…… 3,000万円（@12千円）

米山奨学金制度は、今回初めてRIにより多ゾーン・多地区の協同事業として公認されました。従来の1～2カ国に偏重した選考を改善し、広くアジア各国からの留学生に奨学金受給の門戸を開放する必要があると思われます。

### 4. その他

#### (1) ロータリー家族問題について

まず、ロータリー家族の一員として、新世代（RAC・IAC・国際青少年交換等）の育成に努力していただきたい。

また、クラブ単位の定例の家族懇親会を開催し、家族から見たロータリー活動を虚心に聞き、かつロータリーの情報を家族に十分に伝えていただきたい。

(2) 今年度、今一つ大きな課題は、CLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）検討の件です。先の会長エレクト研修セミナーの際に、資料の配付と簡単な解説を行っていますが、あらゆる機会を捉えて議論を深めていただきたい。

7月中旬からのクラブ公式訪問は、鹿島クラブを皮切りに全クラブ訪問の予定です。例会日の変更や、夜の例会をお願いしてご迷惑をかけるクラブもありますが、努めて地区内全ロータリアンにお会いし、ガバナーの責を全うしたいと思えます。

## 2006-2007年度国際ロータリー

### 第2740地区ガバナー

田 口

厚 略 歴

生年月日	1932年9月22日
現住所	長崎市片淵1-10-11
学歴	1963年 長崎大学医学部大学院修了
職歴	1963年 長崎大学講師 1968年 長崎労災病院整形外科部長 1973年 日本赤十字社長崎原爆病院部長・副院長 1998年 同 院長 2003年 社団法人是真会病院理事長 2005年 同 院長
団体歴	長崎県医師会常任理事 厚生省原子爆弾被爆者医療審議会委員 日本整形外科学会 功労会員 日本リウマチ学会 名誉会員
主なロータリー歴	1985年 長崎ロータリークラブ入会 1998年 第2740地区社会奉仕委員長 2003年 長崎ロータリークラブ会長 1995年 ポール・ハリス・フェロー 2003年 米山功労者（7回） 2004年 ベネファクター



## 田口厚ガバナーへ贈る言葉

国際ロータリー第2740地区

2005-'06年度ガバナー 本城好春

愈々、田口厚新ガバナーの登場です。長崎大学大学院出の医学博士、日赤原爆病院院長、ながさき循環器病院理事長・院長を歴任された、れっきとしたお医者様です。

最近、私を含め5人のP・Gが医師で、田口新ガバナーが7人目の医師ガバナーです。ロータリー医師会と陰の声が聞こえますが、たまたま結果がそうなかっただけで、ロータリーには元々多彩な職業分類があり、いろんな他業種の方々と知己が得られるのが最大の魅力です。

ビチャイ・ラタクル元R・I会長が力説されるロータリーは、「職業奉仕が一番重要」であるとの言葉通り、医師は昼夜を問わず患者さんのために働き、その寸暇にボランティア活動をしておられる方々が多いと思います。

田口新ガバナーも現職の医師としての上に、病院経営者としての重責があり、更にロータリー・ガバナーとしての責任が重なると、肉体的、精神的にかなりのストレスが溜まると思います。その時々、ストレスを溜めずに、少しずつ発散して行かれたほうが良いと思います。田口新ガバナーとは、暫く地区行事などで御一緒になる機会が多くありましたので、お人柄を拝見しておりますと、質実剛健でユーモアがあり、余り小さい事には気を使わない大らかな性格のようにお見受けしました。田口新ガバナーは、田口新ガバナーなりの考え方、やり方で行動されたら、素晴らしい1年間のガバナー生活を過ごされる事と思います。

時代がロータリーの新世紀の代になり、非常に激動の時期であり、厳しい試練があると思いますが、田口新ガバナーのお人柄の通り、自然体で対応していかれたら、多くの難関をクリアされると思います。公式訪問も全ての

会員の方々とお会いしたいと云う御希望で、一つ一つのクラブを廻られるとお聞きしました。7、8、9月の最も暑い夏の真っ盛りに、長崎、佐賀58クラブを廻られると、かなり体力を消耗します。一番苦しい地区行事です。

昨年のR・I標語は「Service Above Self」(超我の奉仕)でした。今年は「LEAD THE WAY」(率先しよう)です。連続した意味があり、やり甲斐のあるテーマです。

又、国際ロータリーの危機管理の重要な年度です。本年は5月12、13日全国青少年交換研究会(長崎会議)がハウステンボスで開催され、オーストラリア、台湾、韓国、海外からも集まりました。「青少年交換虐待とハラスメント(嫌がらせ)予防に関するR・I指針」に対して「日本の統一公式方針」が発表され、承認を受けたらR・Iに報告するようになっております。本年が最後の研究会で、重要な時期になります。

C・L・P(クラブ・リーダーシップ・プラン)もR・Iからの要請が強くなると思います。地区の法人化も数年前から要請されています。地区とR・Iの温度差が広がり、現実の各クラブの状態をR・Iは直視する必要があります。ロータリーの構成単位はクラブです。R・Iはクラブの連合体に過ぎません。クラブは、定款細則に違反しない限り自治が与えられております。C・L・Pは、その定款細則を変えようとしております。果たして、現実的に出来るかどうか、問題が残ります。いろんな問題が山積しております。田口新ガバナーの手腕に期待するところです。

どうか健康に留意し、ぼちぼち出来る事から「LEAD THE WAY」を率先して下さい。



## 本城直前ガバナーへの謝辞

国際ロータリー第2740地区

2006-'07年度ガバナー 田口 厚

RI第2740地区唐津ロータリークラブ本城好春会員が、2005-'06年度地区ガバナー職を無事任務終了されました。地区会員一同、エレクト時代を含めて2年間の様々なロータリー活動にご尽力賜りましたことを、心から感謝申し上げます。また北島俊郎幹事におかれても、本城ガバナーと一心同体のようにしてご活躍頂きました。そして悦乃ガバナー夫人からも、私ども夫婦にもエレクトとしての心得、国際協議会への出席準備、パストガバナー会への対応などについても親切なご指導を頂きました。

ガバナーとして最も心身を消耗するクラブ公式訪問は、真夏の猛暑のなかパーフェクトに実行され、その温厚な人柄をにじませる卓話は、なにか人の心に訴えるものがありました。

特に昨年11月11日～13日、唐津市にて開催された地区大会も、初日におこなわれたゴルフ大会こそ天候に恵まれませんでした。本会議における講演、田中徹夫RI会長代理歓迎晩餐会のアトラクションやダンスパーティー、レディースコースの陶器窯巡りなど、本城ガバナーならではのアイデアが盛り込まれて大成功裡に終了し、2740地区のロータリアンの親睦と結束がなお一層強まりましたことは、ガバナーとしての大きな功績であると存じます。

本城直前ガバナーは、厳しい医療状況のなか現役の耳鼻科医として診療を続けられ、かつ日本耳鼻科学会の副理事長の重職も兼ねら

れながら温厚な人柄で地区運営を見事に果たされました。ガバナー就任のために白内障の手術を受けられ、万全の体調で臨まれて在任中の健康管理については、同じ医師として強烈なインパクトと教訓を私に与えて頂きました。

ガバナーノミニーマニーマニエーターとしてガバナーとして数え切れないほどの会合に出席され、最大限の努力をなされました。今後はパストガバナーとして、地区研修リーダーをはじめとして大所高所からロータリー発展のため、永きにわたってご指導頂くこととなります。時として、ガバナー任期終了後体調を崩される方がおられたと仄聞しています。先生にはこの轍を踏まぬよう、くれぐれもご自愛頂くようお願い致します。

またここで追記しておきたいことはガバナー事務局のご尽力である。温厚な紳士そのものの北島幹事、才能あふれる片桐悦子事務局員、それにこの本城ガバナー事務局を全面的にバックアップされた唐津ロータリークラブの方々であります。私は申し訳ないことに一度も事務局を訪問することなく、電話やパソコンでいろいろご指導を頂きました。ガバナーエレクト事務局の開設時や諸会合の際の片桐さんのロータリーについての博識には感心するとともにあらためて深謝する次第です。

ガバナー任期終了後もまだお多忙のことと推察しますが、どうぞ健康には留意されて引き続きご活躍頂くようお願い致します。

# ガバナー補佐挨拶



第1グループ  
ガバナー補佐

**宮崎 恒**  
(佐賀大和RC)

ある日突然、第1グループのガバナー補佐をと言われ、驚きと戸惑いがまだ解消されていません。研修会や勉強会にも出席しなかった私に何が出来るのか、何をしたら良いのか不安だらけです。RIが、そして新しい田口ガバナーがどんな方針をお持ちなのかも知らずに、この大役を受けるのは失礼になりはしないかと迷いました。古希を過ぎた今年は、モーツァルトを聴きながら、本を読んだり土いじりをしたり気ままな日々を過ごす事が出来るかなと言う我が儘はきかなくなりました。

私的なことは兎も角、ガバナー補佐を引き受けることで、IMのホストクラブの順番が予定より早く佐賀大和RCに回って来たりして、小人数のクラブに負担や迷惑をかけることに心苦しきも感じています。その反面、「やらなければならない、引き受けて良かったと思えるように動かなければならない」と少しずつ思うようにしています。

3年前の会長時代に勉強した「手続要覧」を改めて読み直したり、「ガバナー月信」を取り出して見えています。読み流していたことや、知らなかったこと忘れていたことが多いことに気付きました。「再読・再考してロータリーを勉強せよ」が今回、大役を務めるに当たっての私に与えられたテーマかと思えます。

難しいことかも知れませんが、「LEAD THE WAY」率先しようを心掛けます。この1年楽しいことが待っています。それは第1グループの他クラブの皆さんと会話が出来ることです。しかも、定期的に同じようなテーマで話し合えることです。とかく忘れがちな他クラブの皆さんとの交流を深めることが出来て、親しい人の数を増やすことが出来るからです。1年が短く感じられるように、内容を濃くして動きます。

田口ガバナーをはじめ事務所の皆さんとグループとの橋渡しがスムーズに出来るよう懸命に行うつもりです。どうぞよろしく、ご指導・ご協力ください。

## 略 歴

生年月日 1935年10月14日  
職 業 N H K 熊本文化センター  
佐賀新聞文化センター 等講師  
(焼きもの・日本語話し方)  
ロータリー歴 1994年12月27日 入会  
2003～04年度 会長  
ポール・ハリス・フェロー



第2グループ  
ガバナー補佐

**吉野 徳 親**  
(佐賀西RC)

佐賀市の中学生と高校生20人を引率して、アメリカ・ニューヨーク州の小都市で教育交流をしました。

1人ずつ家庭に分散して1週間、地元の学校に通学しながら家庭生活をおくりました。私も教育長宅にホームステイし、異国の生活文化や習慣、ものの考え方の違いに大きな刺激を受けました。

教育長はロータリアンだったのです。レイクジョージ・ロータリークラブのバナーをプレゼントされ、偶然の御縁をともに喜び合いました。

アメリカの市民は、ボランティア精神がおう盛です。宗教の影響もありますが、子どもの時から奉仕活動に精を出し、進学や就職の際は、奉仕活動をしたかどうか、合否や採否の重要な要件になるほどです。

RI会長が掲げた本年度のテーマ「率先しよう」は「頭で考えるよりもまずは体を使え」という解釈もできます。奉仕活動に理屈はいらない、そんな気持ちでガバナーの手助けをし、各クラブのお世話に汗を流したいと思えます。

## 略 歴

生年月日 1940年2月11日  
職 業 佐賀新聞社常勤特別顧問  
(前代表取締役会長)  
ロータリー歴 1997年8月 入会  
2005年～06年度 会長

## ガバナー補佐挨拶



第3グループ  
ガバナー補佐

蒲原 孝之  
(鹿島RC)

この度、第3グループのガバナー補佐としてご指名を受け、今更ながら責任の重大さを痛感している昨今です。事前研修を受ける度に、日頃の不勉強が身にしみる後悔の日々です。

しかしお引受け致した以上は浅学非才な者ですが、一生懸命努力し頑張っ、与えられた職務を全うしなければならないと覚悟いたしております。皆様方の温かい御指導、御支援の程よろしくお願ひいたします。

さて、今年度のRI会長のテーマは「率先しよう」です。昨年度は「超我の奉仕」でした。私たちRCは国を越え、民族を越え、宗教を越え、奉仕と平和を求める団体と言われている。このRIテーマそして、強調事項である「水保全、識字率向上、保健および飢餓、ロータリー家族」の一つでも実現するべく、共に協力し合い努力しあって目的達成へ向かって「率先しよう」ではありませんか。

自ら学び、実行する勇氣と気概をもって頑張る決意であります。会員の皆様、特に第3グループの皆様、色々とお世話になります。宜しく、お引き回しの程お願ひ申し上げます。

## 略 歴

生年月日 1926年5月1日  
職 業 株式会社ダイトウ取締役会長  
ロータリー歴 1974年1月22日 入会  
1977年～78年度 幹事  
1978年～81年度 青少年活動地区委員  
1984年～85年度 会長  
1996年～99年度 国際奉仕地区委員  
2000年～02年度 ライラ地区委員  
2002年～03年度 ライラ地区委員長  
1991年 ポール・ハリス・フェロー



第4グループ  
ガバナー補佐

立 華 浩  
(唐津中央RC)

この度、諸般の事情によりガバナー補佐を務めさせていただく事になりました。

ロータリー歴も短く「綱領」を深く吟味することも浅学非才の私に、比の重責を果たす事が出来るかどうか不安です。

田ロガバナーは地区運営方針として、RIテーマである「率先しよう」の推進を掲げ、水保全や保健および飢餓の原因ともなっている「温暖化対策」や「環境保全」等の地球環境問題を、地区重点推進の「奉仕プロジェクト」としておられます。

これらの事を鑑みると、責務の重大さで気が遠くなりますが、幸いにも「ロータリーの例会は、人生の道場である」「入りて学び、出でて奉仕せよ」という名句が、私の心を和ませてくれます。

今後、グループ内のクラブを訪問させていただきますが、忌憚のない御意見を頂くと共に、ご指導いただければ幸いに存じます。

## 略 歴

生年月日 1940年12月22日  
職 業 宗教法人「行因寺」代表役員  
ロータリー歴 1994年2月18日 入会  
1996～97年度 会長  
ポール・ハリス・フェロー  
米山功労者

## ガバナー補佐挨拶



第5グループ  
ガバナー補佐

太田 晴 康  
(松浦RC)

今年度第5グループのガバナー補佐が、松浦RCに回って来ました。そして私が選出され、3月4日に田口ガバナーよりガバナー補佐の委嘱状をいただきました。3月、4月と研修会に出席し、役目の重さをひしひしと感じています。皆様の連絡役として、非力ながら役割と責務を果すべく、精一杯努力して参りたいと思います。

さて、今年度のビル・ボイド国際ロータリー会長は、テーマ「率先しよう」を掲げられ、4つの目標を強調事項とされました。私達はこれを母体に、地域に合った各クラブの独自性の中で、自己研鑽と共に奉仕活動を考えてゆきたいものです。田口ガバナーが推進されている地区重点の「奉仕プロジェクト」を採り上げてゆきたいものです。自分の人生の中で、ロータリーの存在について考えますと、ロータリーの先輩方の述べられた文書などを読み、自分なりのロータリー観を持ちたいものです。委員会で与えられた部署に真剣に向き合い、生きゆく過程の中で、ロータリーの良さを見出し、楽しさを模索してゆきたいと思います。第5グループの会員の皆様、友情と御協力をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

## 略 歴

生年月日	1934年8月1日
職 業	歯科医師 太田歯科医院院長
ロータリー歴	1973年6月 入会(チャターメンバー)
	1979年7月 クラブ幹事
	1981年7月 クラブ会長
	1987年9月 ボール・ハリス・フェロー
	1995年7月 メモリアル・コントロールピクチャー
	1996年12月 米山功労者
	2003年5月 マルチ・ボール・ハリス・フェロー



第6グループ  
ガバナー補佐

芥川 浩一郎  
(佐世保中央RC)

2月10日(金)午後4時からの「松亭」での最初の会合で、自己紹介の時に、補佐の役目は、「クラブ会員・クラブ自体・ガバナー事務所」の三位一体が「三方由」になるように、補佐が努力することだろうと申し上げました。一昨日の「PETS」では、次年度のRI方針にもとづき、新年度の地区方針が以下のようにご案内がありました。

1. 「RIテーマ」の推奨  
LEAD THE WAY 「率先しよう」
2. 地区重点推進「奉仕プロジェクト」「温暖化対策」や「環境保全」等の地球環境問題を、地区重点推進の「奉仕プロジェクト」とする。
3. 地区計数目標
  - ① 会員増強目標  
58名(各クラブ最低1名増)
  - ② ロータリー財団年次寄付目標  
255千\$(@100\$)
  - ③ ロータリー財団、新ベネファクター目標  
58名(各クラブ1名)
  - ④ 米山記念奨学会年間寄付目標  
3,000万円(財団目標の円貨額)

新年度地区運営によりますと、「ガバナー補佐の位置付は、ガバナーと一体となって指定されたクラブの管理(育成強化)を務める。」となっております。担当の第6グループのクラブ会員・クラブ自体とガバナー事務所との調整役でありますので、今後色々な面でお世話になるとは思いますが、宜しくお願ひいたします。

## 略 歴

生年月日	1933年11月24日
職 業	(株)尚美堂 社長
家族構成	妻・長女・次女・長男・孫7人
ロータリー歴	1974年4月 佐世保南RC入会
	1990年9月 佐世保中央RCへ移籍 (創設)
	1992年7月 会長

## ガバナー補佐挨拶



第7グループ  
ガバナー補佐

太田 靖 臣  
(大村東RC)

この度、第7グループのガバナー補佐という大役を仰せつかりました。ロータリー歴の浅い私が果たして務まるのかと、自問自答いたしましたが、これも人生のめぐり合わせなんだと思い、引き受けました。

第7グループは、島原・大村の6クラブであります。両市の間は、第8グループ(諫早)に間をはさまれ、距離がかなりはなれておりますが、距離ははなれていても「奉仕の心は一つ」という気持ちで、今年度「RIのテーマ」、「RI会長の強調事項」さらに、田口ガバナーの運営方針等をよく理解し、各クラブへの伝達を行いたいと思います。

今年度RIのテーマは“LEAD THE WAY”です。ロータリーの原点であります。奉仕の精神を、今よりさらに率先して実践・行動できるよう各クラブと協力し、努力をしてゆきたいと思います。

又、私個人としても、会員の皆様との間に友情がうまれるようなクラブ訪問をしたいと思っております。第7グループの皆様のご協力とご指導をよろしくお願い申し上げます。

## 略 歴

生年月日 1944年3月23日  
職 業 (有)中央リース代表取締役  
ロータリー歴 1995年 大村RC入会  
1996年 大村東RC入会  
1997～98年 幹事  
2000～01年 会長  
2003～04年 2740地区環境保全委員  
2000年 ポール・ハリス・フェロー  
2000年 米山功労者マルチプル



第8グループ  
ガバナー補佐

宮崎 清 彰  
(諫早北RC)

昨年11月に当クラブ会長武田義憲君に理事会で、2006年～2007年度のガバナー補佐に決定したので受けてほしいという話があり、同級生ということもあって素直に「わかりました」といったものの、まだまだ先の事と思っておりましたが、今年になって第1回ガバナー補佐会議、会長エレクト研修セミナー等々開催され、だんだん近づくにつれ責任の重大さを痛感しています。

26歳の若さで入会させて頂き、当時は右も左もわからず、ガバナー公式訪問の時にはいつも、「君は若いんだから、ずっといけばロータリーの良さが解るから、退会しない様に楽しみなさい」といわれた事を、懐かしく思い出しています。

それから早や34年の年月が経ち、やっとロータリーの良さが解ってきた感じがします。60歳という記念すべき年に、ガバナー補佐という大役を仰せつかりました。「入りて学び、出でて奉仕」というロータリーの基本を守り、頑張っていく所存でございます。第8グループ(5クラブ)の会長幹事様をはじめ多くのロータリーアンの皆様に、今年度大変お世話になると思います。どうかよろしくご支援、ご指導をお願い申し上げます。

## 略 歴

生年月日 1946年2月3日  
職 業 不知火薬品(株)代表取締役  
家族構成 妻・子供3人  
ロータリー歴 1971年 諫早北RC入会  
1996年 会長

# ガバナー補佐挨拶



第9グループ  
ガバナー補佐

**野田直幸**  
(福江中央RC)

2006～2007年度 第9グループガバナー補佐として委嘱され、大へん困惑し、何をどうすればいいのか迷いの日々を送っている所です。特に私は離島というハンディを負い、時間的距離的にはむろんの事、内容的にも隔たりを感じておりましたから、なおさらであります。しかしながら、この機会を本土と離島の格差をなくす好機と捉え、いろいろな最新の情報を提供できればと思いますし、また私も、この役を通じて少しでも自分自身を高めることができると考えております。

ガバナー補佐の役割であります、ガバナー・地区そして各クラブの連絡調整に努力し、各クラブの皆様方のご意見を拝聴させて頂き、各クラブが少しでも活性化出来るよう東奔西走し、本年度RIテーマ“率先しよう”を実践したいと考えております。どうか皆様方のご協力とご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

## 略 歴

生年月日 1950年7月29日  
職 業 (有)野田商事 代表取締役社長  
ロータリー歴 1989～99年 幹事  
2002～03年 幹事  
2004～05年 会長



第10グループ  
ガバナー補佐

**島崎静夫**  
(長崎東RC)

この度、第10グループのガバナー補佐としての委嘱を受け、その大役と責任の重大さを改めて痛感をしております。私は、長崎青年会議所を卒業と同時に、先輩の勧めで長崎東RCに入会をさせて戴き、17年の年月を数えておりますが、入会以来、ロータリーについては全くの不勉強で、時の流れるままに本日まで過ごしてまいりました。無為に過ごして来た自分に未だ後悔をして居る所であります。

我がクラブの事情とは言え、引き受けたからには、浅学非才ではありますが、一生懸命に努力をして、その職務を果たしたいと存じます。

担当をさせて戴きますグループ内のクラブ会長様を始め、会員の皆様方には、何かとお世話に成る事と存じますが、この1年間宜しくご指導を賜りますようお願い申し上げます。

先般の研修等で、田口ガバナーの運営方針が発表されました。RIテーマ(LEAD THE WAY)の推進、地区の重点推進プログラムであります、地球環境問題等ではありますが、これらの奉仕プロジェクトを通して、ガバナー事務局との調整役に徹すると共に、私も理解を深めさせて戴きたいと存じます。

又、グループ内のクラブ協議会に出席させて戴き、そのクラブの運営のあり方等についても、私なりに勉強させて戴き、将来に繋げたいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。

## 略 歴

生年月日 1948年5月15日  
職 業 島崎電業(株)〔電気設備〕  
ロータリー歴 1988年9月16日 入会  
2003～04 幹事  
2005～06 会長  
ポール・ハリス・フェロー  
米山功労者(3回)

2006～2007年度

# ロータリークラブ会長・幹事名簿

	R C	会 長	幹 事
1	佐 賀	織 田 徳 彌	木 下 博 行
	小 城	北 島 雅 義	服 卷 芳 史
	牛 津	武 富 浩 二	城 島 守 洋
	多 久	川 口 嘉 教	可 児 健 治
	佐賀大和	寺 崎 正三郎	吉 村 正 則
2	佐 賀 西	久 保 志 郎	大 塚 良 弘
	佐 賀 北	古 賀 久 志	西 田 信 行
	佐 賀 南	田 中 洋 介	神 代 剛
	神 埼	服 卷 和 孝	福 山 和 彦
	佐賀空港	山 本 秀 男	北 川 優
3	有 田	酒井田 正 宏	池 田 人 昭
	武 雄	馬 場 博	佐々木 寿 明
	鹿 島	国 広 武 治	迎 雅 瑞 嗣
	嬉 野	原 田 恒 俊	中 野 賢 司 郎
	大 町	諸 石 一 三	山 口 輝 二 郎
	白 石	大田尾 一 美	山 口 繁 喜
	太 良	馬 場 一 朗	牟 田 則 雄
4	唐 津	大 串 重 幸	藤 山 英 周
	伊 万 里	岩 永 龍 幸	田 中 英 夫
	唐 津 東	緒 方 重 利	高 田 芳 雄
	唐 津 西	前 田 米 蔵	中 江 章
	伊 万 里 西	多久島 隆	中 尾 良 樹
	唐津中央	水 田 彰 男	松 永 智 大
5	佐 世 保	中 島 祥 一	富 永 雅 弘
	平 戸	安 部 重 幸	川 本 邦 公
	佐世保西	井 手 芳 彦	藤 卷 義 孝
	北 松 浦	岩 屋 和 俊	赤 木 行 秀
	松 浦	勝 山 善 文	山 本 勝 治

## LEAD THE WAY

2006～2007年度

## ◆◆◆ ロータリークラブ会長・幹事名簿 ◆◆◆

	R C	会 長	幹 事
6	佐世保南	岡崎敏幸	鶴田司
	佐世保東	加島栄紀	橋口正
	佐世保北	古賀新二	宮原明夫
	佐世保中央	坂井智照	田雑豪裕
	佐世保東南	松田士郎	田中昭浩
	HTB佐世保	松田裕二	小島隆志
7	大村	西川義文	辻義明
	島原	亀田広望	喜多清基
	雲仙	森義春	荒木公章
	大村北	牧山隆雄	佐古亮景
	島原南	吉田秀隆	吉田修生
	大村東	松村学	池田利雄
8	諫早	菅原眞博	松原究
	諫早北	白倉一男	橋本謙一郎
	諫早西	平野義信	松藤久傳
	諫早多良見	松本尚武	堀川雄一
	諫早南	樋口茂樹	吉村忠克
9	長崎	松本慶蔵	大久保隆生
	福江	山田洋彰	向原広勝
	長崎北東	大原玉瑞	森義彦
	福江中央	今村音松	豆谷耕蔵
	長崎西	馬場政徳	日高豊久
	長崎琴海	田中直孝	前田ヒロ子
10	長崎北	安達健三郎	藤村昌憲
	長崎南	濱本好哉	鈴木元
	長崎東	朝永良介	中富武満
	東長崎	野上龍彦	多良正治
	長崎中央	浦川一孝	馬場泰憲
	長崎出島	草野幸子	堤祐敬

国際ロータリー第2740地区 2006～'07年度

## ガバナー公式訪問・クラブ協議会日程表

\*例会の曜日変更又は夜の例会への変更を表示

	クラブ名	クラブ協議会	公 式 訪 問	
第1グループ	佐 賀	8月 3日(木)	8月10日(木)	夜
	小 城	7月12日(水)	7月19日(水)	
	牛 津	7月21日(金)	7月28日(金)	夜
	多 久	7月13日(木)	7月20日(木)	
	佐賀大和	7月18日(火)	7月25日(火)	夜
第2グループ	佐 賀 西	7月24日(月)	7月31日(月)	
	佐 賀 北	7月12日(水)	7月26日(水)	夜
	佐 賀 南	7月11日(火)	7月18日(火)	夜
	神 埼	7月25日(火)	8月 1日(火)	夜
	佐賀空港	7月19日(水)	7月26日(水)	
第3グループ	有 田	7月11日(火)	7月25日(火)	
	武 雄	7月10日(月)	7月24日(月)	
	鹿 島	7月 4日(火)	7月18日(火)	
	嬉 野	7月14日(金)	7月21日(金)	
	大 町	8月 3日(木)	8月10日(木)	
	白 石	7月26日(水)	8月 2日(水)	
	太 良	7月13日(木)	7月20日(木)	夜
第4グループ	唐 津	8月 1日(火)	8月 8日(火)	
	伊 万 里	8月 2日(水)	8月 9日(水)	
	唐 津 東	7月27日(木)	8月 3日(木)	
	*唐津西	7月26日(水)	8月 2日(水)	夜
	*伊万里西	8月 3日(木)	8月 9日(水)	
	唐津中央	7月14日(金)	7月21日(金)	夜
第5グループ	佐 世 保	8月 9日(水)	8月23日(水)	
	平 戸	8月17日(木)	8月24日(木)	
	佐世保西	7月25日(火)	8月 1日(火)	
	北 松 浦	8月22日(火)	8月29日(火)	
	松 浦	8月18日(金)	8月25日(金)	

	クラブ名	クラブ協議会	公 式 訪 問	
第6グループ	佐世保南	9月 8日(金)	9月15日(金)	
	佐世保東	7月20日(木)	7月27日(木)	
	佐世保北	9月 4日(月)	9月11日(月)	夜
	佐世保中央	9月 7日(木)	9月14日(木)	夜
	*佐世保東南	8月 9日(水)	8月23日(水)	夜
	HTB佐世保	8月 8日(火)	8月22日(火)	
第7グループ	大 村	8月 8日(火)	8月22日(火)	夜
	島 原	9月 5日(火)	9月12日(火)	
	雲 仙	7月29日(土)	8月 5日(土)	
	大 村 北	9月 6日(水)	9月13日(水)	夜
	島 原 南	9月13日(水)	9月20日(水)	
	大 村 東	7月31日(月)	8月21日(月)	夜
第8グループ	諫 早	8月 4日(金)	8月11日(金)	
	諫 早 北	9月 7日(木)	9月14日(木)	
	諫 早 西	9月 6日(水)	9月13日(水)	
	*諫早多良見	9月12日(火)	9月19日(火)	夜
	諫 早 南	8月 7日(月)	8月21日(月)	
	長 崎	9月14日(木)	9月21日(木)	
第9グループ	福 江	8月 4日(金)	8月18日(金)	
	*長崎北東	8月30日(水)	9月 6日(水)	夜
	*福江中央	8月 8日(火)	8月18日(金)	夜
	長 崎 西	8月29日(火)	9月 5日(火)	
	長崎琴海	8月24日(木)	8月31日(木)	
	長 崎 北	8月21日(月)	8月28日(月)	
第10グループ	長 崎 南	8月30日(水)	9月 6日(水)	
	長 崎 東	8月25日(金)	9月 8日(金)	
	東 長 崎	9月12日(火)	9月19日(火)	
	長崎中央	9月 4日(月)	9月11日(月)	
	*長崎出島	9月 1日(金)	9月 8日(金)	夜

## LEAD THE WAY

R I 第2740地区2006～'07年度

## 地区主要行事予定表

年月	強化月間	日付	ガバナー事務所	日付	地区委員会
7月		1	全国ガバナー会（東京）	8	米山記念奨学部門研修セミナー
		15	第1回 諮問委員会	8	クラブ奉仕部門研修セミナー
			第1回 ガバナー補佐会議	23	第1回 財団奨学生研修会
				23	青少年交換学生選考会
				30	インターアクト年次大会
8月	会員増強月間			26～	[交換学生]第1回オリエンテーション
9月	新世代月間	17	第1回 GETS	10	国際奉仕部門研修セミナー
				10	米山の集い
10月	職業奉仕・米山月間		第2回 諮問委員会 第2回 ガバナー補佐会議	29	[交換学生]第2回オリエンテーション
11月	R財団月間	18	地区大会親善ゴルフ大会		
		23	ロータリーゾーン研究会		
			第2回 GETS		
12月	家族月間	2	地区大会	10	第2回 財団奨学生研修会
		3		財団奨学生募集（12月～4月）	
				[交換学生] クリスマス会	

※本年度から「識字率向上月間」が3月になりました。（従来は7月）

年月	強化月間	日付	ガバナー事務所	日付	地区委員会
1月	R理解推進月間		第3回 諮問委員会 第3回 ガバナー補佐会議	14	米山奨学生選考会
2月	世界理解月間				
3月	識字率向上月間		R I 会長賞 } 申請 会員増強表彰 }	4 25	米山奨学生歓送会 [交換学生]第3回オリエンテーション 本年度 R Y L A
4月	R雑誌月間		第4回 諮問委員会 第4回 ガバナー補佐会議	7 8	[交換学生]奈良京都旅行 第3回 財団奨学生壮行研修会
5月					ローターアクト年次大会
6月	親睦月間			3	財団奨学生選考会 [交換学生]第4回オリエンテーション お別れ会

# LEAD THE WAY

## 国際ロータリー第2740地区 2006～'07年度 地区組織

ガバナー諮問委員会			
PG	逸見 嘉彦	佐世保南	
PG	宮島 傳兵衛	唐津東	
PG	市瀬久米嘉	佐世保東	
PG	佐古 亮尊	大村北	
PG	牟田 勝輔	武雄	
PG	辻 洋三	佐世保南	
PG	野崎 元治	長崎	
PG	草場立太郎	佐賀西	
PG	武井 洋一	佐世保南	
PG	福井 順	長崎南	
PG	隅田 達男	伊万里	
PG	安部 直樹	佐世保北	
PG	栗林 英雄	諫早北	
PG	本城 好春	唐津	

地区研修リーダー			
	本城 好春	唐津	
地区拡大委員会			
	安部 直樹	佐世保	
	栗林 英雄	諫早北	
	本城 好春	唐津	
ロータリーの友			
	森 義則	長崎	
財務委員会			
委員長	福田 金治	佐世保	
委員	杉原 宏一	諫早北	
委員	北島 俊郎	唐津	

ガバナー(RI役員)		
	田口 厚	長崎
ガバナー補佐		
担当	氏名	所属
1	宮崎 恒	佐賀大和
2	吉野 徳親	佐賀西
3	蒲原 孝之	鹿島
4	立華 浩	唐津中央
5	太田 晴康	松浦
6	芥川浩一郎	佐世保中央
7	太田 靖臣	大村東
8	宮崎 清彰	諫早北
9	野田 直幸	福江中央
10	島崎 静夫	長崎東

※クラブのグルーピングは従来どおり

ガバナー指名委員会			
PG	逸見 嘉彦	佐世保南	
PG	宮島 傳兵衛	唐津東	
PG	市瀬久米嘉	佐世保東	
PG	佐古 亮尊	大村北	
PG	牟田 勝輔	武雄	
PG	辻 洋三	佐世保南	
PG	野崎 元治	長崎	
PG	草場立太郎	佐賀西	
PG	武井 洋一	佐世保南	
PG	福井 順	長崎南	
PG	隅田 達男	伊万里	
PG	安部 直樹	佐世保北	
PG	栗林 英雄	諫早北	
PG	本城 好春	唐津	

ガバナー・ミニ			
	野口 清	佐賀	

### 地区委員会 (◎印は委員長)

① クラブ奉仕統括委員会			
◎	江口 泰介	長崎	
	中尾 直弘	武雄	
	助村 房子	諫早南	
	西村 和郎	神埼	

② 職業奉仕委員会			
◎	中島 閔二	佐世保北	
	小松 重昭	唐津中央	
	佐古 亮景	大村北	
	本田 文昭	長崎中央	

会員増強委員会			
◎	江口 泰介	長崎	
	國崎 英雄	佐賀	
	大坪 豊	佐賀西	
	相良紘一郎	佐世保南	

③ 社会奉仕委員会			
◎	白川 十郎	伊万里	
	池田 和雄	佐賀北	
	緒方 信行	佐世保北	
	鈴木 忠義	諫早北	
	眞子 裕史	長崎北	

ロータリー情報・広報委員会			
◎	中尾 直弘	武雄	
	山本 浩平	松浦	
	音成 征彦	大村北	

ロータリー女性委員会			
◎	助村 房子	諫早南	
	緒方うらら	佐賀大和	
	時津芽久美	唐津中央	

出席委員会			
◎	西村 和郎	神埼	
	今村 文雄	諫早西	

ガバナー事務所スタッフ			
役職	担当	氏名	所属
地区幹事	総括	吉田 正和	長崎
副幹事	地区大会	藤田 智久	長崎
副幹事	月信	千田 紘一	長崎
副幹事	クラブ奉仕	中村 重敏	長崎
副幹事	職業奉仕・社会奉仕	木場 耕志	長崎
副幹事	国際奉仕	嵩下 明伸	長崎
副幹事	新世代	荒木 健治	長崎
委員	財団奨学・学友	四元 幸彦	長崎
委員	米山記念奨学	川原 強	長崎
委員	国際青少年交換	益田 莊一	長崎
会計長	総務・財務	山田 耕一	長崎

PETS実行委員会			
委員長	前田 三郎	長崎	長崎
副委員長	中村 重敏	長崎	長崎

地区協議会実行委員会			
委員長	福島 建一	長崎北	長崎北
幹事	崎永 剛	長崎北	長崎北

地区大会実行委員会			
委員長	西村 金造	長崎	長崎
幹事	藤田 智久	長崎	長崎
事務局長	石丸 忠重	長崎	長崎

④ 新世代統括委員会			
◎	岩永 信昭	長崎北東	長崎北東
	天本 俊太	長崎	長崎
	大島 隆	佐賀	佐賀
	岡部 景光	有田	有田
	瀬戸口智彦	長崎南	長崎南

⑤ 国際奉仕統括委員会			
◎	常多 勝己	長崎北	長崎北
	松尾 英機	佐世保中央	佐世保中央
	田中 克憲	長崎西	長崎西
	東島 秀明	佐世保北	佐世保北

⑥ 米山記念奨学委員会			
◎	高木 正隆	諫早南	諫早南
	音成日佐男	佐賀	佐賀
	藤井 義博	佐賀南	佐賀南
	酒井田正宏	有田	有田
	岩永 龍幸	伊万里	伊万里
	立石 徳雄	佐世保	佐世保
	牛島 義亮	佐世保中央	佐世保中央
	為永 伸夫	大村東	大村東
	中島 恒幸	諫早多良見	諫早多良見
	島田 靖彦	長崎西	長崎西
	北郷 雅子	長崎出島	長崎出島

インターアクト委員会			
◎	天本 俊太	長崎	長崎
	西田 信行	佐賀北	佐賀北
	南 茂	有田	有田
	田中丸治樹	伊万里	伊万里
	中村 人久	大村	大村
	坂本周一郎	島原	島原
	松園 隆	長崎出島	長崎出島

ライラ委員会			
◎	岡部 景光	有田	有田
	秀島 裕之	多久	多久
	山本 規仁	松浦	松浦
	櫻井 伸一	大村東	大村東
	松山 敏雄	東長崎	東長崎

ロータリー財団委員会			
◎	松尾 英機	佐世保中央	佐世保中央
	川副 幸一	佐賀	佐賀
	原田 一洋	佐賀西	佐賀西
	木寺 幸生	武雄	武雄
	古賀 誠	北松浦	北松浦
	井上 亮	佐世保中央	佐世保中央
	石坂 和彦	大村	大村
	高田昌一郎	長崎中央	長崎中央

ロータリーアクト委員会			
◎	大島 隆	佐賀	佐賀
	折敷瀬 三徳	鹿島	鹿島
	瀬戸 恵司	唐津東	唐津東
	堤 茂樹	伊万里西	伊万里西
	石井 正剛	佐世保	佐世保
	島田 謹一郎	佐世保東	佐世保東
	高木 義和	島原	島原
	西村 尚文	諫早	諫早
	益田 莊一	長崎	長崎
	内田 一	長崎北	長崎北
	塚本 清	長崎東	長崎東

国際青少年交換委員会			
◎	瀬戸口智彦	長崎南	長崎南
	篠原 裕一	佐賀	佐賀
	菅田 健一	嬉野	嬉野
	藤井 歸一	唐津	唐津
	木村 公康	佐世保	佐世保
	本多 善彦	雲仙	雲仙
	石田 豊	諫早多良見	諫早多良見
	田嶋 英夫	長崎北東	長崎北東
	川口 史	長崎南	長崎南
	飯田 義則	東長崎	東長崎

財団奨学・学友委員会			
◎	田中 克憲	長崎西	長崎西
	笠 慶宣	佐賀南	佐賀南
	永田 正義	佐世保北	佐世保北
	澤山 俊雄	長崎出島	長崎出島

GSE委員会			
◎	東島 秀明	佐世保北	佐世保北
	諸島 貞一	小城	小城
	高江洲一雄	長崎南	長崎南

**LEAD THE WAY****2006～2007年度 地区****I. 地区関係資金人頭分担金**

① 地区資金						
地区資金	地区大会 分担金	日本事務局分担金		特別会計繰入金		小計
		R文庫協力金	全国G会運営費	GSE分担金	世界社会奉仕資金	
6,200	6,000	300	200	500	360	13,560

**II. 地区資金一般会計**

収入の部		科 目	金 額	支出の部		科 目	金 額
収入の部	(1) 地区資金		15,810,000	支出の部	国際青少年交換	1,100,000	
	(2) 地区大会分担金		15,300,000		国際奉仕	80,000	
	(3) 日本事務局分担金		1,275,000		R財団	450,000	
	(4) 特別会計分担金		2,193,000		財団奨学・学友	360,000	
	(5) その他収入		0		GSE	80,000	
収入合計			34,578,000		米山記念奨学	360,000	
支出の部	(1) ガバナー関係費	6,450,000			(5) 日本事務局分担金	1,275,000	
	G E国際協議会	1,200,000			(6) 特別会計繰入金	2,393,000	
	全国G・PG会議費	2,500,000			(7) 予備費・その他支出	500,000	
	地区G・PG会議費	1,300,000			支出合計		34,578,000
	各種会議費	900,000					
	G記念品代	100,000					
	渉外・広報費	450,000					
	(2) 地区活動費・補助金	18,300,000					
	地区大会	15,300,000					
	地区協議会	700,000					
	PETS	300,000					
	地区チーム研修セミナー	300,000					
	インターアクト助成金	600,000					
	ローターアクト助成金	700,000					
	RYLA助成金	300,000					
	R財団学友会	100,000					
	(3) ガバナー補佐費	1,500,000					
	(4) 地区委員会費	4,160,000					
	クラブ奉仕	80,000					
	出席	80,000					
	拡大・会員増強	80,000					
	R情報広報	80,000					
	R女性	80,000					
	職業奉仕	150,000					
	社会奉仕	120,000					
	新世代	80,000					
	IA	500,000					
RA	400,000						
RYLA	80,000						

**III. 地区資金地区別会計**

◎世界社会奉仕資金特別会計		
収 入	支 出	
918,000	0	
◎GSE資金特別会計		
収 入	支 出	
1,275,000	2,000,000	
◎規定審議会資金特別会計		
収 入	支 出	
200,000	600,000	

## 関係予算 (単位：円)

②ガバナー事務所資金			③国際青少年 交換資金	合 計	平均会員数
G事務所分担金	月 信 費	小 計			
3,200	1,900	5,100	2,000	20,660	2,550名

## IV. ガバナー事務所会計

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
G事務所分担金	8,160,000	公式訪問旅費	400,000
月信費	4,845,000	人件費	2,500,000
R I 補助金	1,500,000	月信費	4,845,000
雑収入・その他	0	通信費	700,000
		消耗品費	1,200,000
		室料及び会議費	1,200,000
		旅費交通費	400,000
		G E 事務所費	3,000,000
		直前G事務所費	100,000
		予備費	160,000
収 入 合 計	14,505,000	支 出 合 計	14,505,000

## V. 国際青少年交換資金会計

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
国際青少年交換資金	5,100,000	学生滞在費補助	2,900,000
地区資金助成金	1,100,000	学生合同旅行	1,100,000
その他	0	オリエンテーション費用	1,100,000
クラブ負担金	0	学生観送迎費他	50,000
来日学生負担金	0	委員会費・全国委員会費	550,000
		印刷費ほか	200,000
		通信費	200,000
		予備費	100,000
収 入 合 計	6,200,000	支 出 合 計	6,200,000

## LEAD THE WAY

## ● 報告のしおり

報告の種類	報告期日	期 限	摘 要
半期報告	前期 06年7月1日 後期 07年1月1日	R I 事務所から送付された用紙を使用	R I 日本事務局奉仕室
次年度会長・幹事 決定報告 (公式名簿掲載資料)	06年12月31日	R I 事務所から送付された用紙を使用	R I 日本事務局奉仕室 ガバナー事務所 ガバナーエレクト事務所
次年度クラブ事務所通知 (変更の場合)	07年4月末日	書式自由	R I 日本事務局奉仕室 ガバナーエレクト事務所 ロータリーの友事務所
会員の入金・退会・変更	都度速やかに	日本事務局所定の用紙を使用	R I 日本事務局奉仕室 ガバナー事務所
会長・幹事変更、 例会日時・場所等	都度速やかに	書式自由	R I 日本事務局奉仕室 ガバナーエレクト事務所 ロータリーの友事務所
クラブ月報Ⅰ	毎月8日	所定の用紙	ガバナー事務所
クラブ月報Ⅱ	毎月16日	所定の用紙	ガバナー事務所
国際大会信任状	07年4月末日	R I 事務所から送付された用紙を使用 会長・幹事の署名が必要	ガバナー事務所

## 《報告先》

## ◇国際ロータリー日本事務局

〒115-0045  
東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階  
(奉仕室) Tel. 03-3903-3161  
Fax. 03-3903-3781  
(財団室) Tel. 03-3903-3192  
Fax. 03-3903-3781  
(経理室) Tel. 03-3903-3183  
Fax. 03-3903-3781  
(資料室) Tel. 03-3903-3194  
Fax. 03-3903-3781

## ◇ロータリーの友事務所

〒105-0011  
東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階  
Tel. 03-3436-6651  
Fax. 03-3436-5965  
[web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp) (問合せ)  
[hensyu@rotary-no-tomo.jp](mailto:hensyu@rotary-no-tomo.jp) (投稿)

## ◇ガバナー会事務局

〒105-0011  
東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階  
Tel. 03-3433-6497  
Fax. 03-3433-7395  
[govkai@orange.ocn.ne.jp](mailto:govkai@orange.ocn.ne.jp)

## ◇財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011  
東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
Tel. 03-3434-8681  
Fax. 03-3578-8281  
[mail@rotary-yoneyama.or.jp](mailto:mail@rotary-yoneyama.or.jp)

## ◇ロータリー文庫

〒105-0011  
東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
Tel. 03-3434-6456  
Fax. 03-3459-7506

## ◇ガバナー事務所

〒850-0851  
長崎市古川町8-29 (社) 是真会内  
Tel. 095-818-2660 (代)  
Tel. 095-818-2707  
Fax. 095-818-2663  
[ri2740@juno.ocn.ne.jp](mailto:ri2740@juno.ocn.ne.jp)

## 送金のしおり

	送金資金の種類	金額	期限	振込先	
人頭分 担金	R I 人頭分担金 前期 06年7月1日現在会員 後期 07年1月1日現在会員	(年額US\$ 47.00) US\$ 23.50 US\$ 23.50 ※注1	06年7月1日及び 07年1月1日の会 員数を基準に7 日以内に送金手 続きを完了する	【三井住友銀行】 新宿通支店 (普) 6733244 国際ロータリー 日本事務局  事務局長 大島 四郎	
	中途入会会員R I 人頭分担金 前期 (7/2~9/30入会者) 後期 (1/2~3/31入会者)	US\$ 11.75 US\$ 11.75	06年10月1日 07年 4月1日		
	規定審議会の為の 追加人頭分担金	US\$ 1.00	06年 7月1日 ※注2		
	地区 資金 等	地区資金	年間 6,200円 (半期 3,100円)	06年7月1日及び 07年1月1日の会 員数を基準に7 日以内に送金手 続きを完了する	【十八銀行】 観光通支店 (普) 188036 国際ロータリー 第2740地区  会計長 山田 耕一
		ロータリー文庫協力金	年間 300円 (半期 150円)		
		全国ガバナー会運営費	年間 200円 (半期 100円)		
		G S E 分担金	年間 500円 (半期 500円)		
		世界社会奉仕資金	年間 360円 (半期 180円)		
		ガバナー事務所費	年間 3,200円 (半期 1,600円)		
		ガバナー月信購読料	年間 1,900円 (半期 950円)		
国際青少年交換資金		年間 2,000円 (半期 1,000円)			
小 計	年間 14,660円 (半期 7,330円)	06年10月1日			
地区大会分担金	年間 6,000円				
寄 付 金	ロータリー財団寄付金  ※負税 個人は、200万円まで 寄付金より1万円引いた分	一括20万円以上の 年次寄付と 恒久基金寄付	随 時	【三井住友銀行】本店営業部 (普) 8719834 国際ロータリー日本事務局 日本ロータリー奨学金委員会 所長 大島 四郎	
		10万円以上20万円未満の 年次寄付のみ	随 時	【三菱東京UFJ銀行】赤羽駅前支店 (普) 1568210 特定非営利活動法人 ロータリー日本財団 理事長 岩井 敏	
		上記以外の寄付	随 時	【三菱東京UFJ銀行】本店 (普) 1528228 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島 四郎 【三井住友銀行】本店営業部 (普) 0968049 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島 四郎	
	米山記念奨学会寄付金	<普通寄付> 金額×会員数 (7月1日、1月1日現在)  <普通寄付> 米山功労賞 10万円以上 準米山功労法人 5万円以上 米山功労法人 35万円未満 35万円以上	06年7月1日 07年1月1日  随 時	【三井住友銀行】京橋支店 (普) 0920373 (財)ロータリー 米山記念奨学会	
そ の 他	ザ・ロータリアン誌購読料	1部・半期分 US\$ 6.00	06年7月1日 07年1月1日	R I 人頭分担金と同じ	
	「ロータリーの友」購読料	1部・半期分 1,200円(消費税別)	06年7月1日 07年1月1日	【三井住友銀行】浜松町支店 (普) 6326314 ロータリーの友事務所	
	文献資料代	表示価格	随 時		

※注1 規定審議の結果により変更の可能性があります。

※注2 06年7月1日の会員数を基準にR I 人頭分担金と同時処理

## 文庫通信 (225号)

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、[ロータリー文庫] は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に設立され、36 年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 1 万 9 千点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお願いいたしております。

### ☆利用方法☆

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問い合わせも承ります。お問い合わせは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

#### (文庫資料をご希望の場合は)

- 発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- 絶版のものは実費（1 枚 20 円＋送料）でコピーサービスを致します。
- 重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ビデオテープは有料でダビング致します。

#### (貸出し)

- 視聴覚資料（スライド・フィルム）は予約制（申し込み用紙有）で貸出し致します。

#### (登録資料の紹介)

- 「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
- 「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- 「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

#### (ご寄贈)

- 個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせていただきます。

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝日

国際ロータリー 第2740地区  
2006～'07年度 地区大会のご案内

# 長崎でお会いしましょう

率先しよう

未来の地球のために

— ストップ・ザ・温暖化 —

ホストクラブ：長崎RC      コ・ホストクラブ：長崎東RC、福江中央RC

11月18日(土)

記念懇親ゴルフ大会：長崎国際ゴルフ倶楽部（諫早）

12月1日(金)

会長・幹事会：長崎グランドホテル

RI会長代理ご夫妻歓迎夕食会：長崎グランドホテル

12月2日(土)

大会四委員会：長崎ブリックホール

登録・本会議：長崎ブリックホール

登録 9：30～

本会議 10：30～16：45

記念懇親会：ホテルニュー長崎

17：30～18：30

新世代の集い：ホテルニュー長崎

17：30～18：30

12月3日(日)

記念講演会：長崎ブリックホール

(地域公開) 午後予定



率先しよう

2006～'07年度 国際ロータリーのテーマ

お問い合わせ先：

## 地区大会事務局

〒850-0851 長崎市古川町8-29

(社)是真会内

電話 095-818-2660 (代)・095-818-2707

FAX 095-818-2663

長崎駅

大正



長崎駅

現在



### 長崎駅(長崎県)

明治30年 長崎駅(現在の浦上駅)開業

写真は、大正時代に新長崎駅に建築された初代駅舎。原爆投下によって消失。

戦後、三角屋根の思い出深い駅舎をへて、2000年現在の駅舎になる。

参照:フリー百科事典「ウィキペディア」より



## 国際ロータリー第2740地区

2006～2007年度ガバナー 田口 厚

### 事務所

〒850-0851 長崎市古川町8番29号(社団法人是真会内)

TEL: 095-818-2660 FAX: 095-818-2663

E-mail: ri2740@juno.ocn.ne.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

## 2006 - 2007

国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信  
クラブ会長・幹事各位



2006-2007年度  
国際ロータリーのテーマ

### 率先しよう

2006～2007年度ガバナー  
田口 厚



平戸大橋 旧平戸市と旧田平町を結ぶ橋長880mのトラス吊橋構造  
(第5グループ ガバナー補佐 太田 晴康氏)

## CONTENTS

ガバナーメッセージ .....	1
第1回友委員会報告 .....	2
委員長挨拶 .....	3
クラブリーダーシッププラン .....	11
ガバナー補佐リレー随想 .....	17
ガバナー・ノミニエ推薦の件、文庫通信 .....	18
クラブ役員のための情報資料 .....	19
地区大会のご案内 .....	20





## ガバナースタート日記

国際ロータリー第2740地区

2006-'07年度ガバナー 田口 厚

2006年7月1日(土)ロータリー年度第一日である。同期のガバナーと直前ガバナーの交代式が東京高輪プリンスホテルで行われた。同時にガバナーエレクトも各々自己紹介を約300名の各地区のバスターガバナーの前で行った。新ガバナーは全員34名出席したが、エレクトは3名程不足していた。まだ決っていない地区があるようだ。今年度のガバナー会の代表には恒例で東京地区から選出され第2580地区の小澤秀瑛ガバナー(青梅RC)が就任し、宗門の方でさすが「無門会」と名づけることになった。最後にロータリーの友の各地区委員会との懇談会になった。席上、新ガバナーから「日本のロータリーの組織が複雑すぎる。日本事務局、R財団事務局、ロータリー友、米山奨学会事務局、ガバナー会事務局とそれぞれ居を構え予算も各々が勝手に執行している。この際これを一本化すれば事務・経費の節減が出来るのではないか。」とのもっともな意見であるが、当事者の答弁は余り煮え切らないものであった。会終了後、帰崎。

7月2日(日)午前中、長崎の氏神である諏訪神社に私共夫妻、吉田幹事夫妻4人で長崎ロータリークラブ会員である大神宮司の立会いで一年間の健勝を祈願して頂いた。

7月3日(月)長崎新聞社就任挨拶。これもクラブ会員である松平社長以下、幹部の方としばし懇談した。その数日後、同新聞の記者より取材を受け、7月8日付長崎新聞にロー

タリーの現況と今年のテーマ「[率先しよう]地球温暖化防止について」の地区の取り組みについて大きく取り上げた記事が掲載された。まさしくロータリーとマスコミの連携により市民への広報活動が出来たことと思う。この後、地元のテレビ局の出演も予定されている。

7月6日(木)長崎クラブ例会出席

7月7日(金)七夕の日である。長崎ロータリーの名誉会員でもある金子長崎県知事、伊藤長崎市長を表敬訪問した。松本長崎クラブ会長より引き続き名譽会員の就任方をお願いした。クラブ公式訪問を鹿島クラブから始めることを話したら、お二方とも新幹線問題で心を痛めているご様子であった。

7月8日(土)地区新年最初の行事であるクラブ奉仕、米山記念奨学研修セミナーが武雄市で開催された。台風襲来の直前ながら五島からも帰路は天任せという感じで野田ガバナー補佐が出席された。米山記念奨学会については、高木正隆委員長が主催され米山寄付の重要性、奨学生の活躍の様子など詳細に報告、啓蒙されていた。クラブ奉仕については江口泰介統括委員長を中心に、情報広報・女性・出席各委員長により、会員増強などについての討議が分科会形式で開かれ熱心にお話された。

この10日間、本業そっちのけの目の回る多忙さであった。18日よりいよいよ鹿島立ちである。



今年度「ロータリーの友」について

## 第1回友委員会報告

2740 地区ロータリーの友地区委員

長崎RC 森 義 則

### 1 「ロータリーの友委員会」開催さる

7月1日、東京にてガバナー・ロータリーの友委員会による合同会議が行われた。

R I 理事、神崎友委員長等の本部スタッフと、34 地区ガバナー及び34名の友地区委員による約3時間の会議であった。

### 1 会議を通じての強調事項

- ロータリーの友の講読は、例会出席・会費納入と並ぶ会員の三大義務である。
- R I 公認の情報誌は、英文「ザ・ロータリアン」と加盟168ヶ国の内30ヶ国で発刊されている地域情報誌が印刷情報媒体誌であり、電子情報媒体のH・P、インターネット速報である。
- 友誌はR Iの機関誌であり、地域の情報誌であり、会員のための公開討論の場だ。

### 1 今年度の友誌編集方針

- 年度間のテーマ（昨年は100+1）は決めずに、R Iの「率先しよう」と地区ロータリアンのニーズに伴って、随時にテーマを決めていく。
- 友誌の表紙は今迄有名画家や写真家の作品を掲載してきたが、今年度はロータリー会員から募集した写真249点の中から11点を選び、8月号より掲載する。
- 人気が高い風紋（その人その人生シリーズ）は継続する。（7月号は西澤潤一氏）
- 会員投稿は歓迎（昨今は活発である）

### 1 友誌の購買状況

- 友誌は現在11万部（@200円）印刷され、2740地区では会員数2519名（4

月末現在)に対し2563部購入されている。

- 地区全体では44部オーバーであるが、57クラブの内14クラブでは会員数以下の購入にとどまっている。

### 1 地区委員の任務

- ガバナーとのコミュニケーションをはかり、友誌編集に建設的意見を述べる事。
- 地区内クラブに対して、友委員会作成の友誌及びその他刊行物の利用促進と広報に努める事。
- 委員として毎月号友誌の読后感想文提出。
- 「地区だより」の提出（07年4月号予定）
- 友委員会編集会議年4回の出席義務。

上記の運営方針の指示に則り、今年度友地区委員としての主要テーマを、次の通りとする。

- 1 各クラブでは第1例会に於て、当月号友誌の内容紹介を行う事（前年度57クラブに対するアンケート調査によれば紹介実施クラブは約半数となっている）。
- 1 友誌の会員数100%購入と全員への配布。
- 1 ガバナー公式訪問への帯同が要請されているが、不可能に付数クラブと思っている。
- 1 今年度ガバナーテーマ「地球温暖化防止（環境問題）」に伴って各クラブの活動状況を友誌への投稿資料（地区だより）としたい。
- 1 地区クラブ奉仕研修セミナーでの説明  
7月8日武雄で開催された上記セミナーにて友委員会に関する報告を行う機会を得た事を附記しておく。

## 委員長挨拶



クラブ奉仕統括委員会  
会員増強委員会

**江口 泰介**  
(長崎RC)

クラブ奉仕部門には「会員増強委員会」「ロータリー情報・広報委員会」「女性委員会」「出席委員会」の4つの委員会がありますが、各委員会が互いに協力して、全体として1つの委員会のようなまとまった動きをしていきたいと思っています。

今期の活動方針は、次の5つです。

- (1) 会員増強目標の達成：先般各クラブから提出いただいた会員増強目標は101名となっています。たいへん意欲的な目標をご提示いただき感謝申し上げますとともに、この目標をぜひとも達成いただきますようお願いいたします。
- (2) クラブ奉仕部門研修セミナーの開催：会員増強の問題点やその対策を検討、協議するセミナーを7月8日、武雄市において開催いたします。各クラブから会長、クラブ奉仕担当理事もしくは会員増強委員長の2名の方にご出席いただき、分科会形式にてすすめます。
- (3) 女性会員会議の開催：12月2日開催の地区大会の際、昼食時間を利用して、はじめての女性会員の方だけによる会議を開催いたします。
- (4) クラブリーダーシッププランの検討：CLPに関する的確な情報を提供できるよう、情報収集や検討を行います。
- (5) クールビズの推進：田口ガバナーが提唱された地球温暖化防止を「率先しよう」の精神で、具現化していきましょう。

### 略 歴

生年月日 1934年3月21日  
職 業 (学)活水学院、(学)玉木女子学園 役員  
ロータリー歴 1990年10月 入会  
2006～07年度 副会長  
2004～2005年度  
ポール・ハリス・フェロー



ロータリー情報・  
広報委員会

**中尾 直弘**  
(武雄RC)

この度、ロータリー情報・広報委員長を仰せつかりました武雄RC所属の中尾直弘と申します。委員長をお引き受けしましたものの、地区委員会の1つとして当委員会の果たす役割とは何なのか、あまりにも多岐にわたるため、未だ把握しきれずにいます。従って、次の2点について今年度は活動出来ればと思っています。

まず、今夏に予定されているクラブ奉仕部門の合同研修セミナーを有意義な研修会にするにはどうすれば良いか……。単なる講演会で終わるのでなく、お集まりいただいた会員が自由に発言出来る機会をどのような形で提供できるのか……。おそらく当委員会として、1つの“分科会”を担当することになると思われれます。地区内全クラブからお集まりいただくわけですから、各クラブにとって有効な情報を何か1つでも持ち帰って頂ければと願っています。

次にC、L、P(クラブ・リーダー・プラン)については、その導入についてクラブによって意見が分かれるところですが、変革が求められている今日、最も効果的、効率的な実践方法に基づき作成された管理枠組みとされています。

この事は、これから議論を深めるべき事項であり、実施に当たっては各クラブの定款細則の改定や機構の変更が必要になりますので、当委員会でも少し勉強したいと思っています。

今年1年、皆様のご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### 略 歴

生年月日 1941年3月4日  
職 業 歯科医師  
ロータリー歴 1992年 入会  
ポールハリスフェロー  
地区委員歴 2004～2006年度  
ロータリー情報委員

## 委員長挨拶



ロータリー女性委員会

助 村 房 子

(諫早南RC)

## 抱負、方針について

この度、心ならずもロータリー女性委員長を拝命いたしました。

出席することだけを念頭に、会員皆様の足手まといにならないように心がけている、ロータリー暦6年の若輩者です。そのような私に、押淵禮子委員長ほか歴代委員長が務められてきた、立派な委員会活動を継続・維持していけるのか、不安な気持ちでいっぱいです。しかし、引き受けた以上は、この身の引き締まる想いを原動力に、少しでもお手伝いできればと、決意を新たにしております。

在任中は、女性委員会の創設にご尽力いただいた先輩方のご意志をくみ取り、女性会員の増加を図ることを目標に、活動していきたいと考えています。具体的には、原点に立ち返り、女性委員会の発展と充実が、ロータリー本体の発展・充実につながるの思いから、女性委員会の認知度の向上と、女性を勧誘しやすい雰囲気作りに重点をおきたいと思っております。

それには、2740地区におけるロータリー女性会議の推進が重要な課題となってきますので、クラブ奉仕統括委員長のご指導の下、会員増強委員会、ロータリー情報・広報委員会、出席委員会の方々などと緊密に連携をとり、女性会議の充実に邁進する所存です。

会員の皆様におかれましては、今年のテーマ「率先しよう」を忠実に実践するべく、男女の別なく、ご協力いただきますよう切望しております。ご指導、ご鞭撻の程、宜しく願いたします。

## 略 歴

生年月日 1950年6月15日  
職 業 医師(眼科医)  
ロータリー歴 5年  
地区委員歴 3年



出席委員会

西 村 和 郎

(神埼RC)

私、今年度地区出席委員長を仰せつかりました神埼RC西村でございます。2004～5、2005～6年度の地区出席委員を務めさせて頂きましたが、(ほとんど藤田委員長様、緒里委員長様に遂行して頂きました。)委員とは名ばかりで何にもお役に立てておりません。今年度の委員長の役割をお引き受けしたものの、責務の重さを感じております。幸いに、江口クラブ奉仕統括委員長様の卓越されたロータリーアンのご指導を仰ぎ、各委員長の皆様からのご支援も頂き、1年間出席委員今村文雄(諫早西RC)様と共に活動してまいります。どうぞよろしくお願い致します。さて、3月19日(日)・5月21日(日)、2006～7年度地区協議会が開催され、地区運営についての講義を受け、いよいよ7月8日(土)地区クラブ奉仕部門研修セミナーをスタート致します。

当委員会の責務は、地区大会、地区協議会、地区研修会、並びに各クラブの例会への出席向上と思います。出席高率クラブのご指導を頂き、かつ、出席低率クラブの現況を探究致しまして、1年間の出席向上へと活動を進めて参ります。何卒会員の皆様のご支援ご協力を頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。

## 略 歴

生年月日 1940年12月31日  
職 業 株式会社ニシムラ 代表取締役  
ロータリー歴 1985年12月1日 入会  
1989～90年度 幹事  
1994～95年度 会長  
2004～05年度 地区委員  
2005～06年度 地区委員

## 委員長挨拶



職業奉仕委員会

中島 潤二

(佐世保北RC)

本年度、地区職業奉仕委員長を拝命いたしました佐世保北RCの中島です。

ロータリークラブは、1人1業種で選ばれた職業人の団体であり、職業を通じて各々の会員が奉仕をすることをまず理解しとかなければならないと思います。しかし、会員減少に歯止めがかからない現在、1人1業種という考えがなくなってしまったことが大変残念に思います。

さて、本年度の田口ガバナーは、基本方針として「地球環境問題」特に「地球温暖化問題」を大きなテーマとして掲げられておられます。地区職業奉仕委員会としても、この「地球温暖化問題」について取り組んで欲しいとの要請をうけ、職業奉仕という立場からこの「地球温暖化問題」に積極的に取り組んでいく所存でございます。

5月の地区協議会において、各クラブにこの「地球温暖化問題」についてアンケートを実施いたしましたところ、多くのクラブがこの「地球温暖化問題」に関心を寄せていただきました。今後、各クラブとしても積極的に取り組んでいきたいとの回答を得ております。我々の力は小さいかもしれませんが、1人1人の力を合わせることによって大きな力になると確信しています。

ロータリークラブが、その力の一役を担うことができると考えております。

そして、未来の人々に美しい地球を残してあげることこそ、今生きている人々の使命と考えています。

## 略 歴

生年月日 1948年8月4日  
職 業 中島ノズル(株) 取締役副社長  
ロータリー歴 1991年10月 入会



社会奉仕委員会

白川 十郎

(伊万里RC)

数年前、社会奉仕委員長を受けておりましたが、再び縁がございました。今年度は、地区重点推進『奉仕』プロジェクト「地球温暖化防止対策」を提示されました。そのことを受けて、当社会奉仕委員会は、地区職業奉仕委員会と協力しながら『地球温暖化防止』に向けて、事業展開を図っていく考えです。

私達ロータリアンが身近な所から、節水・節電・生ゴミの分別化と、再利用に向けて行動を起こせばよいのではないかと思います。毎週例会時に My 箸の使用、もしくは割り箸の回収を行い、その資源を再生紙会社へ送付する等、考えますとまだまだ沢山出来ることがあります。

また、土地柄と行政の面で厳しい所もありませんが、地球温暖化を防ぐ為にも市民を巻き込み、積極的に啓蒙を図る事はいかがでしょうか？

奉仕が生み出せるようにアドバイス等を目的とし、積極的に行動して行こうと思います。

ロータリアンは入りて学び、出でて奉仕です。率先しましょう！

## 略 歴

生年月日 1946年12月18日  
職 業 有限会社白川佛具店 代表取締役  
ロータリー歴 1987年12月23日 入会  
地区委員歴 2001～02年度  
環境保全地区委員長  
2002～03年度  
社会奉仕地区委員長



新世代統括委員会

岩 永 信 昭

(長崎北東RC)

新世代委員会として以下の事を各クラブへお願いしたいと思えます。

**新世代をロータリー家族の一員と考えて下さい**

配偶者や子供、孫だけでなく、ロータリーと関わりのある新世代即ちインターアクター、ローターアクター、ライラに参加する若者、交換学生、ROTEX、財団奨学生に学友、そして、米山奨学生も広い意味で家族の一員です。ここ数年、RI会長はこの点を強調されている様です。思いやり、寛容の気持ちで接して下さい。

**地区重点推進奉仕プロジェクトに新世代も参加させて下さい**

グローバルであり、且つ身近にも取り組めるこのプロジェクトを新世代は歓迎しています。新世代単独で活動するもよし、各クラブの皆様方と共に考えるもよし、どうか新世代の声を聴いてあげて下さい。

**自由な発想で新世代への奉仕を模索して下さい**

インターアクト、ローターアクト、ライラ、青少年交換は、成功を収めたRIの構成プログラムとして既に確認されています。しかし、これらと関わりの少ないクラブもあります。各クラブそれぞれに工夫を凝らした活動を既になさっておられますが、型にとらわれず、単年事業でもよく、経費のかさまない新たな奉仕活動も模索してみてください。ターゲットは小・中校生、障害者だと思えます。

## 略 歴

生年月日	1959年2月2日
職 業	医療法人社団昭成会岩永医院理事長
ロータリー歴	1996年3月27日 入会
	2000～01年度 幹事
	2001～02年度 インターアクト委員長
	2002～03年度 新世代委員長
	2003～04年度 会長
	2004～05年度 新世代委員長
	MPHF(4回) ベネファクター
	米山功労者



インターアクト委員会

天 本 俊 太

(長崎RC)

この度、インターアクトクラブ委員長の任を仰せつかりました、長崎ロータリークラブの天本です。

私自身、ロータリークラブに入会しまだ6年目ですので、今回色々勉強させて頂きたいと考えておりますので、宜しくお願いします。

地区の方針と致しましては、インターアクトクラブ活動の活性化、クラブ間の交流、会員の増加を目指したいと考えております。

本年度のインターアクトクラブに関しましては、例年行われておりました地区年次大会が、諸般の事情により、前期指導者講習会と同時に7月30日(日曜日)稲佐山観光ホテルにて1日で行う計画となっております。

変則的な年次大会となりますので、ロータリー会員の皆様には、ご理解、ご協力、宜しくお願い申し上げます。

## 略 歴

生年月日	1959年4月3日
職 業	社会福祉法人みのり会 理事長
ロータリー歴	2000年10月5日 入会
地区委員歴	2003～04年度 } インターアクト
	2004～05年度 } 地区委員
	2005～06年度 }

## 委員長挨拶



ローターアクト委員会

大島 隆

(佐賀RC)

本年度の委員会はロータリーの原点に立ち戻り、ローターアクトクラブを提唱した理念と現在までの歴史を検証する事からアクトのメンバー共々一緒にスタートしたいと思えます。それぞれのアクトクラブで、提唱ロータリークラブと一緒にあるべき姿、方向性を再認識して頂きたいと思えます。毎年度の課題ではありますが、まだまだロータリアンとアクトクラブのコミュニケーションが不十分であるようです。親の立場として、積極的な行動を推進して頂きたい。新世代はロータリーの家族であるはずで。又本年度は温暖化対策について、各アクトクラブで重点活動として取り組んで行く事になりました。これについても助言、指導をよろしく願いいたします。

ロータリアンの意識改革なくしては、アクトクラブの成長はないと思えます。よろしく願い致します。

## 略 歴

生年月日 1952年12月18日  
職 業 飲食業(和食)  
ローター歴 1996年2月29日 入会  
2001年 地区アクト委員長



ライラ委員会

岡部 景光

(有田RC)

2006年～07年度のライラ地区委員会を預かりました、有田クラブの岡部でございます。

数年前、ローターアクトや社会奉仕の委員会で多くのロータリーの方々には、いろいろお世話になりましたが、その時アドバイスを賜っていた田口ガバナー、吉田地区幹事の一助になればと思っております。

2740地区のライラの歴史はまだ新しく、第1回は1980年に長崎・親和の森で開催されています。国際ロータリー創立75周年記念開催で、まだ福岡県との同地区の頃です。

同じ新世代委員会のインターアクトは1963年11月に大村工高、ローターアクトは1968年12月に佐賀ローターアクトが創立し、活動をしておりました。

ライラは「ロータリー青少年指導者セミナー」として毎年開催され、ロータリーの新世代育成の為の大事なプログラムです。

指導力を養い、目標を決めること、意志決定をすること、お互い助け合うこと、良き市民であることなどを実業界やロータリアン、地域社会の人達から学べるセミナーなのです。

このセミナーに参加する若者が、楽しんで学べるような雰囲気づくりをしたいと考えます。

今度の第28回ライラは新世代委員会と連携をとり、若い人達に意見を聞いて、時間をかけながら「ライラづくり」をしたいと思っております。

田口ガバナーの地区テーマが「地球温暖化防止対策」です。このことを含めて若者とロータリーが考え、ライラの趣旨を有意義にしたいです。

みなさんのご協力をお願いします。

## 略 歴

生年月日 1944年5月9日  
職 業 建設設計(電力送電鉄塔鉄構、通信用鉄塔設計)  
ローター歴 1990年12月 入会  
1994～'95年 ローターアクト地区委員長  
1995～'96年 有田RC会長  
1996～'97年 ローターアクト地区委員長  
1999～2000年  
社会奉仕地区委員長、有田RC幹事  
2000～'01年 社会奉仕地区委員長  
1995年12月 ポールハリスフェロー  
2006年7月 米山功労者



国際青少年交換委員会

瀬戸口 智彦

(長崎南RC)

この度図らずも前期の藤井歸一委員長の後任として国際青少年交換委員長に委嘱され、他のベテランの地区交換委員の皆様とこの1年間この事業をお世話することになりました。

我が国の青少年交換プログラムは、故岩永光治PGの精力的な働きにより今日の基礎がきづかれました。最初の派遣は1962年、2人の学生がオーストラリア・サウスウェールズ州に派遣されたのが初めて、以後2001年には派遣国がのべ13カ国14名にのぼりました。昨年は9名の派遣学生が夫々の国に派遣され、又来日学生を当地区で引き受けています。

関係の皆様のご熱心な働きで順調に推移してきたこのプログラムも2002年、RIより青少年の保護を目的に行動規範の声明がだされ、大変な試練をうけようとしています。

「ロータリー活動に参加する全ての人々のためロータリアンやその関係者に対して接触する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的あるいは精神的虐待を防止して彼らの身の安全を守るために最善を尽くす責任がある」としてRIより誓約書を要求されています。

日本のロータリークラブとしてどのような態度をとるべきか、現在検討中ということです。

#### 主な事業予定

- 7月23日 派遣学生選考会  
長崎全日空ホテルグラバーヒル  
8月26日～27日 第1回オリエンテーション  
国立諫早少年自然の家  
10月7日～8日 おくんち旅行・長崎さるく博  
12月17日 クリスマスとお別れ 雲仙  
4月7日～9日 京都・奈良旅行  
6月 お別れ会

#### 略 歴

生年月日	1942年11月6日
職 業	せとぐち医院 院長
ロータリー歴	1981年10月7日 入会 1998年～1999年 幹事
地区委員歴	1989年～1990年 RYLA地区委員長 1996年～2001年 財団学友委員 2001年～2002年 財団学友委員長 2003年～2005年 国際青少年交換委員 2006年～2007年 国際青少年交換委員長



国際奉仕統括委員会

常 多 勝 己

(長崎北RC)

この委員会は特に新しい仕事内容をもったものではありませんが、ガバナーエレクトの組織再編成に伴い、国際奉仕に関係する3つの委員会、つまり

- 1) ロータリー財団委員会
- 2) 財団奨学・学友委員会
- 3) GSE委員会

の3つを統括するものであります。

ロータリー活動に必要な資金調達を推進し、これを教育的プログラム、人道的補助金プログラム、ポリオ・プラスプログラムに有効かつ円滑に活用できるように統括するのが、この委員会の目的であります。

配下各委員会には経験豊かな委員長・委員が配置されており、9月10日(日曜日)に武雄センチュリーホテルにてロータリー財団研修セミナーの開催を予定しております。その時に、各委員長より詳しい活動内容・方針が示されますので、各クラブの国際奉仕関係の理事、委員長は是非ご出席をお願い致します。

#### 略 歴

生年月日	1943年6月22日
職 業	医師(形成外科)
ロータリー歴	1989年6月26日 入会 1996～'97 幹事 2001～'02 会長
地区委員歴	1999～'00 米山記念奨学委員会

# 委員長挨拶



ロータリー財団委員会  
**松尾 英 機**  
(佐世保中央RC)

田口ガバナーは、今年度の第2740地区の数値目標を下記の様に設定されています。

- R財団年次寄付目標  
255千ドル/年(年会員1人100ドル)
- R財団新ベネファクター目標  
58名/年(各クラブ1名)

これら数値目標は、従来は国際協議会とガバナーで目標設定されていて、いわばお仕着せの目標であったものが、今ではPETSでガバナーと各クラブの会長が協議をして、クラブ毎の数値目標が設定出来る様になりました。即ち地区とクラブが出来る範囲で目標設定するところに意義があると思われまます。

ロータリー財団が世界各地で奉仕活動をするには、資金が必要です。この目標を達成する1つの方法として、「EVERY ROTARIAN, EVERY YEAR」(毎年貴方も100ドルを)推進活動があります。1年間に1人100ドルの現金を寄付すると「財団の友」会員になれます。クラブ全員が達成すると新しい認証「100%財団の友クラブ」となり、年度終了後8月にガバナーが贈呈されます。すでにチャレンジしているクラブもあります。又継続すると「マルチプル財団の友クラブ」になれます。各クラブの頑張りに期待します。

一方、地区補助金は今年度は22,483ドルです。

これらは地域社会援助プログラムですので、どうか活用方法を間違えることなく、各クラブの衆知を集めて、地域のニーズを掘り起こして、この地区補助金を有効活用下さい。(補助対象にならないプロジェクトもありますので、ご注意下さい。)

各クラブが年次寄付目標・恒久基金寄付目標を達成する為に、そして地区補助金を有効活用出来る様に、地区の財団委員長として努力してゆきたいと思っております。皆様方のご協力を宜敷くお願い申し上げます。

## 略 歴

生年月日 1941年12月25日  
職 業 印刷業  
ロータリー歴 1990.9月入会  
地区委員長 ロータリー財団委員会3年



財団奨学・学友委員会  
**田 中 克 憲**  
(長崎西RC)

ロータリー財団プログラムには、(1)人道的プログラム(2)教育的プログラム(3)ポリオ・プラス・プログラムの3プログラムがあります。夫々目的は異なっていますが、共通した目的は奨学金制度を通じ国際理解と世界平和に貢献することです。

当委員会が担当いたしますのは、(2)の教育的プログラム中の実務部門です。

財団奨学・学友委員会の活動は、ロータリー財団国際親善奨学生のための、年3回(7月、12月、4月)の研修会と、6月に奨学生の面接選考会が開催されます。夢と希望を持った優秀な若者たちが集い、世界に向けて羽ばたくことのできる、民間レベルとしては世界最大規模の素晴らしい国際奨学金制度です。

3回の研修会では、「ロータリーとは」「ロータリーの歴史」「顧問ロータリアンの責務」「奨学生の責務」などの項目を学習していただくことになっております。また、留学先が決定し、留学を間近に控えた4月、奨学生の壮行会も行っております。

ロータリー財団国際親善奨学金の目的は、海外留学を通じて国際理解を深めて、国際親善を促進することです。奨学生の皆さんは、自分の学業水準を高めると同時に、世界最大規模の奨学金プログラムの国際親善大使として期待されます。

帰国後は、第2740地区で財団学友として後輩奨学生の指導に努めていただきます。財団プログラムの実践活動と目的達成のために、財団奨学・学友委員一丸となって努力していきたいと思っております。

今年度は、佐賀南RC 慶宣君、佐世保北RC 永田武義君、長崎出島RC 澤山俊雄君、長崎西RCの田中克憲の4名で担当いたします。

今年度1年間、皆様方の絶大なるご支援・ご協力を頂きますよう、何卒宜しくお願い致します。

## 2005～2006年度 一財団奨学・学友委員会活動方針

- 1) ロータリー財団奨学生の募集、選考、研修、留学に関わる全ての業務の推進を留意しながら、ロータリーの国際親善大使としての自覚の修養に努力。
- 2) 奨学生支援活動、地区クラブ情報、資料提供の活性化を図りたい。
- 3) 世界平和奨学金の推薦並びに大学教官のための補助金の検討。
- 4) ロータリー財団学友会への支援。
- 5) 帰国奨学生(学友)のロータリー行事への積極的な参加。
- 6) 帰国奨学生(学友)が将来、ローターアクト・クラブ会員、ロータリアンになるための勧誘。
- 7) 国際親善奨学金で留学する人は、国際親善大使という大きな役割を担っているの、学問と同時に人格的にも優秀な人の推薦のお願い。
- 8) 各ロータリークラブに、積極的な奨学生の推薦のお願い。

## 略 歴

生年月日 1937年1月10日生  
職 業 歯科医師  
ロータリー歴 1984年10月2日 入会  
チャーターメンバー  
2003～2004年度 会長  
2001～2002年度 財団奨学・学友委員会委員  
2004～2005年度 財団奨学・学友委員会委員  
2005～2006年度 財団奨学・学友委員会委員長



GSE委員会

**東島 秀明**  
(佐世保北RC)

25歳から40歳までの若い人たちに、文化と職業のまたとない交流の機会を与えるGSEプログラム。そのGSE委員会に席をもって、3年目になりました。本田GSE委員長のもとにはじめて参集したとき、この委員会はプログラム遂行上、3年委員会の性格をもっていると思いました。何故なら、海外チームの受入れ準備—受入れ、派遣チームの送出し準備—送出し、そしてプログラム終了後の整理事項の消化（記録誌作成・派遣チームのケア）へと続きます。（計画段階を入れると4年掛かることもあります。）毎年、全てのメンバーが替わっては、次のプロジェクトの実施は不可能です。受入れには受入れのソフトがありますし、送出しには送出しのソフトがやはりあります。

受入れた海外チームが喜んでくれたこと、そして感謝の心を表してくれたとき、派遣チームが一回りも二回りもたくましくなって帰ってきてくれたとき、GSEプログラムの使命がなんたるかを理解することが出来ました。

本年度は、この3年間培ったGSE委員会のソフトを次年度へ全てバトンタッチできるように、委員の方々と一緒に頑張りたいと思います。

## 略 歴

生年月日 1939年11月5日  
職 業 親和電機株 取締役会長  
佐世保電気工事業協同組合理事長  
ロータリー歴 1985年(チャーターメンバー) 入会  
2004年～05年度 GSE地区委員  
2005年～06年度 GSE地区委員



米山記念奨学委員会

**高木 正隆**  
(諫早南RC)

2006～2007年度地区米山奨学委員長を拝命しました高木です。よろしくお願いいたします。

皆様御案内の如く、米山奨学事業は世界に類を見ない「日本ロータリーの誇り」と言うべき日本独自の奉仕事業であります。約半世紀の歴史があり、現在まで106ヶ国、13,322名の外国人奨学生を支援しており、彼等はロータリーの理想とする国際理解、相互理解、世界平和の願望を胸に世界の各界で活躍している人々が多数います。我々は、この素晴らしい事業を継承推進して行かなければならない立場にあります。米山奨学事業は皆様方より頂戴致しました貴重な浄財を財源として、奨学生の為にのみ使用されています。

米山奨学委員会の運営にあたりましては、田口ガバナー、PG隅田奨学会理事の御指導のもと、又地区各グループより選出されました10名の地区委員の方々とよく協議しながら行っていきます。尚、数値目標として、田口ガバナーによる米山寄付金の目標の御提示額は

1. 地区総額 3,000万円
2. 会員一人当たり 12,000円

となっています。ガバナー提示額の達成及び米山奨学事業の継承と発展の為、ロータリアンの皆様方の暖かい御支援と御協力をよろしくお願いいたします。

## 略 歴

生年月日 1938年7月14日  
職 業 高木内科胃腸科医院 理事長  
ロータリー歴 1998年9月9日 入会  
2002～06年度 地区米山奨学委員  
2003～04年度 会長

## 「クラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)」資料掲載について

地区幹事 吉田 正和

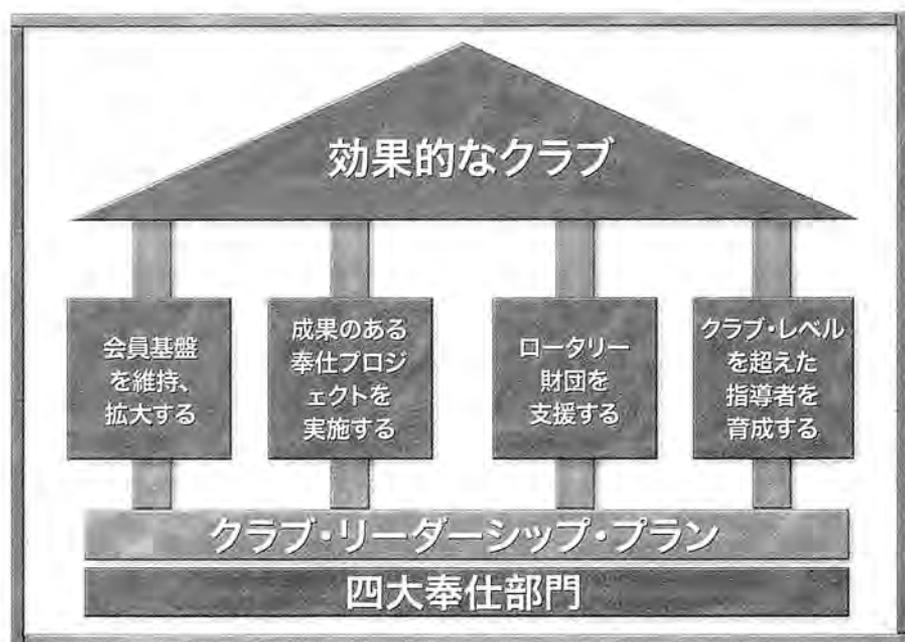
田口ガバナーは、「国際協議会」においてCLPの提唱がされたことを受け、各クラブにおいての検討課題として取り上げていただきたいとの要請をされた。地区においてもあらゆる機会（クラブ公式訪問、地区大会での会長幹事会など）を捉え、議論を深めていく考えである。討議資料として活用をお願いしたい。



「クラブ・リーダーシップ・プランは蘇生の妙薬となった」

クラブ・リーダーシップ・プランとは、ロータリー・クラブに推奨される管理的枠組みであり、効果的なロータリー・クラブのベスト・プラクティス（最善の実践方法）に基づいて作成されています。それぞれのロータリー・クラブは独自に異なる存在であるため、クラブ・リーダーシップ・プランは、世界中のクラブの個々のニーズに応用できる柔軟性を備えています。クラブ・リーダーシップ・プランの採用はすべてのクラブに義務づけられているわけではありませんが、次のようなベスト・プラクティスに基づく標準化された管理上の手順を採用することは、新旧を問わずすべてのロータリー・クラブにとって有用となるでしょう。

- ・ 効果的なクラブの要素に取り組む長期目標を立案する。
- ・ 長期目標を支える年次目標を設定する。
- ・ クラブ会員全員が最新情報を得ていること、クラブに参加していることを実感できるようにする。
- ・ クラブ内ならびに地区との意思疎通（情報伝達）を円滑に図る。
- ・ 年度から年度への指導力の継続性を保つ。
- ・ クラブの運営を反映するよう細則を独自に修正する。
- ・ 定期的な親睦の機会を提供する。
- ・ すべてのクラブ会員が積極的に参加する。
- ・ 定期的かつ首尾一貫した研修を提供する。



クラブ・リーダーシップ・プランの目標は、各奉仕部門に沿って活動を遂行することによりロータリーの綱領を追求する効果的なクラブを創造することです。効果的なクラブは、以下を遂行することによってロータリーの綱領を果たすことができます。

- ・ 会員基盤を維持、拡大する。
- ・ 地元地域社会ならびに他の国々の地域社会のニーズを取り上げたプロジェクトを実施、成功させる。
- ・ 資金の寄付およびプログラムへの参加を通じてロータリー財団を支援する。
- ・ クラブの枠を超えてロータリーにおいて奉仕できる指導者を育てる。



「当初私たちは、クラブ・リーダーシップ・プランの施行によって、ただでさえ多忙な会員たちにさらに多くの仕事を課すことになるのではないかと心配していました。しかし今では、より多くの会員に責務を幅広く分担することによって、このプランの長所がよくわかりました」

クラブ・リーダーシップ・プランは、各奉仕部門における目標を達成するためのクラブの力を高める一助となります。成果溢れる奉仕プロジェクトの実施は、社会奉仕、国際奉仕、職業奉仕に影響を与えます。会員数が増加すれば、クラブの各奉仕部門で活動できるロータリアンの数も増えることになります。ロータリー財団を支援することは、社会奉仕と国際奉仕の両方に影響を与えます。手続の合理化、より円滑な情報伝達、長期計画の策定、関与する会員の増加によって、クラブ奉仕がさらに改善されます。能率的に運営されるようになれば、クラブは奉仕活動を一層効果的に実施することができます。クラブ・リーダーシップ・プランは、クラブが各奉仕部門にさらに努力を傾け、ロータリーの綱領に到達することができるようにするためのものなのです。

### ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。

**第1** 奉仕の機会として知り合いを広めること。

**第2** 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること。

**第3** ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。

**第4** 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

### 奉仕部門

四大奉仕部門は、ロータリアンがロータリーの綱領を理解する手助けとして、1920年代に設けられました。



クラブ奉仕は、親睦活動を充実させ、クラブを効果的に機能させることを主眼とします。



職業奉仕は、ロータリアンがそれぞれの職業を通じて他の人々に奉仕し、高い道徳的水準を保つことを奨励します。



社会奉仕は、クラブが地域社会の生活の向上を目指して実施するプロジェクトおよび活動を包括します。



国際奉仕は、世界中におけるロータリーの人道的な援助活動を拡大し、世界理解と平和の推進のために実施する方策を包含します。

### クラブ・リーダーシップ・プランの利点

現在のクラブ運営を見直す機会を与えるクラブ・リーダーシップ・プランは、クラブに数々の利点をもたらします。

- クラブの将来について、すべての会員に意見を述べるチャンスが与えられる。
- クラブ運営を簡素化することによって、奉仕と親睦に集中するためのより多くの時間を会員に与える。
- クラブ会員がより一層関与することによって、将来のクラブおよび地区指導者が育成される。
- クラブ活動に会員がより多く参加するにつれ、会員保持率が高くなり、退会防止につながる。
- クラブ指導者は、クラブ目標を達成するためにより多くの会員の協力を得ることができる。

- ・ 任命とクラブ目標の間に継続性を持たせることによって、ある年度から次の年度への移行が容易になる。
- ・ クラブの慣習を新鮮な目で見直すことによって、ロータリーへの熱意が新たになる。

## プランの施行

元、現任、次期クラブ役員が共に協力し、以下のような方法に基づいてクラブに適した形にリーダーシップ・プランを修正します。

### 1. 効果的なクラブの要素に取り組む長期目標を立案する。

長期目標は、今後3年から5年間にわたるロータリー年度に適用され、効果的なクラブの要素（会員増強、指導者育成、ロータリー財団、奉仕プロジェクト）に取り組むものとされます。また、長期目標は、これらの各要素においてクラブの成功を促す方策を含むものでなければなりません。クラブのリーダーシップ・プランが数年間にわたり進展するにつれ、これらの目標も随時更新されるべきです。

### 2. 「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」を活用し、クラブの長期目標と調和する年次目標を設定する。

「活動計画の指標」には、年次目標を達成するために活用される一般的な方策が記載されており、クラブは独自の方策を追加して記入することができます。これは、必要に応じて内容を更新することができ、随時活用すべき資料であると考えてください。年次目標は、各奉仕部門を取り上げ、クラブがロータリーの綱領を追求するのを支援するものであるべきです。目標設定に関するその他の情報は、「クラブ役員キット」(225-JA)をご参照ください。

### 3. 計画過程に会員を関与させクラブ協議会を実施し、ロータリーの活動に関する情報を随時伝える。

クラブ協議会の開催によって、クラブの全会員が最新事情を把握し、クラブ活動に参加していると実感することができるようになります。多くのクラブでは、会員全員がクラブに関する決定事項を協議するための機会として、また、委員会が活動を報告するための機会として協議会を活用しています。

### 4. クラブ役員、クラブ会員、地区指導者の間の明確なコミュニケーション（連絡）を保つようにする。

クラブ会員全員とガバナー補佐が出席する定例のクラブ協議会を開催することによって、明確なコミュニケーション（連絡）が促されることになります。クラブ協議会のない時には、クラブ指導者が協力し、クラブ指導者同士、およびクラブ会員と地区指導者と連絡を取り合う方法を確立する必要があります。コミュニケーションの計画を立てる際には、誰が誰に連絡するのか、どのような連絡手段を用いるのか、いつ連絡すべきかの概要をまとめてください。

### 5. 将来の指導者育成を確実にする一貫した引継ぎ計画の概念を含め、指導者の継続性を確保する。

ロータリー・クラブの指導者は毎年交代するため、すべてのクラブは指導者の継続性を確保する必要があります。この継続性を実現する最も成功率の高い方法は、複数年任期で任命すること、全委員会に現・次期・元委員長を委員として含めること、現職のクラブ会長が会長エレクト、会長ノミニ、直前会長の各者と緊密に協力することなどがあります。



「この新たな構成を採用する機会を与えてくれたことに感謝しています。これによって、固定観念にとらわれずに自由に考えることができ、クラブの見直しを行うことができました」

6. クラブ委員会構成とクラブ指導者の役割と責務を反映させるべく、クラブ細則に修正を加える。

RIから提供される推奨ロータリー・クラブ細則に修正を加え、クラブ独自の運営を反映させます。この他の情報は、本書の「クラブ細則」(第Xページ)および推奨ロータリー・クラブ細則(第Xページ)をご覧ください。

7. クラブ会員の親睦をさらに深めるような機会を提供する。

ロータリーを楽しんでいる会員は、自分が参加しているという実感を持ちやすいものです。クラブの親睦を充実させることで、クラブの奉仕活動も助長されることでしょう。

8. 会員全員がクラブのプロジェクトや業務に活発に関与するよう計らう。

クラブに関与することによって会員はロータリーについて学ぶことができ、クラブの活発な会員であり続けます。活発な会員は、クラブのプロジェクトが自分のものであると感じ、さらに献身するものです。

9. 包括的な研修プランを立案する。

包括的な研修は、以下を確実にします。

- ・ クラブ指導者の地区研修会合への出席
- ・ 新会員のための一貫したオリエンテーションの定期的な実施
- ・ 現存会員のための継続的教育の機会の提供

将来の指導者を育成するために研修は非常に重要です。研修によって、現在のクラブ役員はロータリーの情報に精通し、クラブをより良く指導し、さらに充実したロータリーの奉仕を行うことができるようになります。

クラブ指導者は、プランがクラブの目標に適い、クラブの独自性を反映させたものであり続けるよう、プランを毎年検討しなければなりません。プランを施行および検討する際、あるいは年度を通じて必要な場合には、地区指導者(特にガバナー補佐)に援助を要請してください。

## クラブ委員会

クラブ・リーダーシップ・プランは、クラブの年次目標を実現するために、以下の5つの常任委員会を任命することを推奨しています。

・ 会員増強・退会防止委員会

クラブ会員の勧誘と退会防止の計画を立案、実施する。

・ クラブ広報委員会

ロータリーに関する情報を一般の人々に提供し、クラブの奉仕プロジェクトや活動を推進するための計画を立案、実行する。

・ クラブ管理運営委員会

クラブのすべての管理運営の活動を実施する。クラブ幹事および会計は、この委員会の委員となるものとする。

・ 奉仕プロジェクト委員会

地元社会や他国の地域社会のニーズを取り上げた教育的、人道的、職業的プロジェクトを立案、実行する。

・ ロータリー財団委員会

寄付および財団プログラムへのクラブの参加の両面から、ロータリー財団を支援するための計画を立案、実施する。



「プランが最初に紹介された時にはいつものことながら非常に多くの反対者が現れましたが、それ以来、皆がプランの長所を認めるようになりました」

各委員会の活動の継続性を図るため、可能であれば、委員を3年任期で任命してください。クラブ会長エレクトは、空席の補充および委員会委員の任命に対して責任を有します。会長エレクトはまた、次ロータリー年度が始まる前に、次期委員会と計画策定のための会合を開くべきであるとされます。クラブ・リーダーシップ・プランは、その委員会において以前に委員を務めた経験がある人が委員長を務めることを推奨しています。

クラブは必要に応じて追加の委員会を任命します（特別なプロジェクトや、クラブが古くから行っている活動を反映した委員会など）。それぞれの常任委員会は、クラブの年次目標および長期目標を支えるような目標を設定すべきです。

クラブはまた、必要に応じて小委員会を任命することも可能です。例えば、奉仕プロジェクト委員会には、社会奉仕、国際奉仕、青少年プログラム（青少年交換やインターアクトなど）といった小委員会を設けることができます。クラブが特定のロータリー財団プログラムにおいて非常に活発に活動している場合には、クラブはそのプログラムを重点的に扱う小委員会を設置することもできます。

各クラブ委員会は、進捗や委員会活動について、定期的にクラブ理事会に報告すべきであるとされます。多くのクラブは、クラブ協議会をこの目的に利用しています。各委員会はまた、クラブを担当するガバナー補佐および適切な地区委員会と定期的に連絡を取り合うことによって、地区からの支援を活用すべきです。

## 地区からの支援

ロータリー地区は、ロータリー・クラブを支援するために存在します。以下の表は、地区ガバナー率いる指導者チームが、いかにしてクラブ委員会を支援することができるかを示しています。

クラブ委員会	地区による支援
会員増強・退会防止委員会	会員増強委員会
クラブ広報委員会	広報委員会
クラブ管理運営委員会	ガバナー補佐
奉仕プロジェクト委員会	各種プログラム委員会
ロータリー財団委員会	ロータリー財団委員会

### 地区指導者

クラブのリーダーシップ・プランを立案、施行する際には、地区指導者からの支援を必ず活用してください。クラブ・リーダーシップ・プランは、会長エレクト研修セミナーおよび地区協議会の研修議題に取り入れられており、また、クラブ・リーダーシップ・プランに関してクラブは地区指導者チームから援助を得ることができます。次期ガバナー補佐は、クラブがプランと合致する目標を設定するための「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」に記入する際に指針を提供します。新規加盟クラブも長い歴史を持つクラブも、また堅固なクラブも弱体クラブもすべて、クラブ運営をさらに充実させるためにプランを活用する方法について地区指導者がクラブを指導し、質問があれば答えてくれます。

### 他のロータリー・クラブ

他のロータリー・クラブは、クラブ・リーダーシップ・プランに関する自らの体験を分かち合うことによって、支援を提供することができます。地区内の他のクラブと情報を交換することをお望みの場合、クラブ・リーダーシップ・プランを施行している他のクラブと連絡を取ることについて、ガバナーまたはガバナー補佐に問い合わせてください。

### 研修の機会

すべてのクラブ指導者のために地区が実施する研修は、クラブ・リーダーシップ・プランの重要な側面です。会長エレクトは、会長エレクト研修セミナー（PETS）および地区協議会に出席するものとされています。地区協議会に出席すべきこの他のクラブ指導者は、次期幹事、次期会計、次期委員会委員長およびできるだけ多くの委員会委員とされています。会長エレクト研修セミナーと地区協議会の両会合において、次期クラブ指導者にクラブ・リーダーシップ・プランに関する情報が提供されます。以下のような地区が提供する継続教育の機会は、すべてのクラブ会員および役員が利用するよう奨励されています。

- ・ 地区大会
- ・ 地区指導者育成セミナー
- ・ 地区会員増強セミナー
- ・ 地区ロータリー財団セミナー

### クラブ細則

クラブ細則は、クラブ管理のための指針となるものです。推奨ロータリー・クラブ細則は、標準ロータリー・クラブ定款の内容に合わせて作成され、現在のロータリーの方針を反映しています。細則はクラブのニーズ、目標、活動に合わせて内容を適ささせ、クラブ独自の特性（アイデンティティー）を反映させることができます。年度を重ねるにつれてクラブのリーダーシップ・プランも進展が見られるため、細則を見直し、新たな慣行や手続きを反映させるために内容を修正することも必要となります。

### クラブ理事会

推奨ロータリー・クラブ細則に記載されている通り、クラブ理事会は以下で構成されるものとされています。

- ・ 理事（人数はクラブが定めた通り）
- ・ 会長
- ・ 副会長
- ・ 会長エレクト
- ・ 幹事
- ・ 会計
- ・ 直前元会長

これらの各役員は、ロータリー・クラブを管理するために、クラブ会員による多数投票で選出されます。委員会委員長は、クラブによる選挙ではなく、会長エレクトによって任命されるため、自動的に理事会のメンバーとなるわけではありません。委員会委員長を理事会に含めることを望むクラブは、クラブ細則を修正する必要があります。

### 改正案の提案および投票

クラブは、クラブ会員の過半数が出席している任意の例会において、細則を改正することができます。提案された改正案は、まずクラブ理事会の承認を得るものとされ、投票の少なくとも10日前までに、提案された改正案について会員全員に通知されていなければなりません。細則の改正は、3分の2の賛成票によって承認されなければなりません。



「私たちは、本クラブの特徴に適った細則に練り直すと同時に、国際ロータリーの目的も果たすことができました」



ガバナー補佐 リレー随想

## 識字率の向上

第一グループガバナー補佐

宮崎 恒 (佐賀大和RC)

識字率の向上は「日本にとっては大きな問題ではない」と、考える方が大勢居ます。しかし、私はそうは思いません。私自身70年も日本語を使い、50年近く日本語と格闘して来ました。それでも、読めない語、書けない言葉がたくさんあります。

話して居ても、伝わらない話し方があったり、伝え方に迷うことが多かったです。TV・ラジオで活躍している有名な人が「こんな言葉こんな文字を知らないのか？」と首をかしげることも、しばしばです。情報機器の発達で、書けない人は増えて居ます。

「活字離れ」と言われて久しくなります。読めない人が多くなった原因かも知れません。国語の世界では、言葉の乱れや揺れが問題でしたが、それ以上に大きな問題として最近「読解力」が取り上げられています。

「読解力」は、単に文字や文章を読み取ることではないと思います。「行間を読む」と言う言葉がありますが、まさにこれであったり、「言外をくみ取る」ことであったりするのが、本当の「読解力」ではないかと思うのです。

言葉では言い表すことが出来ないものがあります。そんなときに相手が「分かった」と言ってくれたら嬉しくなります。これが「以心伝心」かもしれません。こんな時に本当のコミュニケーションができあがるのではないのでしょうか？

「以心伝心」は、相手の言葉数と自分のそれが掛け離れていては無理なことです。豊富

な日本語を、使いこなし見つめ直すことで「読解力」を高めることが可能です。どう読みますか？どう書きますか？と尋ねられて100%自信が持てるでしょうか。隣の人をどう理解するか、隣の人は何を言いたいのか理解するためには読解力が、欠かせないのです。文字を読めるようになることより、行間を読めるようになることです。

「識字率の向上」は、発展途上国だけの問題ではなく、外国語に力点を置こうとしている日本にとっても大きな問題だと思うのです。

## 第2グループのガバナー補佐が交代されました。

氏名 土井 洸  
(どい たけし)

- 所属クラブ 佐賀西RC
- 生年月日 1940年5月21日
- 住所 佐賀市多布施1-9-16
- 電話 0952-26-0565

- 事業所 門鉄美術宣伝(株)
- 役職 代表取締役社長
- 所在地 佐賀市高木瀬西6-11-2
- 電話 0952-31-3131

## ロータリー歴

- 1981年3月23日  
佐賀西ロータリークラブ入会
- 1984-85年度  
佐賀西ロータリークラブ幹事
- 1998-99年度  
佐賀西ロータリークラブ会長

R I 2740 地区クラブ会長各位

ガバナー 田口 厚

**2009年～2010年度ガバナー・ノミネー推薦の件**

国際ロータリー細則第13.020.3項により、2009～2010年度ガバナーに就任するガバナー・ノミネー候補者の推薦を希望するロータリークラブは、2006年10月31日までに地区ガバナー指名委員会宛（国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所気付）に文書を以ってご推薦下さい。

推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事はその決義を証明する形で推薦書を提出して下さい。

尚、ガバナー指名委員会がその選択をするにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません。（国際ロータリー細則第13.020.4項）

ガバナー・ノミネーの資格条件は、国際ロータリー細則第15.070項を参照。

ご推薦のない場合は、指名委員会で決定された方がガバナー・ノミネーになります。

**文庫通信 (226号)**

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

**広報について**

- ◎「行動広報」 D.2650 2005 22p [申込先：ロータリー文庫]
- ◎「超私の奉仕(広報について)」 D.2630 2005 3p [申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「動き出した広報」 武部 宏 2005 2p [申込先：ロータリー文庫(コピー)]  
(D.2650月信)
- ◎「広報と宣伝・広告のちがい」 大久保昇 2005 3p [申込先：ロータリー文庫(コピー)]  
(D.2650月信)

**ロータリー文庫**

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝日



## クラブ会長と幹事の皆さまへ クラブ役員のための情報資料

クラブ・地区担当職員（日本事務局奉仕室職員）は、クラブを広く支援するために、情報、手段、コミュニケーション資源を提供し、R I 日本事務局との連絡担当者としての役割を務めます。ロータリーに関するご質問にお答えし、クラブ選挙、定款規定、クラブ運営、R I 理事会の方針といった内容について助言いたします。

クラブの管理・運営に役立つウェブ資料をご覧になったことがありますか。

- クラブ会長と幹事のための参考資料が、下記ウェブサイトに掲載されています。

[http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/club\\_pres\\_sec\\_resources\\_japdf](http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/club_pres_sec_resources_japdf)

- 「会員アクセスページ」を利用して、クラブの会員記録を変更したり、ロータリー財団の各種報告書を閲覧したり、クラブの人頭分担金をオンラインで支払い、次期クラブ役員を報告したりする方法をご存知ですか。 詳細な説明と役立つヒントは、下記のウェブサイトをご参照下さい。

<https://riweb.rotaryintl.org/ja/faq.asp>

- 視聴覚資料、クラブ用ソフトウェア、書式、用紙類を含めたクラブ管理運営のための重要な出版物はすべて、ウェブの<http://shop.rotary.org/>（英語）から探すことができます。
- 「クラブ会長のための月間照合表」は、クラブ会長とクラブ会長エレクトのために作成された資料であり、R I とロータリー財団プログラムの重要な期日を含め、クラブや地区の運営に関する重要事項が月ごとに記載された年間予定表です。下記のウェブサイトに掲載されています。

[http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/pres\\_checklist\\_ja.pdf](http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/pres_checklist_ja.pdf)

- クラブ・リーダーシップ・プランは、クラブを活性化する新たな素晴らしい方法です。これは、効果的なロータリー・クラブのベストプラクティス（最善の実践方法）に基づいています。クラブ・リーダーシップ・プランを説明した資料が、下記ウェブサイトに掲載されています。

<http://www.rotary.org/languages/japanese/support/clubplan.html>

R I 日本事務局職員は、今後皆さまのお手伝いをし、クラブの奉仕活動を支援させていただけることを楽しみにしております。R I 事務局から援助が必要な場合は、当奉仕室あるいは下記担当部署までお気軽にご連絡ください。

国際ロータリー日本事務局

奉仕室長 大木 光男

〒115-0045

東京都北区赤羽2-51-3、NS 3ビル1階

奉仕室：電話 03-3903-3161 経理室：電話 03-3903-3183

財団室：電話 03-3903-3192 資料室：電話 03-3903-3194

ファックス番号は各室共通：03-3903-3781

国際ロータリー 第2740地区  
2006～'07年度 地区大会のご案内

# 長崎でお会いしましょう



率先しよう

率先しよう

## 未来の地球のために

### — ストップ・ザ・温暖化 —

ホストクラブ：長崎RC      コ・ホストクラブ：長崎東RC, 福江中央RC

#### 11月18日(土)

8:00～(予定) 記念懇親ゴルフ大会：長崎国際ゴルフ倶楽部(諫早)

#### 12月1日(金)

15:00～ RI会長代理を囲む会：長崎グランドホテル

17:30～ RI会長代理歓迎夕食会：長崎グランドホテル

#### 12月2日(土)

9:30～ 四委員会：長崎ブリックホール

9:00～ 登 録：長崎ブリックホール

10:30～ 本 会 議：長崎ブリックホール

17:30～ 記念懇親会：ホテルニュー長崎

17:30～ 新世代の集い：ホテルニュー長崎

#### 12月3日(日)

午後予定 記念講演会(地域公開)：長崎ブリックホール

講師：北野 大 氏      淑徳大学教授・工学博士

演題：『地球環境問題』(仮題)

地球環境問題をやさしく、楽しくお話しいたします!



お問い合わせ先：

#### 地区大会事務局

〒850-0851 長崎市古川町8-29 (社)是真会内

電話 095-818-2707 Fax 095-818-2663

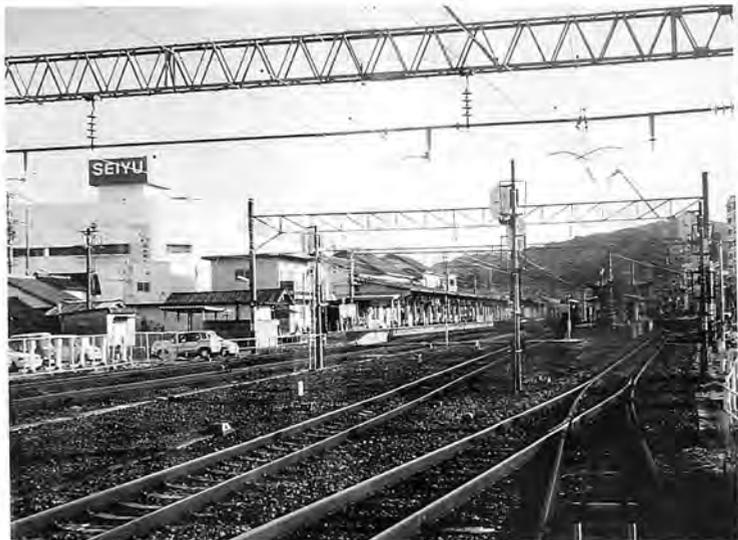
諫早駅

明治



諫早駅

現在



### 諫早駅(長崎県)

諫早駅は明治31年、鳥栖駅～長崎駅間(現在の大村線経由)の開通に併せて開業し、この年島原鉄道が開業。昭和9年に現在の長崎本線が開通しました。現在も、観光諫早はもとより、島原・雲仙・大村の玄関口として、交通の要衝を担っています。有明海の朝日に輝く雲仙をのぞむ長崎本線と、夕日のきれいな大村線の車窓は絶景です。ぜひ列車でお出かけ下さい。(写真は、明治30年開通時と現在の諫早駅構内の風景)

諫早駅長 貞松 雅春  
電話 0957(22)3458



## 国際ロータリー第2740地区

2006～2007年度ガバナー 田口 厚

### 事務所

〒850-0851 長崎市古川町8番29号(社団法人是真会内)  
TEL : 095-818-2660 FAX : 095-818-2663  
E-mail : ri2740 @juno.ocn.ne.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

## 2006-2007

国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信  
クラブ会長・幹事各位



2006-2007年度  
国際ロータリーのテーマ

### 率先しよう

2006~2007年度ガバナー  
田口 厚



とぎおほし  
戸岐大橋

昭和54年3月供用開始。全長213.5m  
西海国立公園戸岐瀬戸に架かっています。潮の香薫る  
風光明媚な所にあり、朱色の色あざやかな橋として地  
域住民に親しまれ、また日常生活上なくてはならない  
存在となっています。

(第9グループ ガバナー補佐 野田 直幸氏)

## CONTENTS

クラブ訪問記	1
識字向上へのご理解を	2
財団奨学・学友委員会研修会	3
クラブ奉仕研修セミナー	4
インターアクト年次大会	5
ガバナー公式訪問	7
ガバナー補佐リレー随想	12
地区大会のご案内	13
寄付者紹介	14
新入会員紹介	15
会員数・出席報告	17
文庫通信	18





## クラブ訪問記(Ⅰ)

「率先しよう・1人はみんなのために、  
みんなは1人のために」

国際ロータリー第2740地区

2006-'07年度ガバナー 田口 厚

ガバナーの仕事のもっとも重要なものが、地区内の各ロータリークラブを年度内出来るだけ早期にクラブの例会時に巡訪し、当年度のRI会長の活動テーマと奉仕のための強調事項の解説を加えて伝報し、かつRIの現況・地区の活動方針を直接全ロータリアンに伝え、R財団・米山奨学記念会に対する募金の目標の提示と協力依頼・地区のテーマの提示・地区年次大会の案内などをガバナー卓話として講演することである。

DLP実施以後はクラブ合同例会にしてクラブ訪問回数を減らしてガバナーの負担を軽減することも可能になったが、今年度2740地区では全クラブを訪問することにした。少々経費や体力を費やすことになるが、各クラブの特徴を把握し長所短所を指摘し今後のクラブ運営の資料になればと考えたためである。前以てクラブ協議会に出席してそのクラブ情報をグループのガバナー補佐の方に提供頂いての訪問である。

7月18日(火)恒例により鹿島立ちの故事に倣って国広鹿島クラブ会長の案内で祐徳稲荷神社に参詣し、吉田正和地区幹事・森義則地区ロータリーの友地区委員ともクラブ訪問の無事を祈願した。その際私事であるが、鹿島クラブの会員で鹿島藩主の後裔でもある鍋島朝倫宮司が姻戚になることが分かり、大いに面目を施した。幸先のよい訪問第1日目であった。その後30近いクラブを、主に佐賀県内の1・2・3グループを日帰りあり、宿泊あり、昼夕のダブルヘッダーありの日々である。常に夜のみの例会・月1回のみ夜の例会など、またガバナー訪問のため曜日や会場の変更をされたクラブもあり恐縮した。私に

とり初めての夜の例会では卓話が食事の前と後にと様々に予定されていたり、その際ノンアルコール・ビール1本ずつ・あるいはご随意に、とかいろいろなケースがあった。

クラブの現況と活動報告書についても年度初めの訪問クラブでは時間的な余裕がなく迷惑をお掛けしたが様式・サイズも様々で種々苦心のあとが窺えたが、なかには会員名簿がなかったり、職業分類が現状に合わないままのものもあった。会長との懇談の際申し上げたが次回より改善方お願いしたい。

8月9日長崎原爆祈念日はくしくも今年度唯一合同例会となった伊万里・伊万里西クラブ訪問であった。開会に先立ち全員で黙祷をされた。被爆者の一人として感謝の極みであった。そのうえ多久島会長の理念として表題の「率先しよう・1人はみんなのために、みんなは1人のために」と斉唱された。これもまた迫力あり感動した。今後とも引用させて頂きたくお願いいたします。

お盆休みまでにほぼ半数のクラブ訪問を終えたが、その間も地区の各委員会はセミナーや奨学生の選考など活発に活動されている。地区大会の準備も着々と進んでいるようだ。



## 識字向上へのご理解と ご支援のお願い

### R I 識字向上タスクホース

エリアコーディネーター 藤川 享胤  
ゾーンコーディネーター 中村 幸吉  
第2740地区ガバナー 田口 厚

R I は、非識字こそ貧困をはじめとする諸悪の根源であると考え、1997年のR I 理事会で7月（現在は3月）を識字率向上月間に指定しました。その後、識字問題は2005年までのR I 強調事項となり、ピチャイ・ラタクルR I 元会長、ジョナサン・マジエラ直前会長、そしてグレン・エステス会長も識字率向上のために世界120万のロータリアンに絶大なる支援を要請されました。今や識字率向上運動はポリオ・プラス計画の後を継ぐ、R I の重要なプログラムになっております。

現在の文明社会において、文字文化から隔絶されて生活するという事は社会から置き去りにされることを意味します。非識字者は正当な職に就けず、それに帰因する貧困は、更にその子供たちの就学の機会を奪い、途上国において非識字と貧困は悲惨な悪循環を生み出しています。

世界には約10億の非識字者がいます。私たちに想像できない数字であります。これは15歳以上の大人の4分の1に当たります。その4分の3はアジア人であるといわれ、また非識字者の3分の2は女性であります。

一方、世界で1億3千万の就学年齢児が学校に行けません。ユネスコや我々の努力にも拘らず、この数があまり減少していません。途上国の子供が年々増え続けているので、学校に行けない子供が増加する恐れもあります。また、折角入学した子供も3分の1は小学校を卒業していません。このままでは南北間の貧富の差は益々広がり、地球規模の社会不安は一層増大するでしょう。ニューヨークでの同時多発テロの原因も、結局は貧富の差に根ざしていると言われます。これは我々に強い危機感を与えます。

先進国ではメディア・イリテカシー（メディア音痴）という言葉さえ聞かれます。「メディア音痴」とはインターネットを始めとする情報技術に乗り遅れることを意味し、これ

ではメディアを使いこなす人に決定的な差をつけられることを覚悟しなければなりません。こうした情報化社会の時代に文字さえ知らないということは、何を意味するのでしょうか？このままでは世界人口の5分の1に過ぎない先進国の情報技術が益々進歩し、南北国家間の文明格差は増すばかりであります。このままでは、私たちは到底平穏な世界を次の世代に残すことはできないでしょう。

現在、世界の人口は60億に達しました。更に、年間約1億人、即ち毎年メキシコの人口に匹敵する人口増加を続けています。このまま人口が増え続けてゆくならば、この地球の将来は暗いでしょう。しかも、人口増加の99%は途上国です。我々は、折角、予防接種で救った子供たちを飢え死にさせてはなりません。また、彼らに生きがいを持たせる教育と職業を与えなければなりません。

人口増加抑制の最大のポイントは母親たちの教育です。途上国の少女が中等教育を受けるだけで出生率が低下し、先進国並みになることが知られています。従って、教育、特に女性教育こそ我々宇宙船地球号が生き延びてゆく上での最も効果的な手段である、と言えるでしょう。

これが、私たちの進めようとしている識字率向上運動の今日的意義であり、正に「情けは人の為ならず」であります。確かに、私たちは長引く不況の最中にいます。しかし、今直ぐに識字率向上運動を推進しなければ、手遅れになるでしょう。R I の識字委員会は各途上国の委員からの確実な情報に基づき、地区レベルあるいはクラブレベルでご協力いただく最も有意義な援助プロジェクトを決定し、いずれそのリストを提供させていただきます。諸般厳しい状況下にありますが、何卒、識字プロジェクトの重要性をご理解賜り、R I の識字率向上運動にご協力下さいませよう、お願い申し上げます。

合 掌



## 第1回

## 財団奨学・学友委員会研修会

国際ロータリー第2740地区

財団奨学・学友委員会 委員長 田中克憲

2006年7月23日(日)ホテルニュー長崎に於いて、田口厚ガバナー・吉田正和幹事・松尾英機財団委員長、今年度新設された地区財団奨学・学友担当四元幸彦委員の出席のもと11:00より12:00まで財団奨学・学友委員会を開催しました。委員会においては、田口厚ガバナー・吉田正和幹事他出席者紹介、田口厚ガバナー挨拶、国際親善奨学金候補者の経過報告、今年度の事業計画案、学友の紹介等が報告されました。今年度は、佐賀南RC笠慶宣君、佐世保北RC永田武義君、長崎出島RC澤山俊雄君、私長崎西RC田中克憲の4名で地区財団奨学・学友委員会を担当いたします。1年間宜しく願いいたします。

13:00より17:00まで国際親善奨学金候補者の研修会を開催しました。



研修会出席者

研修会に於いては、奨学金候補者計5名「アメリカ：1名(山本初美)、オランダ：1名(石司真由美)、フランス：1名(村田真理子)、イギリス：2名(池田祥規・下村安代)」と、各人の顧問ロータリアン(佐賀RC立石泰英君、長崎RC本田時夫君、長崎西RC四元永生君、佐賀西RC原田一洋君、諫早北RC横尾真一君)が紹介されました。

今回の研修会で特色があったのが、2006～07年度アメリカのノースカロライナー大学で知的障害児教育(自閉症)を学ぶため留学する山崎風美君、2005～06年度イギリスのエセックス大学で学校教育学を学んで7月2日に帰国した林裕子君、2002～03年度オーストラリアのニューイングランド大学で経済開発学を学んで帰国し、現在は佐賀大学大学院で開発経済学を勉強している鹿毛理恵君に出席して頂き、素晴らしい研修会が実現したことです。

研修会では、財団奨学・学友委員会の今年度方針の挨拶、田口厚ガバナー・松尾英機財団委員長の挨拶、ロータリーとは、ロータリー財団とは、顧問ロータリアンの責務、奨学生の責務、ロータリー用語集の説明があり、最後に上記3人の学友による、アドバイスやディスカッションが時間が過ぎるのを忘れるくらい、楽しく、また、有意義な時間が過ぎました。

内容としましては、12月コーディネーターが決定し、留学までの期間の過ごし方、留学国の言語をマスターすること、アジア系の留学生は各国で狙われやすいので団体行動を忘れないように、また、それらに対する注意点など数多くのアドバイス・ディスカッションでした。

最後に、吉田正和幹事から研修会講評をいただき、大変有意義な研修会であったこと、また、今後国際親善奨学生となって留学地で国際親善大使として活躍し、そして、帰国して地域社会で貢献することを祈って報告とさせていただきます。



## クラブ奉仕研修セミナーのご報告

国際ロータリー第2740地区

クラブ奉仕統括委員会 委員長 江口 泰介

2006～07年度がスタートして間もない7月8日、武雄市武雄センチュリーホテルにおいて「クラブ奉仕研修セミナー」が開催されました。この日は台風の接近が懸念されましたが、幸い大した影響もなく良い天候に恵まれ、田口ガバナー、野口ガバナーエレクトご臨席のもと、ガバナー補佐、関係地区委員、地区事務所スタッフ、各クラブ会長はじめ関係理事・委員長の方々総勢209名のご出席を得ました。

セミナーは午後1時から始まりましたが、当日は並行して「米山記念奨学研修セミナー」も開催されましたので、先ず、両セミナーの合同会議が行われ、開会、点鐘、ソング斉唱、出席地区役員の紹介につづいて田口ガバナーからご挨拶がありました。そのあと、「ロータリーの友」地区委員の森 義則さんが、今期「友」の編集方針や現況などについて報告されました。

午後1時50分から「会員増強目標をいかにして達成するか」をテーマとして、90分間の分科会にはいりました。分科会は、地区に10あるグループを2グループずつ5つに分けて行いました。各分科会には、それぞれのグループを担当されるガバナー補佐にも助言者としてご参加をいただきました。また各分科会のリーダーや記録・報告者は、地区クラブ奉仕部門の4つの委員会のメンバーが務めました。その分担は次のとおりです。

分科会では、まず、前期末現在の会員数が各クラブから報告され、そののち事前に各クラブにお示ししていた会員増強に関する検討課題を中心に討議がすすめられました。その主な内容は、①会員増強のため各クラブが取り組んでいる施策②新会員勧誘に当たっての問題点と対策③女性会員勧誘について④退会防止の具体策—などです。会員増強に対しては各クラブにいろいろな考え方があり、必ずしも一致した意思を示し得るものではありませんが、各クラブからは活発な意見が述べられ、どの分科会においても熱心な議論が交わされました。

分科会終了後、午後3時30分より分科会における討議の要約が各報告者より発表され、4時10分、閉会となりました。地区内の全クラブから多くの参加を得て、終始活発な意見交換が行われ、“すべてのクラブから洩れなく発言を”という分科会の所期の目的を果たすことができ、ほんとうに有意義なセミナーでした。本セミナーの運営に終始熱意を以って当られた、クラブ奉仕部門各委員会の委員の皆さま方、ならびに地区事務所スタッフと一緒に深く感謝を申し上げます。

分科会	クラブ出席者	リーダー	ガバナー補佐	記録・報告者
第1分科会	第1・第2グループ	西村出席委員長	宮崎補佐・土井補佐	国崎会員増強委員会委員
第2分科会	第3・第4グループ	中尾情報広報委員長	蒲原補佐・立華補佐	時津女性委員会委員
第3分科会	第5・第6グループ	江口会員増強委員長	太田補佐・芥川補佐	山本情報広報委員会委員
第4分科会	第7・第8グループ	緒方女性委員会委員 今村出席委員会委員	太田補佐・宮崎補佐	音成情報広報委員会委員
第5分科会	第9・第10グループ	中村地区副幹事	野田補佐・島崎補佐	相良会員増強委員会委員



## インターアクト年次大会

国際ロータリー第2740地区

インターアクト委員会 委員長 天本 俊太

7月30日(日曜日)第2740地区インターアクトクラブ年次大会が開催され、朝より気温30度を超える中、ボランティア活動として、午前中清掃と募金活動が行われました。

清掃活動は、長崎でも高齢者が多く住み、坂や階段が多く清掃が行き届かない籠町地区。観光の中心と言える、オランダ坂を中心とした東山手地区。観光客が多く往来し、空き缶や、煙草のポイ捨てが目立つ、孔子廟付近の大浦地区の3班に分かれ、約100人の高校生が汗を流しました。



募金活動は長崎の海の玄関、大波止にあるショッピングセンター夢彩都前、交通の中心である中央橋(鉄橋上)、人の往来が最も多い大丸交差点前の3班に分かれ、約60人が募金の呼びかけを行いました。

清掃活動は後日、地元自治会の方々から大変感謝され、募金活動で集まった約10万5千円は、日本赤十字社を通し、長野、南九州の豪雨災害の義援金として寄付致しました。この事は、長崎のNHKのニュースともなり、大変意義のあるボランティア活動であったと考えております。



昼からは、稲佐山観光ホテルにて、セレモニー、懇親会、分科会、総括が行われました。



先ず田口ガバナーよりインターアクトクラブの意義について話を伺い、懇親会は立食で行いました。活水中・高等学校の生徒さんの上手い司会により、大変盛り上がり、特に各校の自己紹介の中において 唐津西高校から再来年の主管校の挨拶まで有り、毎年主管校探しに四苦八苦する地区委員会としてはとても喜ばしい事となりました。

分科会は、クラブ奉仕・社会奉仕・国際理解の3班に分かれ話し合いが行われ、クラブ奉仕は担当の長崎女子商業高校が中心となり、事前アンケートを利用し合同の活動を探る会議となり、多くの合同活動の同意が出来、今後のインターアクト活動の広がりを期待出来る結果となりました。社会奉仕は長崎女子高校が中心となり、地球温暖化に対して今自分たちが出来る事を話し合い、これも今後の活動の指標となる物となっております。国際理解は海星学園高校が中心となり、南北問題、富の不公平に付いてトウモロコシを使い解りやすい分科会となり、高校生に考えさせる事が多かったと考えております。

野口ガバナーエレクトの総括後、来年の主管校に決定している、活水中・高等学校より来年の主管校の挨拶と参加者全員が聞き惚れてしま



う、心洗われるような歌の披露が有り、年次大会を無事、成功裏に終了する事が出来ました。

最後になりますが、限られた時間で年次大会の企画をして頂き、当日一生懸命頑張っ

頂いた、海星学園高校、長崎女子商業高校、活水中・高等学校、長崎女子高校の先生、生徒さんに心より感謝申し上げ、年次大会の報告とさせていただきます。

## 活水高校 鉄川 愛

私達活水高校は、総合司会をしました。まず点鐘から始まり、ガバナーの方々のあいさつがありました。初めての総合司会ということもあり、とても緊張しました。懇親会に移り各校のあいさつになるとだいぶ、和んできたように思いました。各校、思いのほかよく話してくださり、実は時間がかなり押すことになってしま

いました。表情はにこやかに務めましたが、心はハラハラでした。皆でやろうと思っていたゲームができなかったのは残念でしたが、いろんな話を聞くことができ、かえって良かったと思いました。この様な機会を与えて下さり感謝いたします。来年はホスト校なので、この経験を後輩に伝え、そして成功させてもらいたいと思います。

## 社会奉仕部会について

長崎女子高校 IAC 会長

吉田新菜 (3年)

私は今回、社会奉仕部会の司会をさせていただきます。初めての大会ということで非常に緊張してしまいました。

社会奉仕部会の目的は、「地球温暖化対策として、2740地区のインターアクトクラブが共同で何かできる活動がないか」ということを検討することです。そこで、事前に各校にアンケートを出し、その回答を基にしてできることを模索していこうとしました。

最初、各校の意見を詳細に聞きながら進行しましたが、いただいた時間は60分。数校に聞いたところで時間の半分が過ぎようとしていました。それを見かねた顧問の柴田先生から「会議の流れを変えなさい」と指示され、少しパニックになってしまいました。

しどろもどろになった場面もありましたが、参加者のみなさんが前向きな意見をどんどん出してくださったので、とても助けられました。

結局、温暖化防止の呼びかけとリサイクル活動を各校で取り組むことに会議は落ち着きましたが、自分としてはもう少し具体的などころまで決めたかったです。

ただ、長崎女子商業の「割り箸の回収」や、聖和女子学院の「生ゴミの肥料化」への取り組みはとても参考になりました。これから本校でもできることならば取り組んでいきたいと思っています。

今回、大舞台での司会をすることで、会議の運営の難しさを学ぶことができました。失敗も多かったですが、みなさんに助けられたことを糧として、これからは活かしたいと思っています。このような大役をさせていただいて、本当にありがとうございました。

# ガバナー公式訪問

## 鹿島RC

会長 国 広 武 治

鹿島ロータリークラブも、昭和40年9月の創立以来41年目を迎え、会員は40名と減少しているものの楽しいクラブ造りに努力しています。

ガバナーの公式訪問時には、我がクラブの鍋島朝倫君が宮司である祐徳稲荷神社へ早朝より参拝し、田口厚ガバナーのスタートと一年間の無事を祈願していただきました。



鹿島クラブでは、親睦委員会が積極的で、会員のご夫人方も多数参加いただき家族旅行や家族新年会に加え観月会、寿の会、ローターアク

トとの合同例会等夜の宴会も楽しみです。

親睦と奉仕を全会員が常に心得ているところです。今年度は、会員増強により純増1名以上を達成します。職業奉仕では、高校生の模擬面接等、青少年育成に向けても活動しています。

会員の減少で財務上の問題はありますがこれからの活動には、効果のある奉仕活動が望まれます。

全会員が「四つのテスト」を暗唱し、これを実行していく事で明るく和をもったクラブを目指したいと思います。



## 小城ロータリークラブ

会長 北 島 雅 義

7月19日に、田口厚ガバナー、宮崎恒ガバナー補佐、吉田正和地区幹事をお迎えし、公式訪問が実施されました。

会長・幹事・会長エレクトとの懇談会においては、クラブ運営について適切な御指導又、例会でもRI会長メッセージ・地区組織等詳細に説明して頂き深く感謝いたします。当クラブは、1965年設立し、現在31名の会員で



あり、会員増強・退会防止には苦慮しております。今年度も夜の例会をとり入れながら、又は、

近隣クラブとの合同例会を開催し親睦を深めて参りたいと思います。

(主な活動計画)

- \*社会奉仕活動：環境保全（観光地清掃・緑化推進）、人間尊重（高齢者・新入学児童母子家庭への慰問激励）
- \*新世代奉仕：小中学生の野球大会、中学生のサッカー大会、高等学校生徒へ奨学金の支給

現代社会情勢は余りにも変化が多すぎる中で安らぎをもたらしてくれるのは奉仕の心だと思います。

私どもロータリアンは、ロータリーの基本理念を再認識し身近に履行できるような課題に取り組んで参りたいと思います。



## 多久RC

会長 川口嘉教

多久ロータリークラブは、佐賀県のほぼ中央に位置し、今年で創立22年目を迎える会員43名のクラブで、内4名の女性会員がいる和やかなクラブです。

この度のガバナー公式訪問は、梅雨の最中7月20日(木)の例会に田口ガバナー、吉田地区幹事、宮崎ガバナー補佐をお迎えして、懇談会及び公式訪問が終始和やかなムードの中で進行されました。



懇談会では、郷土多久の歴史、特に「多久聖廟」の成り立ちについてのご質問が有り、又、会員増強について熱心にお話しされました。

例会では、田口ガバナーはR Iのテーマ「率先しよう！」を御自身の医療の原点である「率先垂範」と解釈出来るとお話しされ、会員個々の日常の行動をうながされました。

又、地区テーマ「地球温暖化防止」についてもスライドを交えて熱心に卓話され、点鐘時間を過ぎてしまったほどでした。

当クラブでも、クールビズ、割りばしの回収等身の回りの出来る事から始めたいと思います。

田口ガバナー、御指導有り難うございました。地区大会等でお会い出来る事を楽しみにしています。



## 嬉野ロータリークラブ

会長 原田恒俊

私共、嬉野ロータリークラブは再来年には40周年を迎えようとする、嬉野市をテリトリーとしたクラブです。会員数23名とご多分にもれず会員減少に悩んでいるところです。

去る7月21日、田口ガバナー、吉田地区幹事、蒲原ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問例会を行いました。田口ガバナーより会員増強について貴重なご指導を賜り、誠にありがとうございました。目標40名を目指し全員で取り組み、努めてまいります。また、ガバナー卓話では本年度のテーマ「LEAD THE WAY」をご自身の体験談を交えながら熱く語られ会員一同も、心を熱く致しております。本年度の当クラブの会長方針は、各委員会の活性化を図ることと致しております。「LEAD THE WAY」を合言葉に活動すれば、必ずや奉仕、親睦を始め全てがうまく運び、そのことが自信、誇りとなり、ロータリー人生がより充実すると信じております。



## ガバナー公式訪問

### 唐津中央ロータリークラブ

会長 水田 彰 男

唐津中央ロータリークラブは、13年前に創立会員48名でスタートしましたが、本年度は40名でスタートです。

会員の平均年齢は56歳で、女性会員が4名在籍していますので、和やかに例会を開催しています。

去る7月21日(金)に、田口ガバナーをお迎えしての「ガバナー公式訪問例会」が開催されました。当日は夜の例会でしたので、5



時30分からの事前協議では、ロータリーのクラブ運営についてのお話をいただきました。それから例会では、講話につづいてパワーポイントを使っての水保全、識字率向上など、今年度の国際ロータリーの強調事項を紹介されました。また、今年度の地区の最大のテーマに「地球温暖化の防止」を掲げ、『日本から発信した運動が世界に広がる事を望みます』と協力と奮起を求められました。

今年度は、当クラブよりガバナー補佐として立華浩君が選任されました。良き指導を仰ぎながら、楽しい中にも規律あるクラブ運営を行いたいと思います。



### 武雄ロータリークラブ

会長 馬場 博

武雄ロータリークラブ(会員56名)では、去る7月24日、田口厚ガバナー、蒲原ガバナー補佐、吉田地区幹事をお迎えして、公式訪問例会を開催いたしました。例会前の、会長・幹事・会長エレクトとの懇談会では、クラブ運営に関するご指導や意見交換など和やかな雰囲気の中、有意義な時間となりました。例会では、田口ガバナーよりパワーポイントを使い国際ロータリーや地区の方針、クラブへの要望など大変わかりやすく説明をしていただきました。本年は、市町村合併による「新武雄市」誕生の記念すべき年にあたります。当クラブも、例会に変化をもたせようと、

毎例会時くじ引きにより席を変えるようにし、また外来卓話を増やしたいと考えています。これにより、会員間のコミュニケーションの活性化をはかり、会員や地域社会にとって実りのあるクラブ運営を目指していきたいと思っています。



## 有田ロータリークラブ

会長 酒井田 正 宏

去る7月25日(火)田口厚ガバナー、蒲原ガバナー補佐、吉田地区幹事をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。

長雨後の大変暑い日の中にご来場頂きました。

当クラブは今期45周年を迎え会員数36名、内女性会員2名の和気合い合いの親睦を中心としたクラブです。又当日新会員2名が入会され、38名となり、ガバナーにバッチを付けて頂き幸先良いスタートと成りました。

今期会員数40名を目標として会員増強と



退会防止に努めたいと思っております。田口ガバナーより活動目標として四項目の方針を示し

ていただきましたが、特に地球温暖化対策を重要課題として取り組むべきである事をお示し頂きました。近年の異常気象現象の中、今年は長梅雨そして各地の集中豪雨被害、もはや一刻の猶予も無く真摯に考え正に率先すべきであると思います。

当クラブも先輩方の良き伝統を継承し、新しく課題と目標を掲げ、今期更なる飛躍を目指します。

尚、例会終了後、我がクラブの誇りである日本人初のロータリアン福島喜三次翁誕生地にガバナー一同暑い中お立ち寄り頂きありがとうございました。

会員一同お礼申し上げます。



## 佐賀北ロータリークラブ

会長 古 賀 久 志

当クラブは、今年で創立37年目を迎え現在会員も減少し41名で活動しております。公式訪問例会は、猛暑の中、田口ガバナー、吉田地区幹事、土井ガバナー補佐を迎え開催されました。

例会前の懇談会では、当クラブの今年度の活動方針、中でも環境保全や会員増強などご理解、指導頂きまして誠にありがとうございます。

例会では、田口ガバナーの「率先しよう」をテーマにスクリーンを使用され非常に判りやすくお話されました。またパナー交換では、チャーターメンバーによる由来の説明には興

味を持たれたようです。

ガバナーを囲んでの会食は、夜の例会の為お酒も入り30分延長するほどクラブ会員も楽しく歓談でき親睦を深めることができました。

「LEAD THE WAY」をテーマに各自「親睦と奉仕」を基本に活動したいと思っておりますので、ご指導をよろしくお願い致します。



## ガバナー公式訪問

### 佐賀大和ロータリークラブ

会長 寺崎 正三郎

7月25日に田口ガバナー、吉田地区幹事、宮崎ガバナー補佐をお迎えして公式訪問・例会を開催いたしました。

例会前の懇談会では、くつろいだ雰囲気の中にも当クラブに対して“個性のあるクラブ作りに励んで下さい”と力強いお言葉を頂き、参加者は気が引きしめる思いがいたしました。

例会では、田口ガバナーよりR Iや地区の



ロータリーの現状について、また、地球温暖化防止に対する取り組み等を解り

やすく聞くことができました。

当クラブが前年度より目標に掲げている会員増強に対しても、地区での最大の目標であるということで、会員一同積極的に取り組もうという姿勢が見えてきました。

懇談会においては、田口ガバナーと吉田地区幹事の温かい人柄にふれ、楽しく過ごす事ができました。

今回の公式訪問を機会に、会員相互の親睦を深めR Iのテーマである「率先しよう」を実現していきたいと思っております。



### 佐世保東ロータリークラブ

会長 加島 栄 紀

我がクラブ、佐世保東ロータリークラブは本年度40周年の節目を迎えます。現在会員数32名ですが、40年の歴史の中で会員数64名の年度もありました。最高年長者81歳、最年少者34歳と年齢層が厚く、ぎっしりと中身が詰まった活気あるクラブです。若年ロータリアンは年長ロータリアンに良き教えやアドバイス等をいただきながら週一回の例会を和やかな雰囲気の中で有意義な時を過ごしております。やはり恵まれた環境の中での例会は楽しいものです。

長い梅雨も明けた夏空の7月27日、田口ガバナー、芥川ガバナー補佐、吉田地区幹事をお迎えしての公式訪問例会を開催いたしました。当クラブの特色ある活動を懇談会、例会を通じて十分にご理解いただけたと存じます。

田口ガバナーよりパソコン(スライド)を使用しての講話をいただきました。ガバナーの意向を地区幹事が集録された「国際協議会で学んだこと」から始まり「地区現況」「ガバナー要望事項」等等、クラブとして多いに学ぶ課題があることを発見いたしました。講話

の中、田口ガバナーと吉田地区幹事との遣り取りで会場の雰囲気がとても盛り上がり、和やかにしていただきました。ありがとうございました。吉田地区幹事お疲れ様でございました。

厳しい社会状況ですが、継続事業の活動、新会員との出会い、身を挺した奉仕活動等、会員一同は職業奉仕に徹し、協力し合いながら50周年へ向けての奉仕活動に励みたいと願っております。

始まったばかりの公式訪問でございます。田口ガバナー始め、ご同行されます皆様方、厳しい暑さが続きますがご自愛専一にお過ごし下さるよう祈念申し上げます。





ガバナー補佐 リレー随想

## 急造ガバナー補佐、 第2グループ公式訪問終了ス

第二グループガバナー補佐 土井 洸 (佐賀西RC)

8月1日、神埼RCへの公式訪問を以て、第2グループに対する田口ガバナーの公式訪問は全て終了した。第2グループガバナー補佐としての務めも、すでに1年分消化したと言う思いだ。

「代打の代打」曾つての名将、三原監督の得意ワザを思い出すような、私にとっては降って湧いたガバナー補佐役である。

佐賀西RCの緊急な事情によって、久保会長の懇請を受ける事を決意したのが6月27日。6月28日には、田口厚ガバナーよりガバナー補佐の委嘱状を渡された。

ガバナー補佐として考える間も無く、7月11日の佐賀南クラブのクラブ協議会に臨み、7月25日神埼RCまで、第2グループ、5クラブのガバナー公式訪問のための地均しをしながら、一方では、7月18日に始った、田口ガバナー公式訪問に随行する。8月1日の神埼RC公式訪問までの約20日間と言う、実に短期間に濃縮された補佐役の務めであった。何の準備もないから、余計な事は考えない。オットリ刀で行き当りバツタリ、堀部安兵衛の如しである。訪問先での第一声は、補佐役としての勉強は全くしていないから、“余計な質問はしてくれるな！”である。只々、自身の25年間のロータリアンとしての経験、プラスJC時代に培った経験が全てであった。ガバナー事務所も心配された事と推測しているが、地区幹事の吉田さんが、JC経験者であった事が幸いしたと思う。

また、第2グループの各クラブにも、必ずJCのOBが居られるから、温く迎えていただいた事に感謝している。唐津RCの松尾雄次郎さんからは、“土井チャン得意のヒラキナオリでやれば、なんとかなるよ!!”と変な励ましをいただいた事も心強かった。なんとか成ったのか、成らなかったのかは、皆さんが判断される事である。

1998～1999年の、佐賀西RCの会長を務め終えて以降、クラブ運営については、決して口出しはしないと決めていた。

しかし、ガバナー補佐役を受けてから、補佐の立場で各クラブを訪問するとなると、改めて、ロータリアンとしての意識が生じた事に、確かな実感がある。突っ走った短い20日間は、自身にとっては、良い経験と成ったし、RCを見る目、考える内容も変わったと思う。補佐の事務方を完璧に捌いていただいた前田博憲さん、同行いただいた富吉敏充さん、久保志郎会長に、心から感謝致します。

# LEAD THE WAY



## 国際ロータリー第2740地区

### 2006～2007年度

# 地区大会のご案内

## 記念懇親ゴルフ大会

期日 11月18日(土)

場所 長崎国際ゴルフ倶楽部

■ 8:00 スタート

## RI会長代理を囲む会

期日 12月1日(金)

場所 長崎グランドホテル

■ 15:00～17:00 会長幹事会

■ 17:30～18:30 懇親会

## 記念講演会(市民公開)

期日 12月3日(日)

場所 長崎ブリックホール

■ 午後

◎地球規模の環境問題を考える

### プロフィール

経済産業省化学物質審議会委員

環境省中央環境審議会委員

東京都出身

ビートたけし氏の実兄



北野 大氏  
(淑徳大学教授・工学博士)

## 地区大会本会議

期日 12月2日(土)

場所 長崎ブリックホール

■ 9:00

・登録開始

■ 10:30～16:45

・本会議

(昼食を含む)

・パネルディスカッション

◎地球環境問題“温暖化防止”  
にどう取り組むか



コーディネーター  
早瀬 隆司氏  
(長崎大学環境科学部 教授)

## 記念懇親会・ 新世代の集い

期日 12月2日(土)

場所 ホテルニュー長崎

■ 17:30～18:30

# IN NAGASAKI



# ◆◆◆寄付者紹介◆◆◆

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F	南 茂	有田RC
	久保 康俊	武雄RC
	亀田 廣望	島原RC
	小林 靖明	諫早RC
	須藤 英明	長崎琴海RC
	芥 寛	長崎北RC
マルチプル・P・H・F	古賀 久志	佐賀北RC
	西田 信行	佐賀北RC
	中島 祥一	佐世保RC
	長島 正	佐世保RC
	南野 健	大村北RC
	宮崎 清彰	諫早北RC
	内田 信康	長崎東RC
	岡田 康信	長崎中央RC
ベネファクター	蒲原 孝之	鹿島RC
	松本 慶蔵	長崎RC
	今村 音松	福江中央RC
メモリアル・コントリビューター	山本 浩平	松浦RC
年次寄付	弟様を偲んで	
米山功労者	芥 寛	長崎北RC
	岡部 景光	有田RC
	蒲原 孝之	鹿島RC
	中島 祥一	佐世保RC
	川富 正弘	佐世保RC
	小川 信	佐世保南RC
	加島 栄紀	佐世保東RC
	福留 武親	佐世保東RC
	高木 正隆	諫早南RC
	助村 房子	諫早南RC
	田中 忠昭	福江中央RC
米山功労者 (マルチプル)	須藤 英明	長崎琴海RC
	松尾雄次郎	唐津RC
	岡崎 敏幸	佐世保南RC
	鶴田 司	佐世保南RC
	前田 一彦	佐世保南RC
米山功労者 (メジャードナー)	内田 信康	長崎東RC
	田中純智男	佐世保東RC
	宮崎 清彰	諫早北RC

# LEAD THE WAY

## 新入会員紹介

ロータリーの新しい仲間になりました方々をご紹介します。



佐賀RC  
福田 耕一君



小城RC  
三村 優治君



多久RC  
宇田 晴久君



多久RC  
岸川武資君



多久RC  
樋口 義隆君



佐賀大和RC  
原岡 孝忠君



佐賀西RC  
平山 耕三君



佐賀南RC  
磯崎洋一郎君



有田RC  
鶴田 敬郎君



有田RC  
深川 祐次君



鹿島RC  
喜多 辰雄君



大町RC  
田村 浩二君



伊万里RC  
花島 義博君



唐津中央RC  
川田 洋一君



平戸RC  
浦田 利男君



佐世保西RC  
吉武 直亮君



佐世保西RC  
副島 洋平君



松浦RC  
伊崎 数博君



松浦RC  
大森 元紀君



佐世保東RC  
木庭 健也君

# LEAD THE WAY



佐世保北RC  
鍋田 春信君



佐世保中央RC  
大久保厚司君



HTB佐世保RC  
久保 雅人君



HTB佐世保RC  
堀口 直人君



島原RC  
針尾 忠男君



諫早RC  
下釜 貞志君



諫早RC  
南條 正樹君



諫早RC  
白石 基雄君



諫早RC  
宮崎 宏君



諫早南RC  
荒木 和美君



長崎RC  
田中 龍治君



長崎RC  
鯨岡 弁司君



長崎西RC  
山口 圭一君



長崎北RC  
木庭 正道君



長崎北RC  
江口 英雄君



長崎北RC  
西村 長吉君



長崎東RC  
建木 伸一君



長崎東RC  
川上 信幸君



長崎出島RC  
淵上 伸雄君

神崎RC  
野田 和彦君

福江RC  
才津 光寛君

## LEAD THE WAY

## 2006年7月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				新入	退会	
				6月末	うち女性	当月末	うち女性			増減
第1グループ	佐賀	4	77.6	69	0	69	0	0	1	1
	小城	4	90.3	32	1	31	1	-1	1	2
	牛津	4	88.3	32	0	32	0	0	0	0
	多久	4	84.4	43	5	43	4	0	3	3
	佐賀大和	4	84.4	25	3	25	3	0	1	1
	小計		85.0	201	9	200	8	-1	6	7
第2グループ	佐賀西	4	78.0	54	0	55	0	1	1	0
	佐賀北	4	84.0	41	3	40	3	-1	0	1
	佐賀南	4	83.6	38	0	39	0	1	1	0
	神埼	4	83.2	28	0	29	0	1	1	0
	佐賀空港	4	73.4	16	0	16	0	0	0	0
小計		80.4	177	3	179	3	2	3	1	
第3グループ	有田	4	81.3	36	2	38	2	2	2	0
	武雄	4	84.4	56	0	56	0	0	0	0
	鹿島	4	87.5	39	1	40	1	1	1	0
	嬉野	4	84.8	23	0	23	1	0	0	0
	大町	4	79.0	22	0	22	0	0	1	1
	白石	4	75.0	17	0	17	0	0	0	0
	太良	4	94.5	9	1	9	1	0	0	0
小計		83.8	202	4	205	5	3	4	1	
第4グループ	唐津	4	91.9	52	0	52	0	0	0	0
	伊万里	4	98.0	36	0	37	0	1	1	0
	唐津東	4	97.6	52	0	52	0	0	0	0
	唐津西	4	89.3	40	0	39	0	-1	0	1
	伊万里西	4	85.6	49	0	49	0	0	0	0
	唐津中央	4	90.0	39	4	40	4	1	1	0
	小計		92.1	268	4	269	4	1	2	1
第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	80	0	0	0	0
	平戸	4	81.0	41	0	41	0	0	1	1
	佐世保西	4	94.1	27	0	29	0	2	2	0
	北松浦	3	89.5	25	0	25	0	0	0	0
	松浦	4	87.5	32	1	34	1	2	2	0
	小計		90.4	205	1	209	1	4	5	1
グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				新入	退会	
				6月末	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	4	100.0	77	0	77	0	0	0	0
	佐世保東	4	88.5	31	0	32	0	1	1	0
	佐世保北	4	97.8	46	0	47	0	1	1	0
	佐世保中央	4	100.0	40	0	41	0	1	1	0
	佐世保東南	4	73.9	23	0	23	0	0	0	0
	HTB佐世保	4	77.0	24	3	26	3	2	2	0
小計		89.5	241	3	246	3	5	5	0	
第7グループ	大村	4	100.0	47	2	46	2	-1	0	1
	島原	4	83.2	33	3	33	3	0	1	1
	雲仙	5	93.8	31	0	31	0	0	0	0
	大村北	4	100.0	32	0	31	0	-1	0	1
	島原南	4	75.0	22	2	21	2	-1	0	1
	大村東	4	85.5	45	1	45	1	0	0	0
小計		89.6	210	8	207	8	-3	1	4	
第8グループ	諫早	4	93.6	60	0	63	0	3	4	1
	諫早北	4	85.7	66	0	66	0	0	0	0
	諫早西	4	98.2	43	0	43	0	0	0	0
	諫早多良見	4	89.6	37	0	37	0	0	0	0
	諫早南	4	79.7	31	4	32	4	1	1	0
	小計		89.3	237	4	241	4	4	5	1
第9グループ	長崎	4	82.6	93	0	95	0	2	2	0
	福江	4	90.8	40	0	41	0	1	1	0
	長崎北東	4	95.3	53	4	53	4	0	0	0
	福江中央	4	89.2	36	1	37	1	1	1	0
	長崎西	4	74.0	66	0	67	0	1	1	0
	長崎琴海	4	76.9	23	3	23	3	0	0	0
	小計		84.8	311	8	316	8	5	5	0
第10グループ	長崎北	4	84.7	70	0	72	0	2	3	1
	長崎南	4	82.9	81	0	81	0	0	0	0
	長崎東	4	98.5	66	0	68	0	2	2	0
	東長崎	4	75.7	35	0	35	0	0	0	0
	長崎中央	4	97.0	59	0	59	0	0	0	0
	長崎出島	4	78.2	58	15	58	14	0	1	1
	小計		86.2	369	15	373	14	4	6	2
合計		87.1	2,421	59	2,445	58	24	42	18	

# 文庫通信 (227号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1 万 9 千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 「出会い・友情・奉仕」

- ◎「第 2 世紀へのクラブ活性化の条件」 南園義一 2006 3p (D.2650 月信)
- ◎「ロータリーにおけるサービスの理念と職業活動の意義について」  
菅生浩三 2006 9p (D.2690 地区大会)
- ◎「クラブ運営について」 高士雅次 他 2005 5p  
(D.2660 地区大会パネルディスカッション)
- ◎「奉仕の新世紀を迎えて」 塚原房樹 他 2006 12p  
(D.2510 地区大会シンポジウム)
- ◎「クラブの奉仕活動について」 岡本貴夫 2006 6p  
(D.2690 地区大会)
- ◎「ロータリーの夢を叶えるロータリー財団」 片岡咲子 2006 7p  
(D.2510 地区大会)
- ◎「還ろう 米山梅吉の原点に」 内藤成雄 他 2006 4p  
(米山梅吉記念館館報 シンポジウム)
- ◎「CLP って何だ？」 三木 靖 2006 3p (D.2730 月信)
- ◎「四大奉仕を尊重した CLP に基づいたクラブ細則例」 田中 毅 2006 5p  
(D.2680 月信)
- ◎「ロータリアンのマインド調査とその課題」 小船井修一 2006 5p  
(D.2500 月信)
- ◎「変わり行くロータリー」 佐藤邦夫 他 2006 12p  
(D.2830 IM シンポジウム)
- ◎「霧多布のエゾヤマザクラ 道下俊一」 2006 7p (D.2500 月信)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝日

大村駅

大正



大村駅

現在



大村駅(長崎県)

大村駅は、明治31年1月20日に九州鉄道長崎線の駅として開業しました。朝夕、たくさんの通勤・通学のお客さまにご利用いただいております。現在の駅舎は、大正7年に改築した当時の姿をとどめ、高い天井と凝った装飾が特徴のネオ・ルネサンス様式で、レトロな雰囲気でお客さまをお迎えしていますので是非、一度お越し下さい。(写真：大正7年改築時と現在)

大村駅駅長 杉原 薫  
電話 0957(52)3600



国際ロータリー第2740地区

2006～2007年度ガバナー 田口 厚

事務所

〒850-0851 長崎市古川町8番29号(社団法人是真会内)

TEL : 095-818-2660 FAX : 095-818-2663

E-mail : ri2740 @juno.ocn.ne.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

## 2006-2007

国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信  
クラブ会長・幹事各位



2006-2007年度  
国際ロータリーのテーマ

### 率先しよう

2006～2007年度ガバナー  
田口 厚



## CONTENTS

クラブ訪問記 .....	1
ガバナー補佐 リレー随想 .....	2
ガバナーエレクト事務所開設、クラブ活動 .....	3
ガバナー公式訪問 .....	4
寄付者紹介 .....	12
新会員紹介 .....	13
会員数・出席報告 .....	14
地区大会のご案内 .....	15
文庫通信 .....	16

**女神大橋** 長崎港をまたぎ長崎西部と南部をつなぐ大橋。長崎都市圏の交通体系を大きく変化させ、観光や産業の発展につながると期待される。

全長 1289m斜張橋 開通 平成17年12月  
(第10グループ ガバナー補佐 島崎 静夫氏)





## クラブ訪問記(Ⅱ)

## 「ロータリーソングは向かい合って」

国際ロータリー第2740地区

2006-'07年度ガバナー 田 口 厚

ガバナー公式訪問は峠を越え、本号が発行される頃は、多分全クラブ訪問を終え、大きなトラブルもなく消化できたことに感謝すると共に一安堵していることであろう。

公式訪問中の唯一のピンチは、五島市内のクラブ訪問の際の第10号台風襲来であった。長時間九州中部に停滞し8月18日の訪問予定が怪しくなったとき、野田ガバナー補佐から「一日早く来れば大丈夫」との好判断が示され、その言に従い事なきを得た。2日間五島市内で吉田幹事と共に足止めをくったが、お陰で生前父が奨めていた念願の荒川温泉浴と新鮮な魚を満喫することが出来た。豆谷幹事には、いろいろとご配慮頂いた。また、8月31日の長崎琴海クラブ訪問の際は集中豪雨に遭遇したが、これも高速道路が通行止めになる寸前に通過、無事帰着できた。

8月26・27日多良岳で開催された国際青少年交換学生のセミナーの最中、その実行責任者である瀬戸口国際青少年交換委員長(長崎南RC)の父君が逝去された。委員長は後顧の憂いなきよう十分な配慮をされた後、帰宅された。全く頭の下がる行為であった。

9月1日、現職の東島GSE委員長(佐世保北RC)が急逝された。同月10日には、地区国際奉部門仕セミナーで講演をして戴く予定であったのだが、痛恨の極みである。

現在までの公式訪問での体験を小括してみよう。

年度初めにお願いしたクールビズ・ノーネクタイでの公式訪問は、全クラブでその趣旨を理解して戴き、例会場の室温もそれ相応に

設定されたようだ。

ロータリーソング斉唱について：国歌斉唱時は国旗に向かうのが当然だが、ロータリーソングは、会員がお互い向い合って歌う方が親睦の実が上がると思う。

クラブ現況・活動報告書について：サイズは殆どA4版であった。2クラブがB5版のままであったが、従来の慣例に従っただけということなので、改善をお願いした。また、長崎北東クラブはA5版のハンディタイプであった。その理由を尋ねると、活動報告書は毎例会に持参することになっているからとのことで、グッドアイデアといえよう。報告書の内容では、5クラブで会員名簿の記載がなかった。個人情報保護の為であろうが、ガバナーには事前に何らかの形で会員名簿を知らせて貰いたい。訪問する側にとって、訪問先に何方がおられるかは、不可欠な予備知識である。

例会開催の時間帯には、早朝からお寺で住職の説教とお粥を頂く朝例会、夜のみのアルコール付の例会、昼例会しか行なわないクラブなど、様々である。

今年度のロータリー研究会は、11月23・24日、ボイドRI会長・R財団管理委員長ご臨席のもと、1~4Aゾーンのガバナー・パストガバナー・ガバナーエレクトが配偶者同伴で出席し、岡山市において開催される。ロータリーの運営につき、いろいろな研修や討議が予定されている。直後の12月1~2日に開催する当地区地区大会に参考となる新しい情報が得られそうだ。



ガバナー補佐 リレー随想

## 公式訪問から見た 第3グループの実情

第3グループガバナー補佐 蒲原孝之(鹿島RC)

今年度のガバナー訪問は故事に倣っての「鹿島立ち」で7月18日鹿島RCを皮ぎりに第3グループから始まった。それに先だっのクラブ協議会を4日からホームクラブで開始した。幸いホームクラブでの出発だったので何とか無難に終えたようであった。それも束の間、10日からは武雄RCを皮ぎりに8月10日まで12回のクラブ訪問の連続でした。その間、緊張の連続でしたが数多くのRCとロータリアンとの交流は何ものにも変えがたい貴重な体験であり、収穫の多い充実した1ヶ月でした。その間大変お世話になりました。各クラブではそれぞれ特有の運営、活動をされ地域の中心的存在として率先垂範の奉仕活動に取り組んでいられる行動に、期待と感謝が込められ地域の融和親睦、発展に与与されている使命感に唯々感服した次第です。これからも奉仕の理想を掲げ地域社会の、より良い発展と地球規模での環境整備にロータリアン一丸となって率先しようではありませんか。

次に第3グループにおける実情を数字から見た感想を申し上げたいと思います。クラブ数7で会員数204名。1クラブ平均29人となり、最低40名位は欲しい所であり現在2クラブだけである。会員増強には特に力を入れて戴きたい。入会金も3クラブが¥20,000で4クラブは¥30,000である。引き下げること1案として考えては如何？会員数の多いRCは無理のない理想的な運営活動が出来ている様に思われますが、どうでしょうか？

次に金銭面から見ますと(平均値)総予算に対し義務的な分担金は、15.5%となり、最高20.7%、最低12.4%である。次に運営費であるが、60.4%であるが、最高70.3%、最低45.0%で高いクラブは奉仕活動費に、しわ寄せが来ているようにも思われます。いずれも会員数により左右されるのが多いようであるが、60%程度に経常経費を持って行けば無理のない理想的な活動が行われるのではなからうか。唯繰越金も平均で11.3%あり全予算を完全支出した場合であり実質的には、この数字よりも低くなるのではないだろうか。

次に奉仕活動費であるが、クラブ奉仕と対外的奉仕に二分すればクラブ奉仕費は12.4%となり、最低は5.3%、最高は27.3%で、その差は、ばらばらで14%台が2クラブ、8%台が3クラブとなっている。

又対外的奉仕は最高13%、最低4.9%で、平均8.6%となっており運営方針によりまちまちになっているが、7~9%台が多いようである。10%台になれば理想的な奉仕活動が出来るとはのではないだろうか。特に内容的には長年の継続的な事業は取捨選択をし、時代に適応した活動に漸時更新する必要も考えられる。いずれにしても会員増強が最重要事と思われまますので先ずは会員獲得にクラブを挙げて取り組むことが必須条件ではないかと思ひます。以上クラブ協議会、公式訪問を終わっての感想を記しましたが、貴方のクラブは如何でしょうか？

## 国際ロータリー 第2740地区 ガバナーエレクト事務所開設のご案内

第2740地区ガバナーエレクト事務所を下記により開設いたしますので、ご案内申し上げます。つきましては、向後何かとご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

記

開設日 2006年10月2日(月)

所在地 〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F

TEL 0952-23-1828

FAX 0952-22-7121

E-mail ri2740k-noguchi@bz01.plala.or.jp

執務時間 平日10:00~16:00(土・日・祝日は休日)

尚、事務所は2007年7月1日よりガバナー事務所となります。

以上

また、次年度の主な会議スケジュールは以下のとおりです。

	開 催 日	場 所
地区チーム研修セミナー	2007年3月3日(土)	ホテル山水荘
会長エレクト研修セミナー	2007年3月11日(日)	ロイヤルチェスター佐賀
地区協議会	2007年5月12日(土)	マリトピア
地区会員増強セミナー	2007年8月5日(日)	未定
地区大会	2007年11月16日(金)・17日(土)	佐賀市文化会館

### クラブ活動

## クリーン五島作戦

長崎県五島市 福江中央ロータリークラブ

五島市の港、日本港100選に選ばれた。

場所 大波止ターミナル及び常灯鼻周辺の清掃。7月30日(日)、早朝7時前より1時間の予定が、約1時間も超過するほど熱心に、手際良く作業が成され綺麗になりました。この清掃は、1982年に始まり今年で25年になります。参加者、会員19名・インターアクト3名。当日は2006~2007年度インターアクト年次大会へ参加会員もいましたので、参加者は少なげみでした。



## 佐賀南ロータリークラブ

会長 田中 洋介

去る7月18日に、地区では鹿島RCについて2番目に、田口 厚ガバナー、吉田正和地区幹事、森義則ロータリーの友地区委員をお迎え致し、ガバナー公式訪問例会を行いました。緊張の中、貴重なアドバイスを戴きながら、和気あいあいのうちに終わることが出来ましたこと感謝申し上げます。

本年度、我クラブは創立23年目を迎え、38名(2名減)の会員でスタートしました。2740地区でも、経済状況の影響からか会員数が減少傾向にあるように聞いております。

クラブの第一の目標は、会員相互の親睦が益々深まるようにクラブ運営をしていきたい。

第二の目標は、会員45名の確保が必須と考え、会員の協力のもとロータリアンとして品格と良識を持って社会に貢献できる方を入会させたい。

第三の目標として、ロータリー財団、米山

奨学への協力、会員一人ひとりに積立をお願いして目標をクリアーしたい。

第四の目標は、ガバナーが提唱されている地球温暖化防止活動ですが、当クラブでは環境の整備という観点から、十数年来、有明海沿岸のシチメンソウの保護育成のため、活動을續けて参りました。これからも出来ることを一歩一歩進めていきたいと考えております。

今後とも、ご協力とご指導をお願い致します。



## 太良ロータリークラブ

会長 馬場 一朗

我がクラブは今年で12年目を迎え、全員が会長経験者でロータリークラブの素晴らしさを知った、精鋭クラブ9名で頑張っています。7月20日、田口ガバナー・吉田地区幹事・蒲原ガバナー補佐をお迎えし、有意義な公式訪問例会を行う事が出来ました。心よりお礼申し上げます。また、懇談会では「独自のRC会館を持ち、会員9名と言う小さなクラブながらも素晴らしい活動をされて居る事に感動しました、クラブは大小に拘らず内容だと思ひます、今後も胸を張って頑張る下

さい」と言う、身に余るお言葉を頂き活力が出た思ひです。また、いま話題の長崎新幹線まで話が及び、打ち解けた笑い声が出る雰囲気の中で懇談会が出来た事に感謝いたします。例会の田口ガバナー卓話では本年度RIテーマ(率先しよう)と地区運営方針(地球温暖化)に付いてスライドを使いユーモラスで具体的に分かりやすく熱意をもつての講話を頂き会員一同よろこんでいます。本当に有難うございました、心から感謝申し上げます。今後、ご指導いただいた教をロータリー活動に活かし、小さなクラブながらも、田口ガバナーを柱に一年間頑張るて行きたいと思ひます。ご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。



## ガバナー公式訪問

### 牛津ロータリークラブ

会長 武 富 浩 二

当クラブは、現在会員数 33 名平均年齢 60.38 歳であります。創立は、昭和 55 年 5 月 29 日、今年度 30 周年を迎えます。週 1 回の例会は金曜日、会場では皆さんが、お茶くみ、弁当ならべをされ、賑やかで和気藹々のクラブです。

特に親睦を中心として、8 月家族旅行、12 月クリスマス家族会などは、約 80 名の交流です。又、夫人の集いや海外研修、近隣クラブとの合同例会やゴルフ大会など他クラブとの親睦も深めています。

30 周年のふしめです。来年 6 月 2 日に式典を行うため基調講演、記念植樹などの記念事業を会員全員で、頑張っているところです。



### 佐賀西ロータリークラブ

会長 久 保 志 郎

田口ガバナー、吉田地区幹事をお迎えし、午前 11:00 から始まったクラブ役員との懇談会では些か緊張いたしました。田口ガバナーのお人柄に接することができ、また厳しいご指摘もなく談笑のうちに終わりました。当クラブの伝統を改めて感じると共に、本年度の活動計画作成にあたって、より充実した活動をと会員一人一人が知恵を出し合ったおかげだと感謝しております。公式訪問例会ではガバナーならびに地区幹事との知己が会員の中に多く、なごやかな雰囲気うちに終了しました。今年度 R I のテーマ「率先しよう」を田口ガバナーは座右の銘である「率先垂範」と解釈されました。当クラブも目の前の課題

をみんなで知恵を出し合いながら前進して行く所存です。創立 50 周年を迎える 2 年後を目標に！



## 神埼ロータリークラブ

会長 服巻 和 孝

8月1日、午後7時より例会そして田口ガバナー様の卓話へと続きました。

ガバナーから国際R I並びに第2740地区の今年度方針が説明されました。

今回の公式訪問のなかで特筆すべきことは、例会時に二人の新入会員がガバナーより直接ロータリーバッジをつけていただいたことです。



## 白石ロータリークラブ

会長 大田尾 一 美

去る8月2日、田口ガバナー、吉田地区幹事・蒲原ガバナー補佐を迎えての公式訪問例会を開催しました。

事前に行われた会長、幹事との懇親会では、白石クラブの抱えている問題点や白石クラブ独自の活動状況等について話し合いました。

白石ロータリークラブは、R I 2740地区で、会員数が2番目に少ない17名の小さなクラブです。今の社会情勢を考えると大幅な会員増が望めないのが、今年度目標である1名の確実なる増強をめざし、退会防止に努め、小さいクラブでも出来る活動、小さいクラブ



本人達はそれがなんであるかまだ分からない状態でしたが、他の会員全部が「当クラブでは初めてのことで大変名誉なことだ」と感動していました。

引き続き懇親会へと移り、日頃はできない「田口ガバナー様、吉田地区幹事様」と盃を交わしながらの会話もできて、何よりも充実した例会となりました。

昼は佐世保西ロータリークラブ、夜は当クラブと精力的に訪問されました田口ガバナー様に厚くお礼申し上げますとともに今後のご指導を重ねてよろしくお願いいたします。

にしか出来ない活動を行っていきたい考え等々を報告しました。

又、例会時の田口ガバナーの卓話では、「会員数が少ない中での活動は苦勞が多いのでは」とのねぎらいの言葉をいただきましたが、反面、通常の例会時の卓話が少ないことが気になりますので、R Iテーマ「率先しよう」にもあるように、率先して卓話をやってもらうようお願いしますと、辛口のお言葉もいただきました。

ガバナー公式訪問が、和やかな雰囲気の中で終了できたことを会員一同感謝申し上げます。



# ガバナー公式訪問

## 唐津西ロータリークラブ

会長 前田 米蔵

8月2日、田口ガバナー、立華浩ガバナー補佐、吉田正和地区幹事をお迎えし、公式訪問が実施されました。

パワーポイントを使って、国際ロータリー及び2740地区の現状報告をして頂きました。卓話の中では、今年度のテーマ「率先しよう」にガバナーとしてもっと強い響きを持たせることを考え「率先垂範」と解釈し、自から頑張りたいと決意を述べられました。強調事項や要望事項を発表され、公式訪問を終りました。

当クラブは、昭和45年1月7日に誕生し、今年で37年目を迎えることとなります。総会員数40名でのスタートとなりました。創立当初からの精神である「気取らずに和気藹藹」を受け継ぎ家族ぐるみの親睦を深め、力を合わせて地域社会に出来る事を話し合い、

その事を家族へ友人へ、そして職業を通じて自分の会社や関係先へ広めて行くよう努力したいと思います。



## 唐津東ロータリークラブ

会長 緒方 重利

平成18年8月3日(木)、田口 厚ガバナーをお迎えしてのガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会前の一時間程、コーヒーを飲み乍ら、くつろいだ雰囲気の中で、田口ガバナー、立華ガバナー補佐、吉田地区幹事と当クラブ会長、副会長、幹事との懇談会が行われました。

これ迄、57クラブ中、始まったばかりではありますが例会場の立地と景色が素晴らしい所ですね、とお褒めの言葉を頂きました。会員数、出席率、寄付金等、数値の確認、当クラブの特徴的な奉仕活動は何ですかとの問い、地球温暖化防止対策への取り組み状況の説明、環境問題、省エネ問題の取り組み状況、CLP、青少年の問題等、多岐に渡り懇談をいたしました。

環境問題では東の浜海岸清掃に取り組み、会長賞申請をされてはいかがかのご提言も頂きました。マスコミと懇意にし、PRする事も重要だと話して頂きました。



## 雲仙ロータリークラブ

会長 森 義 春

雲仙ロータリークラブ（会員31名）では、去る8月5日（土）に田口厚ガバナー、吉田地区幹事、太田ガバナー補佐、大村東ロータリークラブの高木栄君をお迎えして、公式訪問例会を開催いたしました。我クラブは辺境の地にあって、ガバナーをお迎えすることはこの公式訪問の1回位しかないと思います。

当日は会場の都合により、例会場を変更しまして、田口ガバナーには大変ご迷惑をおかけしました。例会前の懇談会では、予定時刻よりも早めに始めさせていただいたにもかかわらず、有意義な協議事項が多く、例会寸前



まで話が弾みましたので、周囲の会員に、何か問題があるのではと心配されるほどでした。内容を掻い摘んで申し上げますと、会員増強、財団寄付、町村合併による地区割り、また、太田ガバナー補佐より第7グループと第8グループの分け方などいずれも頭の痛い問題がありますが、ガバナーに判断を仰ぐ所、ガバナー補佐にお骨折り頂く所、クラブで努力する所と決めていただきました。

当クラブとしては、観光低迷に苦慮する会員が多い中、会員数の維持、そして増強と、強い意志で臨み、「率先しよう!!」を唱和して、不景気を吹飛ばして参りたいと思います。



## 唐津ロータリークラブ

会長 大 串 重 幸

去る8月8日、田口厚ガバナーをお迎えし、唐津ロータリークラブのガバナー公式訪問例会を開催致しました。

当日は、吉田地区幹事、立華ガバナー補佐及びロータリーの友地区委員森氏の皆様に出席いただき、事前懇談会から例会まで懇切なるご指導を賜り、例会ではガバナー卓話で、スクリーンを交え大変有意義なお話を伺うことが出来ました。

RI会長強調事項「ロータリー家族」即ち会員のみではなく、夫人、インターアクト、そして地域住民多くにロータリー精神（奉仕と友情）を知らしめる事が必要である、と謳っています。

当クラブは今年創立50周年の節目の年を迎え、1月23日記念大会実施に向け諸事業を企画立案中であり、此の機をとらえ、ロータリー精神及び唐津ロータリーの存在を啓蒙してまいります。

上記諸事業成功に向け全力投球と併せて、会員の増強、出席率の向上、夫人を含め会員

相互の親睦、財団支援、インターアクトクラブの協力支援、海外姉妹クラブとの交流等活動計画を進めます。

尚現在実施中のオーストラリアとの交換留学生の生活支援を行います。



## ガバナー公式訪問

### 伊万里ロータリークラブ

会長 岩永 龍 幸

伊万里ロータリークラブは、8月9日（水）に田口厚ガバナー、立華浩ガバナー補佐、吉田正和地区幹事をお迎えして、伊万里西ロータリークラブと合同で公式訪問例会を行いました。

例会では、田口ガバナーにより本年度の地区運営方針が説明されました。内容としましては、地区重点推進「奉仕プロジェクト」地球環境問題すなわち「温暖化防止」や「環境保全」についてお話いただきました。また、会員増強の話にも触れられました。

当クラブも会員数36名でスタートしていますが、やはりクラブ基盤の維持として40名は欲しいと思っております。そのために、会員増強、退会防止をいかにして行うかを考え、月1回の夜の例会を通じての親睦、会員一人一人が増強委員であるという認識の下に、

会員全員で精一杯の会員増強に力を入れるような体制で頑張っていきたいと思っております。

また、色々なクラブ行事に積極的に参加し、会員相互でロータリーを理解していくようなクラブを目指しています。



### 伊万里西ロータリークラブ

会長 多久島 隆

8月9日、田口ガバナー、立華ガバナー補佐、吉田地区幹事をお迎えし、伊万里RCと合同で公式訪問例会を開催しました。折しも当日は長崎原爆記念日。狂気の兵器で犠牲になられた方々のご冥福とともに、あのような愚行を二度と繰り返さないように願いを込めて出席者全員で黙祷を捧げ、RIテーマ「率先しよう」とクラブスローガン「一人はみんなのために、みんなは一人のために」を皆で唱和し例会を始めました。

田口ガバナーからはRIと地区の方針や現況をわかりやすく話していただくとともに被爆者としての経験を赤裸々に語っていただき、身が引き締まる思いと平和の大切さを痛感した貴重な時間でした。

今期、伊万里西RCでは家庭、事業所など地域から始める「ストップ・ザ・温暖化」の

啓発、実践活動に取り組んでいます。次代を担う子どもたち向けに環境問題を身近なものとして感じてもらうための方策を行政と共に考案中です。

今より美しい地球を次世代に残すため何ができるのか。を広く問いかけながら今後も「率先して」活動していきたいと思っております。



## 大町ロータリークラブ

会長 諸石 一三

諸石会長を中心にガッチリ固まった楽しいクラブが我ら大町ロータリークラブです。

佐賀県のほぼ中央に位置する大町クラブはエリアが大町町、北方町、江北町の三町からなり、共に旧産炭地からそれぞれの特徴を生かした形で発展し、現在に至っています。

メンバーは最盛期のおよそ半分のわずか24名の小さなクラブですが月に一度の夜例会を行うなど和気あいあいの楽しいクラブです。

今年のコトローは『クラブ内親睦』と会長自ら提言され会員相互の親睦を深めています。

例会は『体操』と全員で行う『握手』を取り入れておりメーキャップされる他クラブの会員さんとそのユニークさにしばしば驚かれています。



年間行事の中でも少年野球大会とゲートボール大会は各々20年を越えて開催しており少年野球の始球式では歴代の会長がその豪腕を披露。さらにゲートボールでは大町クラブが即席のチームを結成し、人生の先輩方との真剣勝負を繰り広げます。

『自分たちの例会場は自分たちの手で美しく』の掛け声に年に数回は会員が作業服に着替えて例会場の周りの除草作業を行っており、終了後お茶を飲みながらロータリーの原点を実感し、身近な環境保全を進めています。

ガバナー公式訪問の折には昼食弁当が非常に美味しいと好評を頂きました。他クラブの皆さん、どうぞ我々大町クラブへ是非一度メーキャップしてみてください、お待ちしております。



## 諫早ロータリークラブ

会長 菅原 眞博

去る8月11日、田口厚ガバナーの第8グループでは最初の公式訪問を受け、誠に光栄に思いました。

当日は、宮崎ガバナー補佐、吉田地区幹事、森ロータリーの友地区委員も同行頂き、事前協議では16年間継続して参りました我クラブの一大奉仕事業世界社会奉仕（アジアを知り奉仕活動を行う）を色々な角度から協議頂き、更なる発展のために今後の運営に助言をいただきました。

又、例会ではRIのテーマ、2740地区のテーマなどパワーポイントを使用してわかりやすく説明していただきました。

我諫早ロータリークラブはスポンサークラブ（田口厚ガバナーの出身である）長崎RCの提唱で昭和35年6月30日に承認を受け誕

生致しました。チャーターメンバー29名で8/11現在64名の会員と2名の名誉会員で構成されています。平均年齢59.1才で田口厚ガバナーによると諫早RCの会員は長崎RCより少々若いようです。

今年度の我クラブの方針は地球環境問題を各奉仕部門の事業計画に織り込んだ奉仕プロジェクトを率先して推進し、先輩の築いた諫早RCの伝統や品格に更に磨きをかけることです。



## ガバナー公式訪問

### 福江ロータリークラブ

会長 山田 洋 彰

8月18日、田口ガバナー、野田ガバナー補佐、吉田地区幹事をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。ガバナーと地区幹事は、台風接近による悪天候の中、前日から五島入りされました。その情熱と行動力に私達は深い感銘を受けました。例会前の懇談会においては、和やかな雰囲気の中、クラブ運営に関するご指導やアドバイスを頂き、大らかなお人柄に接することができ、本当に有意義な時間でありました。例会では国際ロータリーの現況や地区方針、クラブへの要望など、大変分かりやすく説明して頂き、会員全員にとって貴重な研修の場となりました。今回の公式

訪問での体験を糧とし、クラブの伝統である「親睦」を今後も基本にしながら、「奉仕」を実践していきたいと思いをします。



### 福江中央ロータリークラブ

会長 今村 音 松

去る8月18日、田口厚ガバナーをお迎えして福江中央ロータリークラブの公式訪問例会を開催致しました。

台風10号接近の為、心配しておりましたが、田口ガバナーと吉田地区幹事は連日の公式訪問でお疲れの中、前日より五島に来られてのハードなスケジュールで大変お疲れ様でした。当クラブの野田第9グループガバナー補佐と共に事前の懇談会においては、福江中央RCの活動のあり方についての的確なアドバイスを頂戴して今後のクラブ運営についていろんな指針を頂きました。

特に、五島と縁の深い田口ガバナーのお人柄には会員一同感激してお話を伺いました。これからも、離島のハンディを克服し、微力ではありますが奉仕活動を積み重ねてまいりたいと思いをします。

12月の地区大会では、コ・ホストクラブとして会員一同大会の成功に向けてのお手伝いが出来ればと思います。



# ◆◆◆寄付者紹介◆◆◆

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

	種 類	氏 名	クラブ名
ロータリー財団	P・H・F	重田 勲	伊万里RC
	大口寄付者	西村 金造	長崎RC
米山記念奨学生	米山功労者	古川 和子	大村RC
		中村 正年	島原RC

## 米山記念奨学会達成クラブ表彰

1千万円達成クラブ	伊万里西ロータリークラブ
	唐津西ロータリークラブ
	佐賀北ロータリークラブ
2千万円達成クラブ	諫早北ロータリークラブ
3千万円達成クラブ	長崎南ロータリークラブ

### 訃 報

慎んでお別れいたします。



故 服巻 勝也 君  
(唐津東RC)



故 藤岡 滋 君  
(長崎北RC)

# LEAD THE WAY

## 新会員紹介

ロータリーの新しい仲間になりました方々をご紹介します。



佐賀RC  
橋口 善繁君



佐賀RC  
永尾 功且君



牛津RC  
今泉 昭博君



多久RC  
平野 健次君



佐賀北RC  
岸川 隆君



佐賀北RC  
久野 誠司君



佐世保RC  
原口 増穂君



佐世保RC  
吉富 誠也君



佐世保RC  
峯 博之君



平戸RC  
下条 幸治君



HTB佐世保RC  
荒木 智子君



島原RC  
安藤 竜順君



大村東RC  
猪掛 隆君



諫早RC  
久保 盛記君



長崎RC  
東 信之君



長崎RC  
蛭田 泰昭君



長崎RC  
豊田 豊君



長崎西RC  
水町 好宏君



長崎西RC  
勝野 博文君



長崎西RC  
川島 祥一君



長崎西RC  
山内 義三君



長崎北RC  
中村 精介君



神埼RC  
藤吉 洋次君

神埼RC  
野田 初憲君



## 2006年8月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				6月末	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	5	82.8	69	0	71	0	2	2	0
	小城	4	96.0	32	1	31	1	-1	0	0
	牛津	3	90.8	32	0	33	0	1	1	0
	多久	4	75.0	43	5	43	4	0	1	1
	佐賀大和	4	86.5	25	3	24	3	-1	0	1
	小計		86.2	201	9	202	8	1	4	2
第2グループ	佐賀西	4	77.6	54	0	56	0	2	3	2
	佐賀北	4	91.3	41	3	42	3	1	2	0
	佐賀南	4	85.5	38	0	39	0	1	0	0
	神埼	4	85.5	28	0	31	0	3	2	0
	佐賀空港	4	59.4	16	0	16	0	0	0	0
	小計		79.9	177	3	184	3	7	7	2
第3グループ	有田	4	85.3	36	2	38	2	2	0	0
	武雄	3	81.0	56	0	56	0	0	0	0
	鹿島	4	85.5	39	1	40	1	1	0	0
	嬉野	4	82.6	23	0	22	1	-1	0	1
	大町	4	79.0	22	0	22	0	0	0	0
	白石	4	79.4	17	0	17	0	0	0	0
	太良	4	88.9	9	1	9	1	0	0	0
	小計		83.1	202	4	204	5	2	0	1
第4グループ	唐津	4	92.4	52	0	52	0	0	0	0
	伊万里	4	95.4	36	0	35	0	-1	0	2
	唐津東	4	95.1	52	0	50	0	-2	0	2
	唐津西	4	89.8	40	0	39	0	-1	0	0
	伊万里西	4	80.0	49	0	49	0	0	0	0
	唐津中央	3	85.0	39	4	40	4	1	0	0
	小計		89.6	268	4	265	4	-3	0	4
	第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	83	0	3	3
平戸		4	84.5	41	0	42	0	1	1	0
佐世保西		4	94.1	27	0	29	0	2	0	0
北松浦		5	86.3	25	0	25	0	0	0	0
松浦		4	86.0	32	1	34	1	2	0	0
小計			90.2	205	1	213	1	8	4	0

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				6月末	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	3	98.4	77	0	77	0	0	0	0
	佐世保東	4	84.7	31	0	32	0	1	0	0
	佐世保北	3	97.1	46	0	47	0	1	0	0
	佐世保中央	4	100.0	40	0	41	0	1	0	0
	佐世保東南	4	76.1	23	0	23	0	0	0	0
	HTB佐世保	4	80.2	24	3	27	4	3	1	0
	小計		89.4	241	3	247	4	6	1	0
第7グループ	大村	4	98.1	47	2	46	2	-1	0	0
	島原	4	86.8	33	3	34	3	1	1	0
	雲仙	3	92.1	31	0	31	0	0	0	0
	大村北	4	100.0	32	0	31	0	-1	0	0
	島原南	4	85.0	22	2	21	2	-1	0	0
	大村東	3	84.0	45	1	46	1	1	1	0
	小計		91.0	210	8	209	8	-1	2	0
第8グループ	諫早	4	92.1	60	0	63	0	3	1	1
	諫早北	4	88.1	66	0	66	0	0	0	0
	諫早西	4	92.3	43	0	43	0	0	0	0
	諫早多良見	4	88.2	37	0	37	0	0	0	0
	諫早南	3	77.1	31	4	32	4	1	0	0
	小計		87.6	237	4	241	4	4	1	1
第9グループ	長崎	4	87.5	93	0	97	0	4	3	1
	福江	3	88.6	40	0	41	0	1	0	0
	長崎北東	4	93.5	53	4	53	4	0	0	0
	福江中央	4	87.7	36	1	36	1	0	0	1
	長崎西	4	80.4	66	0	70	0	4	4	1
	長崎琴海	4	81.5	23	3	23	3	0	0	0
	小計		86.5	311	8	320	8	9	7	3
第10グループ	長崎北	3	81.1	70	0	71	0	1	1	2
	長崎南	4	76.9	81	0	80	0	-1	0	1
	長崎東	2	98.5	66	0	68	0	2	0	0
	東長崎	4	0.0	35	0	35	0	0	0	0
	長崎中央	3	91.5	59	0	59	0	0	0	0
	長崎出島	3	75.0	58	15	58	14	0	0	0
	小計		70.5	369	15	371	14	2	1	3
合計		86.7	2,421	59	2,456	59	35	27	16	

# LEAD THE WAY



## 国際ロータリー第2740地区

### 2006～2007年度

# 地区大会のご案内

## 記念懇親ゴルフ大会

期日 11月18日(土)

場所 長崎国際ゴルフ倶楽部

■ 8:00 スタート

## RI会長代理を囲む会

期日 12月1日(金)

場所 長崎グランドホテル

■ 15:00～17:00 会長幹事会

■ 17:30～18:30 懇親会

## 記念講演会(市民公開)

期日 12月3日(日)

場所 長崎ブリックホール

■ 午後

◎地球規模の環境問題を考える

### プロフィール

経済産業省化学物質審議会委員  
環境省中央環境審議会委員  
東京都出身  
ビートたけし氏の実兄



北野 大 氏  
(淑徳大学教授・工学博士)

## 地区大会本会議

期日 12月2日(土)

場所 長崎ブリックホール

■ 9:00

・登録開始

■ 10:30～16:45

・本会議  
(昼食を含む)

・パネルディスカッション

◎地球環境問題“温暖化防止”  
にどう取り組むか



コーディネーター  
早瀬 隆司 氏  
(長崎大学環境科学部 教授)

## 記念懇親会・ 新世代の集い

期日 12月2日(土)

場所 ホテルニュー長崎

■ 17:30～18:30

速報

## 記念講演会

### 小池百合子 環境大臣

(平成18年9月24日現在)

### 来崎決定!!

## IN NAGASAKI

# 文庫通信 (228号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1 万 9 千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 「記念講演から」

- |                       |       |      |     |               |
|-----------------------|-------|------|-----|---------------|
| ◎「人生を考える」             | 稲盛 和夫 | 2005 | 23p | (「奉仕の心」)      |
| ◎「道草をくいながら」           | 岸田今日子 | 2006 | 5p  | (D.2790 地区大会) |
| ◎「高く遠い夢～70歳、エベレスト登頂～」 | 三浦雄一郎 | 2005 | 9p  | (D.2540 地区大会) |
| ◎「私が出会った挑戦者たち」        | 国井雅比古 | 2005 | 14p | (D.2550 地区大会) |
| ◎「斬り口の向こうに未来が見える」     | 猪瀬 直樹 | 2005 | 14p | (D.2670 地区大会) |
| ◎「どうせやるなら精一杯、喜んで」     | 木村 進次 | 2006 | 14p | (D.2540 地区大会) |
| ◎「最新の国際情勢について」        | 古森 義久 | 2005 | 9p  | (D.2660 地区大会) |
| ◎「みんなの幸せのために」         | 江原 啓之 | 2005 | 9p  | (D.2660 地区大会) |
| ◎「脳は若返るか」             | 養老 孟司 | 2005 | 8p  | (D.2660 地区大会) |
| ◎「バカの壁」               | 養老 孟司 | 2006 | 9p  | (D.2510 地区大会) |

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝日

早岐駅

昭和



早岐駅

現在



早岐駅(長崎県)

早岐駅は明治30年7月10日に九州鉄道長崎線の駅として開業。駅舎は古くからのもので日本でもよく知られた建築物である。なお、長崎線の全面開通するまでの約1年間、ここから長与駅近くの船津港まで大村湾連絡船という鉄道連絡船が存在した。明治42年10月12日に路名称制定により長崎本線と佐世保線の駅となる。終戦直後の一時期、外地からの復員・引き揚げ者向けに東京駅からここまで普通列車が日2～3往復運転されていたことがあった。平成4年3月に早岐～南風崎間にハウステンボス駅が開業、早岐駅でハウステンボス号とみどり号が併合分割するようになった。現在、5～6月にかけては400有余年の歴史がある「早岐茶市」が毎年開催され賑わっている。是非、列車でお出かけ下さい。

早岐駅長 竹下 勉  
電話0956(38)2030



国際ロータリー第2740地区

2006～2007年度ガバナー 田口 厚

事務所

〒850-0851 長崎市古川町8番29号(社団法人是真会内)

TEL: 095-818-2660 FAX: 095-818-2663

E-mail: ri2740@juno.ocn.ne.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2006-2007

国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信  
クラブ会長・幹事各位



2006-2007年度  
国際ロータリーのテーマ

**率先しよう**

2006~2007年度ガバナー  
**田口 厚**



## CONTENTS

クラブ訪問記 .....	1
国際奉仕部門研修セミナー .....	2
地区「米山の集い」.....	3
国際青少年交換オリエンテーション .....	4
ガバナー補佐リレー随想 .....	5
ガバナーノミニー決定 .....	6
クラブ会長名言集 .....	7
ガバナー公式訪問 .....	9
地区大会のご案内 .....	23
寄付者紹介 .....	24
新会員紹介 .....	25
会員数出席報告 .....	26

**眼鏡橋** 1634年（寛永11年）に興福寺、唐僧子禅師によって架設される。1960年に国の重要文化財に指定されている、長崎を代表する名橋です。  
橋長22m 橋幅3.65m 橋高5.46m





クラブ訪問記(Ⅲ)

## 「クラブ公式訪問総括」

国際ロータリー第2740地区

2006-'07年度ガバナー 田口 厚

9月21日ホームクラブの長崎ロータリークラブを最後に、地区ガバナーの大きな任務の一つであるクラブ公式訪問を、全て当初予定通り、無事に終了した。そして翌22日は、私の74歳の誕生日であった。病院診療と併行しながら、よくも体調を崩すことなく完遂することができたと、安堵するとともに自信もついた。後に分かったことであるが、わが地区でのガバナー就任時の年齢を高い方から数えると、草場・福井パストガバナーに次いで、私は3番目であった。

7月18日鹿島ロータリークラブを最初に、地区内全クラブ・56箇所(伊万里市内のみ合同)を、スケジュール通りに56日間で訪問することができたのは、何よりも健康と天候に恵まれたことによる。足掛け3ヶ月に亘る行程で、長崎を基点とした場合、所要時間は平戸・唐津・島原南・福江が片道90分、佐賀・佐世保・雲仙が同じく60分前後であった。夜の例会訪問が19回(殆どが昼夜兼行)あったが、大半は日帰り済ませ、宿泊は5回のみであった。

終始、吉田地区幹事に行動を共にしていただき、また各ガバナー補佐には、担当クラブ訪問の際に必ず同席していただいた。加えて、各グループから1クラブを選び、計10回、森地区ロータリーの友委員が同行され、「友」への投稿と購読促進のスピーチをしていただいた。

ガバナーとしての卓話がスムーズにできたのは、パソコンとパワーポイントによるスクリーン画像を使って話をしたため、会員の皆様には分かり易いと好評のようであっ

た。また、各クラブの特徴や、事前の会長・幹事との協議事項を、その場でインプットしコメントしたのも大きなメリットであった。

私自身は友好促進のための訪問と考えていたが、結構訪問先のクラブ役員の中には緊張されていた様子も伺えた。改めて、ガバナー補佐のご苦勞の程がよく理解でき、感謝申し上げる次第である。クラブ訪問途上の車内で、地区大会にご臨席戴くR I会長代理決定や次々年度ガバナーノミニー内定の報を、携帯電話で受けたことも話題の一つである。

訪問時の例会運営には、様々なバリエーションがあった。さすが点鐘は会長のみであったが、進行役はS A A・幹事、或いは会長自身が務めるなど、多様であった。第1例会の国歌斉唱は例外なく行われていたが、ロータリーソングはマイ・クラブソングあり、小学唱歌ありで、興味深く合唱した。食事を定刻前に済ませクラブ、点鐘後にお互いが握手するクラブ(尤も20名程度)、ストレッチ体操を行うクラブ等々、大いに勉強になった。

予めクラブ協議会に於いて、ガバナーに対する質問や要望を用意していたクラブもあった。その内容は、C L Pや財団寄付と地区補助金について、などであった。

C L Pや留学生の危機管理問題については、地区大会の際に、高木貞一郎R I会長代理にお願いして勉強会を行う予定である。また、会員数の推移や財団・米山への寄付の状況については、私の地区現況報告の中で詳細に説明することになっている。



2006-2007年度

## 国際奉仕部門研修セミナー報告

国際ロータリー第2740地区

国際奉仕統括委員会 委員長 常多勝己

2006年9月10日(日曜日)武雄市センチュリーホテルにおいてR I 2740地区2006-2007年度国際奉仕部門研修セミナーが開催されました。田口 厚ガバナー、野口 清ガバナーエレクトはじめ関係者約150人の参加者がありました。

会に先立ち、このセミナーの直前に亡くなられた佐世保北クラブ東島秀明地区GSE委員長に対し黙祷が行われた。

### 1) ロータリー財団セミナー

松尾英機委員長による財団の歴史および現状、地区補助金制度を中心とした財団プログラムの説明などがあった。特に補助の対象となるもの、ならないものについて具体的な事例をひいての解説があった。

### 2) 財団奨学・学友セミナー

まず田中克憲委員長より国際親善奨学金の目的、ロータリー財団プログラム特にその種類と申請手続きなどについての解説があり、そのあと2002-2003年度財団奨学生、鹿毛理恵(かげりえ)さんの体験発表「オーストラリア留学を通じて感じたこと、気づいたこと、そして学んだこと」と題する発表があった。オーストラリアアーミデルという小さな田舎町での勉学が、その後の研究生生活に大いに生きている、と言う内容で、そのチャンスを与えてくれたロータリー財団事業に大変感謝しています、と結んだ。



### 3) GSEセミナー

2005年-2006年度派遣チームリーダー高江洲一雄チームリーダーとチームメンバー樋渡光憲さんより、派遣先、USA ミシガン州およびカナダ・オンタリオ州 第6290地区での活動がパワーポイントを使って報告された。わずか30日間で12のRCの例会と地区大会に出席、チームメンバー5人での職場研修31カ所、個人別職業研修29カ所を行ったとの発表であった。研修を通して語学能力の必要性は勿論であるが、研修全体の成果を高めるためには「ひとと人のいい関係作り」の能力が必要であり、そのもとには「相手を尊敬する気持ち」を持つことが重要であるとの結論であった。



### 4) 質疑応答

長崎西クラブからインドネシアでのマッチンググラント(同額補助金)の説明があったり、長崎クラブ松本慶蔵会員からポリオの現状と今後の見通しについての解説があった。地区補助金の申請や、留学生希望者は沢山あるが地区全体からの寄付金業績が減少してくると、各種のロータリー事業に使える予算も減額されるという、松尾、田中両委員長の補足説明もあった。

最後に野口 清ガバナーエレクトの講評があり4時間にわたる今年度の国際奉仕部門研修セミナーを終了した。

参加された皆様大変お疲れ様でした。またご協力戴きありがとうございました。



## 地区「米山の集い」御報告

国際ロータリー第2740地区

米山記念奨学委員会 委員長 高木正隆

2006年9月10日(日)、武雄センチュリーホテルにて、田口ガバナー、隅田米山奨学会理事(パストガバナー)御臨席のもと、地区内で御世話している米山奨学生(18名中15名、3名は帰国中)、担当カウンセラーと地区内米山関係者が参加して、「地区米山の集い」が開催されました。

田口ガバナー、隅田パストガバナーに温かい激励の御挨拶及び米山奨学会の現況等について詳細なご説明を頂いた後、出席奨学生全員が美しい素晴らしい日本語で各々の近況報告を行いました。

奨学生諸君のスピーチの要点は、米山奨学金の受給により非常に充実した学問・研究が可能になったことの御礼と、ロータリーを通して地域とのかかわり、多くの素晴らしい人々

との出会い等々、支援して頂いているロータリアンの方々に対する心からの感謝の言葉でした。

全てのプログラム終了後、初めての試みでしたが奨学生だけの団欒の場を設けました。

彼等の出身国はさまざまですが、流暢な日本語で自由闊達に楽しく話し合っていました。国際交流、国際理解を間近で感じた次第です。彼らの眼は輝き希望に満ちています。ロータリーの良き理解者となりロータリーの理念である「世界平和の創造と維持」を胸に各界でリーダーとして活躍していくことと思っています。

ロータリアンの皆様には、今後共米山奨学事業に対し、益々の御理解御支援の程よろしくお願いします。





06-07年度国際青少年交換

## 第1回オリエンテーションの報告

国際ロータリー第2740地区

国際青少年交換委員会 委員長 瀬戸口 智彦

06-07年度の国際青少年交換事業の第1回オリエンテーションが開催されました。

日時 平成18年8月26日～27日

場所 国立諫早青少年自然の家

参加人員 46名(来日・派遣学生・帰国学生・関係クラブ・地区委員・保護者)

### オリエンテーションの目的

- 派遣予定学生と保護者ならびに関係ロータリークラブ
  - ① 青少年交換事業の意味
  - ② 申請書の記入
- 来日学生とホストファミリー
  - ① 日本の姿
  - ② 日本の生活様式
  - ③ 日本語研修

### 研修プログラム

第1日 8月26日 11:00～21:45

ブロック会議：派遣学生・来日学生・ホストファミリー：関係ロータリークラブ

全体会議で質疑応答

歓迎パーティー：帰国学生の報告

特別講演：講師 広瀬大輔氏「武士道」にちなんで「切腹」の2事件を講演

第2日 8月27日 6:30～16:00

午前中はオリエンターリングで自然の家周辺の山野をシルバーコンパスでポイントを捜し歩きました。

13:00～15:30 来日学生には日本語の研修・日本の生活習慣の研修  
派遣学生には 申請書の記入方法の確認

15:30～16:00 終了式

全日程を通じて一人の事故者もなく無事終了することができました。





ガバナー補佐 リレー随想

## 出席すればわかってくるよ???

第4グループガバナー補佐 立華 浩 (唐津中央RC)

私が唐津中央RCに入会したのは1994年であった。当時は組織拡大の気運が旺盛で、新クラブの創立が計画されたからである。

数人の先輩が、わざわざ私宅を訪問されたり、いたるところで熱心に入会を勧めたので、失礼は承知の上で「ロータークラブって何ですか」と、質問した。

以前からロータリークラブの存在は知っていたが、人間の習性で綱領(目的・プログラム)等を少しでも理解し、損か得か、道理にかなうか否かを自分の範疇で分別し、判断しようと思ったからである。

この事は人間の人間たる所以でもあるが、反面、自分の許容範囲でしか思考出来ない愚かさを含有している。視野を狭小にして、自分の思いの中でしか歩むことの出来ない頑迷さ、それが高じて自己過信となり、柔らかな知恵が浮かばなくなってくる。

先輩の返答は、それらを見透かすように、「例会に出席すればわかってくるよ」の一言であった。単純にして明快な言葉から聞こえる深さと重み、そして幅の広さ。その背景にあるロータリアンとしての歴史等々を感じて入会し、日本ロータリーの先達、米山梅吉氏の真言「ロータリーの例会は人生の道場である」という言葉に出遇うことが出来た。

例会に出席して、異業種の会員を師と仰げば、和気藹々の雑談の中からでも人生に処する知恵が与えられる。

入りて学べば、「自分とは何か。今、自分は

何処にいるのか。どの方向に進んでいるのか」という、真の自己の発見と存在の確認は出来る。そこから必然的に生じるのが職業人としての自己表現であり、出でて奉仕するという行動になるのであろう。

「ロータリーの例会は人生の道場である」この言葉の意味は深遠で、常に変化する世の中において、自分の物差しでしか人生を歩めない私には永遠のテーマであると思う。

我がクラブの事情により、急遽、ガバナー補佐の大役を引き受けざるを得なくなり、5月21日に開催された地区協議会に出席したが、何もかもチンプンカンプンで戸惑うことばかりで、今更ながら我身の不勉強さを嘆いている。

今年度の地区運営は、ガバナー補佐の位置付を明確にし、「ガバナーと一体となって指定されたクラブの管理(育成強化)に努める」となっているが、9年前にクラブ会長を務め終えてからは、研修会、勉強会にはほとんど出席しなかった私に、この責務を全うする事が出来るかどうか、未だに疑問を感じる毎日である。

しかし、「水は方円の器にしたがう」と言われる。ガバナー補佐という職責を与えて下さったのは、自己研鑽に励んで、一日も早く真のロータリアンになりなさいという、先輩諸氏の叱咤激励と受け取り、たじろぎながら道場に歩みを運ぼうと思う。ご指導宜しくお願いいたします。

## ◆ ガバナー・ノミネー決定宣言 ◆



鈴木 泰彦君

2008～09年度ガバナー候補者については、R I細則第13条第2節「ガバナーの指名手続」の定めにより、先にガバナー指名委員会に於いて「鈴木泰彦君（佐世保南RC）」が選出され、その旨を本年9月19日付で地区内各クラブに書状にて公表いたしました。

その後、所定の10月5日迄に、地区内いずれのクラブからも対抗候補者の届出がありませんでした。

従いまして、本日付をもって、鈴木泰彦君を当地区2008～09年度ガバナー・ノミネーとして宣言いたします。

2006年10月6日

国際ロータリー第2740地区

ガバナー 田口 厚

鈴木泰彦君のプロフィールは、次の通りです。

## 【経歴】

氏名 鈴木 泰彦  
生年月日 1947年7月15日  
現住所 佐世保市木風町1473-12  
本籍地 佐世保市光月町44番地

## 【学歴】

1973年 福岡大学工学部建築学科卒業

## 【職歴】

1970年 鈴木木材工業株式会社 入社  
大阪 成瀬商工株式会社 出向  
1972年 鈴木木材工業株式会社 常務取締役  
1974年 鈴木木材工業株式会社 代表取締役社長  
株式会社諫早木材市場 〃  
伊万里外材株式会社 〃

## 【団体歴】

(社)長崎県木材組合連合会 副会長  
(社)全日本木材市場連盟 理事  
佐世保商工会議所 常議員  
日本木材青壮年団体連合会 第32代会長(1991年)  
(社)全日本木材市場連盟 副会長(2002年～2006年)

## 【ロータリー歴】

1982年 佐世保南ロータリークラブ入会  
2002年 佐世保南ロータリークラブ会長  
ポールハリスフェロー 4回  
ポリオプラス 1回  
ベネファクター 1回  
米山功労者 3回

### 2009年～2010年度ガバナー・ノミネー推薦期間終了の件

本年度月信第2号紙面で、R I細則に基づく2009年～2010年度ガバナー・ノミネーの推薦方を通知いたしておりましたが、所定の本年10月31日までに、地区内いずれのクラブからも候補者の推薦がありませんでした。

従いまして、2009年～2010年度ガバナー・ノミネーにつきましては、地区ガバナー指名委員会において選出していただき、指名委員会を選出した候補者を直ちにガバナー・ノミネーとして決定することといたします。

# クラブ会長 名言集

「至誠一環」力を注ぎたい

同じ理想、目標を共存する団体との交流を図る  
会員の基盤維持・増強に努める。

「住民・企業・行政」が一体となり、

生活現場向上のため活動指針を発揮させる  
新しい風と皆様のぬくもりを感じる一年でありたい。

佐賀RC

小城RC

牛津RC

織田会長

北島会長

武富会長

多久RC

佐賀大和RC

川口会長

寺崎会長

「思いやり」と「親睦」と「奉仕」の心を大切に

肩肘を張らず、ほっとできる例会に

「佐賀に今何が問題か」を検討し、実行に移す必要

「率先しよう」を受け止め、社会にそして地域に密着した活動を  
奉仕の実を挙げるプログラムを実施し、

例会運営を明るく楽しいものに

佐賀西RC

佐賀北RC

佐賀南RC

神埼RC

久保会長

西田会長

田中会長

服巻会長

佐賀空港RC

山本会長

人への思いやり・・・そして・・・率先しよう

例会に変化を・・・出席率90%目標!

会員同士仲良く、活動の親睦を充実

会員全員で委員会活動の活性化を図る

「率先しよう」に、一步一步近づけるよう努力を

卓話の充実・親睦を深める

温暖化防止を身近な問題として、真剣に取り組む

有田RC

武雄RC

鹿島RC

嬉野RC

大町RC

白石RC

太良RC

酒井田会長

馬場会長

国広会長

原田会長

諸石会長

大田尾会長

馬場会長

親睦と友情、奉仕を柱とし、唐津RCの存在を啓蒙する

クラブ基盤の維持・会員相互理解と親睦を深める

親睦と融和の精神を大切に、輝かしい伝統を守る

親睦の活性化を会員増強に

率先しよう 一人はみんなのために みんなは一人のために

温暖化防止を重点事項とし、

ロータリーの原理原則に基づく運営を

唐津RC

伊万里RC

唐津東RC

唐津西RC

伊万里西RC

大申会長

岩永会長

緒方会長

前田会長

多久島会長

唐津中央RC

水田会長

楽しい例会 愉快的例会

楽しいクラブ創り 新しいクラブ組織 広報活動の積極性

些細なことでも、1週間の内わずかな時間をロータリーに

更なる会員増強と会員相互の理解を深めて行きたい

ONE for all ALL for one。 Open your eyes

六波羅蜜 「布施」「自戒」「精進」「禪定」「知恵」

人間性を磨き、魂のグレードアップしたい

佐世保RC

平戸RC

佐世保西RC

北松浦RC

松浦RC

佐世保南RC

中島会長

安部会長

井出会長

岩屋会長

勝山会長

岡崎会長

RI会長賞の推進、40周年事業の実行  
 『もっと知ろう』をテーマに活動  
 『集いて「一心・一愛・一徳」念うて飲水思源』  
 力強いクラブづくりを目指して  
 ロータリアンとして 楽しく意義のある例会 友愛と親睦

佐世保東RC 加島会長  
 佐世保北RC 古賀会長  
 佐世保中央RC 坂井会長  
 佐世保東南RC 松田会長  
 HTB佐世保RC 松田会長

出会い ふれあい 語り合い  
 「参加しよう 創めよう ロータリー」

大村RC 西川会長  
 島原RC 亀田会長

「誠心 誠意」この精神の中から生れる奉仕は本物！

生活環境の変化が厳しい中、楽しく、

奉仕を通して喜びを感じる活動

雲仙RC 森 会長  
 大村北RC 牧山会長  
 大村東RC 松村会長  
 島原南RC 吉田会長  
 諫早RC 菅原会長  
 諫早北RC 白倉会長  
 諫早西RC 平野会長  
 諫早南RC 樋口会長

魅力ある例会運営と伝統ある例会出席率の継続

親睦と奉仕の原点を見つめて楽しい一年間を

和して奉仕

ロータリーは道徳心の実験場

次なる40周年に向けての布石

「参加しよう」

親睦から奉仕の道へ

諫早多良見RC 松本会長

より良い世界は、慎重な計画、誠実な協力、

ひたむきな努力によってのみ実現する

古希クラブとしての風格の維持と発展

会員同士の融和と信頼関係を深めるため「親睦」を第一に

倫理道徳の原点から強調していく

魅力あるクラブ。ロータリーの公共イメージを高めよう

楽しい例会・親睦と融和、会員増強と退会防止

会員の知的財産の活用

長崎RC 松本会長  
 福江RC 山田会長  
 長崎北東RC 大原会長  
 福江中央RC 今村会長  
 長崎西RC 馬場会長  
 長崎琴海RC 田中会長

チャーター会員の功績を顕彰すると共に、クラブの繁栄を目指す  
 広報できる奉仕活動

会員増強特に退会防止・各奉仕部門の活動目標の実行達成

「何はともあれ、足元から」そして「樺」を植えよう

会員増強・退会防止、親睦の推進。地域社会に貢献

会員の連携、明るい例会・・・新企画・出席率向上を目指す

長崎北RC 安達会長  
 長崎南RC 濱本会長  
 長崎東RC 朝永会長  
 長崎中央RC 浦川会長  
 東長崎RC 野上会長  
 長崎出島RC 草野会長

## ガバナー公式訪問

### 佐世保西ロータリークラブ

会長 井手 芳彦

猛暑の中の8月1日に田口ガバナーの公式訪問を受け、当クラブの実情を知っていただいた。懇談では、当クラブの国際奉仕・職業奉仕関連2大事業を中心に活動していくことが確認された。すなわち韓国姉妹クラブとの文化交流、西九州の小学生を対象にした第10回少年少女ミニバスケットボール大会の主催など、国内外の次世代を担う青少年に照準を合わせた、文武両道の事業を実践していることをアピールした。

クラブ創立37年目を迎え、他クラブと同様、会員数の減少が続いているが、29名という小所帯ながら会員はますます意気盛んである。「山椒は小粒でもびりりと辛い」をモットーに、身の丈にあった活動方針、くたく

のない明るい雰囲気、ベテランと若手会員の和気あいあいとした交流、いざというときの結束力、小回りのきく運営、などが我がクラブの特徴といえるだろう。

今年度の活動の骨子は上記の2大事業のほか、フォローアップ委員による現会員退会防止活動、ユニークな例会を目標にした創意工夫、各種情報の共有化・広報のためのIT技術有効活用、予算節減のため週報を当クラブで作成、などが挙げられる。各会員の実行力や協力に期待している。



### 佐賀ロータリークラブ

会長 織田 徳彌

去る8月10日(木)田口厚ガバナー、宮崎恒ガバナー補佐、吉田正和地区幹事、森義則ロータリーの友地区委員をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催しました。

当日は例会前に会長・幹事・会長エレクトとの懇談の時間をお取りいただき、クラブ運営等をご示唆いただき大変有意義な一時でした。

例会では、RI会長メッセージ及び田口ガバナーの地区活動方針の説明等、プロジェクターを使い、分りやすく解説をいただきました。特に本年度ガバナーが重点的に取り組まれている環境問題、地球温暖化防止対策はクールビズに代表される様、実行することが大事であるとの認識を深く致しました。

当クラブでも、ガバナー方針に基づき率先して、例会でのクールビズを実施しております。

また、12月に開催される地区大会においてもメインテーマとなっており、現況や情報を得、実行への参考に致したいと思っております。

佐賀RCの公式訪問で約半数の公式訪問が終了とお聞きしましたが、田口ガバナーはじめガバナー事務所スタッフの皆様の今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。



## 諫早南ロータリークラブ

会長 樋口 茂 樹

田口ガバナー、吉田地区幹事、荒木地区副幹事、宮崎ガバナー補佐をお迎えして、8月21日(月)公式訪問例会を開催させていただきました。事前の懇親会におきましては、創立8年目で若い会員層又第8グループでは唯一女性会員を擁するクラブという事出席率の問題から会員増強、例会時の服装等々含め幅広く協議させていただき、一つ一つに適切な御指導を給わり、これからのクラブ運営に活かすべく感謝致しております。例会におきましてもパワーポイントを使い、RIテーマ、地区運営方針又クラブの事業運営等を取り入れて簡潔に講和を頂き改めて感謝申し上げた次第です。我がクラブも2年後には一つの節目10年目を迎えます。10年目をいかに迎えるか、つまりどのようなクラブでありたいかを思う時、機構、内容等を含め会員一同が今、何かを考え行動する年度ではないか

と考えます。そのために一人一人がおおいに学び率先して活動して行く一年でありたいと思っております。



## 大村東ロータリークラブ

会長 松 村 学

8月21日(月)当クラブ定例会は、国際ロータリー第2740地区ガバナー田口厚様、地区幹事吉田正和様、地区副幹事荒木健治様そして第7グループガバナー補佐太田靖臣様をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。

例会前の懇談会また公式訪問例会中で、田口ガバナーには当クラブの抱えている問題点や活動状況などを分析し、改善に向けての提案など多くのアドバイスを頂きました。まだまだ11年という月日の浅いクラブですが、本年度会長方針『親睦と奉仕の原点を見つめて楽しい例会を!!』の合言葉のもと活動計画にたいして、田口ガバナーよりお褒めを頂きました。『若くて元気のあるクラブ』を生かしながら出席率を伸ばし、多くの会長賞に挑戦していきたいと思っております。

尚、当クラブより出向しております第7グ

ープガバナー補佐太田靖臣君と第8グループガバナー補佐宮崎清彰君のもと、3月24日(土)IMをコホストとして大村クラブ、大村北クラブ様に支援して頂き、大村にて開催を予定しております。第7・8グループの皆様ご協力を宜しくお願い致します。

最後に訪問頂いた田口ガバナーに感謝して報告をさせていただきます。



## ガバナー公式訪問

### ハウステンボス佐世保 ロータリークラブ

会長 松田 裕二

8月22日、田口厚ガバナー、芥川浩一郎ガバナー補佐、吉田正和地区幹事をお迎えして公式訪問例会を開催しました。当クラブは11年目で、会員数27名(本年度3名増加)の小クラブですが、会員同士のコミュニケーションの良いなか、新たな10年の一步を踏み出したところです。

例会前の会長、幹事、会長エレクトとの懇談会では田口ガバナーより環境に配慮して開発された未来都市、ハウステンボスにあるクラブとしての特性を活かし、より魅力あるクラブ造りへむけたアドバイスを戴きました。ご指導戴いた課題に会員全員で取り組んでいくよう努めたいと思います。

例会では本年度のR I会長のテーマや地区の活動方針などを判りやすくご説明戴きました。特に「地球温暖化防止」に関しては、環境問題に対する認識の高い当クラブとして、積極的に活動を進めたいと考えています。そして、ガバナーからのお言葉の「花も実もあるクラブ」に近づけるよう努めていきます。



### 佐世保ロータリークラブ

会長 中島 祥一

田口 厚ガバナー、太田晴康ガバナー補佐、吉田正和地区幹事、森 義則ロータリーの友地区委員をお迎えしての公式訪問例会を、クールビズスタイルを呼びかけ開催いたしました。

当日は3名の新会員の入会式も行い、ガバナーよりバッジを付与していただきました。また地区交換学生が、台湾第3480地区より来日し例会に初出席しました。新会員ならびに交換学生にとっても、印象深いガバナーとの対面となりました。

田口ガバナーからは、R I・第2740地区の現況及び本年度の方針を解りやすく丁寧に説明していただきました。途中、随所にガバナーご本人の経験談やエピソードなども巧みに

に織り交ぜていただき、ガバナーとしての熱意や人柄も十二分に感じることができた大変有意義なご講演でした。

森ロータリーの友地区委員からは、「友」の購読、活用についてのお話をいただき、「友」について再認識をすることができました。

今回の公式訪問は、会員の意識高揚の面やクラブの運営面に関しても格好の良い契機になったと確信いたします。



## 佐世保東南ロータリークラブ

会長 松田 士郎

去る8月23日(水)田口ガバナー・第6グループ芥川ガバナー補佐吉田地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問を終わらせていただきました。事前協議では、ガバナーより当クラブに対してのご助言をいただきまして本当に考えさせられるところがありました。

ご指導いただきましたことを肝に命じ、尚充実したクラブ作りに会員一同努力邁進していきたいと思っております。

例会にあたり田口ガバナーより本年度の地区運営方針の説明がされました。当クラブも会員数23名と少数で運営をしておりますが本年度目標の会員増強に力を入れて努力したいと思えます。



## 平戸ロータリークラブ

会長 安部 重幸

「澄み渡る 空と海とは青くして 平戸瀬戸には残暑かがやく」と同席された太田ガバナー補佐が詠まれました。そんなまだ暑さの残る8月24日に訪問していただきました。

会長、幹事、会長エレクト懇談では安部会長より平戸クラブの活動方針、事業計画等の説明を致しました。田口ガバナーからは、平戸は藩校の伝統を受け継ぎ文武両道の土地柄であり、平戸クラブは出席率が高水準で活気有るクラブであるとの褒めをいただき会員一同嬉しい思いを致しました。

また当日は新入会員(下條幸治君 十八銀行支店長)の入会式もあり、ガバナーみずからロータリーの襟章をつけていただき、感激の極みでした。

重点「奉仕プロジェクト」地球温暖化防止対策に向けて平戸クラブも環境問題に大いに取り組まなければと考えております。



## ガバナー公式訪問

### 松浦ロータリークラブ

会長 勝山善文

去る8月25日(金) 残暑厳しい中、田口ガバナー、太田ガバナー補佐、吉田地区幹事をお迎えして、公式訪問例会を開催しました。

例会前、会長、幹事との懇談会では、クラブ運営に関することや特色ある活動など意見交換をしました。また、田口ガバナーからは会員増強やロータリー財団のことで話があり、その方法や状況など指導を受けました。

例会では「率先しよう」をテーマにスクリーンで当クラブの現況などの話があり、平均年齢が若いので今後に期待する点などのお話をいただきました。田口ガバナーのユーモアを交えた卓話には会員もリラックスし、実のある例会だったと思います。

当クラブは、34名(女性1名)の会員で親

睦を大切にしながら、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」をモットーに活動しています。



### 長崎北ロータリークラブ

会長 安達健三郎

8月28日、田口ガバナーをお迎えし、11時より島崎ガバナー補佐、吉田地区幹事との協議会を行いました。田口ガバナーより、当クラブの概況、活動内容についての質問があり、そしてクラブ協議会のあり方などをお教え頂きました。

例会では、ガバナー直々にPHF表彰や新会員への入会セレモニーをして頂いた後、卓話を頂戴しました。ボイドRI会長が掲げる今年度のテーマ、強調事項、田口ガバナーが要望される事項等、お話を頂きましたが、特に感銘を受けた言葉として「RCは国を越え、民族を越え、宗教を越えた平和を愛する人々の集まり」としての誇りを持つこと、そして今年度のテーマである「率先しよう」のもとにガバナー自らロータリー活動に率先垂範していこうとの決意でした。

私ども長崎北RCは本年創立50周年を迎えます。チャーターメンバーはじめお世話になった方々への感謝の気持ちを胸に抱き、田口ガバナーと共に奉仕の理想を追いかけて行きたいと思います。



## 北松浦ロータリークラブ

会長 岩屋 和 俊

8月29日、田口ガバナーをお迎えして行われ、同行された吉田地区幹事、太田ガバナー補佐と会長、幹事、会長エレクトと例会前の約1時間半懇談会の場を持ち、当クラブの活動計画・実績報告について意見交換をして頂きました。

事前に資料をお渡ししておいたので、クラブ活動についての質疑等がスムーズに行われ、有意義な意見交換が出来ました事、感謝申し上げます。

北松浦RCは創立38年を迎えて、現会員は26名内、名誉会員1名です。

近隣4地区合同例会という例会を行なっておりましたが、生月RCがなくなり、3地区と寂しくなりました。また、当クラブも会員減少という中、新例会場になり、会員各自の

クラブに対しての意気込みが感じられるようになって来ました。委員会活動の幅が狭くなりましたが、会員一同、会員増強に向けてクラブの繁栄を取り戻す決意でありますので、今後とも、御指導の程、宜しくお願い申し上げます。



## 長崎琴海ロータリークラブ

会長 田中 直 孝

当クラブは、すばらしい大村湾の眺めと美味しい食事が楽しみな「パサージュ琴海」にて、毎週の例会を行っております。今年度は女性会員3名を含む23名でのスタートとなりましたが、純増2名を目標に、創立当初の25名を目指しています。

8月31日(木)には、荒天の中、田口ガバナー、野田ガバナー補佐、吉田地区幹事に公式訪問においで頂きました。大村湾の大パノラマはお見せすることが叶いませんでしたが、例会前の協議、例会ともに、ガバナーのご指導、温かい激励を頂き、会員一同感激した次第です。

今年度は、既存の事業に加え、田口ガバナーが重点テーマとされている環境問題にも力を入れた計画を立てています。また、来年3月にはクラブ創立15周年を迎えるということで記念式典も予定しており、砂田実行委員長長の指揮の元、ただ今着々と準備進行中で

す。

当クラブは、田中会長のもと、少人数ではありますが、家族も共に親睦を深めており、とてもアットホームな雰囲気クラブ運営を行っています。今年度も、楽しい中にも規律あるクラブ運営に努めていきたいと思っています。



# ガバナー公式訪問

## 長崎西ロータリークラブ

会長 馬場 政 徳

9月5日、田口ガバナー、野田第9グループガバナー補佐、吉田地区幹事、森ロータリーの友地区委員をお迎えしてのガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会に先立って行われた懇談会では、当クラブの特色をご説明する共に、ガバナーからは不備な点を丁寧にやさしく、または鋭くご指摘、ご指導を頂きました。

例会では、ガバナーからR Iと地区の方針等、懇談会の内容を素早く地区幹事が取り込んで、パワーポイントを使用してお話をさせて頂きました。

また、田口厚ガバナーを地域に密着した医者として取り上げた長崎文化放送番組「ビタミン」の収録も同時に行われ、更なる緊張感漂うガバナー公式訪問例会でございました。

今回の公式訪問でご指導頂いた事柄を糧に、当クラブは地区方針の達成とクラブ活動

計画に挙げた奉仕活動を、会員一丸となって着実に実行してゆく決意を再確認した次第であります。



## 長崎南ロータリークラブ

会長 濱 本 好 哉

9月6日に田口ガバナー、吉田地区幹事、島崎ガバナー補佐をお迎えして公式訪問記念例会を開催いたしました。例会前の懇談会では当クラブ運営についてガバナーのご指導をいただき、また活発な意見交換がされました。

そして早速この懇談会での内容を織り込んだ映像を見ながら始まった例会の卓話は、とても分りやすく貴重な時間となり、さらに田口ガバナーより米山記念奨学寄付累計額3000万円達成クラブとして表彰もしていただき、記念となる公式訪問となりました。

さて、今年度当クラブは「率先しよう」を積極的に実施しています。

- ① 対外的な奉仕活動をするために親睦が活力となり、また出席が重要である。
- ② 退会防止を考えるより、会員増強に力を入れる。
- ③ 地球温暖化防止対策を実行する。

以上の重点目標の実現に向けてまず行動を起こそうとなりました。去る8月24日旧銀

屋町の上野彦馬生誕の地に説明版を設置しました。その除幕式には長崎市長をはじめ地元商店街の方々そして会員20名が参加し、又多くのメディアの取材を受けました。広報を視野においた奉仕事業展開の重要性も考え、この事業の第2弾として10月28日には長崎市民、長崎女子商業高校インターアクト生徒、会員家族でこの上野彦馬ゆかりの町を歩くイベントを計画しています。

またクラブを挙げて国際青少年交換学生の派遣に協力し、このプログラムの成功にむけ協力していく体制を作ります。

クラブの伝統を大事にし、一方今の時代にあった奉仕を考えて行きたいと思えます。



## 長崎東ロータリークラブ

### 会長 朝永良介

ロータリー新年度が始まり2ヶ月が過ぎ、当クラブでは3回のクラブアッセンブリーを重ね、9月8日(金)田口 厚第2740地区ガバナー、吉田 正和地区幹事、島崎 静夫ガバナー補佐を迎えてのガバナー公式訪問例会を通常どおりの1時間の例会内で開催しました。

事前の懇談会では、当クラブの現状、活動計画、予算を説明し、その上で会員減少、会員平均年齢の高齢化(64.4歳)を指摘され、又、CAPの申請等のことについても当クラブの今後の課題とされました。

公式訪問は、時間内に行われましたが、慌しい中、約35分に亘りスクリーンにてパワーポイントでの地区の現状、当年度のRI会長の指針、ガバナー地区方針について、解りやすく説明され、意義ある例会となり感謝致します。

又、CLP(クラブリーダーシッププラン)

については、地区を中心にクラブ内でも討議を重ね、来年度以降の実施に向け、地区大会でも議論するということになり安堵致しました。

公式訪問の2/3が終わられ、お疲れの色が見えましたが、1年間2740地区の発展のためご指導を今後共お願い致します。



## 長崎出島ロータリークラブ

### 会長 草野幸子

当クラブは今年で創立8年目を迎えたばかりのまだ若いクラブです。現在の会員数は60名(9月15日現在)で、内女性会員が14名と多く、ビジターの皆さんからも「とても華やかで良い雰囲気ですね」との話を頂いております。

田口ガバナーの公式訪問はようやく朝晩に秋の気配を感じるようになった9月8日に行われました。今年度の4大奉仕部門における事業計画等について御質問や御指導を頂きました。中でも環境問題について認識を深める為の時間を設ける事、11月4日予定の長崎県内児童養護施設レクリエーション大会、次年度ホストとなるインターアクト年次大会の実行

委員会立ち上げは今後鋭意練り上げていく事項として挙げられた部分でありました。



## ガバナー公式訪問

### 長崎中央ロータリークラブ

会長 浦川 一 孝

ここ3年は59名の会員数で落ち着いている当クラブは、9月11日に田口ガバナー、島崎ガバナー補佐、吉田地区幹事をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。

例会前の会長・幹事・会長エレクトとの懇談会では、会員数、例会出席率、100万\$ 食事記念事業等に対する意見交換と共に、田口ガバナーより、各種奉仕活動への取組み、継続事業への考え方など、クラブ運営に関するご指導を頂きました。

例会では、田口ガバナーよりRIのテーマの説明と同時に、「何はともあれ足元から」「率先して櫻(けやき)を植えよう」のスローガンの下、会員相互の親睦を深め、櫻を植えることによって地球温暖化の防止に少しでも貢献出来ればといった、当クラブの運営方針や今年度の数値目標等がスクリーンに映し出されたので、会員一同再確認ができました

し、決意を新たにした次第です。

また、田口ガバナーが「国際協議会で学んだこと」として「日本のロータリアンは自分の家族にロータリー情報を伝えていない。」との発言には、私自身、身に覚えがあるものですから、私にとって「反省することのみ多かりき」の公式訪問例会でありました。



### 佐世保北ロータリークラブ

会長 古賀 新 二

9月11日、午後6時30分より田口厚ガバナーをお迎えし、公式訪問例会を開催いたしました。当日は吉田地区幹事、芥川ガバナー補佐、森ロータリーの友地区委員の皆様御出席のもと、事前懇談会では当クラブの活動等お聞き受け頂又、ご指導賜りました。例会では、当クラブ会員でGSE地区委員長故東島秀明氏の黙禱に始まり、事業活動、国際奉仕、総評ときめ細かにユーモアを交えてのご指導

と高い評価を頂きました。23年目を迎え会員47名、平均年齢59.7歳のクラブです。素晴らしい会員の存在と、活動内容に誇りを再確認できた例会でした。平均年齢59.7歳は世界のロータリーの平均年齢とまったく同じだそうです。田口厚ガバナーのご指導に報いる為にも世界の平均年齢より若くなるよう退会防止、会員増強等更に励んでまいりたいと思います。



## 島原ロータリークラブ

会長 亀田 広 望

去る9月12日(火)、ホテル南風楼において田口ガバナー、太田ガバナー補佐、吉田地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会前の懇談会では当クラブに対する貴重なご意見とご指導を頂き、例会では、終始和やかな雰囲気の中、田口ガバナー自ら今年度の地区方針を懇切丁寧に説明して下さい大変有意義なものでした。

島原クラブの創立は昭和39年2月1日で、これまで先輩方が築いてこられた42年の歴史を重く受け止め、特に今年度は「誠心、誠意」をテーマに掲げ奉仕の理想を追求したいと考えています。また、ガバナーが重点項目に挙げておられる『地球温暖化防止』につい

て理解を深め、また、懸案の会員増強については、当クラブの最重点課題として取り組んでいく所存です。



## 大村北ロータリークラブ

会長 牧 山 隆 雄

9月13日 第2例会(水・夜)が公式訪問でした。我がクラブは、31年目を迎え、会員数は32名で、創立以来出席率100%を継続中で、ホームクラブ出席率100%を年間10回以上数えています。会員一人ひとりが出席を権利と考え、「入りて学び、出でて奉仕」の精神を実践しているからでしょう。それに創立以来手作りの会報を続けています。また我がクラブの宝として毎例会の5分間情報を5年の周年ごとにまとめた「ロータリーの心を尋ねて」も5冊を数え、ロータリー100周年と30周年を記念して作成した「ロータリーの森を歩く」「ロータリーの森 駆け歩き」があります。また今度ロータリーの宝が増えます。それはポールハリスお手植えの月桂樹を根分け

した6本のその一つが、本経寺に寄付されることになりました。



# ガバナー公式訪問

## 諫早北ロータリークラブ

会長 白倉 一 男

我がクラブは昭和46年2月2日に承認を受け36年目を迎えます。会員65名と共に充実したクラブ活動を行っております。

去る9月14日はバナーに表現してありますように「六段の調べ」発祥の慶巖寺のもと、澄み切った青空、緑に囲まれた田園都市「諫早」へ田口厚ガバナーをお迎え致しました。

ボイドR I会長が述べる「率先しよう」を「率先垂範」とガバナーは解釈され、何らかの模範を示そうということでクールビズ・ノーネクタイでの公式訪問例会を当クラブでも実践させていただきました。

本年度の運営方針としまして

- 当クラブより選出された宮崎清彰ガバナー補佐を援護すること

- 国際親善奨学生を派遣すること
- 次年度の青少年交換留学生の派遣、受け入れの準備

また、執行部へ年数の若い会員を起用し、明るい楽しいクラブ作りに努めていきます。



## 佐世保中央ロータリークラブ

会長 坂井 智 照

田口厚ガバナーをお迎えしての公式訪問は9月14日、夜の例会でした。セントラルホテル佐世保に着き次第外のテラスの屋上緑化をご覧になられ、本年度の重点推進奉仕プロジェクトの地球温暖化防止についての話となりました。

例会前の1時間程田口厚ガバナー、芥川浩一郎ガバナー補佐、吉田地区幹事と当クラブの会長、幹事、会長ノミニーとの懇談で米山記念奨学生への支援、地球温暖化防止対策への当クラブの取り組み、白浜海水浴場クリーンアップ開催においての次代を担う子供達の健全育成のため、ゴミを拾うことにより環境問題への認識と、コミュニケーションの大切さを環境教室を盛り込んだ学習会、会員増強、奥様の会での婦人コーラスなどのご報告を行い、和やかな雰囲気の中で進行してまいりました。例会の卓話では田口ガバナーはスライドを交え、ユーモアあふれる実のある内容で点鐘時間を過ぎてしまうほどの熱の入れようでした。

当クラブの本年度スローガンは「集いて『一心、一愛、一徳』念うて『飲水思源』」であります。志を同じくし、その志す先を真っ直ぐに見据え、またその志の始まりを見失うことなく、一本のタスキを渡り継ごうとの想いを込めたも

のです。その志とは正に、ロータリー精神により生まれるものであります。現在のメンバーは創立当初と変わらない人数になりましたが、ここを出発点とし、会員同士力を合わせて、一歩、一歩前進して行きたいと思っております。



## 佐世保南ロータリークラブ

### 会長 岡崎 敏 幸

9月15日に田口ガバナー、吉田地区幹事、芥川ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催しました。例会ではスクリーンを使い本年度RI方針や活動目標について田口ガバナーからどう取り組んでいくべきか、非常に分かり易く講話して頂きました。それと私共クラブで進めております台中北區扶輪社との青少年のショートステイやインターアクトクラブ(聖和女学院高校・E.J.キング・スクール)活動への協力、教育人材バンク活動(小・中・高校生の職場体験受け入れ等)について高い評価を頂き、これからも長く続けて行くようにとご指導を受けました。

私共、佐世保南クラブは1958年創立で来年度には創立50周年を迎えます。現在会員数は78名に名誉会員4名、平均年齢60.42歳で構成しております。今年度は人間性を磨き、魂のステージをグレードアップし、親睦をより一層深め、他人への思いやりを忘れる事なく会員一同で奉仕活動を実行して行こうと考えています。特にクラブ内部の活動充実力を注ぎ、稟とした中にもやすらぎが漂うようなクラブの雰囲気造りを目指しております。姉妹クラブである台中北區扶輪社とは1992年の友好クラブ締結か

ら14年間相互に公式訪問、青少年のショートステイ交換、登山クラブの台湾での新山合同登山等で国際交流を進めて参りました。インターアクトクラブ(聖和女学院高校・E.J.キング・スクール)の相互交流や合同のボランティア活動への協力、教育人材バンク活動をこれからもクラブ協議会やクラブフォーラムを通して我々ロータリアンが如何に活動し、社会に貢献出来るかを考え実行して行きたいと思っております。



## 島原南ロータリークラブ

### 会長 吉田 秀 隆

島原南ロータリークラブは、今年で創立20年目を迎えた会員21名(平均年齢56.5歳)のクラブで、内2名が女性会員です。来春5月には、20周年記念行事を予定しています。

公式訪問例会は9月20日(水)田口ガバナー、吉田地区幹事、太田ガバナー補佐をお迎えして開催されました。

例会前の懇談会では、少人数クラブ故の悩みや、クラブ運営に関するご助言をいただき和やかな中にも有意義な会を持つことが出来ました。

例会では、挨拶の中で田口ガバナーが被爆直後、当地の親類宅に疎開された話を、懐かしそうにされていました。その後、今年度RIテーマ「LEAD THE WAY」や強調事項についての解説と、RIや地区ロータリーの現状等をパワーポイントを使いわかりやすく説明していただきました。

今回の公式訪問では、特に会員増強と退会

防止に力を入れてくださいとのご指導をいただき、全会員で協力し活動していくことを確認しました。当クラブの今期テーマ「和して奉仕」のもと、好意と友情を深めながら活動していきますので、今後ともご指導・ご助言よろしくお願いいたします。



# ガバナー公式訪問

## 東長崎ロータリークラブ

会長 野上 龍彦

去る9月19日、田口 厚ガバナー、島崎静夫ガバナー補佐、吉田正和地区幹事をお迎えして、公式訪問例会が開催されました。

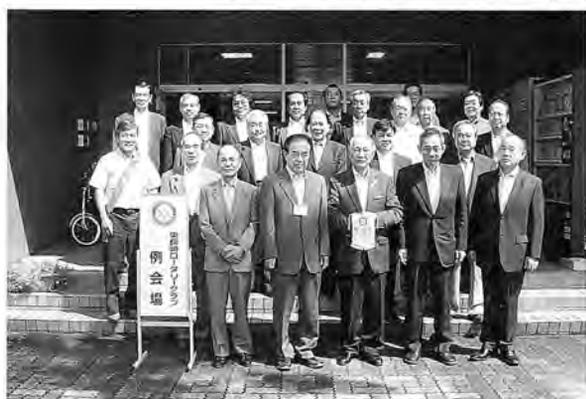
台風13号の爪痕が残る、少しざわついた例会場でしたが、事前協議、懇談会では、奉仕活動面で地元史跡等への着目、財政面で制度資金の活用、クラブ運営では会員増強の重要性等々、懇切丁寧にご指導頂きました。

例会においての卓話では、国際協議会の様子の説明から始まり、RIの推奨テーマの説明、地区の現況と推進目標の説明を、吉田幹事のパワーポイント操作と相まって、わかりやすくお話頂きありがとうございました。

懇談会、卓話でご指導頂きましたことを参考に、会員一同、一つでも多くの事業計画、

目標の達成に取り組んでまいりたいと思います。

田口ガバナー、島崎ガバナー補佐、吉田幹事の今後のご健勝とご活躍を祈念致します。



## 諫早多良見ロータリークラブ

会長 松本 尚武

9月19日、田口 厚ガバナー、宮崎ガバナー補佐、吉田地区幹事をお迎えして、公式訪問例会を開催いたしました。

田口ガバナーの卓話は、日頃、自ら実践されておられる医療活動等が、本年度のテーマ「率先しよう」と重なりそのお人柄や、ウィッ

トのきいた語りが笑いを誘い終始和やかな例会となりました。また、パワーポイントをもちいてわかり易くご指導いただきました。

本年度の、松本会長の方針は、ロータリー家族を巻き込んだ親睦活動を数多く実施し、家族の理解を深める。例えば伊王島クルージング例会や、長崎さるく博への参加等を予定しています。そして本年度は、5回目になります国際交換留学生の派遣を実施し、国際交流に積極的に取り組んでまいります。



## 長崎北東ロータリークラブ

会長 大原 玉 瑞

田口ガバナー公式訪問において、2740地区の現状、要望事項、地区重点推進に関して詳細に説明を頂き、会友に本年度地区方針に対する熱い思いが伝わりました。

懇談会では、当クラブへ忌憚のないご意見を賜りました。

会員増強に関しましては、ロータリー情報委員会が十分に機能することにより3年未満の退会者防止対策になること等、しかし究極は人間関係の構築にあるとは非常に含蓄のある言葉だと思います。

米山奨学生の選考基準に関する問題提起、地球温暖化防止については、啓蒙が柱となる、識字率向上活動として当クラブが「アンデスの風」を通してペルーの子供達に文具の援助活動を実施していること、ロータリーの仲間・友として多くの触れ合いの場を持ち

たい等、数多くの話題で充実した懇談会を終えることができました。

吉田地区幹事が懇談会の要点を即座に取りまとめ、田口ガバナーの卓話でのパワーポイントでの活用には敬服しました。



## 長崎ロータリークラブ

会長 松 本 慶 蔵

9月21日田口 厚ガバナーの公式訪問の日を迎えた。事前協議として、小生と大久保隆生幹事、石丸忠重会長エレクトと共に野田直幸ガバナー補佐が同席して行われたが、率直なご意見を開陳されて有益であった。公式訪問は田口ガバナー、野田直幸第9グループガバナー補佐、第1グループ宮崎恒ガバナー補佐、第3グループ蒲原孝之ガバナー補佐、第10グループ島崎静夫ガバナー補佐、吉田正和地区幹事も同行出席された。記念に田口ガバナーにはHerbert Taylor氏の四つのテストとバナーを、他の同行出席の方々にはバナーを差し上げた。田口ガバナーの卓話を40分と計画したが、吉田地区幹事がパワーポイントを動かしてお助けし、ガバナーが最後の訪問しかもホストクラブでの訪問でもあり、大変有意義な卓話であった。「率先しよう」が「率先垂範」であるとしたのはガバナーの卓見である。長崎クラブへの愛情を込めての卓話であった。第2740地区の会員減少の激

しさには正直驚いたが、古希を迎えた当クラブは地区最大ではあるものの、益々の質的増加を目標に、ガバナーの期待に答えたいと考え、それが実行しうる目安も得ている事を申し添えたい。過労もあられ帯状疱疹に罹患された由、どうかご健康に留意され、ご活躍あらん事を切に希望する次第である。





国際ロータリー第2740地区

2006～2007年度

# 地区大会のご案内

## 記念懇親ゴルフ大会

期日 11月18日(土)

場所 長崎国際ゴルフ倶楽部  
■ 8:00 スタート

## 地区大会本会議

期日 12月2日(土)

場所 長崎ブリックホール  
■ 9:00 ・登録開始  
■ 10:30～16:45 ・本会議  
(昼食を含む)

## RI会長代理を囲む会

期日 12月1日(金)

場所 長崎グランドホテル  
■ 15:00～17:00 会長幹事会  
■ 17:30～18:30 懇親会

・パネルディスカッション  
◎地球環境問題”温暖化防止”  
にどう取り組むか

コーディネーター  
早瀬 隆司 氏  
(長崎大学環境科学部 教授)



## 記念懇親会・新世代の集い

期日 12月2日(土) 場所 ホテルニュー長崎 ■ 17:30～18:30

## 記念講演会 (市民公開)

◎地球規模の環境問題を考える

期日 12月3日(日) 場所 長崎ブリックホール ■ 13:30～16:00

北野 大 氏



### プロフィール

明治大学教授  
工学博士  
経済産業省化学物質審議会委員  
環境省中央環境審議会委員

小池 百合子 氏



### プロフィール

内閣総理大臣補佐官  
(国際安全保障問題担当)  
前 環境大臣  
衆議院議員

IN NAGASAKI

# ◆◆◆寄付者紹介◆◆◆

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

	種 類	氏 名	クラブ名
ロータリー財団	P・H・F	喜多 清基	島原RC
	M・P・H・F	藤永 辰弘	佐世保南RC
	ベネファクター	高城 昭紀	島原RC
山本悌一郎		島原RC	
米山記念奨学会	米山功労者	大串 重幸	唐津RC
		中村 磯海	唐津中央RC
		山崎 祥弘	諫早西RC
	米山功労者(マルチプル)	岩永 龍幸	伊万里RC
		田尻 徳麿	伊万里RC
		辻本 善樹	諫早西RC
準米山功労法人	医療法人敬仁会 松浦病院	北松浦RC	

## 訃 報

慎んでお別れいたします。



故 谷口 秀雄 君  
(多久RC)



故 東島 秀明 君  
(佐世保北RC)

# LEAD THE WAY

## 新会員紹介

ロータリーの新しい仲間になりました方々をご紹介します。



神埼RC  
伊東 和孝君



武雄RC  
松尾 泰裕君



武雄RC  
江口 和味君



大町RC  
山崎 健君



唐津RC  
馬場 修君



唐津RC  
坂本 和久君



唐津東RC  
林 幸助君



佐世保南RC  
作元 誠司君



佐世保北RC  
小原 孝清君



大村北RC  
森 勇二君



諫早RC  
清水 次郎君



諫早RC  
原 健二君



諫早RC  
濱野 和雄君



諫早西RC  
南部 仁君



長崎RC  
磯谷 昌哉君



長崎RC  
若杉 等君



長崎北RC  
中満 洋一君



長崎出島RC  
前濱 弘善君



長崎出島RC  
山邊 時雄君

## 2006年9月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				6月末	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	3	80.5	69	0	71	0	2	0	0
	小城	4	89.3	32	1	30	1	-2	0	1
	牛津	4	88.6	32	0	33	0	1	0	0
	多久	4	90.6	43	5	43	4	0	0	0
	佐賀大和	4	79.2	25	3	24	3	-1	0	0
	小計		85.6	201	9	201	8	0	0	1
第2グループ	佐賀西	4	77.6	54	0	55	0	1	0	1
	佐賀北	4	84.1	41	3	42	3	1	0	0
	佐賀南	4	82.2	38	0	39	0	1	0	0
	神埼	4	78.6	28	0	31	0	3	1	1
	佐賀空港	4	59.4	16	0	16	0	0	0	0
	小計		76.4	177	3	183	3	6	1	2
第3グループ	有田	4	86.1	36	2	38	2	2	0	0
	武雄	3	86.2	56	0	58	0	2	2	0
	鹿島	4	89.5	39	1	40	1	1	0	0
	嬉野	4	85.3	23	0	22	1	-1	0	0
	大町	4	73.0	22	0	22	0	0	1	1
	白石	4	72.1	17	0	17	0	0	0	0
	太良	4	88.9	9	1	9	1	0	0	0
小計		83.0	202	4	206	5	4	3	1	
第4グループ	唐津	4	90.5	52	0	54	0	2	2	0
	伊万里	4	97.4	36	0	35	0	-1	0	0
	唐津東	4	93.7	52	0	51	0	-1	1	0
	唐津西	4	91.2	40	0	39	0	-1	0	0
	伊万里西	4	73.2	49	0	47	0	-2	0	2
	唐津中央	5	92.0	39	4	40	4	1	0	0
	小計		89.7	268	4	266	4	-2	3	2
第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	83	0	3	0	0
	平戸	4	90.8	41	0	42	0	1	0	0
	佐世保西	4	94.3	27	0	28	0	1	0	1
	北松浦	4	93.4	25	0	25	0	0	0	0
	松浦	5	81.8	32	1	33	1	1	0	1
	小計		92.1	205	1	211	1	6	0	2

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				6月末	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	4	100.0	77	0	78	0	1	1	0
	佐世保東	4	81.5	31	0	32	0	1	0	0
	佐世保北	3	98.2	46	0	47	0	1	1	1
	佐世保中央	4	100.0	40	0	40	0	0	0	1
	佐世保東南	4	82.6	23	0	23	0	0	0	0
	HTB佐世保	4	74.4	24	3	27	4	3	0	0
小計		89.4	241	3	247	4	6	2	2	
第7グループ	大村	4	96.9	47	2	46	2	-1	0	0
	島原	4	83.1	33	3	34	3	1	0	0
	雲仙	4	86.7	31	0	31	0	0	0	0
	大村北	4	100.0	32	0	32	0	0	1	0
	島原南	4	85.0	22	2	21	2	-1	0	0
	大村東	3	80.4	45	1	46	1	1	0	0
小計		88.7	210	8	210	8	0	1	0	
第8グループ	諫早	5	90.8	60	0	66	0	6	3	0
	諫早北	4	82.4	66	0	65	0	-1	0	1
	諫早西	4	90.7	43	0	44	0	1	1	0
	諫早多良見	4	85.8	37	0	37	0	0	0	0
	諫早南	3	76.1	31	4	32	4	1	0	0
	小計		85.2	237	4	244	4	7	4	1
第9グループ	長崎	4	83.9	93	0	99	0	6	2	0
	福江	5	84.7	40	0	41	0	1	0	0
	長崎北東	4	91.3	53	4	53	4	0	0	0
	福江中央	4	93.2	36	1	35	1	-1	0	1
	長崎西	4	78.0	66	0	70	0	4	0	0
	長崎琴海	4	71.4	23	3	23	3	0	0	0
	小計		83.7	311	8	321	8	10	2	1
第10グループ	長崎北	3	80.8	70	0	72	0	2	1	0
	長崎南	4	83.6	81	0	80	0	-1	0	0
	長崎東	4	98.5	66	0	68	0	2	0	0
	東長崎	4	82.4	35	0	35	0	0	0	0
	長崎中央	3	96.1	59	0	59	0	0	0	0
	長崎出島	5	74.8	58	15	60	14	2	2	0
	小計		86.0	369	15	374	14	5	3	0
合計		86.0	2,421	59	2,463	59	42	19	12	

佐世保駅

昭和



昭和33年

昭和60年



佐世保駅

現在



佐世保駅（長崎県）

佐世保駅は、明治31年1月に開業し、今日まで108年の歩みを持った駅です。現在は、JR最西端の駅・佐世保市の玄関口として、上五島航路の連絡駅、松浦鉄道との乗換駅という重要な役目を担っています。佐世保は観光を始めとし、九十九島の牡蠣・鯛しゃぶ又佐世保バーガー等があり、十分にお楽しみいただける街です。大村線・佐世保線の車窓を楽しみながらお越しください。（写真は昭和33年と現在の駅舎風景）

佐世保駅長 山口 文夫  
電話 0956(22)7115



国際ロータリー第2740地区

2006～2007年度ガバナー 田口 厚

事務所

〒850-0851 長崎市古川町8番29号（社団法人是真会内）

TEL：095-818-2660 FAX：095-818-2663

E-mail：ri2740@juno.ocn.ne.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

## 2006-2007

国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信  
クラブ会長・幹事各位



2006-2007年度  
国際ロータリーのテーマ

### 率先しよう

2006～2007年度ガバナー  
田口 厚



## CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
ポール・ハリスの月桂樹	2
ガバナー補佐リレー随想	3
国際青少年交換オリエンテーション	4
ロータリー財団国際親善奨学生募集要項	5
活動報告	7
合同例会	9
ガバナー公式訪問	11
新会員紹介	12
寄付者紹介	13
会員数・出席報告	15
文庫通信	16

### 箕島大橋

長崎空港と陸地を結ぶ唯一の橋である。長崎空港は長崎県の中央に位置する大村湾に浮かぶ箕島を埋め立てた世界初の海上空港として、昭和50年に誕生した。箕島は大村湾内に浮かぶ面積90万平方メートル、周囲7キロメートルの小島で、13世帯66人が暮らしていたが、空港建設のため移転に合意、昭和47年から建設工事を開始、約3年の期間と180億円の建設費を投じて、約154万平方メートルの用地を造成した。この空港と本土との間に架けられた橋が、長さ970メートル、幅8.5メートルの箕島大橋であり、年間約300万人の乗降客とその送迎者及び従業員並びに関連業者の殆どがこの橋を利用している。

(第7グループ ガバナー補佐 太田 靖臣氏)





ガバナーメッセージ

## 他地区訪問記・いざ地区大会へ

国際ロータリー第2740地区

2006-'07年度ガバナー 田口 厚

気温が急速に下がり始め、一気に秋を通り越し、冬の気配が濃くなっている。

クラブ公式訪問を終え休む間も無く、週末毎に他地区の地区大会に出席すべく、夫婦で駆けずり回りながら、わが地区大会の準備も多忙を極める昨今である。青森県八戸市・鹿児島県川内市・長野県飯田市・大分県別府市・愛知県名古屋市と九州内の、親しくしているガバナーの地区大会へ、友情応援登録出席であった。

いずれの地区大会でも、R I会長代理の講演はさすがに味のある話ばかりであった。人生論や世界観の話を読まれた方・ロータリー精神を説かれた方・R Iの現状を報告された方・ボイドR I会長の強調事項を詳しく解説された方もあった。またアトラクションもそれぞれ趣向を凝らしてあり、クラシック音楽・ブラスバンド・津軽三味線・郷土民謡・ロータリーアクターの出演もあった。記念講演も本当に人間の研鑽に役立つもの・感銘に満ちた話ばかりであった。名古屋の地区大会で行われたロータリーミーティングでは、当地区の佐古亮尊パストガバナーが講演され、満場の聴衆に大きな感銘を与えたようだ(代理出席・家内談)。今後も年が明けてから数地区の地区大会に出席し、親睦と理解を深めようと予定している。

11月18日は、試みとして会員の多くが参加できるよう、親善ゴルフ大会を本会議2週間前に名門長崎国際ゴルフ倶楽部(諫早市)で挙行了。肌寒い小雨の降るなか140名の参加があり盛会であった。また新しい企画として、各ガバナー補佐の協力を得て、グループ対抗戦も個人戦と併せて行なった。恥ずか

しながら、医者の不養生で体調を崩し、やむなく欠場した。

ゴルフ大会が終了したら、いよいよ地区大会本会議である。西村委員長・藤田幹事・石丸事務局長以下その準備に大童である。地区大会本来の趣旨は、高木R I会長代理・他地区のガバナー・パストガバナーをお迎えし、会員一同が1ヶ所に集い親睦を深めるためであるが、ロータリー情報の交換と研修も併せて行い、今後の奉仕活動の指針になればと思考している。

11月23日より岡山市でロータリーゾーン研究会が4日間行われる。かなりハードスケジュールであるが、そこでまたいろいろ勉強して、わが地区大会に於いて新しい知識を広めたい。





## ポール・ハリスの月桂樹

国際ロータリー第2740地区

パストガバナー 佐古亮尊

今般縁あってポール・ハリスゆかりの月桂樹が私のところへ移植されましたので、ご参考までにその由来を以下に述べてみました。

ポール・ハリスは昭和10年(1935)2月9日、マニラで開かれた第5回太平洋地域大会に向かう途中でわが国に立ち寄り、米山梅吉さん等と帝国ホテルの中庭に月桂樹の記念植樹をおこないました。この月桂樹は昭和43年帝国ホテル旧館の取り壊しのため移植のやむなきに至りました。しかしそのとき樹勢が衰えていたため、その保存移転に苦慮し、相談を受けたのが「手に手つないで」「それでこそロータリー」の作詞作曲家として有名な第一生命の矢野一郎氏でした。

彼は自分が社長を務める第一生命の大井本社に移植すると共に数本の挿木をこころみました。移植した親樹は発芽しないままに枯れてしまいましたが、挿木の方は専門家の努力によって6本だけが生育し、帝国ホテル、米

山記念館、二宮尊徳記念館などゆかりの場所に移植されていきました。

第一生命では昭和50年以降孫に当たる皿生の挿木を行い、そのうちの一本が軽井沢に建立されたアーサー・フレデリック・シェルドンの記念碑に贈られる事になりました。しかし気候風土が月桂樹の生育に合わないということで小堀憲助氏の経営するホミニス学園に移植されていました。

ところが、この度ホミニス学園が閉園される事になり、その皿生の月桂樹は大村北ロータリークラブの佐古亮尊に委託され、この平成18年10月15日佐古亮尊の住職する本経寺(大村北ロータリークラブの事務所もある)に運ばれて、16日境内の一角に移植されました。





ガバナー補佐 リレー随想

## ガバナー補佐体験から ロータリーに思いを寄せて

第5グループガバナー補佐 太田晴康(松浦RC)

7月に発行されたガバナー月信第1号のガバナー補佐挨拶に続いて2回目になります。挨拶の文面に皆様の連絡役として非力ながら役割と責務を果すべく精一杯努力して参りませ、と述べています。あれから5ヶ月何度も長崎に行きましたし、第5グループの各クラブのクラブ協議会、田口ガバナー公式訪問の同行など終えて役割の一端を果しつつあると思っています。その折各クラブ会長、幹事、会員の皆様には心暖まるお迎えをいただき、御配慮に心から感謝申し上げます。何事も越えねばならぬ峠を越える努力に生き甲斐の目的があることも知りました。そして人と人との交わりの新鮮さ、善意の心に感動することも知りました。各クラブの良さも学ばせていただきました。又田口ガバナー公式訪問に同行してパソコンとパワーポイントを使っての話術のスマートさと新しさに感心し、そして吉田地区幹事にも色々とお配慮いただき助かりました。私の心の中に一部屋出来て新しい思いでが積ってゆく思いです。さてロータリーのこと少し考えてみたいと思います。

13年前「松浦ロータリークラブ20周年誌」の中に歴代会長随想が記載されています。「私にとってロータリーとは」第9代会長(1981～1982)太田晴康とあり、「松浦ロータリークラブ創立20周年記念」心よりお祝い申し上げます。私は昭和48年チャーターメンバーとして入会して20年“光陰矢の如し”です。20年ロータリーの皆様とお付合したこ

とになります。多くの方との出会有り、そして学び、色々の委員会を多く経験し、自分の視野が広がっているのを実感する時ロータリーに感謝の念を覚えるのです。今過去の週報を手にして往時の例会や交友を偲ぶ時、生き生きと輝いている様に思えます。その底流に脈々と流れる職業奉仕の息づきが私の心の中にも流れ込んでいる様な気がします。そして日々の職業に奉仕の灯を消すことなく今日まで来られた様に思えます……(後略)。とありました。ロータリーに入会していなければ単調な人生でなかったかと思えます。ロータリーは時代、時代の流れの中で、環境が変わっていく中で、ロータリーの良さ、喜びを模索してゆきたいものです。次の責務は第4・第5・第6グループのIMです。第5グループが当番となり松浦ロータリークラブが担当となりました。テーマも今のロータリーの現状を把握して、学ぶことは何かを考えIM実行委員会を設立して、来年2月に向って会員一同になって進んでいます。最後になりましたが田口ガバナーの本年度重要推進プロジェクトとして、地球温暖化防止策をメインテーマにして地区大会で取り上げられました。今日の天候異変で災害を身近に感じる時にこのテーマの大切さを実感します。ロータリー会員それぞれの価値観は異なりますが親睦と友情を大切に同じ方向に向って心豊かに意義ある人生を共に送りたいものです。

06-07年度国際青少年交換

## 第2回オリエンテーション開催

先日10月29日に地区青少年交換学生のための留学準備のオリエンテーションが厚生年金休暇センターウェルサンピア伊万里を会場にして開催されました。

参加者 来日学生、派遣学生、ホストファミリー、クラブ関係者、地区委員 など27名

開催に先立ち青少年交換地区委員会が午前中開催され

- ① 留学生の早期帰国の経緯の説明
- ② 長崎くんちとさるく博と原爆資料館研修旅行
- ③ 九州研修旅行(来日学生)
- ④ 豪州学生の送別会(雲仙)
- ⑤ 関西と東京旅行(来日学生)

が検討され従来どおり開催することになりました。

午後から青少年交換学生の第2回オリエンテーションが開かれ

検討事項

- ① ホストファミリーとクラブ担当者の抱えている問題
- ② 来日学生における課題 特に日本語研修と研修学校
- ③ 派遣予定の学生のApplication Formの作成
- ④ 今回の早期帰国学生の経緯の説明

が熱心に話し合われましたが、昨今の留学生事情に皆様色々ご苦労されていました。



## 国際ロータリー第2740地区 2008～2009年度 ロータリー財団国際親善奨学生募集要項

1. 留 学 先 : ロータリークラブの存在する国
2. 募 集 人 員 : ①アカデミック・イヤー（1年）国際親善奨学生  
（単年度留学） 若干名  
奨学金額（1年間） 世界一律限度額 23,000 US\$  
②マルチ・イヤー（2年）国際親善奨学生  
（学位取得コース留学生） 若干名  
奨学金額（2年間） 1年間につき 11,500 US\$
3. 留 学 期 間 : 2008年7月から各々の留学期間（主に北半球教育機関）  
2009年2月から各々の留学期間（主に南半球教育機関）
4. 申 請 資 格 : ●日本国籍を持ち、奨学金制度が始まるまでに、少なくとも2年間の大学課程を修了した者。  
●ロータリアン、又はその配偶者、尊属、直系卑属でないこと。  
●リーダーシップがあり、学業成績も優れ、健康で国際親善活動に熱心であること。  
●留学希望国の言語に精通している者。  
【英語圏では TOEFL 213点以上（CBT）その他の言語の場合は BERLITZ の語学試験が全項目 good 以上を基準とする】  
●上記の一般的資格条件を持ち、更に下記の条件のいずれかに該当すること。  
① 申し込み地区の高等学校卒業生  
② 申し込み地区の大学、または、大学院に在学中の者  
③ 申し込み地区の研究機関に在籍中の者  
④ 申し込み地区に就業している者  
（但し、勤務先の雇主か上司の推薦状を添付すること）
5. 書 類 請 求 先 : 「2008～2009年度ロータリー財団国際親善奨学金申請書」は、必ずスポンサーロータリークラブを通して、下記のガバナー事務所に請求して下さい。  
〒850-0851 長崎市古川町8-29 (社)是真会5階  
R I 第2740地区ガバナー事務所 宛

Tel 095-818-2660

Fax 095-818-2663

E-mail ri2740@juno.ocn.ne.jp

送付先住所・氏名を明記し返信用切手200円を貼付した角2封筒を同封の上、請求して下さい。

6. 申請手続 : (1)申請者のクラブへの申請書提出期限 …… 2007年3月末日  
(クラブによって若干早くなる事が有ります。)
- ※申請者は、所定の「2008～09年度ロータリー財団国際親善奨学金申請書」の冊子を使用して必要事項を記入し、規定の同時提出書類を添付の上、スポンサーロータリークラブに提出して下さい。  
(冊子以外の用紙を使用しますと、番号漏れが生じる場合がありますので、ご注意、ご協力下さい。)
- ※申請者は、和文/英文の2通を作成し、2通とも提出して下さい。  
※申請書はガバナー事務所にありますので、クラブは必要部数を請求して下さい。
- (2)クラブからガバナー事務所への申請書提出最終期限は2007年4月20日です。  
提出申請書を受理したロータリークラブは、申請書記入項目確認の上、顧問ロータリアン1名を指名し、申請書のクラブ会長・顧問ロータリアンの署名欄に署名して、地区ガバナー事務所へ提出して下さい。  
注意事項として、クラブ会長・顧問ロータリアンの署名の記入がないときは、書類審査の対象外となります。
- (3)全頁の記入・署名欄は、全て線上に記入してください。

7. 選考方法 : ①書類審査、選考試験  
会場・日時は後日スポンサークラブ、申請者に通知します。
- ②選考結果の通知  
2007年6月下旬、スポンサークラブ及び本人宛に、合否の結果を通知します。
- ③最終選考  
2007年12月頃ロータリー財団本部(RI)より本人宛に受入教育機関の指定通知があります。

※尚 詳細はガバナー事務所、または、財団奨学委員にお問合せ下さい。

以上

## 活動報告

**(元西鉄ライオンズ投手) 池永正明氏野球教室**

## 平戸ロータリークラブ

最近の社会情勢を鑑みると、青少年とくに子供に対する家庭内外で事故が多発しており、時代を担う青少年の健全育成が必ずしも図られていない状況が見受けられます。このようなことから、平戸ロータリークラブ新世代委員会(小田計吾委員長)では10月29日13:00より赤坂野球場において、元西鉄ライオンズ投手池永正明氏、元福岡ダイエー投手木村恵二氏両名に快諾を頂き野球教室を開く運びとなりました。当日は幸いにも好天に恵まれ「平戸鬼洋蝶クラブ」、「サウスビーガス」、「生月少年野球クラブ」、「瓊川エンジェルス」の少年野球チーム4クラブを招き開催いたしました。少年達は池田、木村両投手に実際にボールを投げて貰ってバッティングをしたり、実践的なプレーを習ったり、ピッチャーは投球フォームを習い楽しく有意義な一日でした。また両投手よりサインボールを貰ったり、父兄、監督、子供達ともサインを貰ったり、記念撮影をしたりと一生記念に残るのではないのでしょうか。子供達にはスクスクと明るく大きな人間に育ってくださることを願っております。また、夜には17:00より池永氏、木村氏をお迎えし例会及び懇親会を行い酒あり、山崎会員による池永氏の人となりを紹介するトークショーありと、大いににぎわいました。最後に野球教室を開催するに当たり最後までお世話を頂いた「おじん野球チーム」の皆さん、その他物心両面でお世話を頂いた方に心よりお礼を申し上げます。

**池永正明氏 プロフィール**

1946年8月18日、山口県下関市豊北町出身  
右投右打

**神玉中学校(現豊北中)時代**

中学から野球を始める。

ずば抜けた運動能力の持ち主で、陸上の三種競技(走高跳び、砲丸投げ、100m)の山口県中学記録を樹立、全国大会でも3位に入った。

**下関商業高校時代**

2年生 春の選抜大会で優勝  
夏の選手権大会で準優勝

**1965年、西鉄ライオンズ入団**

1年目 20勝10敗の成績で新人王を獲得  
2年目 15勝14敗  
3年目 23勝14敗で最多勝を獲得、西鉄のエースに  
4年目 23勝13敗  
5年目 18勝11敗  
6年目 4勝3敗(9試合)

**木村恵二氏 プロフィール**

球歴は

柏原高校→近大→日本生命→福岡ダイエーホークス

日生のエース木村投手はホークスが1999年のドラフトで1位指名した。

制球力に優れ、スローカーブとチェンジアップを武器にリリーフで活躍した。

1965年 8月30日生 大阪府門真市出身  
右投右打

1990年 ドラフト1位でダイエーホークス入団

1991年 4月11日のプロ初登板で、西武の主砲清原和博から4打席連続三振を奪う鮮烈なデビュー

1999年 西武ライオンズ移籍

移籍後すぐ古巣ホークスからセーブ奪う

## 活動報告

## 有明海沿岸清掃

## 佐賀南ロータリークラブ

佐賀南ロータリークラブでは、平成5年以降、有明海沿岸清掃活動を行っている。この活動の目的は、レッドデータブック（日本自然保護協会）で絶滅の危惧種として扱われている学術上貴重な塩生植物「シチメンソウ」の保護育成にある。

秋に有明海沿岸を紅く染め上げるシチメンソウは、高さ20～40cmのアカザ科の1年生草木である。花のような葉が棍棒状に枝分かれして伸びた独特の形状であり、満潮時に潮をかぶり、干潮時には干潟になる場所、風波や潮流が少ない場所でしか生育しない。塩水に耐える植物であることから「塩生植物」とも呼ばれている。色変わりするのはシチメンソウだけの特徴で、植物学者としても知られる昭和天皇も有明海行幸の折、陛下ご自身が所望されてご覧になり、その特異な性質と美しい紅紫色に大変興味を示されたとのこと。

今年度「第26回全国豊かな海づくり大会」が、平成18年10月28日・29日に佐賀で開催される。天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、大会を通して人と海の共存共栄のあり方を、全国に向けて発信する予定である。

今年は、その大会を間近に控えた10月15日（日）午前8時から、300人を越える参加者で、下記の通り有明海沿岸清掃を実施。（佐賀南ロータリークラブ会員、33名参加）

- 日 時：平成18年10月15日（日）午前8時～  
 場 所：有明海沿岸  
 主 催：東与賀町、東与賀町社会福祉協議会、佐賀南ロータリークラブ  
 後 援：第26回全国豊かな海づくり大会佐賀県実行委員会、サガテレビ  
 清掃成果：4tトラック6～7台分のゴミを回収





第2グループ 佐賀西・神埼・佐賀空港 R C

**合同懇親ゴルフ会・合同例会開催報告**

国際ロータリー第2740地区

第2グループガバナー補佐 土井 洸

3クラブ初の合同例会を開催した。佐賀西 R C は、神埼 R C、佐賀空港 R C のスポンサークラブである。神埼 R C の創立は、昭和61年。佐賀空港 R C の創立は、平成10年である。その間、会員同志の交流は有っても、クラブ同志のイベントは開催されていない。今年度に成ってから、佐賀西 R C の久保志郎会長の呼びかけに、両クラブが喜んで賛同され実現に至った。当日は絶好のゴルフ日和で、参加者は草場パストガバナー他28名、花祭り G C で開催された。団体戦は佐賀西 R C の圧勝！ベストグロス、佐賀空港 R C の北川優幹事、最年長である佐賀西の佐久間忠雄さんは、グロス94と相変らずの健在ぶり。因に、優勝は私、ガバナー補佐の土井。但しス

コアは恥しながら！でナイショッ!!ダブルペリア方式には大変強いのです。

夜の懇親合同例会には、佐賀北 R C の古賀久志会長と佐賀南 R C の田中洋介会長も招待参加され、65名の出席であった。3クラブの会長の挨拶とゴルフの表彰式。本当に、時の経つのも忘れて、新しい交流の盛り上がり!!最後に、大きな輪と成って、「手に手つないで」の大合唱で締めくくりでした。また来春には第2グループ全体で開催する計画もあります。

※写真の撮影は佐賀西 R C の平野信一郎会員です。



## 親睦の和が広がった神埼R C、 佐賀北R C合同例会

国際ロータリー第2740地区 第2G神埼R C会長 腹巻和孝  
第2G佐賀北R C会長 古賀久志

双方のクラブの距離約10km。2年前、同じグループでありながら、中々交流が出来てないとの事で、神埼R Cのメンバーに佐賀北R Cの例会にお越しいただき合同例会を開催致しました。その後、合同例会の機会がなかったのですが今回、我々佐賀北R Cが神埼R Cの例会にお邪魔し親睦を深めようと企画致しました。

例会に先立って、晴れ渡る秋空の中、神埼R C vs 佐賀北R Cのゴルフ大会を開催致しました所、20名の参加者を頂き、和気藹々の中、楽しくプレーすることが出来ました。

夜の合同例会には、両クラブ合わせて60名余りの出席者を頂き、まずは各クラブで通常例会を行いその後、懇親会へと移りました。席順も両クラブのメンバーが交流出来る様に配慮を頂き、時間が経つにつれ、とても

合同例会とは思えない程盛り上がりました。

例会の中で昼間のゴルフ大会の表彰式も行いブーイングの起こる中、入賞者には両会長より、賞品の受け渡しも無事行われました。予定の時間を大幅に延長しましたが帰り際には、神埼R Cの全メンバーに玄関口でお見送り頂き、素晴らしいおもてなしを受け、帰りの送迎バスの中では、佐賀北クラブのメンバー一同、心温まる例会に感謝の言葉で盛り上がりました。

今後とも、他クラブとの交流の場が持てるような企画を実現していき、親睦の和を広げていきたいと思えます。

神埼R Cの皆様へ感謝！

佐賀北R C親睦委員長 吉田裕一郎

【開催日：2006年10月10日(火)】



# ガバナー公式訪問

## 大村ロータリークラブ

会長 西川 義文

大村クラブは、創立47年を迎え、会員数47名(会長経験者20名)でのスタートとなり、去る8月22日に田口 厚ガバナーをお迎えしての例会を開催致しました。

我がクラブの基本方針を、R I、地区運営方針を軸として会員増強退会防止、会員間の交流推進及び活性化、CLP導入の検討、地球温暖化防止対策への取り組み推進を四つの柱とし、『親睦と奉仕』という概念の下、『参加しよう、創めよう。ロータリー』をテーマに掲げ、会員同士の更なる親交を深め、世代間を超えて楽しめるクラブ運営を心掛けてまいります。

尚、例会当日は、田口ガバナー、太田ガバナー補佐、吉田地区幹事にはお忙しい中、懇

談会、卓話と長時間にわたり、親しく歓談、ご指導を頂き、会員一同心より感謝、お礼を申し上げます。ありがとうございました。



## 諫早西ロータリークラブ

会長 平野 義信

9月13日(水)、田口厚ガバナーをお迎えしてのガバナー公式訪問例会を開催致しました。

吉田正和地区幹事、宮崎清彰ガバナー補佐にも同行いただき、和やかな雰囲気の中に事前懇談会が行われ、クラブ運営に関するご指導や貴重なアドバイスを戴きました。また、当クラブの活動計画書(会員名簿、クラブ内規等含む)が良く出来ているとのことのお褒めの言葉も戴き、代々の会員の皆さんが作り上げてこられた賜物だと感謝しております。クラブ運営へのさらなる活力を授かった思いです。

例会では、たいへん有意義なお話を伺うことが出来、吉田地区幹事も時間を気にされるほどでした。

当クラブの今年度スローガンは「参加をしよう」としております。

ロータリアンとして率先するために、会員個々が各委員会活動をはじめとして事業活動に積極的に参加をし、より一層親睦を深め、一緒に奉仕活動を遂行したいと思っております。



# 新会員紹介

ロータリーの新しい仲間になりました方々をご紹介します。



佐賀RC  
藤井 通彦君



佐賀RC  
百武 靖之君



佐賀大和RC  
堤 眞敏君



佐賀南RC  
内田 光俊君



有田RC  
原田 信君



鹿島RC  
峰 一雄君



嬉野RC  
稲田千代蔵君



松浦RC  
西山 千里君



大村RC  
廣瀬 昌浩君



大村RC  
八塚 勲君



諫早多良見RC  
烏山 徹君



長崎北東RC  
佐藤 國興君



長崎西RC  
石橋 均君



長崎北RC  
吉浦 啓介君



長崎南RC  
今田 英東君



長崎南RC  
野田 信之君



長崎南RC  
川添 徳也君

# ◆◆◆寄付者紹介◆◆◆

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

	種 類	氏 名	クラブ名
ロータリー財団	P・H・F	八重野一洋	佐世保中央RC
		本村 政信	佐世保中央RC
		浜中 洋	長崎北東RC
	M・P・H・F	山下 尚登	佐世保RC
		松永 清	佐世保東RC
		高松 裕吉	佐世保中央RC
		志村 祐二	佐世保中央RC
		田口 厚	長崎RC
		大原 玉瑞	長崎北東RC
		上田 恵三	長崎北RC
		常多 勝己	長崎北RC
		阿保 守邦	東長崎RC
		西岡 英一	東長崎RC
	ベネファクター	塚崎 寛	長崎中央RC
		水田 彰男	唐津中央RC
		町田 憲明	長崎北東RC
大口寄付者	濱本 好哉	長崎南RC	
米山記念奨学会	米山功労者	高木聰一郎	長崎RC
		深町 等	佐世保北RC
		峯 徳秀	佐世保北RC
		菖蒲 公治	諫早多良見RC
		永井 剛	長崎RC
		今村 音松	福江中央RC
		豊島 壯光	東長崎RC
		馬場 泰憲	長崎中央RC
		堤 祐敬	長崎出島RC
伊東 啓雄	長崎出島RC		

種 類	氏 名	クラブ名	
米山記念奨学会	米山功労者 (マルチプル)	瀧 健治	佐世保北R C
		池田 敏明	佐世保北R C
		須田 昇	佐世保北R C
		山北 恭行	佐世保北R C
		芥川浩一郎	佐世保中央R C
		牟田 憲市	佐世保中央R C
		福田 英彦	佐世保中央R C
		西川 義文	大村R C
		南野 健	大村北R C
		山本 登	福江中央R C
		塚崎 寛	長崎中央R C
		押瀨 禮子	長崎出島R C
米山功労者 (メジャードナー)	堤 和之	佐賀大和R C	
	隅田 達男	伊万里R C	
	福田 俊郎	佐世保北R C	

## 訃 報

慎んでお別れいたします。

故 大塚 清信 君  
(鹿島R C)故 内山 守人 君  
(伊万里西R C)故 兵頭 輝久 君  
(長崎南R C)

## LEAD THE WAY

## 2006年10月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				6月末	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	4	76.5	69	0	72	0	3	2	1
	小城	4	90.8	32	1	29	1	-3	0	1
	牛津	4	82.6	32	0	33	0	1	0	0
	多久	4	84.7	43	5	42	4	-1	0	1
	佐賀大和	4	80.0	25	3	25	3	0	1	0
	小計		82.9	201	9	201	8	0	3	3
第2グループ	佐賀西	4	69.8	54	0	55	0	1	0	1
	佐賀北	4	76.0	41	3	42	3	1	0	0
	佐賀南	4	85.6	38	0	40	0	2	1	0
	神埼	4	73.4	28	0	31	0	3	0	0
	佐賀空港	4	59.4	16	0	16	0	0	0	0
	小計		72.8	177	3	184	3	7	1	1
第3グループ	有田	4	82.4	36	2	39	2	3	1	0
	武雄	4	82.8	56	0	57	0	1	0	1
	鹿島	5	89.0	39	1	40	1	1	1	1
	嬉野	4	82.6	23	0	23	1	0	1	0
	大町	4	74.0	22	0	21	0	-1	0	1
	白石	4	72.1	17	0	17	0	0	0	0
	太良	4	97.2	9	1	9	1	0	0	0
小計		82.9	202	4	206	5	4	3	3	
第4グループ	唐津	4	94.4	52	0	54	0	2	0	0
	伊万里	4	96.7	36	0	35	0	-1	0	0
	唐津東	4	93.8	52	0	51	0	-1	0	0
	唐津西	4	86.7	40	0	39	0	-1	0	0
	伊万里西	4	82.7	49	0	47	0	-2	0	0
	唐津中央	4	93.3	39	4	40	4	1	0	0
	小計		91.3	268	4	266	4	-2	0	0
第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	83	0	3	0	0
	平戸	4	84.7	41	0	42	0	1	0	0
	佐世保西	4	96.9	27	0	28	0	1	0	0
	北松浦	5	87.4	25	0	25	0	0	0	0
	松浦	4	88.2	32	1	34	1	2	1	0
	小計		91.4	205	1	212	1	7	1	0

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				6月末	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	4	100.0	77	0	78	0	1	0	0
	佐世保東	4	81.4	31	0	32	0	1	0	0
	佐世保北	4	94.4	46	0	47	0	1	0	0
	佐世保中央	4	100.0	40	0	40	0	0	0	0
	佐世保東南	4	81.5	23	0	23	0	0	0	0
	HTB佐世保	5	69.1	24	3	26	4	2	0	1
	小計		87.7	241	3	246	4	5	0	1
	第7グループ	大村	4	92.3	47	2	48	2	1	2
第8グループ	島原	5	83.0	33	3	34	3	1	0	0
	雲仙	4	89.6	31	0	31	0	0	0	0
	大村北	4	100.0	32	0	32	0	0	0	0
	島原南	4	76.0	22	2	20	2	-2	0	1
	大村東	4	80.4	45	1	46	1	1	0	0
	小計		86.9	210	8	211	8	1	2	1
第9グループ	諫早	4	87.2	60	0	66	0	6	0	0
	諫早北	4	80.2	66	0	65	0	-1	0	0
	諫早西	4	87.0	43	0	44	0	1	0	0
	諫早多良見	4	84.2	37	0	38	0	1	1	0
	諫早南	4	75.0	31	4	32	4	1	0	0
	小計		82.7	237	4	245	4	8	1	0
第10グループ	長崎	3	80.7	93	0	99	0	6	0	0
	福江	4	85.1	40	0	41	0	1	0	0
	長崎北東	4	89.4	53	4	53	4	0	1	1
	福江中央	5	93.7	36	1	35	1	-1	0	0
	長崎西	4	76.5	66	0	70	0	4	1	1
	長崎琴海	4	67.4	23	3	23	3	0	0	0
	小計		82.1	311	8	321	8	10	2	2
合計	長崎北	4	82.3	70	0	73	0	3	1	0
	長崎南	4	75.7	81	0	82	0	1	3	1
	長崎東	3	98.5	66	0	68	0	2	0	0
	東長崎	5	85.3	35	0	35	0	0	0	0
	長崎中央	3	96.6	59	0	59	0	0	0	0
	長崎出島	3	70.7	58	15	60	14	2	0	0
	小計		84.8	369	15	377	14	8	4	1
合計		84.7	2421	59	2469	59	48	17	12	

# 文庫通信 (230号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 「クラブ活動の資料として(1)」

- ◎「DLPとCLPの重要性について」 南園 義一 防府RC 2006 8P
- ◎「ロータリー第二世紀への船出—充実したクラブ奉仕活動が基本」  
板橋 敏雄 2005 12p (D.2610 地区大会)
- ◎「ロータリーは率先する人の集まりです」 渡辺 好政 2006 1p (D.2690 月信)
- ◎「ロータリー第2世紀を迎えて」 田中 作次 2006 3p  
(第34回ロータリー・ゾーン研究会報告書)
- ◎「職業奉仕の核にあるもの」 深川 純一 2006 17p (八戸RC週報)
- ◎「魅力あるロータリークラブとなるために」 西村 栄時 2006 4p (D.2710 月信)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

※必読の書(復刻版)増刷出来る 領価1500円(送料別)

### 『ロータリー・モザイク』

ハロルドT. トーマス著；松本兼二郎訳

本書は、1905～1970年代までのロータリーの思想の移り変わりを解説している。ロータリーの生い立ちと進歩発展の歴史を元RI会長が綴ったロータリアンの質的成長の記録でもある。

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝日

### 【お詫び】

先月のガバナー月信(Vol.5)の表紙説明で、「唐僧子禅師」となっておりましたが、「唐僧黙子禅師」の間違いでしたので、訂正を報告し、お詫び申し上げます。

(ガバナー月信委員会)

有田駅

昭和



有田駅

現在



### 有田駅（佐賀県）

有田駅の開業（1897年）明治30年7月10日

駅舎が新しくなりましたのは、平成8年6月12日改築営業。その年に、世界焔の博覧会が有田町にて開催されたのを機に、改築されました。新駅舎は有田町にふさわしい「昇り窯」をイメージされ、「日本磁器発祥の地」として建てられました。

有田駅長 西田 辰実

電話 0955(42)2820



## 国際ロータリー第2740地区

2006～2007年度ガバナー 田口 厚

### 事務所

〒850-0851 長崎市古川町8番29号（社団法人是真会内）

TEL：095-818-2660 FAX：095-818-2663

E-mail：ri2740@juno.ocn.ne.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

## 2006-2007

国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信  
クラブ会長・幹事各位



2006-2007年度  
国際ロータリーのテーマ

### 率先しよう

2006～2007年度ガバナー  
田口 厚



## CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
ガバナーエレクト 新年のご挨拶	2
ガバナー補佐 新年のご挨拶	3
友委員会 地区委員会議から	8
地区大会報告	9
来日交換留学生の九州研修旅行	13
活動報告	14
新会員紹介	15
寄付者紹介	16
会員数・出席報告	17
国際ロータリー年次大会のご案内	18
Rotary International Master Card ご入会のお願い	18

### 新西海橋(手前)と西海橋

新西海橋下付近は日本三大急潮に数えられ  
渦潮を楽しむことができます。

新西海橋の自動車専用道路の下部には、歩  
道が設置されており歩道中央部にはガラス  
ののぞき窓があり、真下の渦を見ることが  
できます。

橋長620m 開通 平成18年3月5日





ガバナーメッセージ

# 年 頭 所 感

国際ロータリー第 2740 地区

2006-'07 年度ガバナー 田 口 厚

明けましておめでとうございます。

第 2740 地区の会員各位におかれましてもそれぞれの新年を迎えられたことと存じます。ロータリー年度の 2 分の 1 が経過しました。ガバナーとしての主な職責のうち各委員会の研修セミナー・クラブ公式訪問・ロータリーゾーン研究会・そして最大の行事の地区大会も順調に滞りなくかつ天候にも恵まれ終了しました。まだ他の地区ではクラブ訪問中のガバナーもおられ、地区大会も 15 地区は 2 月以降に行なわれるようです。

わが 2740 地区の地区大会においては、記念親睦ゴルフ大会に 140 名の参加（成績は別掲）があり盛会であったこと、R I 会長代理として来崎された高木貞一郎館林 RC のバスターガバナーのご熱心さと多数の同期ガバナーの応援来場であったことが特筆されます。あらためてホストクラブ、コ・ホストクラブや睦輪会のメンバーのご苦勞に感謝いたします。

前半期の総括として、変換期を迎えた R I がボイド R I 会長を中心にその舵取りに本気になったようで、CLP の推進とか留学生の事故防止に積極的に乗り出しました。地区としての会員純増は 57 名（11 月末）と順調ですが、R 財団・米山奨学記念会の寄付地区目標に対してはかなり出遅れているようです。正直申しまして日本の西端にある我が 2740 地区は景気回復も未だしの感があり、後半の会員諸氏のご尽力に期待するのみであ

ります。

今後の年度後半期の予定行事は、各グループ主催のインターシティーミーティング・財団・米山奨学生の選考などがありますが、特にお願したいことは本年 6 月アメリカ ユタ州ソルトレイクシティで開催される国際ロータリー世界大会に是非ご出席して頂きたく、地区として登録・交通宿泊について旅行業者と交渉中でガバナー事務所にて取り纏める予定にしています。またクレジットカードとしてロータリーカードの利用をお願い致します。これは日本で 5000 枚になるとその手数料が R 財団に算入されることとなります。これには普通・ゴールドカードがあり、入会金不要で ETC も利用出来ることになりました。取り扱いはおリコで現在 3500 枚利用されているが本地区ではまだ数枚しか利用されていないので購入していただくようよろしくお願い致します。

幸いなことに我が地区は野口ガバナーエレクト・鈴木ガバナーノミニも諮問委員会のご尽力により順調に決定して、ガバナー事務所の引継ぎはスムーズに行なえると安心しています。

今冬のインフルエンザについてはまだ流行の兆しはありませんが、現在はノロウイルス感染による嘔吐下痢症が猛威を奮っています。会員諸氏のご自愛をお祈りいたします。



# 新年のご挨拶

国際ロータリー第2740地区

ガバナーエレクト 野口 清

ロータリアンの皆様明けましておめでとうございます。

今年はいよいよ私がガバナーの責務を果たさなければならない年であります。皆様には今年度色々とお迷惑をおかけすることと思っておりますが何卒よろしくご協力の程お願い申し上げます。

景気は良くなっているとは言うもののまだ我が2740地区内は色々大変な状況が続いている様に感じます。会員の減少、退会者の増加などがそれを表しています。今年こそは皆様の笑顔が見られる様な年になれば良いですね。

1905年ポール・ハリス等がロータリーを作った時期も経済恐慌時代で今の状況と同じ様な状況であった様です。その時違う職業の3人が集まって色々話し合い助け合い経済恐慌時代を乗り切ったと聞いています。最初の頃は自分たちの事だけの仲良しクラブであったそうです。それが次第にそれではいけない、社会に奉仕をする事が必要であると言う気運が高まり、現在の状況になって行ったと言う歴史があります。

ロータリークラブは時間とお金がある人のクラブではなく自分と自分の職業をより高めるためにあると考えています。自分と自分の職業が高まれば自然と自分の職業は繁栄すると思います。今こそロータリーが必要でありロータリアンがロータリーを活用する時であると思います。ロータリアンが力を合わせこ

の状況を乗り越えようではありませんか。あの時代のポール・ハリス等と同じ様にロータリアンがお互いに知恵を出し合いこの状況を乗り越え皆様の職業が大いに繁栄する事を信じております。繁栄したら大いに有意義な奉仕を実行しようではありませんか。人間は一人では何も出来ません。あなたの友達のロータリアンが仲間です。くれぐれも経済的に大変だからと言って退会はなさらないように。大いにロータリーを活用し乗り切ってください。

今年度はCLP、青少年交換の危機管理委員会などロータリーにとっても大きな変革の時期にさしかかっていると思います。この時期こそロータリーの原点に戻る事が肝要だと思います。ロータリーの綱領は100年間変わっておりません。このロータリーの綱領に従ってロータリー活動の中心を職業奉仕にしようではありませんか。

最後に今年が皆様にとって本当に良い年になりますように心からお祈り申し上げます。



## ガバナー補佐 新年のご挨拶



第1グループ ガバナー補佐

宮崎 恒 (佐賀大和RC)



お健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧い年を振り返って見ますと、年の初めの計画とは、大きく変わってしまった一年のように思えます。「年寄りや年寄りらしく」の思いで、いろいろな計画を立てたつもりが、どこで方向転換したのか……「静」であるはずが、いつの時点から「動」に変わったのかモーツァルトを楽しむ時間はどこへやら、焼きものに触れる機会も少ない年でした。

その見返りでしょうか、大勢の方にお目にかかる事ができました。肩肘を張らずに付き合える人の数が、倍加した年であったと思えます。その付き合いが広がり、深まる年が2007年と考えております。平成19年は「丁亥」。景気はよくなっていると伝えられます

が、まだまだ実感出来ません。

地球温暖化を始め私たちを取り巻く環境は決してよくなっていません。心配な事の多い年かも知れません。私自身、放送局を定年退職してから二度目の「年男」です。亥年は、猪突猛進と言われる反面「思慮深さ」があるとも言われます。猪突猛進は慎みながら率先して事に当たる年にする事が出来ればと願っています。補佐の任期も残り半年。まだ各クラブへの訪問が残っています。第一グループの今年は、まず「IM」、6月には牛津クラブの30周年、そして佐賀クラブからの新ガバナーのスタートです。頑張りましょう。

どうぞ新しい年も、よろしくご指導ご鞭撻ください。



第2グループ ガバナー補佐

土井 洸 (佐賀西RC)



2006～2007の半年間が過ぎた。ガバナー補佐として、考える余裕もない時期が過ぎて、少し落ち着いて、これからの半年間を迎えられる思いだ。精神的にドタバタ状態で突入した、田口ガバナーの公式訪問であったが、吉田地区幹事とのコミュニケーションが上手くいったのと、佐賀西RCで補佐の事務局をテキパキと捌いてくれた、前田博憲さん、久保会長の気遣いで無事終了出来たと思う。年次大会については、田口ガバナーがどのように評価されるのか？第2グループとしては、各クラブの積極的な取り組みが得られたと思う。

来年度、第2グループのガバナー補佐も、佐賀空港RCの初代、二代目会長を務められた、榎藤幸彦氏に決断していただいた。少人

数のクラブではあるが、まとまりのよいクラブであるし、第2グループの良好なクラブ関係から、グループをあげてバックアップ出来る事である。

暫くの間、少し距離を置いて見て来たRCであったが、突然のガバナー補佐役を務めさせられて、私にとっては新しいロータリーの世界が見え、感じられつつあるように思う。これまでとは異った広い範囲を動く事によって、JC時代の旧友との再会、身近なロータリアンに対する再認識、新しく生れつつある友人関係、いくらかの恥もかいたかも知れないけれど、男は「アイキョウ」にしておこう。これから半年、地球温暖化防止について第2グループ本格的に知恵を出し合いましょう!!



第3グループ ガバナー補佐

蒲原孝之(鹿島RC)



新年明けましておめでとうございます。

ロータリアンの皆様心新たに2007年の新春を迎えられた事とお慶び申し上げます。

今年度も早6ヶ月が過ぎ去りました。無我夢中で取り組んだガバナー補佐の仕事、長いようで短かった思い出は唯々ガバナー始めスタッフ一同そして多くのロータリアンの皆様方の暖かい御支援、御指導、御激励の暖かさに深く感謝致しております。とくに第3グループの皆様には、年度始めよりクラブ協議会に何も判らず緊張の中に訪問させて頂きましたが、どのクラブも心温まる歓迎を受け、ロータリアンの好意と友情に接し今更ながら心に深く感銘致しております。

これから半年、未だ残された職責も多く、これからが本当の正念場ではないかと思いま

す。「率先しよう」のテーマに向かって率先垂範し、ガバナー指標の目的達成に一丸となって努力して行きたいと思えます。好意と友情を深め更なる発展を期し奉仕の理想の原点に帰り、輝かしい新春の門出にしたいと決意を新たに致しております。

今日まで頂いた多くのロータリアンの方々の更なる御指導、御鞭撻並びに、御支援、御教示賜らんことをお願いし職責達成の為に全力を尽し頑張る覚悟であります。

ガバナーを初めロータリアン皆様方の幸多い一年を祈念し地域発展のために更なる奉仕に向かって前進いたしましょう。

時節がら御健康に留意され、後期の活躍を祈念申し上げ年頭の御挨拶と致します。



第4グループ ガバナー補佐

立華浩(唐津中央RC)



## 無量寿

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様、つつがなく元朝を迎え、気も新たにロータリーの大道を邁進されていることと拝察致します。

RIのテーマ「率先しよう」を基本理念とし、地区重点推進プログラムである環境保全、地球温暖化防止対策に、職場、地域、家庭において、真剣に取り組んでおられることに敬意を表します。

三十数年前ですが、ボーイスカウトの指導者研修会が、唐津の鏡山で開催されました。

雪の降る悪天候でのキャンプに疲れた私は、

中身が空になったプラスチック容器を、何気なく山の窪地に捨てたのです。それを見ていた講師から「地球が呼吸できなくなる」と、注意された事を覚えています。人間ならば、体内に異物を移植されたと同じ状態であり、とても生きてはいけません。

人類は「ゴミによって滅亡する」ともいわれますが、現在、地球が悲鳴をあげているのは事実であり、環境保全が我々にとって永遠のテーマである以上、「拾う美德よりも、捨てない美德」が、肝要と思えます。

年頭にあたり、皆様の弥栄を念じあげますとともに、かわらぬご厚誼を賜りますようお願い申しあげまして、ご挨拶といたします。

**LEAD THE WAY**

第5グループ ガバナー補佐

**太田晴康 (松浦RC)**

2007年の年頭にあたり新年のお慶びを申し上げます。昨年第5グループのガバナー補佐の役を拝命して以来、第5グループの会員の皆様、又他クラブの皆様には大変お世話になりました。今年も相変りませずよろしくお願ひ致します。新年度に向かってロータリーを考えますと、ロータリーの自己存在の健全であることに家族の大切さが思われます。昨年「ロータリーの友」の12月号の1ページにRI会長メッセージ「ロータリーの家族」と題して、人生における家族の大切さ、又ロータリーと家族について述べておられます。読まれて新年のロータリーの思いを新たにしたいものです。

新年早々各グループでIMが開かれます。担当クラブは忙しくなりますが、ロータリー

の発展を願っての自己研鑽であり、友情と親睦の原点を見出し、共に仲間意識を持ち共通の目的に向かって手を取り合って、自分なりのロータリー人生を持ちたいものです。

個人的なことですが、昨年1月1日の某新聞の半面一紙に大きな抹茶椀から湯気が漂って立ち上り、そこに「約束、感謝、親愛、決心、音信、心願、精進、無欲、静思、向学」と云う文字が横に並んで書いてありました。どれ一つ取っても生きてゆく上に大切なことと思ひ壁に貼って見て来ましたが、まだ精進が足りず今年の1年の計としてそのままに見守ってゆきたいと思っています。会員の皆様も健康に留意され新しい年に向って御多幸をお祈り致し新年の御挨拶とします。



第6グループ ガバナー補佐

**芥川浩一郎 (佐世保中央RC)**

皆さま 明けまして おめでとうございます。

昨年は補佐として各クラブを「公式訪問」いたしました、大変にお世話になりました。半年を振り返り色んな勉強をさせて頂き深く感謝いたします。10名の補佐の連携も上手くとれ、地区大会では「今年度の補佐会」が設立され、共に苦勞した「仲間意識の確認」を今後末永く継続できるものと「楽しみ」にいたします。

年の初めは「元旦」です。一日の始まりは朝起きたとき、一週間の始まりは月曜日、一月の始まりは一日、一年の始まりは元旦、その他にも多くの祝祭日、記念日もあり、自分

で意識してつくれば時間の節はいくらでもあります。

そういう機会を捉えて、あのときの緊張感、あのときの感激を今再び思い起こしたいと思っています。年の初めの「元旦」は、そのための「絶好の機会」だと思ひます。新年も「公式訪問」で、お世話になるとおもひますが、宜しくお願ひいたします。

新年も「明るく 楽しく 元気良く」で訪問いたします。



第7グループ ガバナー補佐

太田 靖 臣 (大村東RC)



新春のお慶びを申し上げます。

早いものでガバナー補佐を拝命し半年が過ぎました。地区大会も終りホッと一息、どうすれば良いのだろうと悩んだ7月の夏の暑さも、そして冷や汗をかいた8月、9月のクラブ協議会、田口ガバナーのあの明るく軽妙な語り口の公式訪問、それを絶妙なタイミングで支える吉田幹事、あれもこれもその一つひとつが今では心地よい思い出になりそうな今日この頃です。

何より嬉しかったのは第7グループ、6クラブの会員皆様が、暖かい気持ちで接して下さった事、助けて頂いた事です。そして、第7グループの宿命であります地域間のハンディーを「地域は離れていても、親睦の心は一つ」という気持ちを各クラブのメンバーに理解していただき、互いのクラブの実情を語り合うことが出来たような気がします。

そして今、島原・大村の距離を縮めるため、

互いに会える機会をつくろうという気運が生まれ、手始めに合同のゴルフコンペを開催しようという話が持ち上がっています。是非、今年度実現したいものです。3月24日に第7・8グループのIMが行われます。皆様のお力を借りて内容のある大会にしたいと思っています。

この半年の時間のなかで沢山のロータリアンと知り合いになれました。一人ひとりの優しさや思いやりの心を知りました。一緒に美味しいお酒が飲めました。このような立場を与えてくださった皆様にとっても感謝いたします。

残された半年間を少しでも皆様のお役にたてるよう努力したいと思っています。ご協力のほど宜しくお願い致します。

今年一年が皆様にとって良き年でありませうように、心よりお祈りいたします。



第8グループ ガバナー補佐

宮崎 清 彰 (諫早北RC)



新年明けましておめでとうございます。

第8グループの会員の皆様、昨年同様本年もよろしくお願い致します。

田口厚ガバナーの下、ガバナー補佐を拝命し早いもので半年が過ぎました。ガバナーの提唱で国際ロータリーのテーマ“率先しよう”を例会で唱和すること、クールビズを行う事の2点を5クラブ(諫早・諫早北・諫早西・諫早多良見・諫早南各ロータリー)の会長、幹事会で決めていただきました。国際ロータリーのテーマ唱和は各クラブ初めての経験で最初はぎこちなく感じましたが、ガバナー公式訪問の時には全員そろってすばらしい唱和になっていました。第8グループは諫早5ロータリークラブで構成され非常に恵まれた地域の為、挨拶回り、クラブ協議会、公式訪問等とすでに各4回ずつ訪問させて頂きま

した。訪問の際には会長、幹事さん始め多くの会員の皆様に温かく迎えていただき本当に有難うございました。心から感謝申し上げます。今さらながらロータリーの素晴しさを感じる事になりました。

11月18日の地区大会記念懇親ゴルフ大会は、当地長崎国際ゴルフ倶楽部で行われ、地元諫早5クラブの団結力で第8グループが団体優勝に輝きました。ガバナー補佐として大変嬉しく思いました。3月24日は第7グループ太田靖臣ガバナー補佐を中心としてIMが大村市で開催されます。第7、第8グループの皆様の参加をよろしくお願い致します。又当初各クラブで計画されました目標を達成されます様お願いし、各クラブのご活躍を祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

## LEAD THE WAY



第9グループ ガバナー補佐

野田直幸(福江中央RC)

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は大へんお世話になりました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。田口厚ガバナーの下、ガバナー補佐を拝命させて頂き、早いもので半年が過ぎました。不安と慌ただしさの中での前期でしたが、その間、私の担当であります6クラブを訪問し、ロータリーの奥の深さとその歴史、それと人間性に富んだ素晴らしいロータリアンとの出会いがあり、私にとって多忙ながらも中味の濃いものでした。後半の最大の任務はIMの開催ですが、日程・内容もほぼ決まり、今、その準備を着々と進めている所であります。

寒い季節を迎え、風邪を引く人も目立ってきているようですが、忙しく気持ちが張っている時は意外と引かず、案外ほっとした時と



か気が緩んだ時に引くといわれていますので、今の所、私自身は大丈夫のようです。

私は五島より毎回船でいろいろなイベント、会議、セミナー等に出席をしています。放送作家の野村正樹さんは「電車力」なるものを提案しています。それは電車やバスで通勤する人の往復する時間を「力」につなげようというものです。毎日のことですから、年間で見ますと、かなりの時間になります。私もそれに習い、「船力」ということで船の中で本を読んだり冥想をしたり、時には隣の人と話をしたり、自分自身に役に立つ「戦力」の時間として考え、有効活用をしている所でもあります。どうかロータリーの皆様風邪など召しませんように。また後期もご協力、ご指導をよろしくお願い申し上げます。



第10グループ ガバナー補佐

島崎静夫(長崎東RC)

新年あけましておめでとうございます。

会員諸兄におかれましては、つつがなく新年をお迎えの事と存じます。

ガバナー補佐を拝命させて頂いて早いもので、あっという間に半年が過ぎてしまいました。

勉強不足の私にこの重責が務まるのか大変な不安のなかでスタートを致しましたが、皆様方の温かい友情のもとなんとかその責務を果しております。

各クラブへの事前訪問、クラブ協議会、ガバナー公式訪問等につきましては、大変お世話になり深く感謝申し上げます。

地区大会も無事終了し、いよいよ後半に入



り事業の仕上げの時期に入ります。

9・10グループ内の主な事業として、「IM」が2月に開催をされます。長崎西RCがホストクラブとしてその準備を進めております。「IM」の目的にそった内容ある事業が計画されておりますので、会員皆様の多数の参加とご協力をお願い申し上げます。

時節柄、風邪等ご健康に留意され、後半期のご活躍を祈念申しあげ、年頭のごあいさつと致します。



ロータリー友委員会

## ～ 地区委員会議から ～

2740 地区ロータリーの友地区委員

長崎RC 森 義 則

友委員会は編集関連会議として年度内に4回開催されている。去る11月13日第2回の会議では神崎委員長を始め関係役職員16名と地区委員34名計50名による4時間、大変内容ある活潑な討議であったので要点を報告する。

## ①神崎委員長挨拶の中から

友誌12月号記事のRIボイド会長との対談内容が中心であったが、CLPについては各クラブともクラブ管理に大変なエネルギーを費しているため、クラブの効率的なマネジメントを組立てるためのCLPだと力説。四大奉仕をないがしろにするものではない。ロータリーの心を変えるものでなく、メカニズムの変更であり、ロータリーの心を持つ人々の集りがロータリークラブであると。

## ②友誌初山常任委員（編集責任者）の談話

- 友誌の内容がここ5年間で質が向上した。
- 会員から募集した表紙写真が好評であり次年度も引続き実施したい。
- 風紋には多くの賛辞が寄せられているが12月号で26人目となり、今後の人選と取材に苦勞している。従って7月号迄で廃止し、之に変わるものとして「こんにちはクラブ探訪」を考えている。
- スピーチはクラブの各種会合での卓話から採用しているが、緒方さんの市民社会のためのロータリーや、同志社八田学長の変わりゆく大学等が秀逸であった。

## ③ロータリー友事務所の財政状態～事務局長

会員減少に伴う発行部数の減少による収支対策として人件費、編集費削減を図ると共に友誌値上げにより収益35百万円を計上した。  
 △総収入377百万円 総支出342百万円  
 △平成18年6月末現在正味資産618百万円  
 内 基本積立金400百万円

## ④各地区委員の報告と討議の中から

## △友誌の好評分野

- カラーの色彩や配色が素晴らしい。
- 風紋の人物の生きざまに感動する。
- 会員募集による表紙写真は秀逸だ。
- 「ロータリーの基本」は新旧会員を問わず大変参考になる。

## △指摘された事項

- 集合写真の掲載は避けるべきだ。
- 地区委員は地区での存在感向上に努力を。
- 過去の「ロータリー問答」コーナー復活は如何。
- 「地区だより」にガバナー補佐の協力が不足。
- 投稿採用率50%は投稿意欲を殺ぐ。

## △積極的な行動や意見

- RCについて友誌に部外者意見を求めては！
- 友誌内容を自クラブHPに転載している。
- 友誌の解説、意見のために別会合を持つ。
- 没原稿を少なくし購読意欲を高める為、増頁。
- 2760地区（愛知）の例会出席率は全国で最高（平均92%）、友誌は読まれている。
- 青少年問題を更に掘り下げる企画をせよ。高校生を会員宅へのホームステイ等。

## ◎2740地区の友誌関連情報について

- △友誌購読状況～昨年度末では会員数より購入部数が少ないクラブが14であったが公式訪問時のガバナーPRで現在5クラブ。
- △クラブ例会時に於る友誌紹介が雑誌委員長等関係会員により随分進んできている。
- △当地区からの友誌投稿が昨年度は甚だ少なかったが、11月号に唐津と鹿島、目下長崎西、外1件の原稿を提出済である。
- △4月の雑誌月間あたり友誌購買100%、友誌例会紹介100%の実現を目指したい。

2006—2007年度

国際ロータリー第2740地区

# 地区大会

## スムーズな運営に感謝!!

ガバナー 田口 厚

- 今年度 2740 地区地区大会は、12月1日会長幹事会に続き会長代理歓迎懇親会が、2・3日は長崎ブリックホールにおいて本会議、市民公開講演会が開催され、時折小雨の降るなか滞りなく予定通り終了した。
- 通例の地区大会とはかなり趣きの異なる内容になった。
- ボイドR I 会長代理として、群馬県館林RCの高木貞一郎パストガバナーご夫妻にお出で頂いた。学習院大出身で天皇陛下と同級ということであり、ロータリーについても非常に勉強家とのことであったが、ご夫妻とも気さくな人柄で我々のいろいろなお願いにも快く応じて頂いた。長崎RCのホストクラブ・長崎東・福江中央RCのコ・ホストクラブには成功裡に終了したことに祝意と感謝を表する次第である。
- 高木会長代理は大会について、地区目標の地球温暖化防止の企画・準備・実行など全く完璧であると評されたが、大会後半の会員の出席が減ったのが少々残念であった。
- 大会の前日にプレコンgresとしてクラブ会長・幹事・そのエレクトを対象に、CLP・交換学生の危機管理対策についての研修会をおこなった。各クラブとも大方の理解が得られ、次年度からそれぞれの状況に応じてCLPの採用の是非が明らかになることであろう。危機管理に関しては、東京からみえた小澤ガバナー会議長のご発言があった。危機管理委員会の立ち上げも緊急に地区として処理することになる。
- 本会議当日は、早朝よりブリックホール玄関に担当会員が詰掛け、またご夫人方もクラブの面子にかけてのホスト役を務めて頂いた。  
僧職会員の法衣姿での道路上での出迎え・電気軌道社長自らの電車への誘導・観光旅館社長の来賓夫人方への観光ガイド役などロータリーならではの光景もみられた。
- 嘗てないほど他地区のガバナーご夫妻が応援に駆けつけて頂き、そのうえ会議の際にも議長・副議長ともに発言指導を頂いたことは感激の至りであった。
- K T N ソサエティーの千田社長以下スタッフの、会議の構成・進行について万全の準備と進行表を実行委員と協議して、予定通りの大会運営が出来たことに感謝する次第である。
- 研修項目は前日の会長・幹事会、本会議におけるパネルディスカッション、お二人の公開講演会と、地区目標である地球温暖化防止についてのプロジェクトで、少し欲張りすぎた感があったが、いずれも有意義且つ感銘的な内容であった。地元メンバーによるパネリストの構成・招待講演の小池首相補佐官・北野明治大学教授の内容は、如何に地球の温暖化が近い将来悪影響をもたらすものかを、また我々ロータリアンも今後自分の身边で何を為すべきかを示唆して頂けたと思う。同じテーマでも角度を変えれば興味・理解度が増大することも実感した。
- 「地球温暖化防止を率先しよう」と分不相応の目標を掲げ今後も継続的な事業として2740地区からの発信として全世界に広がればと熱望している。
- その一環として大会プログラムの簡素化・ネームプレートの新作の省略などについて会員のご理解を頂きたいと思う。何はともあれ自画自賛ではあるが、地区大会が成功裏に終了したことを感謝申し上げる。
- 反省点として、大会の行事がやや多くなったこと。公開講演会の一般市民及び他のロータリークラブへのPR不足もあり、聴講者が少なかった。



田口ガバナー挨拶

# 地区大会を終えて

地区大会実行委員長 西村 金造

## I 大会プログラムについて

今回は予想を越える多数の出席者に励まされた大会でありました。

地区大会実行委員会立ち上げ当初、田口ガバナーから大会のテーマと要望として：

①「率先しようーLEAD THE WAYー、地球環境問題、特に温暖化防止」を指示して下さいました。そして

②「意義ある大会・プラスの大会にして貰いたい」と要望されました。関連して、これまで当地区の懸案となっている「大会の簡素化、出席の増加」を考慮した大会プログラムを練る事にしました。この結果：

- ①本会議を1日に集約しました。
- ②本会議中のディスカッションと3日目の市民公開講演会をガバナーのテーマの「温暖化防止」を主題としました。

コーディネーター・パネラーは学界・行政・企業・ロータリアンで構成し、講演では前環境大臣・小池百合子先生、明大教授・北野大先生の招聘に恵まれました。

③記念親睦ゴルフ大会を大会日程と切り離して行い、多数のロータリアンの参加で大いに賑わい親睦の目的を果しました。

以上の改良を試みました（如何でしたでしょうか？）が、いざ実行の段階では2点の難事が生じました。

## ①昼食の件：

会員の一部を会場外の2施設へ移動して頂く為、この誘導を短時間内に円滑にせねばならぬこと。

②会場周囲に駐車場がない為、車と会場間の移動の便を十分にせねばならぬこと。

この2点は実行委員会の担当委員会の頭を随分と悩ませました。（委員会の労に感謝）

## II 大会を終えて想うこと

①田口ガバナーの「テーマの設定と要望」はプログラム検討立案を容易にし、大会成功の基となりました。

②大会中、パストガバナーをはじめ、先輩ロータリアンの吾れ吾れ実行委員を見る眼差しは暖かく、そして総てのロータリアン（夫人を含めて）は協力的であり、この大会運営を円滑にして下さいました。

（強いて言えば、本会議終了少し前にホンの少しの退席者があったことが唯一の心残りでした）

③この一年有余、ガバナー事務所の指導と加勢を得ながら、藤田大会幹事と石丸事務局長を中心とした各委員会諸兄の活躍は目を見張る事が多かった。大変でありましたが、それ以上に楽しい良い経験をさせて頂きました。全ロータリアン各位への信頼と誇りを高め得たことを感謝して心からお礼を申し上げ、種々の不行届きの点を深くお詫びして、このレポートを擲筆します。



地区大会舞台全景



金子知事挨拶



高木R I 会長代理現況報告



小池百合子氏



北野 大氏



パネルディスカッション

## 地区大会関連プログラム

### 『みのり園』での交流会報告

新世代統括委員会 委員長 岩永 信昭

表記は地区大会当日の12月2日、天本俊太地区インターアクト委員長が理事長をお務めになっている障害児施設「みのり園」で行われました。

地区大会に参加したローターアクトを除く新世代（インターアクト、来日交換学生、派遣予定学生、米山奨学生、財団奨学生候補）24名が、同施設に入所されている50名の皆さんと心温まる交流会を経験しました。

かなり重いハンドベルを振って一生懸命演奏する子供たちの清らかさに、日頃忘れかけている気持ちを思い起こさせてもらい、心洗われる感がありました。

当日の様子は長崎新聞でも紹介されました。快くお引き受け頂いた村田宏施設長を始め、みのり園の皆さま、そしてこの様な場を与えて頂いた田口厚ガバナー、西村金造地区大会実行委員長、実行委員会の方々にも深く感謝の意を申し述べます。



2006年(平成18年)12月4日 月曜日 ローターカル (10)  
ゲームを楽しむ参加者—長崎県中津市、みのり園

### 留学生と障害者交流 国際ロータリーが青少年交流会

社会福祉団体国際ロータリーは、平成18年度「青少年国際交流」の一環として、12月2日(土)に、長崎県中津市にある障害児施設「みのり園」で、国際ロータリーが主催する「留学生と障害者交流 青少年交流会」を開催しました。この交流会は、国際ロータリーが主催する「留学生と障害者交流」の一環として、12月2日(土)に、長崎県中津市にある障害児施設「みのり園」で、国際ロータリーが主催する「留学生と障害者交流 青少年交流会」を開催しました。

「みのり園」でゲームを楽しむ 長崎

国際ロータリーは、平成18年度「青少年国際交流」の一環として、12月2日(土)に、長崎県中津市にある障害児施設「みのり園」で、国際ロータリーが主催する「留学生と障害者交流 青少年交流会」を開催しました。

## 女性会員の集い

ロータリー女性委員会 委員長 助村 房子

師走に入り急に寒さが強まった12月2日(土)の国際ロータリー第2740地区2006～2007年度地区大会の折、初めての企画として、昼食時間中に地区内「女性会員の集い」を開催いたしました。地区内女性会員59名のうち30名のご参加を頂き、無事に終了することが出来ました。ご協力頂きました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、ご出席頂きました方々にも厚くお礼申し上げます。

会場が三階の奥の方にはありましたが、参加者の皆様に判りづらくご迷惑をおかけしましたが、来られた方から順次、席順のくじを引いて頂き食事といたしました。懇談が始まり、和やかな雰囲気の中、会話が弾みました。途中、田口ガバナーがご挨拶に立ち寄られ、多くの参加者がガバナーに慰労の声をお掛けしました。その後、一人ずつ自己紹介をして頂き、場が盛り上がったところで時間切れとなり閉会といたしました。

今回の集いは特にテーマを設けての集まりではなく、一時間という短い昼食時間を利用しての交流が目的の会でしたので、参加して頂くことに意義があったと考えております。その意味では概ね目的を果たせたと思えます。

運営に関しては不手際もあり、ご不満な点多々あったことと存じますが、お許し頂きますようお願い申し上げます。



# 地区大会記念懇親ゴルフ大会

実行委員長 山下新太郎

平成18年11月18日(土)長崎国際ゴルフ倶楽部に於いて、地区大会記念懇親ゴルフ大会が開催されました。

当日は雨天の中、気温も低い悪コンディションにも拘らず、140名の参加者で行われました。「意義ある大会、実り多い大会」という田口ガバナーの意向により、このゴルフ大会も地区内ゴルフ愛好家の親睦をより深める為に本会議と離して実施することになりました。幸いにも140名という多数の皆様に参加して頂いたことで、2740地区内10グループ対抗による団体戦を行うことが可能になり、大いに大会を盛り上げることが出来、無事に終了することが出来ました。今大会の開催に当たり、ご出席いただきました皆様、また多くの賞品をご提供頂いた企業の皆様に対して厚く御礼申し上げます。

## 団体戦結果(敬称略)

- 1位 第8グループ(諫早RC、諫早北RC、諫早西RC、諫早多良見RC、諫早南RC)
- 2位 第9グループ(長崎RC、福江RC、長崎北東RC、福江中央RC、長崎西RC、長崎琴海RC)
- 3位 第10グループ(長崎北RC、長崎南RC、長崎東RC、東長崎RC、長崎中央RC、長崎出島RC)

## 個人戦結果(敬称略)

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1位 上瀧 忠吉(佐賀大和RC) | ベストグロス賞        |
| 2位 池田 利雄(大村東RC)  | 山口 雅二(長崎RC) 76 |
| 3位 松永 達明(佐賀南RC)  | 女性1位           |
| 4位 篠崎 正之(唐津RC)   | 野口 和子(長崎北東RC)  |
| 5位 日高 正朗(諫早西RC)  | 最高年齢           |
|                  | 安永 俊夫(諫早西RC)   |



地区大会 District Conference

06-07年度国際青少年交換

**来日交換留学生の九州研修旅行を実施**

国際ロータリー 2740 地区

国際青少年交換委員会 委員 川口 史 (長崎南RC)

国際青少年交換委員会では、12月3日～4日の1泊2日の行程で、第2740地区に来日中の交換留学生の九州研修旅行を実施しました。

前日の地区大会本会議への参加、障害児施設訪問、新世代の集いへの出席など忙しいスケジュールから一夜明け、すっかりリラックスした4名の来日留学生は、心配された雨にあうこともなく、熊本、阿蘇、やまなみハイウェイ、別府への研修旅行を楽しみました。

初日に訪問した熊本城や水前寺公園では日本の歴史や伝統建築・庭園の美に触れ、阿蘇山頂では身を切る寒さに震えながら火口から立ち昇る噴煙に歓声を上げました。宿泊は垂玉温泉。初めて泊まる温泉旅館で食事前に温泉に入り（2名は勇気をだして露天風呂にチャレンジしました）、浴衣に丹前スタイルで山の幸の夕食を食べました。

2日目は、山頂に雪をかぶった久住山などやまなみハイウェイの光景を眺めながら別府へ。地の池・竜巻地獄、高崎山、うみたまご水族館などを訪問しましたが、そのなかでは高崎山のサルが一番印象に残った様子でした。

オーストラリアからの留学生ザスタさんは、年明け早々に1年間の留学期間を終えますので、残された日本での日々を惜しむように。今年8月に来日した他の3名は、初めて家族と離れて過ごすクリスマスが目前とあって、ちょっとホームシック気味のような様子でしたが、久しぶりに4名が顔を合わせ、親睦を深めたり励ましあったりする貴重な機会でもありました。

## 〔参加者〕

来日学生； Ms. ザスタ・シェッカ (オーストラリア 唐津RC)  
 Mr. キットモ・サイラネン (フィンランド 佐賀北RC)  
 Ms. ジェニファー・シー (台湾 佐世保RC)  
 Ms. コリーン・ジェニファー (フランス 諫早多良見RC)  
 委員会； 川口 史 (長崎南RC)



水前寺公園にて



温泉宿で浴衣を着て夕食



たくさんの猿にびっくりした高崎山

## 活動報告

# 児童養護施設レクリエーション大会

## 長崎出島ロータリークラブ

当クラブでは、11月4日に長崎県下の養護施設に入所している小学生を対象としたレクリエーション大会を行いました。

児童養護施設とは、色々な理由で家族と一緒に住むことができない子供達を預かる施設です。県下の施設に入所している子供達の体力向上や施設間の親睦を図り、子供達にレクリエーションの楽しさや親世代であるロータリアンとの触れ合いを感じてもらおうという目的で開催しました。

当日は県下11の施設からおおよそ200人の子供たちが集まりました。小学生を対象とした企画は初めてだったようです。長崎市のレクリエーション協会の方々にもご協力いただき、色々なレクリエーション競技を施設対抗戦で行いました。時間の経過とともにロータリアンとも打ち解け、必死にそして楽しそうに競技に向かい合う子供達の姿が印象的でした。

県下全部の施設が集まるのはもちろん、このような機会はほとんどないということで、後日たくさんのお礼状もいただきました。どの手紙にも「また実施して欲しい」と書かれています。何らかの形で続けていきたい、またあの子達の笑顔が見たい。参加したロータリアンの共通した思いです。



# LEAD THE WAY

## 新会員紹介

ロータリーの新しい仲間になりました方々をご紹介します。



小城RC  
伊東 猛彦君



佐賀南RC  
福湯 英雄君



佐賀南RC  
宮田 豊君



嬉野RC  
岸川 浩君



大町RC  
永田 孝博君



大町RC  
山田 守理君



北松浦RC  
佐々木裕二君



諫早多良見RC  
荻野 吉徳君



福江中央RC  
本岡 晃君



長崎西RC  
武藤 雅弘君



長崎南RC  
新ヶ江憲和君



長崎出島RC  
福生 泰彦君

### 訃報

慎んでお別れいたします。



故 島田 勝利君  
(諫早北RC)

# ◆◆◆寄付者紹介◆◆◆

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

	種 類	氏 名	クラブ名	
ロータリー財団	P・H・F	河井 耕治	長崎出島RC	
	M・P・H・F	川尻 治	佐世保南RC	
		村上 寅雄	佐世保北RC	
		宮原 明夫	佐世保北RC	
		久松 清彦	大村RC	
		古川 和子	大村RC	
		馬場 政徳	長崎西RC	
	ベネファクター	古賀 新二	佐世保北RC	
		緒里勇三郎	諫早西RC	
		草野 幸子	長崎出島RC	
	メモリアル・ コントリビューター	浦田 直彦	大村北RC	
		ご尊父 故浦田 直様を偲んで		
	大口寄付者	松島 福男	長崎南RC	
		令夫人 故松島 スヤ様を偲んで		
	米山記念奨学会	米山功労者	福田 俊郎	佐世保北RC
			中尾 偕主	佐賀西RC
大神 邦明			佐世保RC	
福蘭 英智			佐世保西RC	
野上 龍彦			東長崎RC	
米山功労者 (マルチプル)		本田 徳光	長崎中央RC	
		中村 文昭	佐世保南RC	
		山下 博之	諫早RC	
米山功労者 (メジャードナー)		大原 玉瑞	長崎北東RC	
		江頭 泰幸	佐賀北RC	
		鈴木 泰彦	佐世保南RC	

## LEAD THE WAY

## 2006年11月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会	
				6月末	うち女性	当月末	うち女性	増減			
第1グループ	佐賀	4	74.9	69	0	72	0	3	0	0	
	小城	5	93.3	32	1	30	1	-2	1	0	
	牛津	3	85.9	32	0	33	0	1	0	0	
	多久	4	85.5	43	5	42	4	-1	0	0	
	佐賀大和	4	77.0	25	3	25	3	0	0	0	
	小計		83.3	201	9	202	8	1	1	0	
第2グループ	佐賀西	4	71.0	54	0	55	0	1	0	0	
	佐賀北	4	79.0	41	3	42	3	1	0	0	
	佐賀南	4	78.6	38	0	42	0	4	2	0	
	神埼	4	66.9	28	0	31	0	3	0	0	
	佐賀空港	5	63.8	16	0	16	0	0	0	0	
	小計		71.9	177	3	186	3	9	2	0	
第3グループ	有田	4	74.9	36	2	39	2	3	0	0	
	武雄	4	81.6	56	0	57	0	1	0	0	
	鹿島	4	92.8	39	1	40	1	1	0	0	
	嬉野	3	90.3	23	0	24	1	1	1	0	
	大町	4	74.0	22	0	23	0	1	2	0	
	白石	5	70.6	17	0	17	0	0	0	0	
	太良	4	91.7	9	1	9	1	0	0	0	
小計		82.2	202	4	209	5	7	3	0		
第4グループ	唐津	4	91.2	52	0	54	0	2	0	0	
	伊万里	5	94.4	36	0	34	0	-2	0	1	
	唐津東	3	91.7	52	0	51	0	-1	0	0	
	唐津西	4	81.3	40	0	39	0	-1	0	0	
	伊万里西	4	80.1	49	0	47	0	-2	0	0	
	唐津中央	3	94.2	39	4	40	4	1	0	0	
	小計		88.8	268	4	265	4	-3	0	1	
第5グループ	佐世保	5	100.0	80	0	83	0	3	0	0	
	平戸	4	92.0	41	0	42	0	1	0	0	
	佐世保西	4	97.9	27	0	28	0	1	0	0	
	北松浦	4	94.7	25	0	26	0	1	1	0	
	松浦	3	81.4	32	1	34	1	2	0	0	
	小計		93.2	205	1	213	1	8	1	0	
第6グループ	佐世保南	3	100.0	77	0	78	0	1	0	0	
	佐世保東	4	79.7	31	0	32	0	1	0	0	
	佐世保北	4	97.9	46	0	47	0	1	0	0	
	佐世保中央	4	98.1	40	0	40	0	0	0	0	
	佐世保東南	5	74.8	23	0	23	0	0	0	0	
	HTB佐世保	4	76.1	24	3	26	4	2	0	0	
	小計		87.8	241	3	246	4	5	0	0	
	第7グループ	大村	4	79.5	47	2	48	2	1	0	0
		島原	4	81.6	33	3	34	3	1	0	0
		雲仙	4	82.6	31	0	31	0	0	0	0
大村北		5	100.0	32	0	32	0	0	0	0	
島原南		5	75.0	22	2	20	2	-2	0	0	
大村東		4	82.0	45	1	46	1	1	0	0	
小計			83.5	210	8	211	8	1	0	0	
第8グループ	諫早	3	94.9	60	0	66	0	6	0	0	
	諫早北	4	89.5	66	0	64	0	-2	0	1	
	諫早西	4	87.6	43	0	44	0	1	0	0	
	諫早多良見	4	89.1	37	0	39	0	2	1	0	
	諫早南	4	68.8	31	4	32	4	1	0	0	
	小計		86.0	237	4	245	4	8	1	1	
第9グループ	長崎	4	87.2	93	0	99	0	6	0	0	
	福江	3	83.0	40	0	41	0	1	0	0	
	長崎北東	4	97.2	53	4	53	4	0	0	0	
	福江中央	4	93.6	36	1	36	1	0	1	0	
	長崎西	4	80.3	66	0	71	0	5	1	0	
	長崎琴海	4	77.2	23	3	23	3	0	0	0	
	小計		86.4	311	8	323	8	12	2	0	
第10グループ	長崎北	4	75.5	70	0	73	0	3	0	0	
	長崎南	5	77.6	81	0	82	0	1	1	1	
	長崎東	3	98.5	66	0	68	0	2	0	0	
	東長崎	4	82.4	35	0	35	0	0	0	0	
	長崎中央	4	95.3	59	0	59	0	0	0	0	
	長崎出島	3	80.3	58	15	61	14	3	1	0	
	小計		84.9	369	15	378	14	9	2	1	
合計		84.8	2,421	59	2,478	59	57	12	3		

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

## 国際ロータリー年次大会

## 「ソルトレイクシティ 2007」ご案内

アメリカ ユタ州 ソルトレイクシティで開催される年次大会に、田口ガバナーとともに参加し、国際会議の素晴らしい体験と参加会員との親睦と交流を深める旅を、一緒に創りませんか。

開催地	アメリカ ユタ州 ソルトレイクシティ
開催日程	2007年6月17日、18日
(旅行日程概要)	
期間	7～8日間(17、18日を中心に)
費用	500,000円～600,000円 但し、エコノミークラス、二人部屋
大会登録料(別途)	315 USドル(07年3月31日まで)
催行人員	20名以上(20名以下の場合には中止する場合があります)

お問い合わせは、ガバナー事務所までお願いいたします。

## Rotary International Master Card ご入会のお願い

国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、財団活動を支援する目的で Rotary International Master Card を発行しております。このカードはみなさまがカードをご利用されることで、自動的に財団に寄付される仕組みとなっております。カードには「Gold Master Card」と年会費永年無料の「Standard Master Card」の2種類があり、すでに他のカードにご入会されている方もご入会が可能です。

これらのカードの入会会員数が5千人を超えると、カードショッピングご利用金額の0.3%が財団に還元されますが、現状では目標を大きく下回っている状況であり、ロータリークラブ会員ひとりひとりのご理解とご協力が重要となっております。

なお、カードのお申込みに際しては、大変お手数ではございますが、下記お問い合わせ先のオリコカードセンターへご連絡ください。追ってご入会申込書をお送り致します。

みなさまの一人でも多くのご入会をお願い申し上げます。

敬具

### 株式会社オリエントコーポレーション

(お問い合わせ先) オリコカードセンター 受付期間9:30～17:30/年中無休

札幌 011-261-6002 東京 049-271-3330 大阪 06-6821-3860 福岡 092-722-5477  
仙台 022-215-2655 名古屋 052-735-3525 広島 082-225-5360

\*電話番号はおかけ間違いのないように、  
いま一度確かめのうえご利用ください。

住居表示変更に伴い、国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所及び地区大会事務局の住所が2007年1月9日から変更されます。お手元の住所録の変更をお願い申し上げます。

新住所：〒850-0854

長崎市銀屋町3番12号

電話：095-818-2660, 095-818-2707

FAX：095-818-2663

電話・FAXの変更はございません。

### 【お詫び】

先月のガバナー月信(Vol.6)の10頁で、神埼RC会長「腹巻和孝」となっておりましたが、「服巻和孝」の間違いでしたので、訂正を報告し、お詫び申し上げます。

(ガバナー月信委員会)

武雄温泉駅

明治



(武雄市蔵)

武雄温泉駅

現在



武雄温泉駅（佐賀県）

明治28年5月5日「柄崎駅」として開業、明治30年7月10日「武雄駅」、昭和50年6月19日「武雄温泉駅」と改名されました。

現在は、仮駅舎での営業ですが、「いで湯と陶芸のふるさと武雄温泉」として、親しまれております。

2008年春には、武雄温泉楼門を手がけた辰野金吾博士設計の東京駅をイメージした赤れんが風「新駅舎」が誕生する予定です。

武雄温泉駅長 山口 正伸



国際ロータリー第2740地区

2006～2007年度ガバナー 田口 厚

事務所

〒850-0854 長崎市銀屋町3番12号（社団法人是真会内）

TEL：095-818-2660 FAX：095-818-2663

E-mail：ri2740@juno.ocn.ne.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

## 2006-2007

国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信  
クラブ会長・幹事各位



2006-2007年度  
国際ロータリーのテーマ

### 率先しよう

2006～2007年度ガバナー  
田口 厚



## CONTENTS

ガバナーメッセージ .....	1
ガバナー補佐リレー随想 .....	2
国際青少年交換クリスマス会 .....	3
ローターアクト泊研修会 .....	4
全国青少年育成委員会に参加して .....	5
米山奨学生紹介 .....	7
寄付者紹介 .....	9
新会員紹介 .....	9
会員数・出席報告 .....	10

**眼鏡橋** 天保10（1839）年建設、当時の領主・領民が永久不壊の願いを込めて本明川に架けた石造りのアーチ橋。昭和32年の水害後、諫早公園に移築されたこの眼鏡橋は、石橋では日本で最初に重要文化財に指定された。

橋長 49.25m 橋幅 5.5m

（第8グループ ガバナー補佐 宮崎 清彰氏）





ガバナーメッセージ

# 百里を行く者は……

国際ロータリー第2740地区

2006-'07年度ガバナー 田口 厚

2006～'07年のロータリー年度も後半期になった。多くの内外ロータリアンから年賀状を頂いたが、その内容は前半期の労苦（特に地区大会の運営など）のねぎらいと、あと半年間の頑張りを期待するものと有難いものばかりであった。中国のことわざ「百里を行く者は九十里を半ばとす」との言を守り、今後行なわれるパストガバナーによる諮問委員会・地区各グループの5回のIMやクラブ創立周年行事などに出席し、時には講演も依頼されている。また会員増強や各募金などの地区目標の達成に尽力する必要もある。会員増強は11月末現在で丁度各クラブ1名宛計57名増の状況であった。願わくばこのままの勢いが続いて欲しいが現実には厳しいようだ。地区テーマの地球温暖化防止については温暖化が間違いなく進行しているようである。元日から暖かい日が続いているし、天気予報の雪が雨になってしまうこともある。スキー場に雪がなくゴルフ場に早変わりするところもあるようだ。ニューヨークも猛暑に見舞われているらしい。何とか微力を尽くしたい。

いつの頃からか、我が家では正月はどこかの温泉地で過ごし、元旦はその地の氏神様に初詣をする習慣ができてしまった。伊勢神宮・霧島神宮・宮崎神宮・熊野三社・雲仙神社など、健康と交通安全を祈願してきた。今年は芦ノ湖畔にある箱根神社にでかけたが、物凄い人出で社殿に近づくことができず、境内から参拝せざるを得なかったが、そこから眺める富士山は三分の冠雪でまさしく霊峰であった。また幸いにも翌2日には、大学の箱根駅伝を最難関である5区の小涌谷の急坂で見物することができた。山の神と呼ばれている順

天堂大の今井選手の激走で、3位からトップに躍進するところを目の当りにして、その気迫に感動した。やはり上位陣の走者は活気に満ち、後方の走者は氣息奄々の顔で走っているようで、テレビでは感じられない見物客の熱心な応援振りも、さもありなんと考えた次第である。翌日の帰路は品川から羽田に行く電車の中から、広い道路での応援者の列を見掛けたが、やはり箱根の狭い急坂を駆け上る選手の顔に迫力があって、今後もこれにはまり込みそうである。

成人式の連休明けからは米山奨学生の選考が始まるし、R財団交換留学生の危機管理防止マニュアルの作成と暇がない。その間に友好地区の年次大会にも出席も控えている。

わが国は、長い不況を抜け出して好景が続いているというが、我々にはその実感はない。西の端のわが地区にはまだ縁遠いのだろうが、会員各位におかれては、ロータリー精神の探求と奉仕の充実拡大と友好の絆の一層の強化を目指して、可能な限り努力をお願い致します。





ガバナー補佐 リレー随想

# 「長崎よかところ」

第6グループガバナー補佐 芥川 浩一郎（佐世保中央RC）

私にとって「長崎」の響きは、「50m 温水プール」です。95年に長崎県中小企業家同友会佐世保支部を創設して、長崎県本部の支援で立上げ、本部にて「役員会」が月に一回開催されて、長崎詣でが多くなりました。

当時、市民プール（50m）が完成して間が無い時でしたので、橋そばの臨時入り口から客席の中を通過してロッカー室へ行ったものでした。シンクロナイズ対応ですから、浸水も深く気持ちよく泳げたり、手前に25mプールまであり、客席を含めて総ガラス張りで気持ちよく泳げました。

昨年2月から、「補佐会議」が始まり地区の案内を頂戴するたびに会議前に必ず「50mプール」で「ノルマの700m」を泳ぎます。今73才ですが、63才までは、ノルマを2,000mとしておりましたが、F内科さんのアドバイスで、現在は700mをノルマとしております。クロールがメインですが、25mは途中息つきなしに泳ぐのがならわしになっています。700mを連続で泳ぐのではなく途中で、息を整える「休憩」はいたします。

しかし、「平泳ぎ」は駄目です。国体選手にてほだきを頂戴いたしましたが、クロールと平は、全然違うとのこと。たとえば「相撲」と「柔道」の違いがあるようで、「相撲」の土俵は○ですが、「柔道」は四角の畳それに「勝敗」の決定も違う、の説明でほんとうだな～と理解いたしました。プール通いは週に2回といったところです。

私も、JC現役の当時はゴルフもたしなみ、

HCPは15の時代もありましたが年とともに下手になり面白くなくなり、それに一日つぶれる「馬鹿らしさ」に嫌気がさして、30年前からクラブは握ったことがありません。水泳は何かのきっかけで「中学校の水泳部」に誘われて、先輩からしごかれ「こら～たてに泳がんかー」の指導をうけてクロールは形ができあがっています。「長崎よかところ」の実感です。

それと、パソコン依存症です。95年中小企業同友会の役員会へ仲間と参加している時、私を連れて行ってくれた会員がPCに詳しく私に道中PCの今後の進歩と発展を説明してくれて、「耳にたこ」が出来るような状態でした。そこで、96年末にノートPCを30万円ほどで買いOSはWIN97の1GBだったと思います。その後OSはMe→XPとなり、20GBと技術の進歩で、コンパクトで変換のスピードも速くなり使い勝手が良くなりました。新年には、VISTAも販売されてもっと使い勝手が良くなることでしょう。

PCの便利な点は、沢山の情報を知り、メールにて簡単に送受信できることで、それに私は「弥生会計」のソフトも活用していますので、先月までの「残高試算表」が瞬時に出来上がりますので、経営計画がたて易く将来に対する判断がしやすいと思います。PC経験は10年目となり、ガバナー事務所への連絡・報告も全部PCにて重宝いたしております。自分のHPを持ち「孫7人」で楽しんでいます。（「リレー随想」もメール送信です。）

2006 - 07 年度国際青少年交換

## 雲仙でのクリスマス会とお別れ会報告

国際ロータリー 2740 地区

国際青少年交換委員会 委員 本 多 善 彦 (雲仙RC)

期 日	平成 18 年 12 月 17 日 (日)
時 間	AM 10:00 ~ 14:00
参 加 者	国際青少年交換委員会 ホストファミリー クラブ 関係者 ロテックス 来日学生 派遣予定学生 雲仙 RC 会員
行事内容	1. 雲仙地獄谷 見学 2. 雲仙地獄にて温泉たまご体験 3. 雲仙満明寺 座禅 4. 雲仙満明寺 茶道体験 5. ホテル東洋館にてクリスマスパーティー



12月雲仙での開催ということで、雪の心配をし、瀬戸口委員長と開催か中止か協議しましたが、クリスマス会は来日学生（オーストラリア）の送別会も兼ねているということで強行いたしました。

10時に雲仙集合ということで、早い人は9時ごろにはホテルに着かれ、チェックアウトの時間と一緒に落ち着かなかったと思います。10時には全員集まり、初めに瀬戸口委員長より挨拶があり、引き続き私（本多）が当日のスケジュールを発表しました。

その後雲仙地獄へ出発、雲仙地獄の入り口で全員に生卵にネームを書き入れてもらい、温泉でたまごを蒸しました。その間雲仙のプロガイドに地獄を案内していただきました。

その後、満明寺で蒸したたまごを試食し、あまりの熱さに手で持てなく、殻むきに奮闘していました。たまごを食べた後15名くらいに分かれ、1班は福田住職の指導の下座禅に取り組み、2班は茶道体験をしました。15分くらいで交代しましたがどちらも正座ということで、足がしびれて大変な時間だったのではないかと思います。

お寺での体験を終え、ホテルに行こうと外へ出ると大雪、思わぬ初雪に心配する人、喜ぶ人……雪での道路事情もあり15時終了予定を14時に変更して、12時30分よりクリスマス会とお別れ会が始まり、来日学生、派遣予定学生、帰国学生のスピーチ等、川口委員の司会でスムーズに楽しく進行いたしました。

14時パーティー終了後温泉に入って、自由解散にしましたが、15時ごろには街は雪が強くなり、帰りの車の運転にはずいぶん心配をおかけしました。

今回のクリスマス会とお別れ会は、最悪の天候でしたが、このことを最悪と思わず、今年一番の寒さの中、地獄見学、温泉たまご体験、座禅、茶道パーティーができたことをいい思い出としていただき、雲仙での初雪に巡り合えたことを忘れないでほしいと思います。

今回協力していただいた、地区委員の方々、雲仙ロータリークラブのメンバー、ご夫人の皆様へ感謝し、来日、派遣予定、帰国学生の思い出となることを祈念いたします。

ご協力ありがとうございました。



# 一泊研修会について

国際ロータリー第 2740 地区

地区ローターアクトクラブ 地区代表 荒木 真一

12月9・10日のローターアクト一泊研修会ですが、テーマを「eco」として、田口ガバナーが掲げている環境問題（地球温暖化）について実際に体験して学んでいき、この問題に興味を持ってもらいもっと活動を活発化しようということで行いました。

## 体験学習

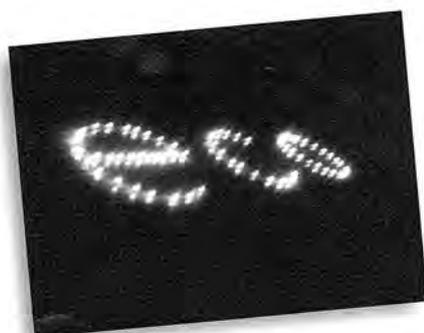
### ・「eco キャンドル」

約1時間電気を消し、廃油で作ったキャンドルを使い参加者にローターアクトについて、いろんな話をしてもらいました。

### ・「炭作り」

予め回収していた使用済みの割り箸を使って炭作りをし、出来上がった炭を袋に入れて記念品として参加者に持ち帰ってもらいました。

今回の体験学習の参加者が、1人でも身近なものを簡単にリサイクルできるということを学べ、環境問題に対する興味を持てたので非常に良い研修会になりました。



2006 - 07年度

## 第1回全国青少年育成委員会(JYDC)に参加して

国際ロータリー 2740 地区

新世代統括委員会 委員長 岩永信昭(長崎北東RC)

## 〈要旨〉

1. 今年度第1回JYDCが開催された。
2. これは2002～03年度から始まったガバナー会が舵取りする全国組織である。
3. 青少年に対するロータリアン講師派遣、職場体験受け入れを主活動とし、各地区でリスト作成が行われている。
4. 文部科学省の理解、協力が得られており、行政、教育委員会と連動した動きが可能である。

表記は2006年12月19日高輪プリンスホテルさくらタワーで開催され参加してきました。

## (参加者)

以下の方々に各地区から所轄する地区委員長(新世代委員長、社会奉仕委員長、職業奉仕委員長)が招集されていました。文部科学省からの出席もありました。

2520	桑原 茂	直前ガバナー JYDC委員
2530	寺島 岩男	ガバナー JYDC委員
2570	鈴木 勲二	ガバナー JYDC委員
2580	小澤 秀瑛	ガバナー会議長 JYDC委員
	前川 昭一	パスト・ガバナー JYDC委員
2700	原田 久光	ガバナー JYDC委員
2710	松本茂太郎	パスト・ガバナー JYDC委員
2750	仲田 順和	パスト・ガバナー JYDC委員長
	市川伊三夫	直前ガバナー JYDC委員
	坂本 俊雄	ガバナー・エレクト JYDC委員
ゲスト	西川 暢一	文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課

## (会議次第)

以下の如く行われました。

## 式次第

- |       |  |                |
|-------|--|----------------|
| 11:00 | 1. 開会挨拶  | ガバナー会議長 小澤 秀瑛  |
|       | 2. JYDC委員紹介、ガバナー紹介                               |                |
|       | 3. 挨拶 文部科学省初等中等教育局児童生徒課                          | 西川 暢一          |
|       | 4. 今年度JYDCの活動方針                                  | 仲田 順和          |
| 11:50 | 5. 「講師派遣・職場体験受け入れリスト」の地区活動状況発表                   |                |
|       | D 2580 から発表                                      | 吉岡 滋泰          |
|       | D 2750 から発表                                      | 熊野 隆喜<br>海沼美智子 |
| 12:20 | …… 昼食 ……   |                |
| 13:15 | 6. テーブルディスカッションと報告……<br>青少年育成に関してロータリアンとして何をすべきか |                |
| 14:45 | 7. まとめ   |                |
|       | 8. その他   |                |
| 15:00 | 9. 閉会  |                |

## (これまでの他地区での活動内容)

講師派遣と職場体験受け入れを柱にしており、それぞれが可能なロータリアン及び事業所がクラブ単位でリストアップされ、これを地区で取りまとめます。行政、教育委員会等を通じて学校（主に小・中学校）にリストが配られ、学校側から要望のあった講師が招かれて自身の職業経験に基づいた講話をしたり、職場体験の受け入れを行ったりしています。どちらかという講師派遣の方が多く行われているようです。あるクラブの実例を記します。

## 東京城西ロータリークラブ

## 新世代奉仕『杉並区小・中学生の課外授業』活動報告

## 2002 - 03 年度 (鍋木 享 会長)

当クラブの会員が自らの職業体験を生かし、自ら汗をかいて青少年の育成に役立つ奉仕活動を行おうと考えて計画を開始した。

杉並区山田区長・杉並区教育委員会と協議の上、杉並区学校教育コーディネーターと相談しながら『杉並区小・中学生の課外授業』に取り組むことに決定した。

## 2003 - 04 年度 (喜多 崇介 会長) R I 100 周年記念事業

## (講演活動実績)

• 杉並区立天沼中学校	道徳授業公開講座 予備授業『少年法といじめ』 道徳授業公開講座	H 15.09.11 H 15.09.20
• 杉並区立杉森中学校	公開課外講座『青少年犯罪と裁判制度』	H 15.09.27
• 杉並区立高井戸第三小学校	『人権について』 裁判所・弁護士会館見学	H 15.10.04 H 15.11.12
• 杉並区立第一中学校	『これからどう生きるか』 弁護士について	H 15.11.20
• 杉並区立井草中学校	『社会体験学習』 事前授業『職業について』 事前授業『社会でのマナー』	H 16.02.09 H 16.02.23
• 杉並区立第五小学校	『働くってどういうこと』	H 16.02.10
• 杉並区立松ノ木小学校	キャリア教育『あこがれの職業人に会おう』	H 16.03.02

以上 7校 10 講座 講師数：23 名

## (職場体験学習実施)

• 杉並区立天沼中学校	ひまわり法律事務所他 3 事業所	H 15.10.09
• 杉並区立井草中学校	ホテルニューオータニ他 5 事業所	H 16.03.05

以上 2校 10 事業所

## (これからの当地区の方針)

JYDC の精神は、国の現在の政策方針とも合致します。

地区による温度差はありますが、かなりの地区で積極的に取り組まれているようです。第 2740 地区としてどうすべきか、田口厚ガバナーとご相談しながら、クラブ、ロータリアンにあまり負担のかからない方法を模索してみたいと考えております。

# 米山奨学生紹介



世話クラブ 佐賀RC  
 カウンセラー 大坪 恵介  
 国 籍 中国  
 学 校 佐賀大学  
 氏 名 伍 怡

私は中国の四川省からまいりました留学生です。7年前に高校3年生の私は、校長先生から推薦され、広島の友誼校である日本語学校に留学する機会を得ました。自分も、日本の世界最高レベルの技術と知識を学ぶことのできる環境、および日本の豊かな伝統文化やライフスタイルに魅力を感じ、留学することにしました。

現在の私は、佐賀大学大学院の経済学研究科で国際小売業の研究をしております。学部時代はよくボランティア通訳、中国語教室などの国際交流活動に参加しておりましたが、最近勉学のため、参加する機会が少なくなっております。しかし、これから、多くのロータリアンと接することや地域活動に参加することができると思いますので、国際交流・親善を怠らずに続けていきたいと考えております。

日本と中国は“一衣帯水”の隣国であり、長い歴史のなかで多くの人々が往来し、交流を通してすばらしい文化を共有し、創造してきました。幸いに米山奨学生になった私は、ロータリーの国際奉仕精神に共感しており、アジアの未来を共に創るため改めて絆を大切に、さらに大きな橋を架けたいと思います。

それを実現するためには、学業により一層の研究を深め、人間関係における円滑なコミュニケーションを築くことにも努力しなければなりません。自身個々の面を充実するとともに、専門知識、語学力および留学経験を活かしながら、日中の文化・経済交流に力を尽くしていきたいと思っております。

また、将来このような国際奉仕活動をアジアの境を越えて、世界的に広めることに協力したいと考えております。



世話クラブ 佐賀大和RC  
 カウンセラー 田代 祐照  
 国 籍 中国  
 学 校 佐賀大学  
 氏 名 任 萍

私は任萍と申します。25歳です。2000年4月に中国の大連からまいりました。日本へ来て、最初の2年間は福岡にある九州英数学館国際言語学院で日本語の勉強をしました。そして、2002年4月に佐賀大学に入学しました。大学で文化教育学部国際文化課程に所属した私は、日本・アジア文化を専修しました。大学4年の間、たくさんの日本人友達ことができました。そのおかげで、故郷を離れて一人で日本へ来た私も、たのしい大学生活をおくることができました。日本人友達が多ければ多いほど、より深く相手を理解したいのです。そういうわけで、大学院に進学し、日中思想の比較をつづけて研究したいと思いました。ことし4月から、大学院の勉強が始まりました。今の私は、荀子思想を中心にして、儒教における日本思想と中国思想の相似と相違を研究しております。

大学院に合格した時、うれしい気持ちと同時に、アルバイトをしながら大学院の研究をよくなるかとすごく心配しました。今米山奨学金のおかげで、研究に専念することができまして、心から感謝しています。

今私は、荀子思想を中心にして、儒教における日本と中国の思想の比較を研究しています。儒教思想は中国思想の原点とも言える、中国社会に深遠な影響を与えました。日本も江戸時代から儒教思想を受け入れ、絶えることなく研究しつづけてきました。

近代欧米思想が崇拜されてから、儒教思想がだんだん人々に重視されなくなってきました。儒教思想をアジア人の心に呼び戻すために、これからもっと研究に専念し、将来大学の先生になって、儒教思想と儒教思想における中国と日本の理解の相似点と相違点を教えたいと思います。



世話クラブ 佐賀西RC  
 カウンセラー 堤 貞喜  
 国 籍 中国  
 学 校 佐賀大学  
 氏 名 孫 琳琳

1979年7月3日、中華人民共和国遼寧省大連市生まれ。1999年4月に来日。2001年3月九州英数学館国際言語学院卒業。2005年3月佐賀大学文化教育学部卒業。2005年4月佐賀大学教育学研究科に進学、現在に至る。

学部のとときは佐賀大学在学の留学生を対象として、留学生の健康状態と生活実態との関連について研究を行った。今、佐賀県在住高齢者のQOL（生活の質）を高めるための実践的研究を修士論文のテーマとして、高齢者の食生活の実態、心と体の健康状態、運動能力、生活満足度、生活活動能力などを調査して、高齢者の寝たきりを予防するためには、どのような食事改善や運動療法が必要であるかを明らかにする研究を行っている。また、デイケアセンターなどで高齢者に食事指導や運動指導なども行い、その効果を判定する予定である。

私の大好きな祖父が一昨年脳梗塞で倒れた。幸い一命は取り留めたが、もう二度と立つことができなくなり、ベッドで寝たきりの生活が続いている。両親、叔父、叔母は仕事が忙しく、なかなか祖父の面倒をみられないため、祖父を老人ホームに預けざるを得なかった。初めて祖父を見舞いに行ったとき、狭い部屋、決しておいしそうに見えない食事、経験不足な介護士の対応などを見て、私はとてもショックを受けた。自分の両親をそういうような施設に絶対入れたくないと強く思った。大連でも佐賀の紀水苑のように年寄りに優しく、家族も安心できる快適な老人ホームを作りたいと思った。そして、大学で勉強したことを生かして、中国の高齢者に合った体に優しい、生活習慣病も予防できるような介護食を研究し、実際に老人ホームで介護食を作ってサービスしたいと思っている。



世話クラブ 佐賀北RC  
 カウンセラー リン ケンキン  
 国 籍 マレーシア  
 学 校 佐賀大学  
 氏 名 MOBBY MOO PEI

日本に来て6年目になるが、一番初めは高校の交換留学生であった。そして、1年間の交換コースを終えたにもかかわらず、日本の文化の魅力に誘われ、自分の視野や教え方を広げるため、日本に戻ることを決意した。

その年（2001年）の9月に鳥栖にある語学校・弘堂国際学園に入学した。日本の大学を目指すように、1年半の日本語学習を終え、2002年12月に日本語能力試験1級に合格した。そして、2003年4月に佐賀女子短期大学に入学した。日本語や日本文化の勉強に興味を持って、文化コミュニケーション学科に属した。在学中にTOEFL・520点を取得、日本語教育士の資格を得た。2005年3月、無事に短期大学を卒業し、4月に佐賀大学に編入することができた。現在、文化教育学部の人間環境課程に在籍し、日本の生活文化、環境との関わりなど、幅広く勉強している。

日本に来る前に日本のことについては、一切触れられたことはなかった。語学校に在学している時に色々考えた上、日本語教師になることに決めた。目標を目指し、大学に行く事を決意した。短期大学の頃に、文化コミュニケーション学科に入学、日本語教育士になるための学習をした。将来はマレーシアの人々に自分が日本で経験したことや、学んだことを教えようと思っている。短期大学を卒業後、日本の文化や言葉を深く学びたいので、佐賀大学に編入することにした。現在、文化教育学部の人間環境課程に在学、日本の生活文化や日常会話について様々な勉強ができるので、楽しく大学生活をおくっている。今年は大学の最終学年なので、卒論や今後の進路の決定などを行わなければならないので、目標を明確に持ち取り組んでいきたい。毎日、充実した1年になるように今まで以上に努力する。

# LEAD THE WAY

## ◆◆◆寄付者紹介◆◆◆

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

種 類		氏 名	クラブ名
ロータリー財団	P・H・F	藤山 英周	唐津RC
		池田 久幸	諫早西RC
		宮崎 達雄	長崎RC
米山記念奨学会	米山功労者	丸田 光顕	北松浦RC
		安達 一郎	長崎北RC
	米山功労者 (マルチプル)	蒲原 孝之	鹿島RC
		前田 啓介	大村東RC
		黒田 隆雄	諫早北RC
		宮崎 達雄	長崎RC
		浦川 一孝	長崎中央RC

## 新会員紹介

ロータリーの新しい仲間になりましたの方々をご紹介します。



小城RC  
酒井 薫君



佐賀南RC  
橘川 桂三君



佐世保南RC  
若宮 達昌君



佐世保東RC  
上田 英生君



大村RC  
星野 孝通君



島原南RC  
中村 吉秀君

### 訃報

慎んでお別れいたします。



故 折式田 豊君  
(長崎西RC)

## 2006年12月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				6月末	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	4	83.7	69	0	72	0	3	0	0
	小城	3	96.7	32	1	31	2	-1	1	0
	牛津	4	88.6	32	0	33	0	1	0	0
	多久	3	89.5	43	5	41	4	-2	0	1
	佐賀大和	3	81.3	25	3	25	3	0	0	0
	小計		88.0	201	9	202	9	1	1	1
第2グループ	佐賀西	4	77.6	54	0	52	0	-2	0	3
	佐賀北	4	81.5	41	3	42	3	1	0	0
	佐賀南	4	82.4	38	0	43	0	5	1	0
	神埼	3	71.0	28	0	31	0	3	0	0
	佐賀空港	3	64.6	16	0	16	0	0	0	0
	小計		75.4	177	3	184	3	7	1	3
第3グループ	有田	4	79.6	36	2	38	2	2	0	1
	武雄	4	80.7	56	0	57	0	1	0	0
	鹿島	3	90.2	39	1	39	1	0	0	1
	嬉野	3	95.9	23	0	24	1	1	0	0
	大町	3	76.0	22	0	23	0	1	0	0
	白石	3	75.0	17	0	17	0	0	0	0
	太良	3	100.0	9	1	9	1	0	0	0
小計		85.3	202	4	207	5	5	0	2	
第4グループ	唐津	4	92.4	52	0	54	0	2	0	0
	伊万里	4	95.6	36	0	34	0	-2	0	0
	唐津東	3	97.5	52	0	49	0	-3	0	2
	唐津西	3	85.5	40	0	39	0	-1	0	0
	伊万里西	3	76.9	49	0	47	0	-2	0	0
	唐津中央	4	93.6	39	4	39	4	0	0	1
	小計		90.3	268	4	262	4	-6	0	3
第5グループ	佐世保	3	100.0	80	0	82	0	2	0	1
	平戸	3	89.3	41	0	41	0	0	0	1
	佐世保西	4	97.9	27	0	28	0	1	0	0
	北松浦	3	89.7	25	0	26	0	1	0	0
	松浦	4	83.8	32	1	33	1	1	0	1
	小計		92.1	205	1	210	1	5	0	3

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				6月末	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	3	100.0	77	0	79	0	2	1	0
	佐世保東	3	80.7	31	0	32	0	1	1	1
	佐世保北	4	99.3	46	0	47	0	1	0	0
	佐世保中央	3	100.0	40	0	40	0	0	0	0
	佐世保東南	3	75.4	23	0	23	0	0	0	0
	HTB佐世保	3	80.3	24	3	26	4	2	0	0
	小計		89.3	241	3	247	4	6	2	1
第7グループ	大村	4	92.9	47	2	49	2	2	1	0
	島原	4	88.2	33	3	34	3	1	0	0
	雲仙	3	88.1	31	0	31	0	0	0	0
	大村北	4	100.0	32	0	32	0	0	0	0
	島原南	3	80.0	22	2	21	2	-1	1	0
	大村東	4	80.4	45	1	46	1	1	0	0
	小計		88.3	210	8	213	8	3	2	0
第8グループ	諫早	4	91.4	60	0	65	0	5	0	1
	諫早北	3	82.3	66	0	64	0	-2	0	0
	諫早西	3	86.0	43	0	44	0	1	0	0
	諫早多良見	3	88.0	37	0	39	0	2	0	0
	諫早南	3	78.1	31	4	32	4	1	0	0
	小計		85.2	237	4	244	4	7	0	1
第9グループ	長崎	3	90.3	93	0	99	0	6	0	0
	福江	4	93.4	40	0	41	0	1	0	0
	長崎北東	3	99.3	53	4	51	4	-2	0	2
	福江中央	3	93.6	36	1	36	1	0	0	0
	長崎西	3	83.3	66	0	70	0	4	0	1
	長崎琴海	3	68.1	23	3	23	3	0	0	0
	小計		88.0	311	8	320	8	9	0	3
第10グループ	長崎北	4	88.4	70	0	70	0	0	0	3
	長崎南	4	82.0	81	0	81	0	0	0	1
	長崎東	4	98.5	66	0	64	0	-2	0	4
	東長崎	3	74.5	35	0	35	0	0	0	0
	長崎中央	4	94.1	59	0	58	0	-1	0	1
	長崎出島	4	72.5	58	15	60	14	2	0	1
	小計		85.0	369	15	368	14	-1	0	10
合計		86.8	2,421	59	2,457	60	36	6	27	

肥前山口駅

昭和



肥前山口駅

現在



肥前山口駅（佐賀県）

肥前山口駅の開業は、明治28年5月5日（1895年）です。

現在の駅舎は、平成15年12月24日に改築され橋上駅となりました。

肥前山口駅は、長崎本線、佐世保線の分岐駅として特急「かもめ号」「みどり号」の分割や連結などを行っている駅です。

平成16年6月23日には、列島縦断・鉄道12,000キロの旅（BS NHK放送）の終着駅（ゴール駅）として生中継されました。記念のモニュメントもあります。

肥前山口駅長 森 勝之



国際ロータリー第2740地区

2006～2007年度ガバナー 田口 厚

事務所

〒850-0854 長崎市銀屋町3番12号（社団法人是真会内）

TEL：095-818-2660 FAX：095-818-2663

E-mail：ri2740@juno.ocn.ne.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

## 2006-2007

国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信  
クラブ会長・幹事各位



2006-2007年度  
国際ロータリーのテーマ

### 率先しよう

2006～2007年度ガバナー  
田口 厚



## CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
国際協議会を終えて	2
ガバナー補佐リレー随想	3
地区大会記念事業	5
IM報告	6
インターアクト後期指導者講習会	7
ROTEXと派遣・来日学生との交流会	8
米山奨学生紹介	9
次年度米山奨学生選考会	14
唐津RC創立50周年	15
全国空港フォーラム	16
活動報告	17
寄付者紹介	18
新会員紹介	18
会員数・出席報告	19
文庫通信	20

### 塔原橋 (とうのはらばし)

1639年「鎖国令」が発せられ、長崎が西洋文化の窓口となりました。これにより長崎街道は西洋文化の伝わる道として時代の脚光を浴びるようになります。この橋は1813年、伊能忠敬が渡ったとも言われ、石造りの橋で、昔の街道の面影が残っています。伊能忠敬は測量日記に「塔原川の川幅二間ほどわたると右手、田の中に薬師堂、左の山の上に観音堂が見える」と書き残しています。

(第3グループ ガバナー補佐 蒲原 孝之氏)





ガバナーメッセージ

# 年度前半期を省みて

国際ロータリー第2740地区

2006-'07年度ガバナー 田口 厚

やはり天候不順が続いている。竜巻・豪雨・小雪・気温の急変が続き、取れる魚の種類が予測されないという。ところによっては桜が咲き、結局は暖冬のまま春を迎えるようだ。極端に雪が少なく札幌の雪祭りも雪像の維持に大苦戦である。青森では中止された。東京でも雪はまだ降っていないが日本海側は大雪だそう。西日本では雨量不足で渇水が予測されている。現在は暖房の必要性が減少しエネルギーの節約には役立ってはいる。ウォームピズは必要ないのかもしれない。

ノロウイルスによる腸管感染症が猛烈に流行し、逆に新型インフルエンザが流行する予想が外れその代わりに鶏が鳥インフルエンザに感染し大量処分されている

今度は花粉症が確実に襲ってくる。これには軽重の差はあるが全く手が出せない。ただ発症の一時的な予防のみである。しかし流感でも花粉症でも人の社会的活動を出来なくすることで損失が大きい。

2740地区の前半期を省みると、地区テーマについては年次大会の際の温暖化防止のキャンペーンが地区内のロータリアンの意識も高め、いろいろなイベントが企画され実行されている。伊万里西クラブでは、小中学生の応募によるポスターをカレンダーとして、会員企業に配布し啓蒙活動に寄与している。最近、マスコミは温暖化による地球上の変化について絶望的な予想を報じ始めている。極端なのは人類滅亡論もある。それは今がタイム

リミットだ！いやそうではない今からでも遅くない！と。私は後者を信じたい。

アメリカのブッシュ大統領もようやく温暖化防止のための排気ガスの規制を口にしたが、これも排出量の規制ではなくて硫黄酸化物の再利用の研究であって、いずれは大気中に紛れ出ることになる。やはり根気よく温暖化防止に努力を続けて行くべきであろう。何時かは国際ロータリーも重い腰をあげてくれるであろう。

会員増強については12月末では丁度各クラブ純増1名であったが、年が明けると退会者が目立ち始めた。これは西日本地区の共通の減少だそうである。年度末まで予断は許されずクラブ関係者の方々のご尽力をお願いする。

またひとつ気になるのは現在までの財団基金や米山奨学会の寄付額が例年よりかなり低い状況である。中盤での盛り返しをお願いしたい。ラストスパートを期待してはいけない。

サンディエゴにおける全世界のガバナーエレクトが集まる国際協議会が終了し、野口エレクトが帰国された。次年度のテーマは「ROTARY SHEARS」分かち合おうとのことで、詳しいことは2月24日の地区チーム研修セミナーで発表されていることだろう。

留学生危機管理防止については、2月15日のガバナー会議でほぼ骨子が固まったので、3月末での地区委員会設置にむけて見通しが立ったところである。



# 国際協議会を終えて

国際ロータリー第2740地区

ガバナーエレクト 野口 清

アメリカ カリフォルニア州 サンディエゴは青い空と青い海が輝いて美しいところでしたと言いたい所ですが、どう言う所か全くわかりません。おまけに前半は雨模様で肌寒く天候異変がアメリカでも起こっています。環境保護が急がれます。ところで着いて最初に驚いたのは我々日本のエレクト33名が協議会会場に入場する時に日本のリーダー、理事、SAAの方々が並んでお迎えをしてくれましたが、その時SAAの藤川氏が一度もお会いしたことがないにもかかわらず、すべての顔を覚えておられてちゃんと名前を呼んで握手してもらったことです。すごいと感じました。

朝の7時30分から夜の10時までびっしりつまったスケジュールで息つく暇もありませんでした？。食事は毎日毎日パン、ソーセージ、ベーコン、たまご、肉の連続 往生しました？。蛇の道はへび 夜な夜なクローズとなったすし屋に無理やり入りこみ酒を飲み、すしを食べ余計に疲れしました。

“Rotary shares”今年度の国際ロータリー

のテーマが初日に次期会長のウイルキンソン氏から発表されるときにはさすがに感動と荘厳さを感じました。1400～1500人の会場がどよめき興奮のるつぼと化した有様は一種異様な感銘を受けました。それからの毎日は、大きな声では言えませんが苦痛に近いものがありました。しかし、それにも増して喜びが訪れようとは最初の頃は思いもつきませんでした。それはこの歳になってかけがえのない友人を得ることが出来るとは思ってもいなかったことです。苦しい思いをしたもの同士の友情はかけがえのないものとなり一生の友人となることです。これこそがロータリーだと感じた瞬間です。“Rotary shares”は苦しみや喜びを分かち合うことによって輪を広げていくことだと思えます。色々なことを学びましたが、友情の輪こそ一番の収穫だった感じております。

我が地区は来年度は”ロータリーを楽しもう”と言う合言葉でやりたいと思っております。楽しむためには苦しいこともあるかもしれませんが、とりあえず楽しみましょう！





ガバナー補佐 リレー随想

## 「遠くて近い第7グループ (大村・島原)の距離」

第7グループガバナー補佐 太田 靖 臣(大村東RC)

第7グループのガバナー補佐を委嘱され、早7ヶ月が過ぎようとしています。

クラブ協議会、田口ガバナーの公式訪問とあの暑い夏が懐かしく思えてきます。

考えもしなかった補佐の役を受けて、当初は“困ったな”と後悔に似たものがありました。しかし、島原3クラブをクラブ協議会で訪問させていただきました折、本当に親切に対応して頂き、「ロータリーとはこんな世界か!」「こんな人間関係もあるのか!」と再認識し、大変嬉しく思ったものです。

実は、大村と島原半島の間はともすれば片道、車で2時間はかかり、おまけに両地区は諫早第8グループに遮られてとても距離を感じますし、また島原3クラブにはほとんど知っている方がいらっしゃらなく、大変遠いところだなと感じていました。それが、何度か訪問し酒を酌み交わすうちに、私にとって精神的にも大変近い距離に感じられるようになりました。だが果たして大村の3クラブのメンバーにとって、また島原のクラブメンバーにとってはどうでしょう?……多分とてつもなく遠い所と思われていると思います。大村市内3クラブのメンバーは経済活動も政治活動もほとんど一緒に行動しますので、いつでも“ヤァ〜”と声をかけることができます。島原のメンバー同士でも同じ事が言えるかと思いますが、残念ながら両市の間では距離という問題があり、声をかけることもお互いの顔も知らないというのが現状です。果たしてこれで第7グループと言えるのかな?と思っ

ていましたところ、島原クラブの会長さん・幹事さんから「こんなにお互いの交流がないのはグループとは言えないですね」というお言葉を頂き、私も複雑な心境のなか、反面嬉しく思いました。そして「今年度第7グループの合同懇親会を行い、親睦を図りましょう」との提案と企画をして頂きましたが、残念ながら今年度は実現できなくなりました。大村3クラブ会長会議において、IMの準備とその3月末の開催等で、時期的に無理ではないかという結論になりました。また、3・4月には県・市議の選挙、7月には国政選挙等があり、皆さんも経済や政治に関わられており、この時期の開催も無理のようで、ガバナー補佐として大事な両地区の親睦・交流の機会を実現できず、大変申し訳なく思っているところです。

島原クラブの会長さんには折角企画していただいたのですが、事情を察してご了承いただきました。しかし、このような動きがあることを次年度に伝え、是非とも実現して頂きますよう期待したいと思います。私にとっても島原3クラブのメンバーの顔と名前がかなり一致してきています。そして島原と大村は他のメンバーにとっては大変遠い所かもしれませんが、最近の私にとっては非常に近く思える今日この頃です。

グループ分けについては大変難しい問題が残りますが、それを克服して、次年度はお互いに共同活動が出来る“近いグループ”になりたいものだなと思っています。



ガバナー補佐 リレー随想

## 「念ずれば花ひらく」

第8グループガバナー補佐 宮崎 清 彰 (諫早北RC)

地区大会での長崎ブリックホールから懇親会会場への移動の時、長崎ならではの路面電車（しかも貸切）を利用する事となる。どうやって貸切電車になるんだらうと気持ちをわくわくさせながら、又一般客はどうなるのかという心配をしながら乗ることとなる。貸切り電車とは車両まるまる貸切ののと、一般の電車にロータリーの名札をつけていれば乗れるという、なかなかいいはからいでその心配は消えた。

私はたまたま牟田パストガバナーと一緒に電車に乗った。10年前牟田ガバナーの時、私は諫早北ロータリーの会長で今は亡き小林俊雄さんが幹事だった。ガバナー公式訪問の時にどんな質問がくるかと緊張していたところ、「会長、幹事のニックネームは何ですか」と聞かれ「ニックネームは?!」二人は顔を見合わせ、宮崎で（ミヤちゃん）小林俊雄で（トシちゃん）ですと答えた。牟田ガバナーは「ミヤちゃん、トシちゃんコンビでなかなか楽しそうですね」といわれた。あの時のあの優しい顔が未だに忘れられないといたら「そうでしたか」とにっこりされていました。牟田パストガバナーのぬくもりを肌で感じながらいろいろお話をしている内に電車は長崎駅に着きました。

地区大会3日目記念講演会の講師の一人、北野大さんの話の中で「念ずれば花ひらく」は誰の詩でしょうという質問が出ました。私は以前その題で出版されたあるビール会社の会長の言葉とばかり思っていたがそうではなかった。この「念ずれば花ひらく」という言葉が自分自身とても気に入っていたので大切

に心に持っていた。北野さんのお話で熊本出身の詩人坂村真民さんの詩だということがわかった。さっそくその詩集を買って読んだ。坂村さんは97才で今もって現役詩人として活躍しているという。昨今では坂村さんの詩を愛唱する人が非常に増えているという。又月に1回講和をじかに聴く会があるというのでぜひ訪ねてみたいと思った。それから1ヶ月が過ぎた頃、新聞で坂村真民さんの死亡記事が目に入った。非常に残念でたまらない。ここで私の好きな二つの詩を紹介します。

(念ずれば花ひらく)

苦しい時 母がいつも口にしていた  
このことばをわたしはいつのころからか  
となえるようになった  
そうしてそのたび  
わたしの花がふしぎと  
ひとつひとつ ひらいていった

(からっぽ)

頭をからっぽにする  
胃をからっぽにする  
心をからっぽにする  
そうすると はいってくる  
すべてのものが 新鮮で生き生きしている  
(詩集「念ずれば花ひらく」 坂村真民ヨリ)

日々感謝しハッピーに生きる。少しでも社会のお役に立てる様にと思いつつ。この地区大会は私にとって「考える」すてきな時間でした。

地区大会記念事業

# 平和公園に枝垂桜植樹

国際ロータリー第 2740 地区

地区大会記念事業委員会 委員長 松本 勝 (長崎RC)

国際ロータリー第 2740 地区大会のテーマは、環境問題であった。大会では、前環境大臣小池百合子氏、北野大教授にそれぞれ、テーマにふさわしい有意義な講演をして頂いた。次いで地球温暖化防止のメッセージの一端を発信できればと考え、大会記念として長崎市平和公園に枝垂桜を移植寄贈することにした。

もともと桜咲く緑の平和の聖地である同地に、いつの日か満開の見事な枝垂桜へと成長するのを楽しみに、田口厚ガバナー以下多くの会員と共に記念植樹を行った。



温暖化防止のシンボルとしてシタレザクラを植樹した  
田口ガバナー (中央) ー長崎市、平和公園

平成 19 年 1 月 29 日付 長崎新聞

### 平和公園に 桜記念植樹

国際ロータリー 2740 地区 長崎・佐賀両県を活動エリアとする国際ロータリー第 2740 地区 (田口厚ガバナー、会員約二千五百人) は二十八日、長崎市松山町の平和公園内に、シタレザクラ一本を記念植樹した。昨年十二月、「環境問

題」をテーマに同市で地区大会を開いた際、地球温暖化を防止し環境意識を啓発するシンボルとして、植樹を決めた。シタレザクラは、高さ約六尺、樹齢は五十年で、関東地区から取り寄せた。同 2740 地区の役員らが見守る中、業者が植え込んだ。記念植樹事業の松本勝委員長は「シタレザクラは寿命が三百一四百年と長い。平和公園は桜の名所でもあり、さらなる緑化を図りたい」。田口ガバナーは「平和のシンボルの場所から、温暖化防止のメッセージの一端を発信できれば」と話していた。ソメイヨシノよりは開花が遅いため、四月中旬ごろに、見ごろを迎えるという。





## 第9・10グループ

## I M 開催報告

長崎西ロータリークラブ 会長 馬場 政 徳

平成19年2月18日、第2740地区第9・第10グループインターシティ・ミーティング（以下IM）が、ホテルニュー長崎で開催されました。

プログラム通り進行し、無事終了したことは田口ガバナーを始め、ご来賓の皆様方と各クラブのご協力とご支援の賜物と深く感謝しております。

クラブでIMに取り組んだのは、昨年9月5日のガバナー公式訪問後でした。

本年の基本方針のひとつに「みんなに公平か」、即ち会長以下理事役員だけが主にロータリー活動をする事が無いように、クラブ会員全員が参画する活動を目指していたので、役割を広く分担しました。

まず場所と期日を決定し、内容をどのような勉強会とするかを20数名で構成する実行委員会で討議しました。

10年前に当クラブがIMを担当した時は登録費も7000円で他にIM分担金が全会員から1500円ありましたので、総予算が約560万円ありました。今期12月末の会員数は693名で全員が登録しても登録費6000円で約416万円、約150万円の差があります。

実行委員会では費用がかからない、そして有効な会議を模索した結果、当クラブの江上会員が職業を通じて以前から関っている「インドネシア難聴支援対策事業」を同会員に紹介して貰うことにしました。ロータリー財団の同額補助金制度の活用による、ロータリー

の国際奉仕の具体例を提示し、他クラブでも応用して頂くことを期待してこの主題を決定しました。

そして当クラブでこれまでに2度卓話して頂き、知識と話題が豊富な菅奎二郎さんに講演をお願いし、快諾を頂きました。

昨年12月各クラブに登録依頼書を提出し、1月中旬に各クラブより全員登録（病氣療養者と高齢者以外）の回答を頂きました。

お蔭様で、お金のかからない手作りのIMを全員認識しながら着々と準備を進め、開催することが出来ました。そしてご出席の皆様方から絶大な賞賛を頂き、ホストクラブ会長として感極まる思いで一杯です。これもクラブ全体で取り組み、努力した結果であり、会員相互のチームワークを誇りに思います。

また、ロータリー財団国際親善奨学生で今期当クラブから推薦され、フランスに留学が決定した村田真理子さんのピアノ演奏と、同じく福江中央クラブから推薦され、イタリアに留学し帰国した庄司綾香さんの独唱が盛り込まれ、有意義な機会を与えられたものと思います。

第2部の「友情と懇親の夕べ」は長崎市内のロータリアンで構成する男性合唱団「ハミングバズ」の歌と、弦楽四重奏をバックに一同が懇親を深め、盛会のうちに終了しました。

ロータリアンの友情に感謝致します。



# インターアクト後期指導者講習会

国際ロータリー第 2740 地区

インターアクト委員会 西田 信行

2月3日（土曜日）インターアクト後期指導者講習会が田口厚ガバナー、吉田正和地区幹事の出席のもと、武雄市文化会館で開催されました。18校の生徒、顧問教師と提唱クラブロータリアン合わせて約100名の出席でおこなわれ、最初に田口厚ガバナーより今回の講習会を理解し学業と活動を両立して、今後の活動に役立て欲しいと言う挨拶ではじまりました。

講習会の内容は、生徒・顧問教師が「昨年の年次大会後の活動について」をテーマに長崎女子高校の生徒による司会で各インターアクトクラブの活動状況が順次発表されました。（発表内容は他校との交流、地球温暖化についての取り組み）

他校との交流は年次大会の際パートナーが成立していた4組の活動が紹介され、おもに清掃活動、骨髄バンクや献血の呼びかけ等を一緒に活動することによって、地域の人とのふれあいや生徒間の交流ができたとの感想が多く、これからも協同活動が継続できれば良いと思いました。

地球温暖化についての取り組みについては、

冷暖房の温度設定、古タブの回収、緑化運動、校内割り箸回収運動などインターアクト自身の活動が報告されました。

その中でも長崎女子高校の割り箸を回収することで、生徒自身が学校の中でもリサイクルの重要性を意識し、環境保全や資源を大切にすきっかけにしたいと活動報告が詳しく紹介されました。

多くのボランティア活動の発表を参考にし今後、活発な取り組みを期待しています。次年度インターアクト年次大会でも、すばらしい活動報告がされることでしょう。

また、ロータリアンは、別会場にて島松孝夫会員（佐賀北RC）より「原点に戻ろう」をテーマに講話があり、学校との関わり、生徒の活動の把握、ロータリアンとしての活動などの、お話がありとても参考になりました。

最後に荒木健治地区副幹事より、ロータリアンと生徒が、ボランティアに対する意義を考える良い講習会であったとの所感がありました。今後インターアクトクラブが、ますます活発に取り組むことを期待して後期指導者講習会の報告とさせていただきます。



# 青少年交換帰国学生 (ROTEX) と 派遣・来日学生との交流会を開催

国際ロータリー第 2740 地区

国際青少年交換委員会 瀬戸口 智彦

日 時 H.19. 2.12 11:30 ~ 14:00

場 所 諫早 ホテルセンリュウ

## 内 容

ROTEX 会長の若杉友香里（諫早多良見）さんをはじめ、佐賀・長崎地区の ROTEX（帰国留学生）の発案で来日・派遣予定の交換学生の皆さんと ROTEX の皆さんの交流会が 2 月 12 日開催されました。ROTEX の皆さんの貴重な体験を報告してもらい、交換学生の不安解消を目的としています。

軽い食事をはさんで 3 時間にわたり熱心なやりとりが交わされ①来日学生の日本語習熟状況②派遣予定学生の準備状況などが話題にあがり、派遣学生からは「こんな経験は始めてです。ためになりました。特にインターネットでの月例報告等をどうすればいいのかよく分かりました。次回も是非同じように ROTEX の先輩に教えてもらいたいです」という声が上がっていました。

我々ロータリアンよりも同じ世代同志のほうが、悩みや問題を解決するには役立つようです。

## 参加者：

来日学生：コリン・ジュリアン、侍 依仁、キッモ・サイラネン

派遣予定学生：中山康平、大浦 薫、橋本 将、平野美里

ROTEX：若杉友香里、本多正篤、百武絃司、古河陽平、平田稔人、平子咲、浜村恭子

国際青少年交換委員会：瀬戸口委員長、相内（地区交換事業専任）



# 米山奨学生紹介



世話クラブ 佐賀南RC  
 カウンセラー 秀島 宣雄  
 国 籍 中国  
 学 校 佐賀大学  
 氏 名 達 慶紅

## プロフィール

私の故郷は中国の南京と吉林の2箇所があります。昔東晋、明の時代をはじめ、6回も中国の封建王朝の首都になり、歴史的な古都の南京で生まれました。冬は真白な氷と雪の北国の吉林で幼女時代の8年間を過ごしました。ですから北国の人の寛大な心を持ち、楽しい時に大きく元気な声で笑い、怒る時にストレートに自分の意見を主張します。同時に「南京ガール」のように気前が良く情熱型です。自分の目で世界を見て、自分の心で世の中の美しさを発見するのは私の言動力です。この力で私は日本に来て、自分の目で日本の「良さ」を発見し、この「良さ」を参考にしてこれから祖国の建設に力を尽くしたいと思えます。失敗か挫折があっても負けたくないです。佐賀に来てから「笑顔で生きんしゃい」の言葉を好きになってもっともっと元気に頑張ろうと思えました。やはり自分の欠点を紹介するのは忘れませんでした。私の欠点は主に大まかです。これからできるかぎり直したいと思えます。

## 抱負

私は幼い頃から周恩来首相のように日中友好及び世界各国の友好の大使になる夢を持っていました。米山奨学生になってからこの夢を実現できると思えます。私は周恩来のような偉人ではないですが、鳩のように平和の種を飛べる所に送りたいです。米山奨学生としての抱負は：

1、まず自分の専門科目を上手になる。

私の専門は発達障害の子供達への特別支援教育です。その中でアインシュタインやエジソンのように発達障害があってもすぐれた能力を持っている子供達は沢山います。私は沢山の「アインシュタイン」を発現したいし、支えたいです。

2、私は中日友好の大使になりたいです。まず郷土の風土文化を日本の方に紹介し、そのすばらしい記憶を残るように頑張ります。それに、日本の「良さ」を祖国の人々に知らせ、暖く広い心で中日両国がまだ存在している誤解を解くために微力を尽くしたいです！



世話クラブ 神埼RC  
 カウンセラー 中島 敏  
 国 籍 中国  
 学 校 佐賀大学  
 氏 名 韓 艶雯

## プロフィール

中国上海から参りました韓艶雯と申します。どうぞよろしくお願ひします。私は今、佐賀大学教育学研究科修士課程2年生です。専門は日本近代文学です。その中に、横光利一が上海について書かれた小説『上海』を中心に研究しております。

私は2002年10月、大学3年生の時に、上海の大学の推薦を受けて、交換留学生として佐賀大学に一年間留学しに参りました。大学を卒業してから、日本近代文学の勉強を更に続けたいと思う私は、佐賀大学大学院に進学することにしました。

日本での留学生活を通して、私は見たことのないものを見て、触れたことのないものに触れて、視野を広げ、コミュニケーションの大切さと楽しさを実感しました。これからも国際交流と親善に自分のささやかな力を尽くしていきたいです。どうぞよろしくお願ひします。

## 抱負

今回は米山奨学生に選んでいただき、心から感謝しております。これからは米山奨学生としての誇りを持ち、学業と国際交流の両方面に更に頑張っていきたいと思えます。

私は将来一人前の日本語先生を目指しております。日本近代文学の研究に専念し、学会に積極的に参加して、学術の面において、自分を更に磨いていきます。日本に来てから、私はいろいろな国の方と知り合い、国際交流の大切さを実感しました。今まで各種の国際活動に参加してきましたが、これからもロータリアンのボランティア精神を受け継ぎ、ボランティア活動に積極的に取り込んでいきたいと思えます。

私はロータリーの社会奉仕精神に共感しております。奨学生としての期間が終了した後も、この精神を忘れることなく、将来自分の職業を通して発揮し続けたいです。



世話クラブ 北松浦RC  
 カウンセラー 藤永 博輔  
 国 籍 中国  
 学 校 長崎大学  
 氏 名 関 暁麗

### プロフィール

関暁麗と申します。中国福建省出身。大学の専門は日本語でした。日本近代文学を読み、日本人の美意識に憧れて、福建省と長崎県の友好事業の一環で、交換留学生として来日。

現在、私は長崎大学院の博士課程社会開発工学の土木史分野で、中国と日本の歴史的な都市形成を比較検討する研究を続けています。

将来的には、帰国して、福建省の大学で地方史を地元の大学生に教えたいと思います。また、地方都市の歴史資料、古写真の収集、河川の調査等により、貴重な資料を次の世代に残すとともに、そのまちの伝統と歴史を活かしたまちづくりに貢献する仕事に携りたいです。

趣味は、読書、生け花、中華スープを作ることです。他人との会話で、よく新しい発見がでてくるので、人と話すことも好きです。どうぞお気軽に声をおかけください。

### 抱負

来日4年間の経歴は、私を最初の夢ばかりみている文学少女から堅実な夢の実践者まで変わってきた。きれいな夢ばかりみるのではなく、社会の現実を前にして、他人に貢献のできる人間になりたいと思うようになってきた。米山奨学生として、立派な社会人として、「他人への思いやりと助け合い」の精神を身をもって生涯行いたいと思います。

将来的には、帰国し、福建省の大学で地方史教育に力を注ぎながら、そのまちの伝統と歴史をいかしたまちづくりに貢献するボランティアになりたいです。ほかに、福建省で留日学生同窓会の主催、日本の生け花から学んだ日本の美意識を福建に広めること、長崎県と福建省の友好都市の相互の観光による経済発展に尽力できるのではないかと思います。こうして、長崎県、福建省の人々の相互理解を深めていくことができると思います。



世話クラブ 佐世保南RC  
 カウンセラー 峯 順通  
 国 籍 英国  
 学 校 長崎国際大学  
 氏 名 巖 詠怡

### プロフィール

私は香港から留学に来た長崎国際大学の4年生の巖詠怡と申します。1年半前に香港城市大学を卒業する時、先生から日本に留学して、観光をもっと勉強するようすすめられたのがきっかけになって、私は長崎国際大学国際観光学科に編入しました。

いろいろな国の人々に出会うことに興味を持っており、私は韓国人や中国人や日本人などの友達をたくさん作りました。

私が一番興味を持って、一度学んでみたい日本の伝統文化は茶道です。早速茶道の授業に入って、日本文化の素晴らしさと日本の独特な心優しいおもてなし精神を学ぶことができました。

私の夢は航空関係の仕事をする事です。卒業後は香港へ帰って航空業への就職を目指しながら通訳の仕事にもチャレンジしたいと思っています。

### 抱負

私は2005年12月に長崎原爆資料館に見学に行きました。今回の見学を通じて、長崎に投下された原爆の惨状を知り、世界平和の重要性を理解することができ、大変貴重な体験でした。

ロータリー米山奨学生として、世話クラブの例会に出席し、カウンセラーや他国の奨学生との国際の文化交流及び相互理解を深めます。いろいろな民族の習慣について話し合い、文化交流や地域活動などへの参加のチャンスを広げたいし、日本の文化に触れ、社会貢献の意識を育ててみたいし、将来国際親善・平和の創造と維持ができる人になれるのが私の抱負です。

卒業するまであと約1年の間に、有意義な留学生活を送り、積極的に国際間の文化交流を行いたいと思います。国に帰ってここで学んできたことを我国の人に伝えたいです。

**LEAD THE WAY**

世話クラブ 佐世保中央RC  
 カウンセラー 古賀 純男  
 国 籍 韓国  
 学 校 長崎県立大学  
 氏 名 金 斗卿

**プロフィール**

私は1969年11月16日京畿道という地域で、5人兄弟の長男として生まれました。小、中、高校をソウルで卒業し、1990年から1992年の間、韓国では義務になっている軍隊に服務しました。軍隊では足を怪我したり、大変な思いばかりでしたが、射撃の試合で賞を貰ったりもしました。

軍隊を出た後、ソウルに所在する聖公会大学に入り日本社会について勉強をしました。大学時代日本語に興味を持ち、1998年から1年半東京で日本語を勉強し、その時日本のすばらしさを感じ再び来日し、2001年長崎国際大学に入学しました。そして現在、長崎県立大学大学院で経営情報を勉強しています。

私の趣味は、思索と映画と旅行です。好きな色は青で、好きな日本料理は回転ずしです。

**抱負**

私が米山奨学生に応募したのは単に奨学金だけがほしかったからではありません。ロータリーの専門職で活躍している方々とお会いしたかったからです。

私は大学院卒業後、韓国で飲食を通じて日本人と韓国人の交流が深まる場を作るつもりです。そのためには、さまざまな分野の方々や経験豊かな方々との交流が必須だと思っています。

米山奨学生の間、現在私が所属している世話クラブの行事や地域活動に参加し、ロータリークラブを理解したいことと、日本全国を回りながら日本全国ロータリークラブのロータリアンの方々と交流をし、少しでも韓国人を理解してもらおうと共に、日本のさまざまな地域の文化と接し、日本をより一層理解したいと思っています。



世話クラブ 大村RC  
 カウンセラー 西川 義文  
 国 籍 中国  
 学 校 長崎国際大学  
 氏 名 李 瑞玉

**プロフィール**

私は2000年7月中国の遼寧省から東京に来て日本語学校で学んだ後、翌年の4月に長崎国際大学国際観光学科に入学しました。

性格的には自信が強く頑固者です。でも、それを周りには感じさせずに同調することができます。しかし、威張った態度の人には猛烈な反抗心を剥き出しにします。サバサバした印象を与えてはいるものの、自分の本当の感情を出すことがあまりうまくありません。

激しい運動があまり好きではなく、景色の良いところでゆっくり散歩することが好きです。趣味は、読書、テレビ鑑賞、観光です。

人前で話すことはとても苦手です。小・中学生時代は恥ずかしくて授業中いつも手を挙げなかったです。日本に来てから、国際交流や異文化コミュニケーションなど人と触れ合う機会が多くなったので、だいぶ社交性も豊かになりました。

**抱負**

米山奨学生に選ばれ、アルバイトをしなくて良くなりましたので勉強と地元の人たちとの交流に一層力を傾注したいと考えています。勉強については今年度、修士課程2年生になりましたので修士論文執筆に関して懸案であった中国遼寧省への現地調査を実施し、更に研究を深めて内容と実効性のある論文を執筆したいと考えています。社会的には学部から今まで続けている観光学専攻の知識が世界平和の維持・促進にもつながると考えられます。中国と日本との関係改善や交流促進に、若い世代の立場から草の根的な行動と努力を積み重ねて参りたいと考えています。

将来は中国に帰国し、現在はまだ北京や上海に限定的にしか知られていない、社会奉仕に活動するロータリーの精神を普及させるような貢献にも、できるかぎりの力を注ぎたいと考えています。



世話クラブ 諫早西RC  
 カウンセラー 平 武  
 国 籍 マレーシア  
 学 校 総合科学大学  
 氏 名 テオ・チュイン

### プロフィール

私はマレーシアから来ました。日本に来て5年目になりました。現在、長崎総合科学大学の工学部・経営システム学科・3年に在学しています。大学に入学する前は、私は佐賀県で2年間の日本語課程を勉強していました。

大学での勉強以外で、私は剣道部や留学生会のフリーマーケット担当に附属し、また様々なボランティア活動や国際交流などにも参加しています。私の趣味は、料理をつくるのが大好きで、いろいろな料理のレシピを集めたり、友達が作った料理を学んだり、自分で挑戦します。スポーツでは、バドミントンや山登りが好きです。その他、私は音楽が大好きで、小学校四年生から高校三年生までオルガンをやってきました。また、日本の伝統文化にも興味を持ち、これから少しずつ勉強していきたいと思っています。

### 抱負

私は米山奨学生として大変なほこりを持ち、もっと勉強を専念できるようになりました。大学生になって、アルバイトをする余裕がなくなり、すべてお父さんからの援助で仕送りをしています。

去年大学から(財)米山ロータリークラブの奨学金を推薦されて、無事に合格できたので、本当にありがとうございます。今年から米山ロータリークラブの奨学生になったということで、少しでもお父さんの負担を減らすことができるようになりました。

これから、社会人としての一般常識を勉強しながら、多くのボランティア活動に参加し、日本人と交流して、お互いの国で大切にしている文化などをすることができるよう頑張りたいと思っています。また、有意義な留学生を送りたいと思います。



世話クラブ 長崎RC  
 カウンセラー 佐藤龍太郎  
 国 籍 中国  
 学 校 長崎大学  
 氏 名 程 継中

### プロフィール

私は中国遼寧省瀋陽市からの留学生、程継中(テイケイチュウ)と申します。長崎大学経済学研究科マスターの2年生です。

私は1999年4月に日本へ参りました。最初は福岡にある九州英数学館国際言語学院という日本語専門学校で二年間日本語を習い、その後長崎大学経済学部を経て、現在経済学研究科の大学院生であります。

研究の内容につきましては、中国の中小企業というテーマで、中小企業における諸問題や現状などの分析を中心に研究しております。研究方法は日本語文献や中国語の文献、中国語版の最新データなどを用い、研究するという事です。

### 抱負

この度、米山奨学生として採用され、大変光栄に思っております。心から感謝のお礼を申し上げます。これから、恥のない米山奨学生として、生活を送らなければならないと思います。

私は日本で就職したいと思っております。仕事を通じて日本と中国の経済に少しでも貢献できたらと思います。今年は修士論文を仕上げなければなりません。これから修士論文の作成に力を入れようと考えております。そして毎月の例会に参加して、世話クラブの方々の話を聞き、さらに日本の文化や習慣に関する理解を深め、社会に貢献できる新社会人になれるようにがんばりたいと思います。

## LEAD THE WAY



世話クラブ 長崎西RC  
 カウンセラー 金丸 英幸  
 国 籍 韓国  
 学 校 長崎大学  
 氏 名 鄭 爽鎬

## プロフィール

私は韓国の釜山で生まれて軍隊の時代を抜いてずっと釜山で住みました。釜山で高校の時代ではインタアクト、大学の時代ではロータアクトの活動をしました。特に大学2年生の時は会長として活動もしました。

学歴は韓国の釜慶大学の制御機械工学科を卒業し、同大大学院に入ってディーゼルエンジンに関する研究をしました。

軍隊で運転手として勤務したきっかけでエンジンのことに関心が深くなり、博士まで続くことになりました。今長崎大学で研究しているのはHCCIエンジンという環境に優しいエンジンのことです。今まで学会の発表論文を5本出しており、今年も5本以上出しております。さらに掲載論文も3本申し込んで審査を受けている中です。

## 抱負

ROTARYの歴史は15年前から知っていました。「奉仕」聞いた時には何か偉いことかも知れませんが、私がINTERACTの一人として奉仕の活動をした時、私はこう思いました。「奉仕は難しいことではない、自分のまわりの掃除も奉仕だ」それから十数年が経って最近奉仕はほとんどしなくなった私を改めて確認しました。恥ずかしいですね。こんな私に米山奨学生という大きい恵沢を被って心から深く感謝をささげます。

私は被った恵沢に恩返しするため再び奉仕の精神をとり直して一から奉仕をしようと思っています。そして研究が終って私も経済力ができたらチャンスがない優秀な人材の面倒を見てあげたいです。最後に帰国したら韓日の友好関係を増進することに同参すると思っています。



世話クラブ 長崎琴海RC  
 カウンセラー 河野 浩太  
 国 籍 中国  
 学 校 長崎純心大学  
 氏 名 郝 苗苗

## プロフィール

私は中国の遼寧省に生まれ、小学校や中学校は中国で教育を受けていました。1997年に家庭の事情により、来日し日本の学校に入学してゼロから日本語や様々な知識を勉強しはじめました。言葉の壁や生活環境、習慣の違いのことで戸惑ったり、苦勞したりする時もありましたが、これらは全て自分を成長させる転機と考え、乗り越えて来ました。2001年長崎純心大学に入学し、日本語、日本文化は勿論、英語教諭免許等の取得にも挑戦してみました。大学での生活は、様々な知識を習得すると同時に自我を認識したり、人間としての役割を考えさせるチャンスを作る場でもありました。様々な角度で大学生活は私自身を成長させてくれました。この期間で、国際文化交流活動、ボランティア活動にも積極的に参加しました。去年からは、大学院へ入学し、比較文化分野で日中外来語の受容に関する比較研究を進んでいます。

## 抱負

米山奨学生に選ばれたことは大変誇りに思っています。大学2年次の時に先生方の話からロータリー米山奨学会のことを知りました。その後、インターネットで調べ、ロータリー米山奨学会は学生の学業生活を支援し社会貢献を目的とする財団であることを理解しました。いつか私も米山奨学生になり、研究に励み社会活動に参加していきたいと目標にできました。今年、大望が叶え米山奨学生になったことは大変嬉しく思います。同時に私を支え応援してくれた方々に心から感謝しています。これからの1年間は、奨学会の支援を受けながら世話クラブのカウンセラー先生や諸先生方のアドバイスを頂き、交流を深め日本のことや研究のことを更に学習したいと考えています。また、近い将来、米山奨学生ハンドブックに載せてる諸先輩方のように、立派な社会の一員になり、社会へ貢献し、社会に還元したいと考えてます。



世話クラブ 長崎出島RC  
 カウンセラー 伊東 啓雄  
 国 籍 台湾  
 学 校 総合科学大学  
 氏 名 王 鳳儀

### プロフィール

私は王鳳儀と申します。私は台湾の台中出身です。

私は台湾で中学校を卒業してから、カナダへ留学しに行きました。そして、私はカナダで4年間の高校の留学生生活を過しました。私はカナダで言葉だけではなく、欧米の文化も勉強しました。

幼い頃から伯母のいる日本に遊びに来ていた私は、日本の文化と日本語に非常に興味を持ち、カナダ留学を経て、日本に留学する事を決心しました。

私は現在長崎総合科学大学の人間環境学部で勉強しています。4年間の日本の大学生活で私は環境に関する知識だけではなくいろいろな人達と出会い、いろいろな経験をしながらの4年間でした。それは、私の人生における何よりも宝物だと思います。

### 抱負

私は長崎に来てもう4年間になりました。長崎は景色が美しいだけではなく、独特な伝統文化と異文化もあり、しかも、長崎の人々もとても親切だと痛感しました。私は長崎大好きになりました。

私は観光文化に非常に興味しています。だから、私は色々な国の食文化、言葉文化などの研究を力いっぱいしていきたいです。

特に、私は、長崎の文化と良い所を世界の皆様に伝えたいです。私も日本と台湾の架け橋になるだけではなく、日本と世界との架け橋になりたいです。

私は今後、大学の勉強だけではなく、社会のボランティアも積極的にしていきたいです。米山奨学金を貰ったことをきっかけに私は、ロータリークラブの方々にもっと色々な私が知らないことを習いたいと思います。

## 次年度米山奨学生 選考会報告

米山記念奨学委員会 委員長

高木正隆 (諫早南RC)

去る1月14日、長崎市「平安閣サンプリエール」において2007学年度、地区米山奨学生選考会が行われました。

当日は隅田米山奨学理事、田口ガバナー、野口ガバナーエレクト、吉田地区幹事、地区米山委員からなる選考委員15名により地区内大学から推薦された39名の留学生全員に、小論文及び面接を行い、次年度の採用枠(14名)の学生を選出しました。

今年度からの継続学生(4名)と合わせて18名が、来る5月に開催予定のオリエンテーションを経て正式な次年度地区米山奨学生となります、地区ロータリアンの皆様方には今後とも何かとお世話になりますが、どうぞよろしく申し上げます。



# 唐津ロータリー創立 50 周年を終えて

唐津ロータリークラブ

創立 50 周年実行委員長 井上克己

唐津ロータリークラブ創立 50 周年記念式典および祝賀会を去る 1 月 23 日（火）に執り行いました。華美にならず、しかも半世紀を経た重みを感じ、未来の活動を考える周年行事を……との大串会長の方針で実行委員会を組織し全員参画での取り組みでした。

唐津ロータリーは昭和 31 年 12 月 1 日、正会員 28 名、名誉会員 1 名で設立総会を行っています。

そして 50 年、奨学金制度での奨学生選定、インターアクトクラブ結成、韓国麗水 RC 及び中華民国大甲 RC との姉妹クラブ提携、記念事業としての消防広報車や防災広報車寄贈、環境監視パトロール車の寄贈、盲導犬育成事業への支援等、確実な歩みがありました。

これら節目の歩みをスライドで紹介し、田口厚ガバナー、保利耕輔衆議院議員、古川康佐賀県知事、坂井俊之唐津市長、麗水 RC 会長、大甲 RC 会長からの挨拶、祝辞で式典はスタートしています。参加人員はパストガバナーをはじめ、地区内の各クラブ会長、幹事、唐津地区会員で 247 名の多数でした。

今回の記念事業は、唐津市・東松浦郡内の 9 市町村による平成の大合併を記念し、市民の心を一つに集め新しい唐津市の更なる発展を願い佐賀、福岡、伊万里からの市内入り口 3ヶ所に石碑を建立し、唐津市に寄贈しました。石碑には、「ようこそ唐津へ」の題字（保

利耕輔書）と旧市町村のシンボルマークを刻しています。

記念講演は「国際理解とボランティア精神—日本滞在 35 年の経験から」の演題で長崎総合科学大学・人間環境学部、環境文化学科教授プライアン・バークガフニ氏でした。日本語が母国語でないだけに「言葉」の意味を理解することで交流を深めた等大変におもしろく内容のある講演で、参加者からの評価は非常に高いものでした。

懇親会でのオープニングは地元若者による港太鼓で、そしてスポンサークラブ佐賀 RC 織田会長の乾杯で賑やかに始まりました。余興は相知町大野地区の大黒舞。「紅白の祝いもち」を各テーブルに振舞い 50 年を祝っていただきました。

祝宴中に姉妹提携クラブ麗水 RC、大甲 RC との記念品交換があり大いに国際交流を深める事ができました。「手に手つないで」を参加者全員が会場に輪をつくり大きな声で斉唱し、最後に野口清ガバナーエレクトによる力強い万歳三唱で総てのプログラムを閉じています。

評価は本来第三者によるものですが、今回の式典は、自画自賛にはなるが、華やか過ぎず格式のあるものであったと自分自身に高い合格点をあげています。

現在、会員数は 54 名ですが唐津ロータリークラブは次なる 50 年に向けて新たな歩みを続けていきます。



# 全国空港RCフォーラムに参加して

佐賀空港ロータリークラブ 会長 山本 秀 男

私共、佐賀空港ロータリークラブは、平成10年佐賀空港の開港に合わせて創立したクラブです。2740地区の第2グループに属し、仲間は創立順に、佐賀西・佐賀北・佐賀南・神埼・佐賀空港の5クラブです。最後発の我がクラブは、会員数16名という少人数クラブではありますが、おかげ様で同グループ内の4クラブに助けられながら、今日迄、運営してまいりました。特に今年度は、親クラブである佐賀西RCより土井洗ガバナー補佐がおられ、そのことも合わさり、今まで以上の力強いご支援とご指導をいただいております。

さて、私共佐賀空港クラブは、毎年「全国空港ロータリーフォーラム」に参加しておりますので、2740地区内ロータリアンの皆様にその内容を報告したいと存じます。

ご承知の通り、我国は縦に長く、約3000km程だと記憶しています。空港フォーラムメンバーは、その長い国の北は北海道旭川空港RC、南は私共佐賀空港RCで、その間に東京羽田RC・名古屋空港RC・豊中大阪国際空港RC・松本空港RC・広島空港RCが在り、計7クラブで構成しております。全国の「空港」を冠としたロータリークラブが一堂に会し共通の問題点を語り合い交流を深めよ

うということで発足をみております。私共も創立と同時に仲間入りをさせていただきました。その7クラブが年に一回、輪番制で「全国空港ロータリーフォーラム」を開催しており、私共も平成14年に当番クラブとしてその役目を果たしました。その際の内容は「ロータリーの友」に掲載されましたのでご存知の方もあろうかと思えます。

本年のフォーラムも回を重ね第11回を迎えました。『たのしんどくなはれ浪花の文化』をテーマに総勢150名の参加でホストクラブは豊中—大阪国際空港クラブでした。今回の記念講演は「文楽（人形浄瑠璃）」、馴染みの薄い私共には大変貴重な話を聞かせていただき、別世界を垣間見たものでした。夜は記念懇親会、翌日は、水上バスでの観光、大阪歴史博物館見学・吉本商店街散策等を楽しみました。

7クラブ各会長による活動報告、情報交換がなされ、私共も明日からのクラブ活動に役立たせようと、希望を膨らませながら帰路につきました。

4年後には、佐賀に廻ってきます。創意工夫をこらし、より良いフォーラムを催すことができればと思っております。



## 活動報告

## ミャンマー・教育支援活動

佐賀西ロータリークラブ

会長 久保 志郎

佐賀西ロータリークラブでは、平成17年より特定非営利活動法人地球市民の会（Terra People Association, TPA）のミャンマーでの支援事業に協力しています。TPAは1983年に発足し、以来佐賀市を拠点に国際協力・国際交流・地域づくりなどの活動を行っており、現在ミャンマーでは循環型農業を機軸とした少数民族の自立支援を目的として、村落開発・教育支援活動を展開しています。また同会では、第2740地区2007～2008年度国際親善奨学生候補者である池田祥規君が事務局次長として活躍しています。

TPAとの協力事業を開始し、平成17年5月には当クラブの支援によりミャンマーで学校寮（ハムシー高校寮）のトイレが完成し、去る12月18日の年次総会にTPA現地プロジェクトマネージャーである大野博之氏が事業の完了報告に来てくれました。

寮のあるハムシー村は地域で唯一高校を持つ村であり、そのハムシー高校には近隣49村の子供たちが通っています。寮に入っているのはすべてハムシー村から遠く離れた村の子どもたちで、この村の人々はそれを誇りに思い、村民が多大なサポートを行なっています。しかし、もともと裕福でないハムシー村では寮の運営費を維持するのが精一杯で、建物・設備などの維持経費を捻出するだけの資金的余裕はなく、不衛生なトイレ改修も手付かずというのが現状でした。

一方、鹿児島大学の学生が毎年授業の一環として現地で研修をしています。その際に「自分たちも何かできないか」ということで、帰国後大学祭においてバザーを実施し、その収益をハムシー寮のトイレ改築のためにTPAに寄附しました。ところが、改築の目標額にはあと一步。そんな中、大野氏が当クラブにて卓話をする機会があり、ちょうどその件を話題にされたところ、「頑張っている若者があと少しで達成できるというときに、そこで支援するのが大人じゃないか」と当時の田中進会長の先導で当クラブも支援することを決め、鹿児島大学・佐賀西RC共同出資でトイレが完成することとなりました。当クラブの追加支援に対して、鹿児島大の学生は「自分たちを助けてくれる大人がいる、がんばれば報われることがわかった」と大いに感銘していたとのことでした。

## &lt;完成建設物の概要&gt;

名称		幅	奥行	高さ		室数
トイレ	男子、女子	25	6	10.5	フィート	6室
		7.5	1.8	3.15	メートル	



## &lt;受益者の声&gt;

汚いトイレだと行くのも気が重かったのですが、それがなくなりました。トイレの床が抜ける心配をしながら用を足す必要もなくなりました。ハエが飛んでくるのも減って、病気の心配もなくなりました。トイレがきれいになることで、とてもうれしく思います。(15歳女子)



# ◆◆◆寄付者紹介◆◆◆

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

種類	氏名	クラブ名
ロータリー財団 メモリアル・コントリビューター	横田 隆亮 令夫人 故横田美佐江様を偲んで	北松浦RC
	松尾 茂 令夫人 故松尾 喜美様を偲んで	大村北RC
米山記念奨学会 米山功労者 (マルチプル)	緒方 聖	諫早北RC
	浦川 一孝	長崎中央RC

# 新会員紹介

ロータリーの新しい仲間になりました方々をご紹介します。



唐津東RC  
村上 伸君



伊万里西RC  
吉富 常彦君



伊万里西RC  
穴井 英昭君



平戸RC  
南沢 茂君



佐世保北RC  
深堀昌二郎君



HTB佐世保RC  
小林 義信君



HTB佐世保RC  
戸村 正司君



大村RC  
井手 誠一君



大村RC  
森本 英敏君



諫早多良見RC  
松尾 健一君



福江中央RC  
御手洗富章君



長崎琴海RC  
高 恒濟君



長崎北RC  
岩永 和之君



長崎南RC  
岩永 浩昭君

白石RC  
梶原 史生君

**訃報** 慎んでお別れいたします。



故 小笠原平吾 君  
(鹿島RC)



故 山田吉太郎 君  
(長崎北RC)

## 2007年1月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				新入	退会	
				6月末	うち女性	当月末	うち女性			増減
第1グループ	佐賀	3	76.4	69	0	72	0	3	0	0
	小城	4	90.3	32	1	31	2	-1	0	0
	牛津	3	77.8	32	0	33	0	1	0	0
	多久	3	90.4	43	5	41	4	-2	0	0
	佐賀大和	4	85.0	25	3	25	3	0	0	0
	小計		84.0	201	9	202	9	1	0	0
第2グループ	佐賀西	4	79.0	54	0	52	0	-2	0	0
	佐賀北	4	84.3	41	3	42	3	1	0	0
	佐賀南	4	84.9	38	0	43	0	5	0	0
	神埼	4	68.5	28	0	31	0	3	0	0
	佐賀空港	4	62.5	16	0	16	0	0	0	0
	小計		75.8	177	3	184	3	7	0	0
第3グループ	有田	4	81.4	36	2	38	2	2	0	0
	武雄	3	81.9	56	0	57	0	1	0	0
	鹿島	4	91.9	39	1	38	1	-1	0	1
	嬉野	4	87.5	23	0	24	1	1	0	0
	大町	3	75.0	22	0	23	0	1	0	0
	白石	4	75.0	17	0	18	0	1	1	0
	太良	3	100.0	9	1	9	1	0	0	0
小計		84.7	202	4	207	5	5	1	1	
第4グループ	唐津	4	91.3	52	0	54	0	2	0	0
	伊万里	4	95.6	36	0	34	0	-2	0	0
	唐津東	3	97.6	52	0	50	0	-2	1	0
	唐津西	4	88.6	40	0	39	0	-1	0	0
	伊万里西	3	78.3	49	0	49	0	0	2	0
	唐津中央	3	93.2	39	4	39	4	0	0	0
	小計		90.8	268	4	265	4	-3	3	0
第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	82	0	2	0	0
	平戸	3	94.3	41	0	42	0	1	1	0
	佐世保西	4	97.9	27	0	28	0	1	0	0
	北松浦	4	77.5	25	0	25	0	0	0	1
	松浦	3	87.8	32	1	33	1	1	0	0
	小計		91.5	205	1	210	1	5	1	1

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				新入	退会	
				6月末	うち女性	当月末	うち女性			増減
第6グループ	佐世保南	4	100.0	77	0	78	0	1	0	0
	佐世保東	3	81.1	31	0	32	0	1	0	0
	佐世保北	3	98.2	46	0	48	0	2	1	0
	佐世保中央	3	100.0	40	0	40	0	0	0	0
	佐世保東南	4	70.7	23	0	23	0	0	0	0
	HTB佐世保	4	69.4	24	3	28	4	4	2	0
	小計		86.5	241	3	249	4	8	3	0
第7グループ	大村	4	92.6	47	2	51	2	4	2	0
	島原	4	79.4	33	3	34	3	1	0	0
	雲仙	4	85.4	31	0	31	0	0	0	0
	大村北	4	100.0	32	0	32	0	0	0	0
	島原南	4	75.0	22	2	21	2	-1	0	0
	大村東	3	90.5	45	1	46	1	1	0	0
	小計		87.2	210	8	215	8	5	2	0
第8グループ	諫早	4	88.6	60	0	65	0	5	0	0
	諫早北	3	87.1	66	0	64	0	-2	0	0
	諫早西	4	94.8	43	0	44	0	1	0	0
	諫早多良見	4	88.7	37	0	40	0	3	1	0
	諫早南	3	70.8	31	4	32	4	1	0	0
	小計		86.0	237	4	245	4	8	1	0
第9グループ	長崎	4	81.9	93	0	99	0	6	0	0
	福江	4	87.5	40	0	41	0	1	0	0
	長崎北東	4	96.0	53	4	51	4	-2	0	0
	福江中央	4	98.6	36	1	37	1	1	1	0
	長崎西	3	83.3	66	0	70	0	4	0	0
	長崎琴海	3	71.8	23	3	24	3	1	1	0
	小計		86.5	311	8	322	8	11	2	0
第10グループ	長崎北	3	81.2	70	0	69	0	-1	1	2
	長崎南	4	83.8	81	0	82	0	1	1	0
	長崎東	4	98.4	66	0	64	0	-2	0	0
	東長崎	4	85.3	35	0	35	0	0	0	0
	長崎中央	3	94.8	59	0	58	0	-1	0	0
	長崎出島	3	71.9	58	15	60	14	2	0	0
	小計		85.9	369	15	368	14	-1	2	2
合計		86.0	2,421	59	2,467	60	46	15	4	

# 文庫通信 (233号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 「記念講演から」

- ◎「心豊かに太陽はのぼる ああ…生きていて良かった」  
大野 百樹 2006 5p (D.2570 地区大会)
- ◎「伝統文化を学ぶ」  
茂山 正邦 2006 4p  
(「D.2650 RYLA 報告書」)
- ◎「人生の金メダリストになるために」 岡本真理子 2006 16p  
(「D.2650 RYLA 報告書」)
- ◎「癌で死なないために」 武藤徹一郎 2006 4p (D.2580 IM)
- ◎「我々が今なすべきこと」 甲斐中辰夫 2005 9p (D.2610 地区大会)
- ◎「私の清水みなとストーリー」 村松 友視 2006 10p (D.2620 地区大会)
- ◎「なぜ今野生イネ自生地保全なのか」 佐藤洋一郎 2006 6p (D.2620 地区大会)
- ◎「新世代に望む」 今井 鎮雄 2005 12p  
(「新世代サミット報告書」)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝日

肥前鹿島駅

昭和



肥前鹿島駅

現在



肥前鹿島駅（佐賀県）

昭和5年11月30日、肥前山口駅～肥前浜駅間開通時に「肥前鹿島停車場」として開業。昭和9年に長崎まで全線開通し、長崎本線と改称されました。

鹿島市の玄関駅で、特急「かもめ号」が停車します。通勤・通学のお客さまが多く、1日乗降約2,300名のお客さまがご利用されます。

日本三大稲荷である祐徳稲荷神社に近く、その神社にちなみホームの屋根の柱は朱色に染められています。

肥前鹿島駅長 脇山 正義



国際ロータリー第2740地区

2006～2007年度ガバナー 田口 厚

事務所

〒850-0854 長崎市銀屋町3番12号（社団法人是真会内）

TEL：095-818-2660 FAX：095-818-2663

E-mail：ri2740@juno.ocn.ne.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2006-2007

国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信  
クラブ会長・幹事各位



2006-2007年度  
国際ロータリーのテーマ

**率先しよう**

2006～2007年度ガバナー  
**田口 厚**



## CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
ガバナー補佐リレー随想	2
雑誌月間に因んで	3
IM報告	4
米山奨学生終了式	7
国際青少年交換地区委員会	8
国際青少年交換学生募集要領	9
危機管理委員会設置の目的	11
ポール・ハリスの月桂樹記念碑除幕式	15
長崎琴海RC創立15周年	16
地区チームリーダー研修セミナー	17
会長エレクト・地区協議会幹事セミナー	18
活動報告	19
寄付者紹介・新会員紹介	20
会員数・出席報告	21
文庫通信	22

### 万歳橋

(まんざいきょう)

国指定重要文化財で、佐賀県内最古とされているこの石橋は長さ10.5メートル、幅3.2メートル、橋脚18本の反り橋で、欄干の擬宝珠には慶長11年(1606)に「文禄、慶長の役」より無事帰還を果たした佐賀藩祖・鍋島直茂が寄進したとの銘記があり、桃山時代の特徴がよく表れた優美な橋である。

豊玉姫命(竜宮城の乙姫様)を祭神とする与賀神社は、欽明天皇の時代(6世紀)に創建され、境内に到る朱塗りの楼門は室町時代後期に建てられた佐賀県下最古期の建造物である。

(第2グループ ガバナー補佐 土井 洸氏)





ガバナーメッセージ

# 勉強会真っ盛り

国際ロータリー第2740地区

2006-'07年度ガバナー 田口 厚

今月は「ロータリー雑誌月間」である。これにちなんで、森 義則ロータリーの友地区委員より特別に寄稿していただいているのでご覧いただきたい。ロータリー会員の3大義務として、「出席」「会費納入」と並んで「ロータリーの友誌の購読」と決められている。ロータリーの友誌の熟読をお奨めする。

次年度のロータリー活動に備えての行事が動き始めた。まず、全世界のガバナーエレクトが出席したサンディエゴでの国際協議会、地区単位では次期ガバナー補佐・各委員会委員長に対しての地区チーム研修セミナー、次期会長を対象としたPETSと地区協議会幹事部会の合同研修会が続いた。5月には、地区協議会が予定されており、野口船団の旅たちに備えることであろう。

今期事業では、第7・8グループのインターシーミーティング（IM）も4月24日に開催される。またクラブ創立周年行事も目白押しである。ガバナーとしての感想を述べさせてもらえば、これらの行事を行うことにより、そのホストとなったクラブが大いに活性化すると考える。特に、連帯感・責任感、そして達成感が盛り上がるようだ。

これまでに開催された各グループ連合でのIMでは、財団補助金の活用と元新聞記者による政経懐古談、現職地方検察庁検事正による裁判員制度の解説、バストガバナーによるロータリーを愉しむための鼎談、佐賀新聞論説委員長による講演など、それぞれホストクラブの特徴を生かしたプログラムが組まれて

おり、有意義な体験を得ることができた。4月24日開催のIMでは、「地球温暖化防止対策について」（予定）開催されるが、全世界的に盛り上がってきている温暖化についての討議を楽しみにしているところである。

地区によってはIMを廃止するところもあるようだ。これには反対だ。どうも最近のRIは残念ながら会員増強・寄付増額をめざすあまりクラブの運営を安易にするばかりか、その品位までも下げるような方向にあるようだ。メイキャップの対象拡大やその期間延長など、間もなくエバンストンで開催される規定審議会の結果を見守りたい。2740地区でもDLPに拠ったグループの再編成、IMの組み合わせの検討の必要性も感じた。他地区の地区大会でも、とても通常では聞けないような政界・財界の裏話も聞けたし勉強にもなり、ガバナー冥利に尽きることである。

委員会活動としては、米山記念奨学生の終了式、国際青少年交換派遣・受入そして派遣予定学生へのオリエンテーションの開催などがあり、それぞれ、留学生、ホストファミリー、カウンセラーであるロータリアンなどの話を聞くことができた。今後の予定として、財団奨学生の送別会、唐津中央クラブでのライラと続くことになっている。新世代に対する危険防止・各種事故後の救済措置を講じた、地区新世代危機管理委員会の立ち上げは、3月19日までに各クラブの承認をいただき、20日ガバナー会事務局に報告したところである。



ガバナー補佐 リレー随想

## 「がんと食育」

第9・10グループガバナー補佐 野田直幸(福江中央RC)

1981年、日本人の死亡原因の第1位であった脳卒中を抜いて、がんがトップを占めるようになり、その後も増加し、3人に1人ががんで死亡するという結果がでています。しかし、臓器により差異はありますが、治癒率は向上しているようです。でもがんは高齢者ほどかかりやすく、とても怖い病気であることにはかわりはありません。突然怖い話をし、恐縮ですが、現状を知ることとはとても大切な事と思い敢えて書きました。もう少し続けます。

がんがなぜ怖いかというと、無症状で進行する。つまり自覚症状がないままじわじわと進行する点であります。発見が遅れたり放置すると、がんは増殖・転移して正常組織が摂取しようとする栄養を奪い取ってからだを衰弱させ、ついには死を招くわけです。それではどんな人が特にがん狙われやすいのでしょうか。疫学調査によればがんの原因の65%は食事と喫煙にあるそうです。普段の生活の中で正しい食事と禁煙を実行すれば、がんの65%は防げると言われております。つまりがんは悪い生活習慣が招く生活習慣病であります。またがんが発がんするまでの期間は20年～30年かかると言われております。ここでがん予防具体策12ヶ条があるのですが、紙面の関係で半分の6ヶ条を述べてみます。

- ① バランスのとれた栄養をとる
- ② タバコは吸わないように
- ③ お酒はほどほどに
- ④ 塩辛いものは少なめに あまり熱いものはさましてから
- ⑤ 食べ物から適量のビタミンと繊維質を多く取る
- ⑥ 適度にスポーツをする

昔の人は「腹八分」が長生きの秘訣であると言っています。そこである動物実験で好き

なだけ食べさせたグループより、ある程度制限させたグループの方が発がん率が低く長生きしたということです。大食すると食品中に含まれる発がん因子を結果的に多くとることになり、発がんの危険が高まるためとみられているようです。

また唾液には発がん物質を抑制する作用があるといわれています。よくかんで十分に唾液を出して、ゆっくり食べれば大喰を改善し、がんの予防にもなるということです。

さて、がんについて述べてきましたが、もう1つ述べたいのは、今さかんに言われている食育についてであります。

飽食の時代と言われ、世界中の食物が何でも手に入る日本であります。例えば学校の給食の1つを例にあげますと、ちゃんと当番がいて、きちんとあいさつもなされ、しっかり食べているやに思いますがさにあらずでありまして、残食の多さ、特に好き嫌いが激しく、目にあまるものがあるようです。また、はしの持ち方にも問題があるようです。このことは家庭における躰でありまして、この躰ができていないことに問題があり、またそれ以前の問題として朝食を取って来ない児童生徒がかなりいると言われています。さてさて問題ばかりあげてきましたが、がんの予防はクラブ奉仕、食育は社会奉仕でしょうか。団体とか組織は共通する価値を共有する人々の集まりで成り立っていると思います。その共通する価値とはロータリーにおいてはまちがいなく奉仕であり、その点は時代がどのように変わろうとも不変のものではないかと思えます。「今後の奉仕のあり方を考える」という意味からも食育というテーマもさけては通れない1つの問題であると思えますが、いかがでしょうか。



# 雑誌月間に因んで

国際ロータリー第 2740 地区

ロータリーの友地区委員 森 義 則

- ①今年度に目指した友誌購読の数値状況  
△クラブ会員数 100%の友誌購読を目標として、クラブ訪問や月信を通じて依頼してきたが、1月末現在では下記の如くやや向上。

	06年6月	07年1月
会員数	2421名	2467名 ⊕46
不足クラブ	7クラブ	9クラブ
冊数	16冊	20冊

表面上は悪化しているが、1月不足クラブの内会員増加によるものが7クラブあって、実質的には2クラブある。6月不足クラブ7の内5クラブは不足解消であった。

目下上記不足9クラブには購入増要請中。

- △第1例会での友誌紹介の実情は統計がとれてないものの、かなり浸透していると思う。

- ②友誌への各地区委員の要望(3月会議より)
- 雑誌月間が4月であるが期初にできぬか。
  - 読ませる為の興味本位を求めず本質堅持。
  - 基本の樹は参考になり、継続を望みたいが、ネットに残し検索対象とせよ。
  - 事例研究として、悩みを抱えるクラブより課題を抽出し、焦点を絞った討論の企画を。
  - 財政が許せば「友愛の広場」や「言いたい聞きたい」に頁数をふやせ。
  - IMで友誌の討論会を導入したら如何。
  - 過去の友誌の中で有益な事項が多々あるが、それをデータ化し、検索できるように。

- ③本部より各クラブへの要望事項

○友誌づくりは全会員だとの認識の下に投

稿をお願いしたい。

- 各クラブの週報を本部宛送って貰っているクラブは、2334クラブの内300クラブ。1ヶ月分まとめて結構ですのでご送付下さいと。その中より友誌への転載をしていきたいと。

- ④来年度の友誌編集方針のポイント

(継続) ~表紙写真は現行通り会員提供分を採用。応募要領は3月号、締切4月末。地区会員各位もどうぞ応募あれ。

(中止) ~風紋は好評であるが、今期33人目に及ぶため中止する。基本の樹も既に5年継続してきたが、会員のロータリー理解に役立つものとして、今後ウェブサイト収録する事を検討している。

(新規) ~ (クラブ探訪記) 34地区毎に地区内の特色あるクラブの推薦を求め本部より取材する。当地区でもガバナーと協議のうえ既に3クラブを申請している。(会員の声を聞く) テーマを決めて新会員の投稿を募る。(座談会) 今迄ガバナーやPGの座談会が多かったが、今後はクラブが持つ諸問題をテーマとして若年・中堅会員による座談会を年3~4回実施する。

- ⑤「地区だより」の原稿について感謝!!

友誌6月号掲載の2740地区だよりの原稿について、ガバナー補佐10名の方々にグループ内の記事投稿を依頼していた所、11通の投稿を戴きました。ガバナーと協議のうえ、その内より数編の掲載となりますが、当初申しあげていた事としてご了承賜りたく。有難うございました。

## 第4・5・6グループ

## I M 開 催 報 告

松浦ロータリークラブ 会長 勝 山 善 文

2月24日(土)松浦文化会館にてIMを開催しました。

約300名の登録をいただき、最後の懇親会まで多くのロータリアンの皆様楽しんでいただきました。

時の流れは速く、そして私達を取り巻く環境も昔に比べると早いテンポで変化をしているようです。また、格差社会とも言われています。地方の景気は、一向に明るい兆しが見えて来ません。依然として厳しい状況が続いています。こんな中、私達ロータリアンはどんな気持ちや考え方を持って活動しているのか、また、改善すべき点はあるのかなど、私達お互いの状況を把握することは大事なことと考え、事前にアンケートを作成し、3グループのロータリアンの皆様に回答をしていただきました。

私共は、ロータリー活動の中に楽しみを見いだせれば、もっと充実したものになると考えました。厳しい時でも、そうでない時でも、その時々に応じたロータリーの楽しみ方があるのではないかと…。そこで具体的なテーマにとらわれず「ロータリーを楽しもう」というテーマにしました。

第1部では、3グループ代表者によるアンケートのまとめや現況の発表、これにより経験年数による差や傾向を把握できたと思われまます。

第2部では、パストガバナー3名(市瀬PG、隅田PG、栗林PG)をお迎えして、肩の凝らない座談会をテーマに沿ってしていただきました。会場から質問を受けるなど、中身の濃い座談会になりました。

懇親会では、松浦RCの特色を生かし、会場を全て畳に替え、踊りや歓迎の歌(太田ガバナー補佐、作詞のオリジナル曲)で楽しい時を過ごしました。

田口ガバナーをはじめとして、ご来賓の皆様、コ・ホストクラブの平戸RC、北松浦RCの皆さん、そして、参加していただいた全てのロータリアンの皆さんに心より感謝を申し上げます。



# LEAD THE WAY

## 第3グループ

# I M 開催報告

鹿島ロータリークラブ IM実行委員長 小川 弘 水

平成 19 年 2 月 25 日（日曜）鹿島市割烹「清川」にて、田口ガバナー・牟田パストガバナーを中心に鹿島クラブがホストで行いました。

今回の IM は、とにかく出席者を増やそうということで、6 RC の例会時に訪問し、その参加をお願いしました。そのお陰で出席率 65% という IM 始まって以来の最高の出席率をいただきました。

講演には、佐賀新聞論説委員長の富吉賢太郎氏にお出でいただき素晴らしいお話を頂戴いたしました。その一部を掲載いたしましたのでご覧下さい。

（有明抄 平成 19 年 2 月 16 日）

興が「いじめ対策として「心の支援員」を配置する」という。大いに期待したいが、教育改革国民会議のメンバーでもあったお茶の水女子大名誉教授の森隆夫さん（左）が「いじめ」は「苛め」と漢字で書くべきではないかと、ある教育雑誌に書いていたのは面白かった。◆森さんに「苛め」と書いた方が、ひらがなで書くより視覚的にも強烈な印象があり、その字を見ただけで、その行為のむごさを感じるからだそう。確かに「苛」という字面からして「いじめの残酷さを感じてしまう」◆「苛」には「む」という意味があり、それだけで「いじめの苛さが伝わってくる。人をいじめることがいかに非情で人道にもとるものであるか。「苛め」と書けば、「弱者に対して一方的に心理的、身体的な攻撃を継続的に加えること」などと、ここから定義をすることはないのである◆漢字にはそんな効用がある。漢字と言えは「国家の品格」（新潮新書）の藤原正彦さんがテレビのインタビュー番組で「けたものと人間の違いは本を読むか読まないかの違いだ」と言っていた。一見、とても乱暴な意見のようだが、妙に納得した。◆子どもをけいたものままでなく本を読む人間にするには、あの難しい漢字を小学生の間に徹底的にたたき込むことだ。理屈抜きで覚える。これが大切だと、初等教育の大切さをそんな風に訴えていた。子どものみならず昨今の大人も漢字が書けない。自分も言えた義理ではないが、使う漢字をパソコンの変換に頼ってばかりで悲しいほど漢字が書けなくなつた◆大げさだが、日に日に、劣化していきそうな気がする。漢字を書こう、本を読もう。自分に言い聞かせている。（寛）

最後に IM が大成功に終わりましたことを皆様に感謝申し上げます。



## 第1・2グループ

## I M 開催報告

佐賀大和ロータリークラブ IM実行委員長 上野倫五

去る3月10(土)、ホテル龍登園に於いて、第1・2グループの「2006～2007年度、インターシティ・ミーティング」を開催しました。

約380名のロータリアンのうち、92%の登録をいただき、約220名の出席がありました。懇親会も賑わい、ある程度の満足をいただけたと確信しています。

今回のIMテーマ『裁判員制度』については、ロータリーの勉強会としてふさわしいかどうかと言う意見も一部から出ましたが、2年後に迫っている裁判員制度は国民が避けて通れない義務として制定されています。

ロータリアンには多数の経営者がおられます。1年後頃には、いやでも国民の誰もが関心を持たざるを得なくなります。社会的なリーダーとしてのロータリアンの知識として、知っておくべき内容と判断しました。

ロータリーに関するだけの勉強会は毎年あります。今回は、どこか気になるタイムリーな話題として取り上げました。裁判員制度については、今のところ不思議と接する機会は多くありません。

セミナーでは佐賀地方検察庁の井内検事正に、直々に講師となっていただきました。言葉と資料だけでは分かりにくいと思われる内容でも、約40分間の映画上映により理解しやすくなりました。

セミナーの途中で質問事項を書く用紙を用意しましたが、30枚以上の質問が寄せられ、数点はその場で回答をいただきましたが、残りは記録誌で取り上げます。

最後に、コ・ホストクラブの佐賀西RCの方々をはじめ、協力いただいた皆様に感謝いたします。



## 「2006年度 米山奨学生終了式・歓送会」報告

国際ロータリー第2740地区

米山記念奨学委員会 委員長 高木正隆

2007年3月5日 諫早市「諫早観光ホテル道具屋」に於いて、隅田米山奨学会理事、田口ガバナー、吉田地区幹事、ガバナー補佐、米山地区委員、カウンセラーの方々のご出席を頂き、2006年度米山奨学生13名の「終了式・歓送会」を開催いたしました。

田口ガバナーより奨学生に「終了証」が授与され、カウンセラーの方々には「感謝状」が贈呈されました。奨学生全員がスピーチを行い学問・研究に専念できたこと、カウンセラーの皆様を通して日本の伝統文化・習慣に触れたこと、今後の進路のこと、等につき熱っぽく語りロータリアンの皆様方に心底より感謝していました。

地区ロータリアンの皆様には今後とも米山奨学事業にご理解・ご支援の程宜しくお願い申し上げます。



06-07年度

## 第6回青少年交換地区委員会と 第3回オリエンテーション開催される

会場 長崎全日空ホテルグラバーヒル

日時 3月18日 11:00～16:00

参加者 25名

ガバナー事務所関係：ガバナー、地区幹事、地区委員、専任事務局員

関係ロタリークラブ会員：リン・ケンキン、加納洋二郎、高口 純一、井上 泉、高江洲一雄  
橋本 政二、ホストファミリー 松永美紀

来日：Kimmo Sairanen（佐賀北）Shi Yi -Jen（佐世保）Colin Julien（諫早多良見）

派遣予定：中山康平（佐賀RC）、橋本将（長崎南）、大浦薫（佐世保南）、平野美里（諫早北）

### 検討事項

1. 危機管理委員会の設立経緯の説明（吉田地区幹事、藤井地区委員）
2. 派遣予定学生の準備進捗と懸案事項（川口地区委員 相内専任）
3. 昨年はドイツからの来日学生の早期帰国でホストファミリーと親、学生間のルールの確認が大事（特に3ヶ月間はなるべく連絡をとることを控える）
4. レポートの提出がルーズになっているので厳格に対処する。（相内専任）
5. 来日学生の関東・関西旅行は5月中に開催予定（川口地区委員）
6. 次年度来日学生の予定
  - ★ Robert Sverre（ノルウェー）（佐世保南）
  - ★ Jeremy Laurence（カナダ）（諫早北）
  - ★ Alex Frackenhohl（アメリカ）（長崎南）
  - ★ SamanthaDownes-Borowsk（セントポール）（長崎）
7. 4月中に次年度交換学生募集のポスター作成、募集要項の月信掲載

以上の懸案事項を熱心に討議していただきました。地区各クラブの関係者の皆様ほんとおつかれさまでした。



## 2008～2009年度 国際青少年交換学生

# 募 集 要 領

1. 派 遣 先：アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、オランダ、フランス、ドイツ、ノルウェー、トルコ、オーストラリア、インド、アジア各地、その他（過去実績）
2. 留 学 期 間：オーストラリア ⇒ 2008年3月～2009年3月  
カナダ、アメリカ、トルコ、オランダ、フランス、インド、メキシコ、ブラジル、ノルウェー、ドイツ、トルコ  
いずれも ⇒ 2008年7/8月～2009年7/8月
3. 応 募 資 格：（1）出発年の年始（1月1日）時点で15才以上18才6ヶ月迄の学生  
（2）積極性、明朗性等の性格を有し国際理解を深めようとする強い意志と意欲の持ち主で親善大使としての務めを果たし得ること。  
（3）ロータリアンの子弟である、なしに拘らず応募資格があります。  
（4）インターアクト・クラブの学生は特に歓迎致します。  
（5）派遣先については委員会の決定を受入れられること。
4. 費 用：（1）往復の旅費（派遣先によって異なりますが平均約25万円）  
（2）保険料（傷害、疾病、死亡、救援費用等で約13万円）・VISA 取得費用  
（3）諸経費約10万円（交換学生制服ブレザー・バッジ・名刺代・ROTEX 入会金1万円ほか）  
（4）通信費（手紙や電話代は自分で支払わなければなりません）  
\*食費・小遣い・学校関係費用等の滞在費は、ホストロータリークラブから支給されます。  
\*課外レッスンは自己負担となります。  
\*生活全般にわたり支援するカウンセラーがつきます。  
\*派遣先のオプションツアー参加費用は、自己負担となります。  
\*ROTEX とは、青少年交換帰国学生により組織されたものであり、派遣学生は全員入会しなければなりません。

5. 応募方法：(1) クラブにて必ず選考を行い、スポンサークラブとして派遣をさせたい学生の推薦を地区委員会あてに行ってください。
- (2) 次の書類を揃え必ず下記受付締切日迄に2007～'08年度ガバナー事務所へ提出して下さい。

(A) 志願書様式1及び2 (B) 保護者同意書 (C) 学校長推薦書  
(D) スポンサークラブ会長推薦書 (E) 誓約書  
(F) 成績証明書(現在高校1年生の場合は中学3年次のものを)

\* (A)～(E)の書式はガバナー事務所にありますので、ご請求下さい。

\* 選考日時は受付締切日を勘案の上各クラブで決めて下さい。

尚選考は1回のみとする必要は有りません。どうしてもクラブにての選考が受けられなかった応募者については地区選考会にて選考を行いますが、その場合必ずスポンサークラブ引受の申し出をお願い致します。

6. 書類提出先：2007～'08年度 ガバナー事務所

〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F  
TEL 0952-23-1828 FAX 0952-22-7121

7. 受付締切日：2007年7月7日 必着
8. 地区選考会：2007年7月22日(日) 佐賀市にて開催予定
9. 本件に関するお問い合わせ先：

国際ロータリー第2740地区  
国際青少年交換委員長 瀬戸口智彦  
TEL 095-822-0366 FAX 095-822-0861 E-Mail district2740@gmail.com

# 危機管理委員会設置の目的、 経緯及び内容等について

国際ロータリー第2740地区 地区幹事 吉田正和

今回第2740地区に危機管理委員会が設置されることとなりました。なぜこのような委員会が必要なのか、又、何をやる委員会なのか、クラブとの関係等を説明することとします。

2004年の大阪国際大会にて、青少年交換学生が性的虐待やハラスメントに遭っていた事実が報告されました。すでにその当時、それらの容疑で禁固刑で服役中の元ガバナーがいること、オーストラリアではマスコミがその問題を取り上げ、大きな社会的反響を呼ぶと同時にR Iはその件で告訴され、数千万単位の賠償金を支払ったことが判明しました。

振り返ってみるに、ロータリークラブはそれらの問題に対して対策方針を持っていないことが明らかになりました。日本のそれぞれの地区・クラブにおいて、もし何らかの訴訟が起こされた場合、対策方針が無い現在においては、原則として全ての責任はガバナーが負わねばならない事になります。今回の発端は「青少年交換プログラムにおける虐待とハラスメント」ですが、少し考えればそれだけでなく「ロータリーの奉仕活動」、RYLA・インターアクト・ローターアクト等の青少年関係活動を始め、あらゆるロータリー奉仕活動には常に責任が伴い、予期せぬ出来事が起こりうる可能性があります。それに対して、いわば「危機管理」に対してロータリーは真剣に考えなければならない時期にさしかかっていることが認識されました。

## R I 基本姿勢設定

R Iは「青少年交換プログラム」において「虐待とハラスメント予防対策設定」として、2005年シカゴ大会の前に世界の各地区に以下の主要対策を要請しました。

- ①各地区の青少年プログラムは法人化し、それによって責任の所在地を明確にすると同時に、訴訟等が発生したときのために保険に加入すること。
- ②青少年交換に関わる全ての関係者（ロータリアン、ホストファミリー等全ての関係者）の過去の犯罪歴の調査を行うこと。
- ③危機管理委員会を設置（問題発生時のマスコミ対策、関係官庁への通告・連絡等、あらゆる側面の検討・判断を行うロータリアン以外の有識第三者を複数構成員に持った客観的判断が出来る委員会）すること。

R Iは上述の内容を含む数十ページに及ぶ「ロータリー青少年交換・虐待とハラスメント予防に関する地区及びクラブの方針の指針」（以下R Iポリシーと略）を発信しました。

## 主たる内容

- ①各地区はそれぞれに「地区方針」を作成すること。
- ②「2006 - 2007年青少年交換認定申請書式」にガバナー・地区青少年交換委員長がサインし、その地区方針とともにR I本部に提出すること。
- ③R Iの「認証」（あるいはその地区方針が完全でない場合は「仮認証」）をとること。
- ④それがなければ、2006 - 07年度のロータリー青少年交換は認めないこと。

このような状況を受けて、「ガバナー会青少年交換委員会」は34地区がそれぞれ別々に「地区案」を作成するよりも、日本各地の代表者13名よりなる「R I指針検討委員会」を設置、昨年7月より「日本版ポリシー」作成にかかり、2006年5月に長崎で開催の「全国青少年交換研究会」（長崎会議）で、この「日本版ポリシー」は承認されました。そして33地区（第2720地区のみ不参加）のガバナー・青少年交換委員長のサインを添付の上、R Iに提出しました。

その結果、2006年7月4日R Iより33地区宛「仮認定書」が送られましたので、第2740地区では、次年度の青少年交換学生の選考を行うことができました。

今後、2007年6月30日までに「本認定」を取る必要があります。

## そのための手続き

- ①法人化と保険加入：保険加入の容易性のため全国統一した法人化で、NPOを念頭において設立を図る。これは10月24日のガバナー会で了承された。
- ②犯罪歴調査について：調査の必要はなくなったが、関係者の評価をする方法を検討する。
- ③危機管理委員会の設置について：国際青少年交換委員会を中心に原案を作成、諮問委員会において検討を重ねた。

R Iポリシーの骨子は三点よりなります。そのうち「日本版ポリシー」は受け入れられ、R Iより仮認定を受け、田口ガバナー年度の青少年交換は可能となりましたが、本認定を受けなければ、野口ガバナー年度の青少年交換はストップします。残る二つのうち、その一は各地区独自の危機管理規定作成であり、その二は賠償責任保険に加入する事です。これに関しては日本34地区合同で対処する事になっています。

## 国際ロータリー第2740地区新世代危機管理委員会設置要綱

### 序

国際ロータリーが提唱する青少年育成プログラムは、ロータリーの奉仕活動の重要な項目であり、これらのプログラムに関係する全ての新世代の安全と健全な生活を守り、交通災害、自然災害からの保護と身体的、性的、精神的虐待、あるいはハラスメントを防ぐべく、起こりうる新世代危機に対処する地区委員会を設置するものである。

委員会名称：この委員会は、国際ロータリー第2740地区新世代危機管理委員会（以下「本委員会」という）と称する。

委員会設置場所：本委員会は、第2740地区ガバナー事務所に置く。

委員会監督：本委員会は、当該年度の地区ガバナーの統括の下に運営される。

委員会委員：委員長は、当該年度の地区ガバナーが指名し、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、新世代統括委員長、国際奉仕統括委員長、国際青少年交換委員長、インターアクト委員長、ライラ委員長、ローターアクト委員長、ロータリー財団委員長、財団奨学・学友委員長、GSE委員長、米山記念奨学委員長、ロータリー情報・広報委員長、地区幹事、ロータリー会員以外の外部有識者若干名をもって組織する。なお、委員には、女性、医師、弁護士をそれぞれ1名以上含むものとする。含まないときは、ガバナーが追加指名するものとする。

委員の任期：任期は毎年7月より1年とし、再任を妨げない。但し、後任が決定するまでは引続きその職務を行う。

委員会招集：本委員会は委員長によって招集される。

委員会役務：委員長によって招集された本委員会は、問題が生じた場合においては、適切に対応するため事実関係を調査し、協議する。

通 報：本委員会は、当該苦情相談に係わる当事者及び被申立人の事情聴取・調査等を経て、法令に基づく所定の機関への通知等の要否、申し立てられた内容が犯罪に相当する場合の刑事当局に対する手続きの要否等についても協議する。

保 護：本委員会は、当該苦情相談に係わる当事者の身体、身分の保護を最優先に対応するとともに人権にも留意する。

連 絡：本委員会は、事情聴取・調査等の結果を必要と思われるときには、地区ガバナーから速やかに（原則として72時間以内に）RIに報告する。

広 報：報道機関等への対応・発表は、一貫して地区幹事がこれに当たり、本委員会委員であっても一切の発言を禁止する。

守 秘 義 務：本委員会委員は、その任務遂行において知り得た情報を外部及び他のロータリー会員に口外してはならない。その任務を退いた後も同様とする。

研 修：本委員会は、青少年育成プログラムについての研修を開催し、プログラムの問題点や運営方法等について研修を行い、改善すべき点があれば青少年育成プログラム関連委員会に提言する。

## 国際ロータリー第2740地区新世代危機管理規定

### (趣 旨)

第1条 この規定は、国際ロータリー第2740地区（以下、地区という）において実施する新世代育成プログラムに参加する全ての新世代の安全と健康および健全な生活を守り、交通災害、自然災害等の事故・災害からの保護と身体的、性的、精神的虐待あるいはハラスメントを防止するとともに、事態発生の場合の適切な対応のために必要な事項を定めるものである。

### (地区の責務)

第2条 地区は、この地区において実施する新世代育成プログラムに参加する全ての新世代のために安全な環境を確保し維持する責務を負うものであり、その防止と事態発生の場合の適切な対応のために必要な危機管理体制を構築する。

### (新世代育成プログラムに関係する地区委員長の責務)

第3条 新世代育成プログラムに関係する地区委員会の委員長は、第4条に規定する危機管理委員会との連携を図りつつ、プログラムに参加するロータリアンおよび新世代に対し、危機を防止するため適切な指導・啓発を行うとともに、事態発生の場合に新世代の安全と健康の確保など適切な対応に努めるものとする。

### (新世代危機管理委員会)

第4条 地区に、危機の防止のため必要な施策について提言し、事態発生の場合の適切な対応に当たるため、新世代危機管理委員会を置き、次に掲げる業務を行う。

- (1) 新世代の交通災害、自然災害等の事故・災害からの保護等に関する啓発活動および研修の実施、ならびに、災害防止のための環境整備について、ガバナーおよび新世代プログラムに関係する地区委員会の委員長に必要な提言を行うこと。
  - (2) 身体的、性的、精神的虐待あるいはハラスメント（以下、ハラスメント等という）の防止等に関する啓発活動および研修の実施、ならびに、その防止のための環境整備について、ガバナーおよび新世代プログラムに関係する地区委員会の委員長に必要な提言を行うこと。
  - (3) 交通災害、自然災害等の事故・災害およびハラスメント等に起因する事態が発生した場合に事実関係を調査すること。
  - (4) 前号の調査結果に基づき、当事者たる新世代の安全と健康の保護ならびに事態への適切な対処のための方策を講ずること。
  - (5) 前号のため必要な対応策をガバナーに提言し、あるいは、関係委員会の委員長その他の関係者に対して必要な指示、指導を行うこと。
  - (6) その他、危機管理、防止等に関し必要な業務。
- 2 調査と対応に当たっては、当事者である新世代の安全と健康の保護を最優先とし、被申立人の権利にも留意する。
  - 3 申し立てられた内容について法令上所定の機関への通告等の義務がある場合は、直ちにこれに従うほか、申し立てられた内容が犯罪に該当すると判断したときは、原則としてガバナーにおいて出来る限り速やかに刑事当局に対する手続きを行う。

- 4 当該事案について必要と認めるときは、原則として報告を受けたときから72時間以内に申立てについてガバナーから国際ロータリーに報告し、その後の手はずと調査の結果および講じられた措置について報告する。
- 5 地区として適切かつ一貫した対応を図り関係者の権利を保護するため、報道機関等の外部への発表は、新世代危機管理委員会において定める者がこれに当たるものとし、その他の委員ならびに関係者は、知り得た情報を外部および他のロータリアン等に提供してはならない。

(新世代危機管理委員会の組織)

第5条 新世代危機管理委員会は次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) ガバナー・エレクト
  - (2) ガバナーノミネー
  - (3) 地区新世代統括委員長
  - (4) 地区国際奉仕統括委員長
  - (5) 地区国際青少年交換委員長
  - (6) 地区インターアクト委員長
  - (7) 地区ライラ委員長
  - (8) 地区ローターアクト委員長
  - (9) 地区ロータリー財団委員長
  - (10) 地区財団奨学・学友委員長
  - (11) 地区GSE委員長
  - (12) 地区米山記念奨学委員長
  - (13) 地区ロータリー情報・広報委員長
  - (14) 地区幹事
  - (15) ガバナーが委嘱するロータリアン以外の外部有識者若干名
  - (16) 前各号の者に医師および弁護士各1名以上を含まないときは、ロータリアンからこれらの者各1名以上を委員としてガバナーが委嘱する。
  - (17) 委員には女性1名以上を含むものとする。
- 2 前項の委員の任期は毎年7月より1年とし、再任を妨げない。但し、後任が決定するまでは引続きその職務を行う。
  - 3 新世代危機管理委員会の委員長はガバナーが指名する。
  - 4 委員長は、委員会を招集し、業務を統括する。

(守秘義務)

第6条 個別事案の調査および対応に関与する者は、当事者その他の関係者のプライバシーを含めその権利の保護に配慮するとともに、任務遂行上知り得た秘密を漏らしてはならないものとし、その任務を退いた後も、同様とする。

(庶務)

第7条 新世代危機管理委員会に関する庶務は、地区ガバナー事務所が行い、地区幹事が担当する。

附 則

この規定は、平成19年3月20日から施行する。

(委員会構成員については、別途お知らせ申し上げます。)

# ポール・ハリスの月桂樹記念碑除幕式

大村北ロータリークラブ 幹事 佐古 亮 景

ガバナー月信 12月号でもお知らせしましたが、昭和10年(1935年)にポール・ハリスが、米山梅吉さん等と帝国ホテル中庭に植えた月桂樹の三世が、大村北RC名誉会員の小堀憲介君のご好意により、当地区パストガバナーの佐古亮尊君に委託され、佐古君が住職をする本経寺に平成18年10月16日に移植されました。大村北RC30周年を記念すべく頂いた月桂樹を知って頂く為にも記念碑を建立しようと、クラブで社会奉仕委員会を中心に考えられ、記念碑を平成19年1月24日設置いたしました。

それで3月14日、記念碑除幕式の例会を開催いたしましたところ、ガバナー代理として地区幹事の吉田正和君、第7グループガバナー補佐・太田靖臣君、並びに大村RC会長・西川義文君、幹事・辻義明君、大村東RC会長・松村学君、幹事・池田利雄君の臨席を賜り、除幕式を執り行いました。その後、除幕式祝賀会が執り行われ、佐古パストガバナーから月桂樹の詳しい話等して頂き、祝賀会が和やかなうちに行われました。

記念碑の碑文には

「ロータリー運動の創立者ポール・ハリスは、昭和10年(1935)2月9日帝国ホテルの中庭に月桂樹の記念植樹を行いました。その後数本のさし木がされ、そのうちの1本が縁あってこのたび本経寺に植樹されました。平成18年(2006)10月16日 大村北ロータリークラブ」

と書かれています。



# 長崎琴海 R C 創立 15 周年を終えて

長崎琴海ロータリークラブ 会長 田中直孝

長崎琴海ロータリークラブは平成4年3月12日、正会員25名で設立し、去る平成19年3月15日に創立15周年の記念式典及び祝賀会を執行致しました。

当日は、田口厚ガバナー、福井順パストガバナーをはじめ、第9・10グループの会長・幹事、スポンサークラブである長崎北東RCの皆様と、多数のご出席を得ることができました。記念式典では田口ガバナーの祝辞を始め、記念事業として長崎県立盲学校にフロアーバレーボールの諸道具を寄付することを報告しました。祝賀会においては、福井パストガバナーの祝辞や長崎北東ロータリークラブの黒川特別代表の乾杯で始まり、地元の皆さんのアトラクション等で15周年に花を添え、最後に「手に手つないで」を皆さん輪になって合唱。楽しい夕べの一時を過ごして、15周年の記念例会を無事終了することができました。

当クラブはいまだに会員も24名と少なく、未熟でございますが、15周年を転機として会員の増強はもちろん、クラブの充実と更なる飛躍のために、会員一同力を合わせてロータリアンは何をするべきか、15周年を機に、会員一同がもう一度初心にかえって勉強することを誓いあいました。



2007～08年度

# 「地区チームリーダー研修セミナー」

国際ロータリー第2740地区

2007～08年度地区副幹事 山下雄司(佐賀RC)

野口ガバナーエレクトがサンディエゴ国際協議会から帰国されて間もない2月25日、2007～2008年度地区チームリーダー研修セミナーが佐賀市内のホテルで開催されました。

セミナーには、リーダーとして田口ガバナー、本城パストガバナー(地区研修リーダー)および鈴木ガバナーノミニーに、そして、ガバナーをサポートし地区組織の中樞を担われる次期ガバナー補佐、次期地区委員長、次期ガバナー事務局スタッフ等、総数40名強のロータリアンにご出席いただきました。

当日は、午後2時「点鐘」「開会の辞」「ロータリーソング斉唱」の後、田口ガバナーのご挨拶をいただいてから、野口ガバナーエレクトより地区チームの紹介と委嘱状の交付、サンディエゴ国際協議会出席の報告、RIテーマとRI会長のメッセージの紹介、そして、新年度地区方針発表が行われました。

次に、本城パストガバナーから「ガバナー補佐・地区委員長の役割と心得」と題する講和をいただき、地区チームの責務の重大さを説かれ、その中でポール・ハリスが「なぜロータリーを始めたのか?」という質問に対して、彼は「淋しかったから」と答えた有名な

話を紹介され、「原点に戻り、ロータリーの基本をきちんと守り、魅力あるロータリーを目指す」と出席率も高くなり、会員の増加につながります。」と、力説されました。

さらに、田口ガバナーから「魅力ある地区活動について」と題する講話をいただき、その中で「新入会員に対する十分なオリエンテーションやフォローアップに力を注ぐことの重要性」や「活気ある地区にする為には女性の力は大変必要だから、ロータリー女性委員会の活躍に期待します。」など、課題解決のため多くのご示唆をいただきました。

その後、次期空閑地区幹事より新年度地区運営について説明がなされ、定刻午後5時にセミナーは終了致しました。

緊張感も解れたところで懇親会に移り、鈴木ガバナーノミニーに乾杯の音頭をとっていただき「ロータリーの楽しさをわかちあう」ことができました。

田口ガバナー、本城パストガバナー、鈴木ガバナーノミニー、そしてご出席いただきましたロータリアンの皆様、大変おつかれさまでした。紙面をお借りし、改めて厚く御礼申し上げます。



# 会長エレクト及び 地区協議会幹事セミナーを終了して

国際ロータリー第2740地区

PET実行委員会 委員長 七田 秀徳

当日は快晴に恵まれ、野口丸のスタートを飾るにふさわしい天気となりました。

田口厚ガバナーを始め、パストガバナー、ガバナー補佐を始め170名のロータリアンが集い、新年度に向け研鑽に励みました。

P.M. 1時の点鐘に始まり5時過ぎまで、まず野口清ガバナーエレクトの新年度地区方針説明、その後分科会 会長の部ではクラブ会長の役割と責務について佐古亨尊パストガバナーの色々な事例を交えた講演を頂きました。

幹事部会では、クラブ幹事の役割と責務について安部直樹パストガバナー、クラブ幹事としての業務遂行のポイントについて吉田正和地区幹事より講演を頂きました。

新年度のR Iテーマは「ROTARY SHARES (ロータリーを分かちあおう)」と発表されました。野口ガバナー・エレクトは「ロータリーを楽しみましょう」と説明されました。特にR Iのトップダウンではなく、主役はクラブであり会員であることを強調し、従来のように会員増強、財団についても地区からの強制的目標(ノルマ)は示しておりません。クラブの自主性、積極性を強調されております。

次年度会長、幹事さんの真剣な姿勢で4時間半はあっという間でした。

会議場のレイアウトは、エレクトの意向でひな壇を作らず、同じ目線での会議で着座は丸テーブル、その為か交流が活発に行われておりました。

最後の懇親会もほとんど帰る人も無く、狭い会場でより親睦が深まったと思うのは身びいきでしょうか。

最後になりますが、田口厚ガバナー始め地区内クラブの皆様のご協力のお陰で、無事役目を果たすことが出来ました。有難うございました。



## 活動報告

## 野 球 大 会

## 白石ロータリークラブ

9月18日、当クラブ地区内の3中学校と隣町の2中学校との5チームによる「白石ロータリークラブ旗争奪中学野球大会」を行いました。当大会が行われるようになったきっかけは、中学生をもつ会員より、「当地域の中学生の野球レベルが、他より低いように思えるので少しでもレベルアップするには、一試合でも多くの試合を経験させる事も必要ではないか」との話があった事から、それまで15年、小学生のミニバスケットボール大会の支援を行ってきましたが、高人気のため普段行われる試合数が多く、ロータリークラブ杯を行う事ができない状況となっていましたので、これに変わる支援事業として行うこととなりました。今回で5回目ですが、優勝チームも年々変わるようになり、生徒達の野球レベルの向上に一役かっている成果が表われているように思えます。又、ロータリークラブ主催を行うことで、地域の人にもロータリークラブの名まえと奉仕活動を理解してもらえるのではないかと、小さい当クラブなりに頑張っているところです。



## 特別支援学級合同体験学習旅行

## 松浦ロータリークラブ

平成18年10月11日(水)に松浦RC主催で、松浦市特別支援学級合同体験学習旅行を行いました。今回で25回目の今年度の旅行は市町村合併後のはじめての旅行で、市内9つの小学校と5つの中学校の特別支援学級の児童・生徒24名が参加しました。武雄メルヘン村で昼食とアトラクションを楽しみ、100円ショップでの買い物実習を行いました。当日は好天にも恵まれ、目を輝かせて乗り物に乗る姿や、楽しい食事、真剣に悩みながら自分の物や家族のためにおみやげを選ぶ姿などを見せてもらうことができました。参加したロータリアンも児童・生徒以上に楽しむことのできた旅行でした。



# ◆◆◆寄付者紹介◆◆◆

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

	種類	氏名	クラブ名
ロータリー財団	P・H・F	秀島 裕之	多久RC
		江里口尚子	多久RC
	M・P・H・F	堀 洋	諫早RC
		多良 正治	東長崎RC
	ベネファクター	樋口 茂樹	諫早南RC
米山記念奨学会	米山功労者	中島 一峯	多久RC
		井上 泉	佐世保南RC
	米山功労者 (マルチプル)	池田 光利	諫早RC
	米山功労者 (メジャードナー)	武井 洋一	佐世保RC

## 新会員紹介

ロータリーの新しい仲間になりました方々をご紹介します。



佐賀南RC  
鷺頭 五月君



HTB 佐世保RC  
高倉 恭子君



諫早西RC  
御厨 善光君

**LEAD THE WAY**

**2007年2月会員数・出席報告**

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				6月末	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	4	77.2	69	0	71	0	2	0	1
	小城	4	95.2	32	1	31	2	-1	0	0
	牛津	4	81.8	32	0	33	0	1	0	0
	多久	4	90.1	43	5	41	4	-2	0	0
	佐賀大和	4	75.0	25	3	25	3	0	0	0
	小計		83.9	201	9	201	9	0	0	1
第2グループ	佐賀西	4	78.3	54	0	52	0	-2	0	0
	佐賀北	4	76.3	41	3	42	3	1	0	0
	佐賀南	4	76.7	38	0	44	1	6	1	0
	神埼	4	74.2	28	0	31	0	3	0	0
	佐賀空港	4	67.2	16	0	16	0	0	0	0
	小計		74.5	177	3	185	4	8	1	0
第3グループ	有田	4	84.6	36	2	38	2	2	0	0
	武雄	2	88.9	56	0	57	0	1	0	0
	鹿島	4	91.2	39	1	38	1	-1	0	0
	嬉野	4	87.5	23	0	24	1	1	0	0
	大町	4	72.0	22	0	23	0	1	0	0
	白石	4	73.5	17	0	17	0	0	0	1
	太良	4	94.5	9	1	9	1	0	0	0
小計		84.6	202	4	206	5	4	0	1	
第4グループ	唐津	4	88.6	52	0	54	0	2	0	0
	伊万里	4	97.8	36	0	34	0	-2	0	0
	唐津東	4	92.7	52	0	50	0	-2	0	0
	唐津西	4	86.7	40	0	39	0	-1	0	0
	伊万里西	4	82.3	49	0	49	0	0	0	0
	唐津中央	4	87.8	39	4	39	4	0	0	0
	小計		89.3	268	4	265	4	-3	0	0
第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	83	0	3	0	0
	平戸	3	92.6	41	0	42	0	1	0	0
	佐世保西	3	92.8	27	0	28	0	1	0	0
	北松浦	4	77.6	25	0	25	0	0	0	0
	松浦	4	94.5	32	1	33	1	1	0	0
	小計		91.5	205	1	211	1	6	0	0

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				6月末	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	4	98.7	77	0	78	0	1	0	0
	佐世保東	4	79.2	31	0	32	0	1	0	0
	佐世保北	3	100.0	46	0	48	0	2	0	0
	佐世保中央	4	100.0	40	0	40	0	0	0	0
	佐世保東南	4	76.1	23	0	23	0	0	0	0
	HTB佐世保	4	75.7	24	3	29	5	5	1	0
	小計		88.3	241	3	250	5	9	1	0
第7グループ	大村	4	98.3	47	2	51	2	4	0	0
	島原	4	74.3	33	3	34	3	1	0	0
	雲仙	3	86.3	31	0	31	0	0	0	0
	大村北	4	100.0	32	0	32	0	0	0	0
	島原南	4	78.0	22	2	21	2	-1	0	0
	大村東	3	80.4	45	1	46	1	1	0	0
	小計		86.2	210	8	215	8	5	0	0
第8グループ	諫早	4	90.5	60	0	65	0	5	0	0
	諫早北	4	87.1	66	0	64	0	-2	0	0
	諫早西	4	95.2	43	0	45	0	2	1	0
	諫早多良見	4	88.1	37	0	40	0	3	0	0
	諫早南	4	75.0	31	4	32	4	1	0	0
	小計		87.2	237	4	246	4	9	1	0
	第9グループ	長崎	4	92.5	93	0	99	0	6	0
福江		4	93.4	40	0	41	0	1	0	0
長崎北東		4	89.4	53	4	51	4	-2	0	0
福江中央		4	95.8	36	1	37	1	1	0	0
長崎西		4	79.6	66	0	70	0	-4	0	0
長崎琴海		4	76.0	23	3	24	3	1	0	0
小計			87.8	311	8	322	8	11	0	0
第10グループ	長崎北	3	90.4	70	0	69	0	-1	0	0
	長崎南	3	93.1	81	0	82	0	1	0	0
	長崎東	4	98.4	66	0	63	0	-3	0	1
	東長崎	4	80.9	35	0	35	0	0	0	0
	長崎中央	3	95.4	59	0	58	0	-1	0	0
	長崎出島	4	77.3	58	15	60	14	2	0	0
	小計		89.2	369	15	367	14	-2	0	1
合計		83.4	2,421	59	2,468	62	47	3	3	

# 文庫通信 (234号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料(貸出可)など、1万9千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

文献資料の電子化を進めており、資料PDF閲覧の項目を追加しました。文庫通信もPDFで閲覧できます。PDFにアクセスしていただきますと、文献資料をパソコン画面に取り出すことができます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 「ロータリーの源流」

- ◎「奉仕こそわがつとめ」 R. I. 1979 140p PDF 1 2 3 4 5 6 7
- ◎「奉仕の冒険」 R. I. 1981 130p PDF 1 2 3 4 5 6 7
- ◎「平和への七つの道」 R. I. 1959 118p PDF 1 2 3 4 5 6 7
- ◎「われらのつどいーロータリー物語(1)」 直木太一郎 神戸R. C.  
1964 99p PDF 1 2 3 4 5 6
- ◎「世界と共にーロータリー物語(2)」 直木太一郎 神戸R. C.  
1965 129p PDF 1 2 3 4 5 6 7 8
- ◎「ロータリーの理想と友愛」 ポール P.ハリス著；米山梅吉訳  
1978 295p [上記申込先：ロータリー文庫]
- ◎「ロータリー・モザイク」 ハロルド T.トーマス著；松本兼二郎訳  
1977 327p [上記申込先：ロータリー文庫]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝日

佐賀駅

昭和



佐賀駅

現在



### 佐賀駅（佐賀県）

佐賀駅は、明治24年8月20日に開業し、昭和51年2月19日に電化の前に長崎本線唯一の高架駅として建て替えられました。

佐賀市内には「恵比須」像が430体以上を数え、その数は日本一だと言われておりますが、駅のホームにも旅の安全を願い「旅立ち恵比須」が設置されております。

駅周辺には、近年マンションが建設され、博多まで特急所要時間約30分と特急増発等便利になり、福岡方面への特急通勤・通学が、増えております。

佐賀駅長 原山 嘉昭



## 国際ロータリー第2740地区

2006～2007年度ガバナー 田口 厚

### 事務所

〒850-0854 長崎市銀屋町3番12号（社団法人是真会内）

TEL：095-818-2660 FAX：095-818-2663

E-mail：ri2740@juno.ocn.ne.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2006-2007年度  
国際ロータリーのテーマ

率先しよう

2006～2007年度ガバナー  
田口 厚

## 2006-2007

国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信  
クラブ会長・幹事各位



## CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
伊藤一長 長崎市長を悼む	2
IM報告	3
第3回財団奨学・学友委員会、研修会	4
第28回ライラを終えて	5
地球温暖化防止対策セミナー	7
佐世保東RC創立40周年	9
佐賀空港RC400回記念例会	10
活動報告	11
2006～07年度 会長賞	14
寄付者紹介	15
新会員紹介	16
会員数・出席報告	17
文庫通信	18

### 官人橋

ずばり川上峡のシンボルである。\*九州の嵐山”とも呼ばれる風光明媚な川上峡にかかせないアイテムである。一級河川の嘉瀬川、その川面に映る山々の緑と官人橋の朱、山々の緑を背景に官人橋の朱、と色のコントラストを楽しめる場所が川上峡である。寛永年間(1624～1644年)から昭和24年(1949年)の水害までは中の島があり、河上宿～中の島～都波城宿を結ぶ板橋が複数存在していた。この橋は旧暦9月から5月まで利用し、雨期に入る6月から8月頃までは渡し舟を利用していたようである。この板橋もやがて土橋、コンクリート橋へと変わっていった。また、その名称も「勸進橋」と書いていたのが、大正時代以降「官人橋」へと変わっていった。昭和24年の水害で流出した際、場所を元の橋より約80m上流の現在地に移し、鉄製のワーレントラス橋が昭和28年3月完成した。その時はまだ朱色に塗られてはならず、現在の朱色の姿になったのは昭和40年頃からのこと。

毎年、4月～5月は、約500匹の鯉のぼりが泳ぐ。  
(第1グループ ガバナー補佐 宮崎 恒氏)





ガバナーメッセージ

# 春の雑感

国際ロータリー第2740地区

2006-'07年度ガバナー 田口 厚

風薫る5月を迎え、身体を動かしての活動に絶好の季節となった。大いにスポーツを楽しむ英気を養ってほしいものである。とはいうものの、野口ガバナーエレクトは次年度に向けての動きが活発に行われており、12日には地区協議会が開催される。

さて、4月はわが国一般社会の新年度である。新入学生・新社会人・人事異動・それに花見などやっているとなんとなく昼も夜も落ち着かない季節ではある。花見といえば、今年度地区大会の記念に平和記念像前に植樹した「枝垂れ桜」がまだちらほらではあるが、見事に開花した。長崎の名物として観光スポットになるのは10年後であろうが、今から楽しみである。

今年度のロータリー関係では6月の年度末にかけていろいろな会議が目白押しである。IMは5ヶ所ですでに無事終了した。ガバナー補佐の諸氏、ホストクラブ、コ・ホストクラブの関係者も一息ついておられることであろう。各々個性ある企画で行われ、ガバナーとしても大いに参考になった。RYLAは、4月8日唐津中央クラブのご尽力で250名の参加のもと開催された。特筆すべきは、参加者全員が玄海原子力発電所を見学訪問し、将来の地球温暖化対策、エネルギー問題などについて考えさせられたことである。その後の、青少年によるディスカッションでは、「一人ひとりが温暖化防止の重要さを認識し、行動に移すことが大切だ」などの意見交換がされたとのことである。一方、青少年プログラ

ムにおける「新世代危機管理委員会」発足の目処がつき、交換留学生その他の留学生も安心して勉強出来ることになったと思う。

これから、クラブの周年行事・地区各委員会、地区ローターアクト年次大会などがあり、他地区の年次大会も5月末まで続いている。幾つかの地区大会に出席したが、ロータリーにおいても都会と地方の格差を改めて認識した。地区会員数と大会出席の比率が地区の活性度を現しているようだ。都会ほど出席率が高いのはそれを物語っているといえる。

相変わらずの天候不順が続いているが、最近特に感じるようになったのは、本年度地区テーマとして取り上げた、地球温暖化防止についての論議が頻繁に行なわれるようになったことである。2年前、ガバナーエレクトとして、吉田幹事と地区テーマについて話し合った時は、まさか現在のようないったなしの状態になるとは予想せず、まずロータリアンに率先して地球環境の悪化についての基礎を考えて貰おう、という提案であった。それが現在では、必ずどこかのテレビ局で温暖化の影響についての番組が放映され、他地区のロータリーや国連でも論議されるようになった。アメリカも重い腰を上げたが、残念ながらまだ中国・ロシア・オーストラリアは環境よりも経済優先との認識である。日本においては、企業の排出ガスは京都議定書にそった削減がなされているが、一般家庭からの排気ガスが増加していることは、一ロータリアンとしても恥ずべきことであると、理解してほしい。

# 伊藤一長 長崎市長 (長崎RC 名誉会員) を悼む

ガバナー 田口 厚

痛ましいことである。残念なことである。怒りに堪え得ないことである。恥ずかしいことである。2007年4月17日夜 長崎ロータリークラブ名誉会員伊藤一長長崎市長が選挙運動中に暴力団員に背部より銃撃され、関係者の懸命な努力もむなしく帰らぬ人となられた。本名は「かずなが」だが市民からは「いっちゃんさん」「いっちゃんさん」と親しまれ、市議員・県議員・市長とその生涯を長崎市民・世界平和・核廃絶のために捧げられた。まだ61歳これからという時に凶弾に倒られた。

ロータリークラブにも常に理解を示され、12年前 市長就任後は、長崎クラブの名誉会員として表敬訪問・例会の卓話・家族懇親会・諸会合の出席にも快く応じて頂いてきた。本当に明るい颯爽としたお姿はまだ目の前に浮かぶ。不運にも理不尽な理由で倒れられ、さぞ心残りであったろう。前市長と2代続けての狙撃事件があったことは、長崎は日本一、いや世界一治安のよいところと自負していただけに、暗澹たる気持ちと、また全国の人々に恥ずかしい気持ちで一杯である。通常は非常に温かな土地柄だけに、市民は怒りと悲しみに満ちている。

第2740地区の地区大会や長崎クラブの新年家族懇親会の時の写真を見ても、まだその死が信じられない。私のためにマイクをご自分の手で支えて頂いている写真などは、そのお人柄が偲ばれる。ご冥福を祈るのみである。



長崎RC例会にて黙祷

地区大会にて



長崎RC新年懇親会

## 第7・8グループ

## I M 開催報告

大村東ロータリークラブ I・M実行委員長 松村 学

平成19年3月24日（土曜日）に、シーハット大村で第7第8グループの「2006～2007年度インターシティ・ミーティング」を開催しました。

当日は朝から雨が降り大変足元の悪い中出席いただいたことに感謝申し上げます。

式典では田口厚ガバナー、吉田正和地区幹事、そして佐古亮尊・栗林英雄パストガバナーのご臨席の中で終了することができました。

田口厚ガバナーは本年度の地区の重点推進奉仕プロジェクトとして、地球温暖化防止対策をあげられておられるので、当地区ではこのことを踏まえて地球温暖化問題に「ロータリアンとしていかに取り組むか」をテーマにI・Mを開催いたしました。

基調講演では環境問題に造詣の深い長崎大学大学院後藤恵之輔教授にお願いし、その後に後藤教授にはコーディネーターとしてご協力をいただき、第7第8グループの諫早、島原、大村の3地区の自治体の環境問題担当の部長、課長様へ出席をお願いし5市の地区での地球温暖化に対してどのような取り組みをなさっているか、報告をしていただきました。卓越したコーディネーターでパネルディスカッションを無事終了することができました。所期の目的を十二分に達成できたのではないかと考えております。

懇親会は場所を変えて長崎インターナショナルホテルにて行わせていただきました。

余興においても廃材等を利用しての女性5人による演奏は会場に花を咲かせてくれました。

最後にコ・ホストクラブの大村ロータリークラブ、大村北ロータリークラブの両クラブの皆様へ感謝申し上げるとともに、太田靖臣、宮崎清彰両ガバナー補佐のお手伝いをさせていただいたことを光栄に思います。

今回のI・Mを契機としてロータリアン各々が地球温暖化に関心をもっていただけるものと思います。本当にありがとうございました。



## 第3回財団奨学・学友委員会、研修会並びに壮行会

国際ロータリー第2740地区

財団奨学・学友委員会 委員長 田中克憲

2007年4月8日ホテルニュー長崎に於いて、野口清ガバナーエレクト・木下博行次年度副幹事の出席のもと13:00より財団奨学・学友委員会を、14:00より国際親善奨学生の研修会を、16:00より奨学生の壮行会を開催しました。委員会においては、出席者紹介、次年度のRI会長・第2740地区ガバナーとテーマの紹介、国際親善奨学生の経過報告、次年度の事業計画案、学友の紹介等が報告、審議されました。次年度の委員会委員1名が新規交代するために、研修の意味で新規の方に参加していただきました。

研修会に於いては、奨学生計3名（アメリカ：1名、オランダ：2名）（写真1：田口厚ガバナーと3名の奨学生）の留学準備等の現況報告が行われました。

留学のための準備が順調に進んでいる人、大学との連絡がうまくいかない人等、1人ひとりの苦勞や悩みの報告が行われました。奨学生の悩みの報告に対して、先輩学友（3名出席—写真2）の皆さんからの確かなアドバイスが行われ、奨学生も安心した様子でした。

委員会からは、奨学生に対する委員会通達、留学に対しての注意事項等が行われました。

3名の奨学生のための壮行会が、田口厚ガバナーご出席のもと総勢21名（写真3）が参加し開催されました。

壮行会では、奨学生一人ひとりが留学先での卓話の練習を兼ねて、スピーチの練習を披露しました。

先頭の山本初美君は、手話の仕方の説明を詳細に行いました。（写真4）

2番手の池田祥規君は、プロジェクターを用いてオランダに持参する日本の武道などの説明を行いました。（写真5）3番手の下村安代君は、浴衣と着物の着付け方について、山本初美君をモデルにして詳細な説明を行いました。（写真6）。

3人とも、夫々お土産に持って行ったり、道具を持参して現地で実習・披露したりするんだと、意気込んでいました。大変素晴らしい実演・スピーチでした。

3名が前列に並び、代表として池田祥規君がガバナーや顧問ロータリアン、財団奨学・学友委員会に対して「行ってきます・頑張ってきます」の決意をこめたお礼の挨拶の後、田口厚ガバナーより各奨学生に留学用証のバッジが贈呈されました。

フィナーレでは健康に注意して「元気で行ってらっしゃい・元気で頑張ってください・元気で帰ってらっしゃい」の激励発声の後、木下博行次年度副幹事の万歳三唱で散会となりました。



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6

# 第28回 ライラを終えて

唐津中央ロータリークラブ ライラ実行委員長 中山和義

4月8日(日)に開催した第28回ライラに多数のご参加ご協力をいただき、誠に有難うございました。急遽ホストクラブを引き受けることとなり、テーマに沿った企画考案、資料リサーチなど、開催日が迫るなか会員一同試行錯誤・悪戦苦闘しながら準備に取り組みました。

地区重点推進奉仕プロジェクトの「地球温暖化防止対策」をテーマに採り上げ、「地球環境を考える」、サブテーマ「ストップ ザ温暖化・青い地球を守るために」として、午前中、当地区に在る玄海原子力発電所を見学しました。参加者の多くが原発見学は初めてということで「実態を知って非常に参考になった」と好評をいただきました。逆に、玄界灘を臨みながらと思いホテルの9階にセッティングした昼食は、春霞のせいで遠望が利かず残念でした。

グループディスカッションでは、「地球温暖化」という時宜を得たテーマだったこともあり、活発な意見交換ができ、有意義な時間となりました。会の最後に、参加者の皆さんに『ハチドリの一とせずく』の本をお渡ししました。「私は、私にできることをしているだけ」というテーマを各人なりに深慮、行動して欲しいという思いからでした。ただ会のはじめに渡すと、先入観にとらわれ自由な発言ができないと考え、帰りにお渡ししました。その場で本を見た方から、「これは『隠し球』ですね。」と企画を褒めていただいた時は、会員一同、ホストクラブとして大きな達成感を感じました。

さて、その達成感と同時に感じた、ホストクラブだからこその本音をここで少し述べさせていただきます。

今回のライラ、締切日までの申し込みクラブは20クラブ、参加青少年が45名、クラブ会員80名、負担金納入クラブ19、という状況でした。クラブ会員が青少年より多いのは、正直驚きであったと同時に考えさせられました。皆様の中でライラが希薄な存在ということなののでしょうか？または必要ないとお考えだからなののでしょうか？ライラは本来、誰のために何のためにあるのか。もう一度、各人が再確認する必要があるような気がします。

またそれ以前に、締切日というルールが守られないことにも驚かされました。2月20日を締切日として案内を致しましたが、締切日後にも拘わらず、地区ライラ委員会から3月に入って各クラブに参加要請があり、都合122名の増員となり、締切日での計画を変更せざるをえませんでした。印刷物の追加、本の追加発注、バスの追加など……、予定外の作業が増えたことで、開催まで時間に追われ、企画の充実を図る方に全力を注げなかったのも事実です。こうしたルールを守らないことは、ロータリアンとして如何なものでしょうか？

当クラブといたしましては、今回のライラ出席の皆さんに喜んでいただけるようお世話できたと自負する一方で、こうした苦言を呈する結果になったことを残念に思っています。しかし、これが事実であり、見逃してはならない事柄だと考え、勇気をもって書かせていただきました。

最後に、出席者の皆様に感謝いたしまして、第28回ライラ報告を締めくくりたいと思います。





### 国際ロータリー第2740地区 ライラ地区委員長 岡部 景光

4月8日(日) 桜満開の素晴らしい日和の中に、第28回ライラが開催されました。田口ガバナーの地区テーマ「地球温暖化防止」にちなんで、「地球環境を考える ストップ・ザ・温暖化 青い地球をまもるために」を大会テーマとして、青少年が90人、ロータリーが150人の出席を得て開かれたのです。

午前中は玄海原発を見学し、原子力発電所のしくみ、規模、社会への貢献度、安全性の追求と意識高揚の努力、温暖化への影響等の説明を聞きました。その後、4階建て建屋の高さに匹敵する実物大原子炉の模型を観て説明を聞き、原子炉運転に従事する技術者の訓練室を観ることが出来ました。低コストで、地球環境にやさしい好条件の原発ですが、社会にすんなり受け入れられない難しさもあります。

午後からは、若者達が5班に分かれて大会テーマについてのディスカッションでした。殆どが初対面の若者達ばかりですが、今まで特に温暖化について考えてなかったことや、鹿島ローターアクトが推進している「マイ箸」について興味を感じたり、身近なところから出来ることをやって行こうと、意見が出ていました。

原発を見学して、説明を聞いて、受領した資料を読んで、今まで深く考えなかったことにこのように意識を感じたことは、この企画が有意義であったと思っております。

第28回「ライラ」の実施に当たりましては、ホストの唐津中央ロータリークラブには、多大なるご迷惑と労力をおかけしました。ホストクラブをお願いしたのが昨年10月、新年度が動き出して4カ月目にして、とても地区行事を入れるのは困難な状況でした。しかしクラブ出身の第2グループ立華ガバナー補佐の協力をいただき、高い次元でのロータリーの友情で困難を排して受けていただきました。水田会長、中山実行委員長、クラブの会員の皆様方にお礼申し上げます。ありがとうございました。

「ライラ」は国際ロータリーが行う新世代育成の重要なプログラムです。青少年とロータリーが活動をともし、青少年を良き市民、立派な職業人に育てることや青少年の持つ潜在能力を引出す機会を与え、参加の青少年達が社会的な責任を自覚して、多くの人と知り合い、自分の世界を広げ、新しい時代を担う指導者として各分野で活躍されることを期待するものです。

毎年実施されます「ライラ」は、その開催資金を地区内全ロータリークラブにお願いしております。大会出席へのご協力と合わせてお礼申し上げます。来期は創立42年目を迎えられた「小城ロータリークラブ」のホストで第29回「ライラ」が開催されます。来期もよろしく願い致します。

# 地球温暖化防止対策セミナー・ 合同例会及び合同懇親会開催報告書

国際ロータリー第2740地区 第2グループガバナー補佐 土井 洸

- 主 催 R I 第2740地区・第2グループ5クラブ  
(佐賀西・佐賀北・佐賀南・佐賀空港・神埼)
- 開 催 日 平成19年4月14日(土)午後5時開始
- 場 所 マリトピア4Fホール(佐賀市)
- 出 席 者 ロータリー会員105名(但し全員登録 1人5,000円)  
ロータリー夫人17名(無料)
- 外部出席者 佐賀県環境課長・佐賀市環境課長・佐賀市環境企画係・佐賀市ゴミ減量推進係  
佐賀県温暖化防止活動推進センター長
- 取 材 佐賀新聞社・NHK佐賀放送局・サガテレビ・(株)佐賀シティビジョン
- 講 師 (株)環境エネルギー総合研究所(東京)  
所長・工学博士 大庭みゆき氏

第2740地区 田口 厚ガバナーの、本年度最重点奉仕活動プロジェクトである、「地球温暖化防止対策」に、ロータリーとして、率先垂範して取り組もう！大変大きく幅のあるテーマで、出来そうであるがなかなかアイデアが浮んで来ない。本当に苦労しました。

第2グループ各会長も頭を悩ました事と思います？ガバナー補佐の委嘱状を受けて半年が過ぎ、このままでは、なんの行動も起さずに任期を終わってしまうのではないかと、不安が募って来ました。本来、ガバナー補佐が先頭に立つ事ではないのに……と思い乍らも、情報収集に回り始めました。佐賀県庁、市役所で話を聞きましたが、これだ！と言うものが見えません。そんな時、佐賀県温暖化防止推進センターのセンター長である、高木淳剛氏に出会いました。話をする中で、工学博士の大庭みゆき氏を知りました。これだ!!早速、大庭博士と連絡をとり、第2グループの都合に合わせて来佐いただく約束が出来ました。すぐに第2グループ会長会を招集し、セミナー形式で実施する事を決定し、実行委員長に佐賀西RCの円田 稔氏を選出しました。それからは一瀉千里！4月14日へ向かって突き進むのみ、無事開催へこぎ着けた次第です。

講演内容を要約しますと

※温暖化の原因はCO<sub>2</sub>の増加、森林の減少によって、大気のバランスが崩れる事によって起る。

※日本人は、温暖化防止に対する意識は高いが、実行が伴わない。

※温暖化防止の方法として風力発電や太陽光発電の新エネルギー利用と省エネがある。然し、新エネルギーは、費用対効果の面で問題があり、省エネに取り組む事が先決である。

※省エネ技術

産業分野は研究が盛んで進んでいるが、限界に近くなっている。

民生分野は、現在、1973年の2倍のCO<sub>2</sub>を排出している。

運輸部門は抑制傾向で、自家用車のアイドリングストップの実施や急発進をしないだけでも効果は大きい。

※自販機は、日本に現在520万台設置され、一人当たりの台数では世界一である。

この台数の消費する電力は、原子力発電1基分に当る。ヨーロッパでは殆ど見かける事はない。

※500ml入りのアルミ缶を製造する為に必要な電力で、25インチテレビを7時間半見る事が出来る。ハウスイチゴを1kg生産するための電力は、同じくテレビ換算すると25,000時間分に相当する。

※食物の自給率の低い日本は、輸入に頼っているが、その運搬に膨大なエネルギーが掛かっている。

※アルミ缶は、アメリカでは殆ど100%リサイクルされているが、日本では未だそこまで至っていない。

※住宅や建物で、窓際に「ヘチマ」などを植えグリーンカーテンを作る事によって、室内温度は5℃下がる。

※コピー機、プリンター、冷蔵庫などは、換気扇の下に置く事。

※冷蔵庫の詰め過ぎよりも、冷凍庫の詰め過ぎの方が、消費電力がはるかに多い。

- ※冷蔵庫は、メーカーが売りたい大型タイプが省エネ型で、年月が経るに従って電気代は節減され得である。
- ※照明器具は、蛍光灯 15 W が白熱灯 60 W に相当する電力を要するから、場所によって使い分ける事が賢明である。
- ※お風呂の窓ガラスを、ペアガラスに変えるか、エアチップを窓に貼ると簡単に効果があがる。

**〈感想〉**

- ※「温暖化防止」に関し、我々は一人ひとりがちょっとした事、チマチマした事を継続的に実行する事によって、暮らしの中から実現出来る。我慢しないで出来るライフスタイルに合った省エネを実行するべきで、生活になじまない省エネは永続きしない!!
  - ※今回のセミナー開催に対する、第2グループ会員の出席を何度も呼びかけたし、また各クラブ会長さんに対しても、会員の出席要請、督促を求めました。開催日も押し迫った頃、会員夫人への呼びかけを思い付き、急遽出席要請した結果、17名の夫人の参加を頂きました。最初から会員夫人を優先的に考えていれば、会員も夫人に尻をタタカレて、もっと出席者が多くなったのではないかと悔やまれます。評価はどうであれ、田口ガバナー、吉田地区幹事に対し、一応の顔向けは出来るのではないかと……。
- 開催に当ってご協力いただいた佐賀西ロータリークラブの円田 稔、前田博憲、またこの原稿執筆のために、会場で講演内容を書き留めていただいた、富吉敏充、平野信一郎、写真撮影の堤 貞喜、各会員のご苦勞に心から感謝致します。
- ※地域に対するロータリークラブの「温暖化防止対策」への取り組みをPRする目的で、今回の大庭みゆき博士の講演を録画し、佐賀シティビジョン(株) (通称ぶんぶんテレビ) と契約し、ゴールデンウィーク以降、何度も放映していただきます。経費は掛りましたが、第2740地区、第2グループ5クラブの地球温暖化防止に対する姿勢がアピール出来ると思いますし、佐賀県、佐賀市及び一般市民に対し、ロータリークラブの再認識と、「温暖化防止」への啓蒙となればと願います。

**温暖化防止へ  
解決策を提示**

講師招きセミナー

**佐賀市**

佐賀市近郊のロータリークラブ  
共催の地球温暖化防止セミナーが



十四日、同市のマリトピアで開かれた。福岡市の環境エネルギー総合研究所長で工学博士の大庭みゆきさん「写真」が講演し、「暮らしの積み重ねの中に解決策がある」と手だてを提示した。

大庭さんは「省エネのエアコンを買っても、すき間風が吹く家では効果はない」とし、省エネ機械に加え、行動様式や建物構造、周辺環境の大切さも強調。「車のアイドリングストップは五秒止まれば効果が出る。通勤ではまず一カ所ポイントを決めて実施しよう」と呼びかけた。

セミナーには佐賀西、佐賀北、佐賀南、神埼、佐賀空港の各ロータリークラブの会員ら約百二十人が参加した。



# 佐世保東 R C 創立 40 周年を終えて

佐世保東ロータリークラブ 40周年記念大会委員長 渡 邊 進

桜の咲き誇る4月7日、佐世保東ロータリークラブは創立40周年記念式典、祝賀会を迎えました。

当日は田口厚ガバナーをはじめ、逸見嘉彦パストガバナー、武井洋一パストガバナー、第6グループ芥川浩一郎ガバナー補佐、吉田正和地区幹事、市内7ロータリークラブの会長幹事、友好クラブである佐世保西ロータリークラブ有志会員多数、姉妹クラブである国際ロータリー3660地区釜山蓮堤ロータリークラブの会員、ご夫人方、ローターアクト会員、当クラブご夫人方、総勢100余名の参加の下、お陰をもちまして無事盛会裡に終了いたしました。

姉妹クラブである韓国釜山蓮堤ロータリークラブとの7回目の結縁延長調印式も滞りなく終え、友愛の絆を更に深め、末永く継続していくことを確信いたしました。

記念事業として「磨く」をテーマに二つの事業を計画いたしました。

一つは「心を磨く」 もう一つは「身体を磨く」の二つの事業です。

まず、心を磨く事業として、西海市立大島中学校の生徒の皆さんと一緒に中学校のトイレ掃除を「日本を美しくする会」の方と共催で2月9日に実施いたしました。他人が喜ぶことをする、他人の為になる行為をするやさしい心きれいな心を掃除を通して磨いてほしいと願って、トイレ掃除道具一式を2セット贈りました。

もう一つ、身体を磨く記念事業は、新世代育成の目的として佐世保東ロータリークラブのエリア内の早岐周辺と西海市の少年少女ミニバスケットを佐世保東ロータリークラブ主催で開催することに致しました。「健康な精神は健康な身体に宿る」といいます。スポーツを通して健康な体を作ってほしい、体を磨いてほしいとの願いを込めて実行していきたいと思います。6月の開催に向けて準備を進めております。

現在会員数は32名ですが、40周年を節目に会員一同心を新たに、「奉仕の理想」の実現のために努力を続けていきたいと存じます。



# 佐賀空港 R C 400 回記念例会を迎えて

佐賀空港ロータリークラブ 会報・広報委員長 栗田博昭

例会でロータリーソング「奉仕の理想」を歌う時、必ず思うのが《めぐる歯車……》のところで《めぐる盃……》と思います。このように毎回不純の精神を持ちながら早400回目の例会を去る2月6日に迎えました。(週1回で計算すれば400×7=2800日)

私共の生みの親であり育ての親の、佐賀西ロータリークラブは近々50周年を迎えられるようで、それに比べれば400回記念例会など全く児戯に等しい話だと思いますが、さしたる信念もなく例会を重ねてきた私共にはやはり感深きものがあります。

佐賀西RCのスポンサーのもと平成10年4月4日「佐賀空港ロータリークラブ」が誕生しました。スタート時は総員25名で名誉会員として、当時の井本知事及び篠塚県議会議員を迎えました。創立時の宣言文句はロータリーについては無知の状態ですから、職業を通じて社会奉仕等々……と言う格好いい言葉は知らず「チャーター便で佐賀空港から海外へ行こう」、「ロータリークラブのゴルフと言えば、家を出るときは女房に言い訳ができる」等々、今思えば無知とは言え本当に恥ずかしい話でした。

佐賀西ロータリークラブのご指導のもと「チャーターナイト」を平成10年6月20日に色々の制約から大和町にあるホテル龍登園の野外で実施しました。前日からの雨がずいぶん心配されましたが、当日は幸いにも雨もあがり見事な晴天のもと若葉の鮮やかな中で

のガーデン祝賀会となり、その幸運をご来訪先輩諸氏から祝福していただきました。このようにして好スタートをしましたが、全員が信念を持たず多くの退会者を見た事は非常に残念でありました。

その中で南里和孝君と名幹事と皆から敬われた三好康好君の二人を思いもがけぬ病により亡くしたことは、本当に我がクラブの大損失でした。お二人が健在なら今の我がクラブも、今以上の発展を見ていたと思います。

過日の思い出を整理しますと、創立記念として佐賀空港公園に桜の木を植えました。空港周辺の整備に合わせ、造園業の会員を中心にコスモス園の整備事業にクラブで取り組み、現在も当クラブの継続事業として続けております。但し昨秋(平成18年)は台風の襲来の為無残な結果を見ました。

また、私たち空港ロータリークラブの特記事業として「全国空港ロータリーフォーラム」があります。先のガバナー月信に山本会長の執筆でご紹介したのでここでは省略しますが楽しみな事業の一つであります。

親クラブの方々に創立後一時期は会員数が減るものだと慰められていますが、現在の会員数17名では如何にも寂しい限りです。会長幹事の役が8年に一回では大変です。

少し大きな行事には難をきたしますが、明日へ向かって少しでも会員増強と運営の妙を出せたらと会員一同念じながら400回目の例会を終えました。



## 活動報告

## 佐世保市東部クリーンセンター訪問

## 佐世保中央ロータリークラブ

※11月16日(木)「職場訪問例会」として訪問した、佐世保市東部クリーンセンター米丸和彦所長さんの説明です。参加会員は33名でした。

～ゴミのことをもっと知ろう!～

私たちが一日に出すゴミの量ってどれくらい?

佐世保市の一日に出すゴミは、25m プール3杯分の量です。そのうちプール2杯分のゴミが東部クリーンセンターに運ばれ、毎日燃やされています。プール1杯=100トン驚きのゴミの量ですね。

ゴミをもやすときの熱は、およそ1,000℃。東部クリーンセンターでは、この熱を利用して「ゴミ発電」をおこなっています。ただゴミを燃やすだけでなく、そのときの熱を電気に変えて、有効に利用している施設です。

「ゴミはきちんと分けよう!」

ゴミの出し方にもルールがあります。まず「ゴミ」と「資源」に分けること。そうすることでゴミの量を減らすことができ、資源物はリサイクルへ。

ゴミ袋は透明、または中身の見える半透明のものを使いましょう。竹串など先のとがったものやワレモノは危険なので、紙に包むなどちょっとした思いやりを……。

燃やせるゴミと、燃やせないゴミをきちんと分けることが大切です。分けなくて出せば焼却炉を傷つけたり、ゴミを集める人や地域の人に迷惑をかけることとなります。今日からルールを守って、正しくゴミを出しましょう。

「分別の種類ってしってる?」

佐世保市のゴミの収集区分は大きく分けて、「燃やせるゴミ」「燃やせないゴミ」「粗大ゴミ」「資源物」の4つです。リサイクルできる「資源物」は11分別にして、ゴミステーションへ。ゴミの減量・リサイクル化を進めて、環境にやさしいまちづくりをしましょう。

それから、施設見学を担当の宝亀さんの案内でいたしました。新しい施設なので、効率のよい綺麗な施設でした。良かったです。



## 活動報告

# 新たなさくらの名所を目指して

## 大村東ロータリークラブ

長崎県大村市の大村公園は1990年3月3日に日本さくらの会から「日本のさくらの名所100選」に選ばれました。同公園には国指定の天然記念物のオオムラザクラを始め2,000本の桜が公園一帯をピンク色に染め、シーズン中は多くの花見客で賑わっています。

大村東ロータリークラブでは、この大村の地に新たに桜の名所を造るため、2006年4月の創立10周年記念事業の一環として、大村市内を一望できる標高320メートルの琴平スカイパークにソメイヨシノの苗木50本を植樹しました。

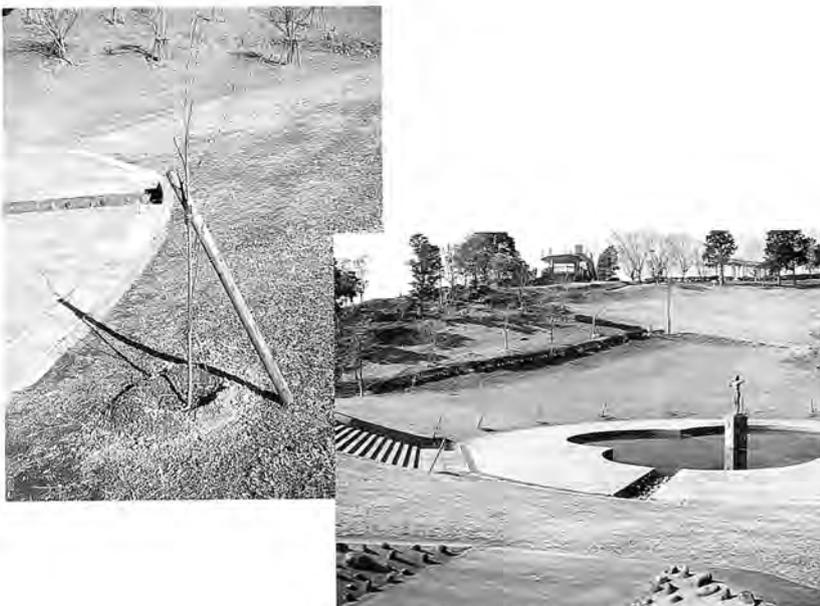
その後、クラブとして毎年植樹を継続することにし、クラブ奉仕委員会が中心となり、例会場にユニークな形のさくら募金箱を設置し、例会の度にポケット内の小銭を基金として募るとともに、毎月1回開催しているクラブのゴルフコンペにおいてショートホールでワンオンしなかったプレーヤーを対象として、募金することとしております。

その結果、昨年暮に20本の桜の苗木を追加植樹することができました。

クラブとしては、本事業を毎年継続することとしており、10年後には200本以上のさくらが群生する新たなさくらの名所が誕生し、市民の憩いの場となることを全員で夢見ています。

大村市は今年市制施行65周年を迎えます。4月13日には記念事業として、さくらをまちのシンボルとして地域振興を図ろうとする全国20の自治体が一堂に会し「さくらサミット」が開催され、さくらによる地域振興策が熱心に討議されました。

大村東ロータリークラブもさくらの植樹により地域興しに貢献しています。



**活動報告****第16回世界社会奉仕事業プロジェクト「台湾」****諫早ロータリークラブ****1. 世界社会奉仕事業の目的**

1. アジアの中の日本人としてアジアの現状をもっと知ろう。
2. ささやかだけど現地で奉仕活動をしよう。
3. 会員相互の親睦を図る。

**2. 事業工程 2007年2月7日～2月10日**

- 2月7日 6:00 本諫早駅出発  
 7:40 福岡国際空港  
 10:00 福岡空港発(台北経由高雄行き)  
 16:00 高雄着:空港にて安南RC(台南市)の熱烈歓迎を受ける。  
 19:30 安南RCとの交流会  
 安南RC会長 李威儀氏歓迎挨拶  
 国際RC 3470 地区ガバナー 蔡文斌氏 歓迎挨拶  
 諫早RC会長 菅原真博氏挨拶  
 記念品交換  
 バナー交換  
 台南RC名誉会員の書道家 潘錦夫氏の作品を贈呈される  
 例会終了後に懇親会
- 2月8日 9:30 台南市国際友誼園区にて安南RCと諫早RCの友好交流と地球温暖化防止とを記念して植樹式、挨拶及び寄付の贈呈  
 台南市副市長:洪正中氏、安南RC会長、諫早RC会長、中国交流協会会長、台南市環境保護局局長:張皇珍氏  
 10:30 安平古堡、台湾城残蹟視察  
 15:00 阿里山へ  
 19:30 阿里山賓館
- 2月9日 6:30 阿里山駅～森林鐵路乗車  
 7:00 祝山駅(残念ながら雨模様、御来光は拝めず)  
 10:00 阿里山～台中市へ  
 14:00 孔廟視察後台北へ  
 18:00 台北着
- 2月10日 9:30 故宮博物院・忠烈祠視察  
 17:30 台北を後に空路帰国の途へ  
 19:50 福岡空港  
 22:30 本諫早駅に無事到着



# 2006～07 年度「会長賞」決定！

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ポイド氏は、『ロータリークラブがなければ、ロータリーは存在しません。クラブこそが、ロータリーのもっとも重要な仕事の担い手なのです。クラブ、職業、地域社会、そしてこの世界にとって重要であると思われるプロジェクトや活動に取り組むことによって、「率先しよう」のテーマを実践されるよう、皆さんとクラブに奨励いたします』と会長テーマの発表とともに会長賞挑戦の意義を語りかけられました。

会長賞は、本年4月1日までにガバナー事務所に、受賞資格を得られたクラブ会長より提出された「申請書」に基づき、資格条件の確認を行いました。ガバナー事務所では、ロータリークラブ部門においては、必須項目である会員目標の純増1名の達成、奉仕部門5分野のうち4分野での活動状況の確認を行い決定。ローターアクト部門では、地区ローターアクト代表事務局を軸に、各ローターアクトクラブが実施している地球温暖化防止対策事業である「マイ箸運動」が価値ある奉仕活動として表彰することにしました。

その後4月15日に受賞クラブのリストを国際ロータリー本部に送付することにより決定しました。

\* なお、「会長賞」授与式は決めておりません。

追って、受賞クラブに直接ご連絡することにいたします。

## ロータリークラブ

佐賀RC・有田RC・武雄RC・鹿島RC・佐世保RC・佐世保北RC  
大村東RC・長崎RC・長崎西RC・長崎南RC・長崎出島RC

## ローターアクトクラブ

佐賀RAC・鹿島RAC・唐津東RAC・伊万里西RAC・佐世保RAC  
長崎国際大学RAC・佐世保東RAC・島原RAC・諫早RAC  
長崎RAC・長崎北RAC・長崎東RAC

**LEAD THE WAY**

# ◆◆◆寄付者紹介◆◆◆

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

	種 類	氏 名	クラブ名
ロータリー財団	P・H・F	松村 学	大村東RC
	ポリオ・プラス・パートナー	松村 学	大村東RC
	ベネファクター	馬場 泰憲	長崎中央RC
米山記念奨学会	米山功労者	酒井田正宏	有田RC
		大坪 忠義	北松浦RC
	米山功労者 (マルチプル)	岩永 正人	長崎RC
		山本 鶴男	福江RC
	米山功労者 (メジャードナー)	田中 紀男	長崎北東RC

**訃 報**

慎んでお別れいたします。



故 飯田 清 君  
(佐世保西RC)



故 阿部 義幸 君  
(島原RC)



故 藤岡 邦雄 君  
(長崎RC)



故 豆谷源一郎 君  
(長崎西RC)



故 河本 定久 君  
(長崎東RC)

# 新会員紹介

ロータリーの新しい仲間になりました方々をご紹介します。



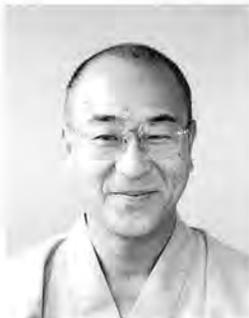
佐賀RC  
福島 斉君



佐賀空港RC  
大久保美季君



大町RC  
川口 正憲君



伊万里RC  
光岡 素生君



平戸RC  
加賀江順市君



佐世保北RC  
森川 光雄君



ハウステンボス佐世保RC  
田口 克己君



島原RC  
内島 範喜君



長崎北RC  
米倉 邦彦君



長崎南RC  
阪口 昌彦君

諫早北RC  
小柳 政則君



## 2007年3月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				増減	新入	退会
				6月末	うち女性	当月末	うち女性			
第1グループ	佐賀	3	80.5	69	0	71	0	2	1	1
	小城	3	91.0	32	1	29	2	-3	0	2
	牛津	5	84.2	32	0	33	0	1	0	0
	多久	5	84.1	43	5	41	4	-2	0	0
	佐賀大和	4	80.0	25	3	25	3	0	0	0
	小計		84.0	201	9	199	9	-2	1	3
第2グループ	佐賀西	4	80.9	54	0	49	0	-5	0	3
	佐賀北	3	86.5	41	3	38	3	-3	0	4
	佐賀南	4	82.2	38	0	44	1	6	0	0
	神埼	4	66.7	28	0	31	0	3	0	0
	佐賀空港	3	66.7	16	0	17	1	1	1	0
	小計		76.6	177	3	179	5	2	1	7
第3グループ	有田	4	83.5	36	2	38	2	2	0	0
	武雄	4	80.7	56	0	57	0	1	0	0
	鹿島	4	88.5	39	1	38	1	-1	0	0
	嬉野	4	82.6	23	0	24	1	1	0	0
	大町	5	76.0	22	0	24	0	2	1	0
	白石	3	78.4	17	0	17	0	0	0	0
	太良	4	72.2	9	1	9	1	0	0	0
小計		80.3	202	4	207	5	5	1	0	
第4グループ	唐津	4	89.1	52	0	54	0	2	0	0
	伊万里	3	91.4	36	0	34	0	-2	1	1
	唐津東	5	93.7	52	0	49	0	-3	0	1
	唐津西	3	87.9	40	0	39	0	-1	0	0
	伊万里西	5	76.9	49	0	49	0	0	0	0
	唐津中央	4	96.8	39	4	39	4	0	0	0
	小計		89.3	268	4	264	4	-4	1	2
第5グループ	佐世保	3	100.0	80	0	82	0	2	0	1
	平戸	4	87.8	41	0	42	0	1	1	1
	佐世保西	4	96.8	27	0	26	0	-1	0	2
	北松浦	4	76.3	25	0	25	0	0	0	0
	松浦	5	86.1	32	1	33	1	1	0	0
	小計		89.4	205	1	208	1	3	1	4

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				増減	新入	退会
				6月末	うち女性	当月末	うち女性			
第6グループ	佐世保南	5	100.0	77	0	78	0	1	0	0
	佐世保東	4	75.8	31	0	32	0	1	0	0
	佐世保北	4	100.0	46	0	48	0	2	1	1
	佐世保中央	5	100.0	40	0	40	0	0	0	0
	佐世保東南	3	75.3	23	0	23	0	0	0	0
	HTB佐世保	4	78.9	24	3	30	5	6	1	0
	小計		88.3	241	3	251	5	10	2	1
第7グループ	大村	4	100.0	47	2	50	2	3	0	1
	島原	4	73.9	33	3	34	3	1	1	1
	雲仙	5	89.0	31	0	29	0	-2	0	2
	大村北	3	100.0	32	0	32	0	0	0	0
	島原南	3	75.0	22	2	20	2	-2	0	1
	大村東	4	78.2	45	1	46	1	1	0	0
	小計		86.0	210	8	211	8	1	1	5
第8グループ	諫早	4	93.3	60	0	63	0	3	0	2
	諫早北	4	78.8	66	0	62	0	-4	1	3
	諫早西	3	92.4	43	0	43	0	0	0	2
	諫早多良見	4	87.5	37	0	40	0	3	0	0
	諫早南	4	75.8	31	4	31	4	0	0	1
	小計		85.6	237	4	239	4	2	1	8
第9グループ	長崎	4	78.7	93	0	98	0	5	0	1
	福江	5	87.0	40	0	40	0	0	0	1
	長崎北東	3	97.0	53	4	49	4	-4	0	2
	福江中央	4	96.5	36	1	37	1	1	0	0
	長崎西	4	70.2	66	0	68	0	2	0	2
	長崎琴海	4	77.1	23	3	22	3	-1	0	2
	小計		84.4	311	8	314	8	3	0	8
第10グループ	長崎北	4	78.1	70	0	70	0	0	1	0
	長崎南	3	78.6	81	0	82	0	1	1	1
	長崎東	5	98.3	66	0	60	0	-6	0	3
	東長崎	4	80.9	35	0	35	0	0	0	0
	長崎中央	4	90.5	59	0	58	0	-1	0	0
	長崎出島	5	69.3	58	15	60	14	2	0	0
	小計		82.6	369	15	365	14	-4	2	4
合計		84.6	2,421	59	2,437	63	16	11	42	

# 文庫通信 (235号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料(貸出可)など、1万9千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 「最近のロータリアン・ ロータリークラブの著書から」

- ◎「ロータリーの心と原点 基本に返ろう」 廣畑富雄 2006 171p  
[申込先：(株)エムケイスペース FAX (092) 737-9557]
- ◎「道徳と資本」 佐藤千壽 D.2580 D.2760 2006 78p  
[申込先：D.2580 FAX (03) 3538-0212]
- ◎「物語 職業奉仕」 菅 正明 2006 205p  
[申込先：戸畑東RC FAX (093) 871-8540]
- ◎「続・ロータリー情報の広場」 東京世田谷南RC 2006 61p  
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ロータリーと論語」 太田南RC 2006 98p  
[申込先：太田南RC FAX (0276) 45-0530]
- ◎「ロータリーへようこそ 新会員オリエンテーション」 D.2650 2006 27p  
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「東京ロータリークラブ カンボジア地雷除去活動視察団報告書」  
東京RC 2006 49p [申込先：東京RC FAX (03) 3201-3413]
- ◎「外国人による日本語弁論大会報告書」 福知山西南RC 2006 44p  
[申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F  
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝日

唐津駅 現在



唐津駅（佐賀県）

唐津駅は、明治31年12月1日に開業し、昭和58年3月22日に筑肥線電化に伴い現在の駅舎になりました。

唐津駅は、筑肥東線（唐津～福岡空港）、筑肥西線（唐津～伊万里）、唐津線（唐津～佐賀）の分岐駅であり一日の乗降客は、約5,000人です。

駅勢圏には、唐津城、虹の松原をはじめ、宝当神社や4月1日にオープンした高取邸など見所がいっぱいです。

また、最近注目を集めているのが、金持ち神社です。

実在する金持社員の手形を御影石で作成し、手形に手を合わせる事で、お客さまに幸せのおすそ分けをしています。

唐津駅長 大谷 資



国際ロータリー第2740地区

2006～2007年度ガバナー 田口 厚

事務所

〒850-0854 長崎市銀屋町3番12号（社団法人是真会内）

TEL：095-818-2660 FAX：095-818-2663

E-mail：ri2740@juno.ocn.ne.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

## 2006-2007

国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信  
クラブ会長・幹事各位



2006-2007年度  
国際ロータリーのテーマ

### 率先しよう

2006～2007年度ガバナー  
田口 厚



## CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
規定審議会に参加して	2
次年度地区協議会	3
ロータリーの友 5月地区委員会	6
新世代危機管理委員会	7
インバウンド留学生 研修旅行	9
全国ローターアクト研修会	10
親睦ゴルフ大会	11
活動報告	12
会長賞受賞式	15
幸せの星「ホクレア号」	16
寄付者紹介	17
新会員紹介	18
会員数・出席報告	19
文庫通信	20

### 城内橋 (じょうないばし)

天下分け目の関ヶ原合戦（1600年・慶長5年）が徳川家康の勝利となり、長かった戦国時代が終わる。  
唐津一円の領主であった寺澤志摩守は、1602年（慶長7年）に唐津築城（舞鶴城）を始め、同時に町割を行った。現在、唐津の城内、内町、外町地区の各町はほぼ同じ形で残っている。  
唐津城は唐津湾の湾口に築城され、藩主の参勤交代の際の出入、御蔵への物品等の搬入は船によって行われ、その門を船入門と称し、築城当時の遺構名称が残っている数少ない場所である。  
築城当時、攻防の関係で橋は架けられなかったが、観光等の便宜を図るため、東城内・千代田町線として1991年3月（平成3年）に竣工された。

（第4グループ ガバナー補佐 立華 浩氏）





ガバナーメッセージ

## あと一步 努力を！ 見つめよう 計数目標！

国際ロータリー第2740地区

2006-'07年度ガバナー 田口 厚

ロータリー年度のガバナー任期も最終に近づいたが、「百里の道を行く者は九十里をなつかばとす」（月信2月号）と記したこともあり、今年度を振り返るのは「13号」にまわすことにしたい。そして現実には、島原南、牛津クラブの周年事業、ローターアクト年次大会、そして6月中旬の本年度国際ロータリー年次大会出席など、最終盤まで「率先して」行動展開中である。

この時期、ガバナーとして最も気にかかることといえば、やはり計数目標数値の動向であろうか。地区重点奉仕プロジェクトとして掲げた「地球環境問題」、とりわけ「温暖化防止対策」については、毎日のように新聞、テレビで取り上げない日がないほど、全世界的に注目を浴びている。各グループ、クラブにおいても積極的に啓発活動を中心に活動を展開していただき、大きな成果をあげていただいたものと確信している。特に、第2グループ合同例会で開催された「地球温暖化防止セミナー」の様子がビデオ化され、佐賀市を中心としたエリアにおいて放映されるという、公聴活動にまで広がっていると報告をいただいた。嬉しい限りである。

さて、計数目標の話である。改めて年度当初の目標をあげると、会員増強57名（各クラブ純増1名）、財団年次寄付255千ドル（一人100ドル）、米山寄付3000万円（一人12,000円）である。

会員数については、4月末現在24名の純増となっている。3月の人事異動の影響を最小限にとどめていただいたものと感謝したい。しかし、ロータリー年度末の6月の動きが気にかかる。例年のこの時期の過去の数字を見

るとき「そうならないように」と願うばかりである。

財団寄付、米山寄付については、大幅に予定を下回っている。年度末までの期待を持って見守りたいという思いはあるが……。ご承知のように、財団プログラムの地区補助金制度・財団奨学生派遣、米山記念奨学生への奨学金支給などの事業は、地区の寄付額によって、その充実度が違ってくる。今年度に限らず次年度以降に向けた目線での取組みを願いたいものである。

私はこの1年、他地区の地区大会に同期のガバナーの友情で参加した。そこで感じたのは、地域格差の広がりである。計数目標に掲げている各項目のすべてにおいて、その回復がまだまだであることが分かる。関東のクラブでは入会待機中の人がいると聞かし、一人当たりの寄付額においても、明らかに差があるとも聞くのである。ロータリープログラムの特徴、その果たしている役割などを十分に理解し、クラブ、会員にその重要性を伝えることこそが大切なことを実感している日々である。

「ロータリアンらしいロータリアンとは」どんな人を言うのか、今もって悩むことであるが、今年度のR Iテーマ「率先しよう」を掲げ、公式訪問、各グループでのIM、或いは、出席させていただいた各種行事の中で、多くの会員とふれあいができたことは、その悩みに少しでも解決の糸口を与えていただいたことには間違いのないことである。最後に、今年度終了前に、**あと一步 努力を！ 見つめよう 計数目標！**をお願いする。



## 規定審議会に参加して

国際ロータリー第2740地区

2003～2004年度ガバナー 安部直樹

4月21日の昼12:00、アメリカはシカゴに到着。私の自宅（佐世保）を発って成田での乗換えを入れて実に20時間近い旅であった。全世界から516名（本来は530地区）の代議員が集まった。

22日に審議会へのオリエンテーションが始まり、23日から27日の夕方までホテルを1歩も出ることなく、朝8:00～夕方17:00までびっしりと実に336項目の制定案・決議案を議論し、1つ1つに賛成か反対の票を入れていく。勿論同時通訳の装置はあるが、この周波数がなかなか合わない。審議会は出された案に対し、その文言に対する修正案が時に提示される。その修正案に対し賛成か反対かの票を入れる。1つの案に対し、約10分の議論が費やされるのですから、単純に計算しても336案は3360分かかり約56時間。5日間ですので1日11時間かかることになりますから、御想像出来るのではないかと思います。

ただ唯一の自由行動は、22日の午前中にポール・ハリスが住んでいた家カムリーバンクを訪れたことです。シカゴより車で約40分の場所に位置し、軽井沢のような雰囲気のためたずまいを感じさせます。彼はここで夫人のジーン・ハリスと住み、ロータリーについてあれこれと思いを巡らせていたことでしょう。現在はR I本部が購入し、リニューアルの工事がなされており、記念館となる模様です。その後、また車でポール・ハリスの墓地、マウントホープ墓地に向かいました。ここにはロータリーが最初に会合を持ったときの4人のうちの1人、シルベスター・シールのお墓もあります。広大な墓地の一角にポール・

ハリスが眠っていると思うと、感激は一入でした。

さて、規定審議会については、もうすでに不採択・採択の案はインターネットで発表されておりますが、特に内容としてはロータリーにもグローバル文化が押し寄せているということです。ロータリー定款をもっとゆるやかにしよう、例えばメーキャップの期間を前後3週間としようという案（不採択）や例会を月に2回にしようとする案（不採択）が出されていますし、その点日本はロータリーの哲学からみて、初心に戻ろう、メーキャップは前後1週間にしようとする案（不採択）が出て、文化の違いが鮮明です。

ただ、日本の提案の中でいつも論議になりますが、「They Profits Most Serves Best」を「He/She Profit Most Who Serve Best」に変更する件、ロータリーはまずロータリアン個人の人間的練磨からスタートするということで、単数ではなくてはならないというものでありますが、他の国のロータリアンからこうした考えは日本人独特の文化に根付くものであり、TheyでもHeでもいいが日本人の文化を認めようではないかというサポートの意見が印象的でした。この件は賛成・反対票の差は極めてわずかで採択に滑り込みました。

しかしこうした規定審議会は民主的手続きの中ではベストの方法ではないかと思えます。皆さんが日常の中で疑問に思っている件については、地区大会の承認を得て規定審議会に提案されてはどうでしょうか。案外世界のロータリアンの賛同を得られるかもしれません。

# 地区協議会報告

国際ロータリー第 2740 地区 2007～2008 年度

地区協議会 実行委員長 北島 恭一（佐賀南RC）

今年度の地区協議会は、2007年5月12日（土）佐賀市内のマリトピアにて開催致しました。雨天にて足元の悪い中、田口厚ガバナー、野口清ガバナーエレクトをはじめ、各クラブより多数のご出席を賜り、部門ごとに大変有意義な協議会を行なうことができました。ご臨席をいただいたパストガバナー、各グループのガバナー補佐、分科会ごとに今期の指針をお示しいただいた地区委員長、研修リーダーの方々は無論、会場を盛況に導いていただいた全てのロータリアンの皆様に厚く御礼申し上げます。

今回の地区協議会では野口清ガバナーエレクトの基本方針である「ロータリーを楽しもう」「原点に返り、内容重視の分科会開催」を合言葉にホストクラブ（佐賀南RC田中洋介会長）で実行委員会を立ち上げ、ガバナーエレクトのご指導のもとに進めて参りました。内容重視の前提で多数のご出席を募りましたが、各クラブにおかれましては主催側の趣旨にご賛同いただき、総計で500名という多数のご出席を得ることができました。

当日13:00に全体会議開幕。開幕に先立ち、去る4月18日凶弾に倒れ亡くなられた長崎市長伊藤一長氏（長崎RC名誉会員）のご逝去を悼み、暫し黙祷を捧げました。

はじめに田口厚ガバナーのご挨拶を頂戴しました。この1年を振り返り、ガバナーとして訪問をなさった各地でのエピソード、会員各位とのふれあいの大切さについてお話いただきました。ガバナーご本人が強い意志を表明し率先された「地球温暖化防止」については第2740地区各クラブの協力に対する謝辞と同時に社会奉仕としての今後の継続も呼びかけられました。また昨今のロータアクトについて、その動きが活性化に向かっている点を評価。一連の拉致問題にも言及され、募金活動の成果についても報告がございました。



次に野口清ガバナーエレクトから新年度地区方針を発表していただきました。「ロータリーを楽しもう」のスローガン通り、飾らない自然体のお人柄が反映された威風堂々のご挨拶でした。今年度のR Iのテーマである『Rotary shares』の「分かち合い」の意義を「ロータリーを楽しもう」という親しみやすい表現に置き換えて分かりやすくご説明いただきました。枝葉末節に捉われることなく、「人と人の交わり」に重きを置くことの大切さを熟知された野口ガバナーエレクトならではのお話でありました。



基調講演は隅田達男パストガバナーより『ロータリーを楽しもう』というテーマで大変ユニークなご講演。普段、我々が直接は触れることがない国際ロータリーの組織の位置づけ、R I会長の示されるコンセプトの受けとめ方について独創的見解を示されました。「地区の自律」「地区の独自性」「運営の自由な議論」を深めることが第2740地区の組織としての成長にとって不可欠であるというお考えをユーモアたっぷりにお話いただきました。

休憩後の部門別協議会（分科会）では、野口ガバナーエレクトの強いご希望により、原点に戻り、第1分科会（クラブ奉仕研修リーダー 金武良弘）・第2分科会（職業奉仕研修リーダー 竹田健介・社会奉仕研修リーダー 緒方信行）・第3分科会（新世代研修リーダー 岩永信昭・岡部景光）・第4分科会（国際奉仕研修リーダー 常多勝己・ロータリー財団研修リーダー 森永太・財団奨学・学友研修リーダー 澤山俊雄）・第5分科会（米山記念奨学研修リーダー 前田博憲・北郷雅子）各々の専門分野における協議を充分に行なうために90分という長い時間を配し、部門ごとに抱える問題点を徹底的に議論していただくよう腐心しました。詳細につきましては各クラブ向けにはCDでお届けする予定にしておりますが、昨今の社会情勢の変化に鑑み、各部門のあり方を今後どのように対応させていくべきか、以前にも増して活発な議論が行われたのではないかと実感致します。遠方の長崎各地よりお越しいただいた方々への配慮から、実行委員会では準備段階より「時間通りの進行」に最大限の注力を行なって参りましたが、各部門の研修リーダーの円滑な協議進行のおかげで時間超過もなく、無事終了することができました。

部門別会議終了後行なわれた全体会議において、金武良弘次期クラブ奉仕研修リーダー（佐賀

**LEAD THE WAY**

南RC) よりとりまとめについての説明を行ない、各クラブ向けには後日CDにて詳細の連絡を行なう旨通知していただきました。2006～2007年度の会長表彰も行なわれ、地区協議会の成功に花を添えました。講評は地区研修リーダーの本城好春パストガバナー。ユーモアを交えたお話に議場が沸きました。



予定より早めに開始した懇親会では、会場マリトピアの協力のもと50席程のテーブル席(10～12人掛け)を準備し、上座下座を廃し、田口厚ガバナー・野口ガバナーエレクトをはじめ地区協議会役員の方々に会場の中央部にお座りいただきました。これを出席ロータリアン皆で四方八方から取り囲むように設定し、従前とは少々趣を異にして、地区ロータリーの友情を示す「輪に輪」を現出しました。司会はホストクラブ(佐賀南RC)初の女性会員 鷲津五月氏。入会3ヶ月めでの大抜擢でありましたが、持ち前の度胸で評判も上々。見事に大役を果たしました。

ガバナー事務所・ガバナーエレクト事務所(地区副幹事の皆様)のご指導のもと、ホストクラブ(佐賀南RC)として実行委員会一同、最善のおもてなしを心掛け、当日を迎えましたが、何分不慣れにて不行き届きも多々あったかもしれません。ご容赦のほどお願い申し上げます。開催にあたりご協力をいただいた全てのロータリアンに感謝致します。ありがとうございました。





ロータリーの友委員会

# 5月地区委員会議から

国際ロータリー第2740地区

ロータリーの友地区委員 森 義 則

今年度最後の地区委員合同会議が、5月14日東京で行われ、今年度の総括及び来年度の編集方針が討議された。当地区の来年度委員である佐賀RC嬉野会員への引継ぎを兼ねた会議でもあり、その要点を報告致します。

(記)

## 1. 地区委員としての総括

地区委員制度はR Iでも日本独特の制度であるが、まだその存在に対する評価は定かではない。地区組織の中での存在感を発揮するのは委員の積極的な言動によるものであって、組織の在り方ではない。

## 1. 友誌発行部数の減少が続く

10年前の会員数12.8万人が現在10万人弱であり、友誌発行部数も14万部から11万部弱と減少している。会員数の減少や高齢化は世界的現象であり、R Iでは最も評価が高い日本人ロータリアンも減少を辿っている。会員増強による部数の増加は当然であるが、30ヶ国のR I地区公認機関誌により、R Iの指定記事を約50万人のロータリアンが同じ記事を読んでいる訳であり、自分もその一員だと感じて読む事が大事である。その結果が退会防止になれば幸いであると二神編集長が力説!

## 1. Web「ロータリージャパン」の活用促進

地区委員34名の内メールを扱える人は2~3人であった。昨今ロータリーのHPを見ている人は増加している由。友誌は活字媒体であり、ロータリージャパンは速報性や検索に富んでおり、地区委員の中には、HPの内容を月信に転載されている方もいた。

## 1. 次年度の編集内容の変化について

- 表紙写真 会員より183点の応募あり、8月号より明年6月号迄表裏併せて22点を選出して掲載される由。
- クラブ探訪記 風紋に代って新登場。地域社会で大いに活躍しているクラブや、離島や山間部の小さなクラブ乍ら特色ある活動を行っているクラブの紹介である。7月号は根室RCと壱岐RCとの事。
- 新会員の声 今迄の基本の樹のコーナーに、新会員のフレッシュな目から見たロータリーへの疑問や意見を寄せて戴く。
- 座談会コーナー 中堅や新会員により年3回程度の座談会を行う。テーマとして新会員とベテランとのギャップ克服法、年齢差の融和、ロータリー活動の効果的な広報手法、クラブ活性化策等に取り組んでいるクラブに登場願っての座談会を企画している。会員よりナマの声を収録していきたい。

## 第2740地区

**「新世代危機管理委員会」初会合開催**

国際ロータリー第2740地区 地区幹事 吉田 正和

5月12日（土）11時00分 佐賀市マリトピアにおいて初会合を開催した。会議には、田口ガバナー、本城バスターガバナー・JYEC委員、アドバイザーとして藤井前年度国際青少年交換委員長、そして、野口ガバナーエレクト、鈴木ガバナーノミニ、外部委員として、塩飽、相内両氏を含む委員14名が出席された。冒頭に、ガバナーより委嘱状が手渡され、初代委員長に、岩永新世代統括委員長が指名された。（委員会名簿は、次ページを参照）

田口ガバナー、本城バスターガバナーから、設立にいたった経緯、当委員会の重要性など説明がなされた。当委員会は、新世代関係プログラムでの交通・自然災害、性的・精神的虐待、ハラスメントなどに対処することを目的にしているが、同時に、ロータリーの新世代育成プログラムに参加するすべての新世代の安全と健康を守るなどの目的も含まれていることを確認した。

なお、当委員会の規定については、今後の運営の中で一部手直しの必要も生じてくることも考えられること。また、ロータリー年度にあわせての委員会編成、地区委員会組織に組み込む必要があることなど確認し、12時30分閉会した。

**各クラブ会長へ**

地区幹事 吉田 正和

新世代危機管理委員会の「設置の目的、経緯及び内容等について」「設置要綱」「規定」については3月20日に各クラブ宛に送付していること。並びに、月信4月号に掲載しているので参照のこと。なお、当規定の実施日は平成19年3月20日であること。以上確認をお願いします。



## 新世代危機管理委員会名簿

	氏 名	役 職
顧 問	本城 好春	パストガバナー、JYEC委員
委 員	野口 清	ガバナーエレクト
委 員	鈴木 泰彦	ガバナーノミニー
委 員	岩永 信昭	新世代統括委員長
委 員	常多 勝己	国際奉仕統括委員長
委 員	瀬戸口智彦	国際青少年交換委員長
委 員	天本 俊太	インターアクト委員長
委 員	岡部 景光	ライラ委員長
委 員	大島 隆	ローターアクト委員長
委 員	松尾 英機	ロータリー財団委員長
委 員	田中 克憲	財団奨学・学友委員長
委 員	高木 正隆	米山記念奨学委員長
委 員	中尾 直弘	ロータリー情報・広報委員長
外部委員	塩飽 志郎	弁護士
外部委員	相内 啓子	国際青少年交換委員会・事務委託

# インバウンド留学生の 関西・関東研修旅行を実施

国際ロータリー第 2740 地区

国際青少年交換委員会 川口 史

インバウンド留学生にとってのメインイベントともいえる京都・奈良・東京への研修旅行が、去る5月8日から12日の5日間で行われました。この行事は、例年3月下旬か4月上旬に行われてきましたが、この時期に留学生の両親の訪日が予定されていたため、今年は日程を繰り下げて5月のゴールデンウィーク明けに実施したものです。

研修の目的は、京都や奈良で世界遺産をはじめ日本の伝統的な文化を見聞することと、首都であり世界的な大都会である東京で、最先端の日本を肌で感じてもらうことにあります。このため、観光箇所の選定にあたっては、定番の観光スポットを押さえつつ、それぞれの街の特徴的なエリアを散策して楽しむことにしました。例えば、京都では夕刻の東山～祇園散策や早朝の嵯峨野散策、東京では表参道～原宿～渋谷散策や国会議事堂・霞ヶ関～皇居外苑～丸の内散策などです。

さすがの若者たちもいささか疲れた様子を見せる時もありましたが、元気に楽しく研修旅行を終えることが出来ました。留学生たちも大いに日本への理解が深まったことと思います。関係の皆さまのご支援に、あつく御礼を申し上げます。

## 1. 参加者

- ・留学生 キットモ・サイラネン (佐賀北RC, フィンランド)  
ジェニファー・シー (佐世保RC, 台湾)  
コリーン・ジュリアン (諫早多良見RC, フランス)
- ・引率 川口 史 (長崎南RC, 国際青少年交換地区委員)

## 2. 研修旅行の概要

- 〈5月8日〉各地 → 博多 → 京都 (三十三間堂～清水寺～八坂神社～祇園散策)
- 〈5月9日〉(嵯峨野～嵐山散策、金閣寺) 京都 → 奈良 (興福寺、東大寺、三月堂など)
- 〈5月10日〉奈良 → (長谷寺) → 東京 (六本木ヒルズ、表参道～渋谷散策)
- 〈5月11日〉(国会議事堂～丸の内散策、秋葉原・原宿で買物、東京ディズニーランド)
- 〈5月12日〉(本郷～上野散策、浅草、東京ドーム) 東京 → 長崎空港 → 各地



# 「全国ローターアクト研修会について」

国際ロータリー第 2740 地区

地区ローターアクトクラブ 地区代表 荒木 真一

全国ローターアクト研修会とは、34 地区（2 地区が活動していない為、現在 32 地区）の地区ローターアクト代表・地区ローターアクト幹事・地区ローターアクト代表エレクト・次年度地区ローターアクト幹事・RCローターアクト地区委員長の 5 名が義務出席者となっています。

義務出席者は分科会をおこない様々な議題について討議したり、各地区の現状・問題点・活動などの報告をしています。その他、一般会員が参加する一般会もあり、毎年様々な内容のプログラムをおこなっています。

そこで、次次年度（2009～2010）は第 4 ゾーンでの開催となっており、各地区代表との協議をおこない 2740 地区にて開催することとなり、先におこなわれた全国ローターアクト研修会にて立候補し承認をいただいております。

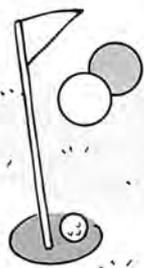
しかし、ここ数年の全国ローターアクト研修会は華美になりすぎではないかという声も

あがっていますので、当地区での開催にあたっては事前に綿密な計画・予算立てをし必要最小限に抑え華美になりすぎないようにし、研修会と名がついていますので一般会ではアクトについての研修をおこない、観光をするだけではなく地域への貢献も現在考えております。

現在のローターアクトでの開催に不安があるとは思いますが、私達は「やれると思います。」ではなく「絶対に成功させます。」という思いでやり遂げていきます。

また、この全国ローターアクト研修会という、素晴らしい大会を企画・運営していくことで 2740 地区のローターアクトクラブが更なる成長をするのは間違いありませんし、私達の 2740 地区でおこなう時から全国ローターアクト研修会をあるべき姿に戻し、参加者全員の記憶にずっと残るようなものを創り上げていきますので、よろしくお願い致します。





第33回 第2740地区第9・第10グループ

# 親睦ゴルフ大会



平成19年5月13日(日)長崎国際ゴルフ倶楽部において、長崎東RCのお世話で第33回RI第2740地区第9・第10グループ親睦ゴルフ大会が開催されました。

当日は、快晴微風の最高のコンディションのもと118名が参加し、団体戦と個人戦が行われました。

なお、長崎中央RCの本田文昭さんが8番ホールでホールインワンを達成されました。

団体戦結果(敬称略)

- 1位 長崎RC 509.6 ストローク  
(原口 憲二・永井 剛・山田 康生・牧野 二郎・豊田 豊・佐藤龍太郎・長谷川國夫)
- 2位 長崎中央RC 510.2 ストローク  
(松元 定次・井筒 亮平・馬場 泰憲・稲沢 陽三・北川 俊明・川津 政男・尾上 信哉)
- 3位 長崎南RC 512.2 ストローク  
(浦中 勝美・森 邦芳・小林 敏教・勝山 育雄・杉田 佑保・津田 尚幸・梅本 義信)

個人戦結果(敬称略)

ネット・年齢

- 1位 前濱 弘善 70.2 ストローク
- 2位 浦中 勝美 70.2 ストローク
- 3位 松元 定次 70.8 ストローク
- 4位 井筒 亮平 71.4 ストローク
- 5位 原口 憲二 71.6 ストローク

グロス・年齢

- 1位 豊田 豊 76 ストローク
- 2位 森 邦芳 79 ストローク
- 3位 宮本 誠 80 ストローク



長崎東RC朝永良介会長挨拶



団体戦優勝 長崎RC



個人戦優勝者 前濱弘善さん



ホールインワン達成者 本田文昭さん

## 活動報告

# インドネシア難聴対策の支援

## 同額補助金による民間病院への医療機器贈呈の報告

長崎西ロータリークラブ 江上 徹也

### プロジェクトの概略

インドネシア全人口の3.8%が耳疾患に罹患している。悪性中耳炎による致命的な合併症が依然として稀ではない。日本各地のロータリークラブ（RC）と耳鼻咽喉科医ロータリアンはNPO日本ヒアリングインターナショナル（HI）がインドネシアの各地で行っている難聴対策活動の支援を行い、現地医師の教育や診療器機の贈呈など耳疾患の診療レベル向上に重要な役割を果たし多大の成果をおさめてきた。

2740地区の活動としては2001年、長崎西RCはバリタマンRCとロータリー財団同額補助金申請を行った。武井、福井両パストガバナーのご支援で2740地区43RCの賛同を得てバリ島の州立眼科耳鼻科医療施設に5万ドルの中耳炎手術器機を贈呈した。2004年、長崎西RC 20周年と国際ロータリー100周年記念事業としてバリ島、ロンボク島を再訪問し事業の点検や不足器具の追加を行い、現地の耳鼻科医やロータリアンと交流を深めた。

今回はHIの教育で育ってきた若手医師の活躍の場を大学病院、州立病院から民間病院へ拡大する要望があり2回目の同額補助金申請となった。本城パストガバナーのご理解で地区資金（DDF）の活用が承認された。長崎西RCと共同提唱クラブであるジャカルタRCの拠出と合わせて2005～06年事業として東ジャカルタのメディロス病院に4万4千ドルの支援を行うことが可能になった。長崎からロータリアンが訪問して贈呈式を行う計画は生憎ジャワ島中部大地震で現地が混乱して中止せざるを得ず医療器機の大部分は現地購入になった。2006年10月インドネシアのHI関係者が学会で訪日した機会を利用して東京でHI集会を開催し、その席上で贈呈式を行った。病院ではインドネシア大学耳鼻科の指導医派遣も得ながら活発に手術が行われており早くも3ヶ月待ちの状態という。

HI会員でもあるロータリアン、耳鼻科医の継続的な現地への訪問、実技指導、講演などで、耳科学全般のレベルが向上し、昨年ジャカルタで開催された「耳科学会設立セミナー」では、本プロジェクトで育った耳科医が500名参加した。インドネシア各地の大学、基幹病院で研修システムが整備され「インドネシア耳科学」の自立が期待されるが、これまでの人材育成に果たしたRI 2740地区ロータリーの支援は「人を育てるロータリー活動」を体現したものである。



図1：共同提唱クラブのジャカルタロータリークラブ（RC）の例会風景。主提唱クラブである長崎西RCのバナーが紹介され同額補助金申請を承認した



図2：贈呈された医療器機、手術用顕微鏡が手術場に納入設置された



図3：東京のヒアリングインターナショナル（HI）会議で行われた贈呈式。左からジャカルタRCのバナーを示すマウラーHI理事（東京RC）、ヘンダルトインドネシアHI会長（ジャカルタRC元会長）、鈴木日本HI会長、筆者

## 活動報告

## 創立70周年記念事業 目録贈呈式

長崎ロータリークラブ 前田 三郎

5月24日（木）長崎RCの例会において、松本 慶蔵会長並びに第2740地区田口 厚ガバナーより、創立70周年記念事業として長崎大学教育学部附属小学校（嘉松 弘一郎副校長）にビオトープ建設資金（長崎RC 150万円、地区 50万円）が贈呈されました。

長崎RC（松本慶蔵会長）は創立70周年記念事業を、田口ガバナーの提唱した「地球温暖化防止」に関連する事業として、附属小学校のビオトープ建設に協力することになりました。地区では、この事業に趣旨賛同する立場から、地区大会記念事業を大会ホストクラブとの共催事業とすることにしました。これにより、小学校にビオトープを建設するという壮大な計画が実現することになります。

ビオトープ（Biotop）とは、もともとギリシャ語で『bio=生き物 + top=住むところ』という意味のドイツの造語で、「野生の生きものがくらす場所」を意味します。この言葉は、環境破壊などで絶滅が危惧される動植物種が増えていく中、それらをとりまく環境に注目し保全することで自然生態系のバランスを保とうという考え方とともに近年広まってきたものです。最近では野生生物の生活環境を保障する「人と自然が共生する場所」としても認識されるようになってきました。特に、学校内にその地域の自然環境に配慮した場所を創造することにより生まれた自然環境が、子どもたちの学習や遊びに関わりをもつ場合、その場所を“学校ビオトープ”と呼びます。学校ビオトープは、ビオトープの計画、施工から継続的維持管理に至るあらゆるプロセスを、学校での環境教育の教材として積極的に利用していこうとするものです。たとえば計画段階では地域に独特の自然や生き物を調べる「研究発表」、施工段階では保護者や地域住民らとの「協働体験」、また活用段階では実際に自然に触れながら学年や科目を問わない幅広い応用などが期待できます。そして直接体験を通じて自然への感受性を育むこの教材は、個人の人格形成だけでなく自然の大切さを知る人材を多く育成することで、より広い視野に立った環境保全活動としての意義も大きく評価されています。



## 活動報告

## 田口ガバナー、入会式へ出席

長崎北東ロータリークラブ 大原 玉瑞

平成 19 年 5 月 9 日例会時に実施しました入会式に、田口ガバナー及び吉田地区幹事に出席をして頂きました。

数年前においては会員増強に関して、優秀クラブとして表彰を受けておりましたが、会員数は 65 名をピークに本年度のスタート時点では 53 名と急減しておりました。

今年度の活動方針の第一番目として、会員増強と同時に退会防止を掲げました。会員の県外転居、死亡等予期せぬ 3 名を含め本年度中合計 6 名の退会者がありましたが、会員増強委員会の頑張り、会員の協力により 6 月末には純増 1～2 名の確保が確実の状況になっています。

今回 4 名の新入会員が入会し、その際田口ガバナーよりロータリーバッジを胸に付けて頂き、励ましの言葉に全会員緊張ある例会を送ることができました。

例会終了後、ロータリー情報委員長によるオリエンテーションにてロータリーの基礎知識等の指導がありました。夜のウェルカムパーティーには吉田地区幹事にも出席して頂き、新入会員との懇親に楽しい時間を過ごすことができました。

田口ガバナー、吉田地区幹事のご協力に深く感謝致します。有難うございました。



2006～07年度

# 「会長賞」授賞式 開催

会長賞の授賞式は、5月12日（土）地区協議会全体会議の中で行われました。R I会長及び田口ガバナーの署名がされた表彰状を、受賞クラブ会長に手渡しを行い、満場の参加者から拍手をいただきました。

国際ロータリー ウィリアム B. ボイド会長は、「ロータリークラブがなければ、ロータリーは存在しません。クラブこそが、ロータリーの最も重要な仕事の担い手なのです。クラブ、職業、地域社会、そしてこの世界にとって重要であると思われるプロジェクトや活動に取り組むことによって、『率先しよう』のテーマを実践されるよう奨励いたします」と「会長賞」への挑戦の意義を訴えられました。2007年4月1日までに申込書を提出されたクラブは11クラブにも上り、田口ガバナーは、会員純増1名（4月1日現在会員数比）及び奉仕活動の状況を確認し署名の上、国際ロータリーへ申請いたしました。



# 幸せの星「ホクレア号」ハワイから長崎へ。

国際ロータリー第 2740 地区

地区幹事 吉田正和

ホクレア号とは、古代の伝統航海術を再現した原始的なカヌーのこと。ハワイの人々の伝統文化と誇りを取り戻すために始まった航海プロジェクトは、アロハ・スピリットを乗せて5月8日長崎へ到着。歓迎レセプションが多くのボランティアの人たちによって開催され、田口ガバナーも出席された。金子長崎県知事、田上長崎市長はじめ多くの来賓と、地元愛好家によるフラダンスや幼稚園生の踊りなどでの歓迎で盛り上がり、船長はじめ乗組員との交流が図られた。

今回の交流は、田口ガバナーと同期である、ハワイ州第 5000 地区ガバナーである Jim Vamer 氏の呼びかけに応じて実現したものである。



歓迎レセプションでの催し



ホクレア号



ホクレア号船長と…



金子県知事ご夫妻と



乗組員の日本人女性 (左)

# ◆◆◆寄付者紹介◆◆◆

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。

種 類		氏 名	クラブ名
ロータリー財団	P・H・F	森山寿美男	牛津RC
		武富 浩二	牛津RC
		神代 剛	佐賀南RC
		西尾 弘毅	北松浦RC
	M・P・H・F	園田 嘉生	佐賀南RC
		中島登志雄	唐津西RC
		井上 泉	佐世保南RC
		芦塚 猛	諫早RC
		高津 喬雄	長崎中央RC
	ベネファクター	丸田 東一	佐世保南RC
米山記念奨学会	米山功労者	西山 泰雄	有田RC
		田中 英夫	伊万里RC
	米山功労者 (マルチプル)	田中 洋介	佐賀南RC
		蒲原 孝之	鹿島RC
		千葉 健史	伊万里RC
		中島登志雄	唐津西RC
		山口 信義	唐津中央RC
		中山 虎雄	唐津中央RC
		太田 晴康	松浦RC
		井手 雅康	諫早RC
森 信興	長崎西RC		

## 訃 報

慎んでお別れいたします。



故 川副 敏郎 君  
(伊万里西RC)



故 杉澤 敏雅 君  
(長崎北東RC)



故 畑中 操 君  
(福江中央RC)

# 新会員紹介

ロータリーの新しい仲間になりました方々をご紹介します。



多久RC  
武田 耕一君



多久RC  
三藤 健司君



佐賀大和RC  
野口 正行君



佐賀西RC  
新多 治君



佐賀北RC  
森永 敏男君



佐賀北RC  
吉田 真二君



佐賀南RC  
下村 敬司君



神埼RC  
堤 道男君



有田RC  
岩永 妙子君



鹿島RC  
栗山 正路君



唐津中央RC  
福嶋 勲君



佐世保RC  
出田 研吾君



佐世保RC  
平尾 幸一君



佐世保中央RC  
川崎 洋一君



ハウステンボス佐世保RC  
紙谷 栄之君



諫早RC  
村瀬 辰美君



諫早北RC  
吉武 修君



諫早北RC  
山口 孝治君



諫早南RC  
宇戸 一夫君



長崎西RC  
杠葉 輝明君



長崎南RC  
西野 顕久君

## 2007年4月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				新入	退会	
				6月末	うち女性	当月末	うち女性			増減
第1グループ	佐賀	4	76.6	69	0	71	0	2	0	0
	小城	4	94.0	32	1	29	2	-3	0	0
	牛津	4	87.1	32	0	33	0	1	0	0
	多久	4	87.2	43	5	41	3	-2	2	2
	佐賀大和	4	76.0	25	3	25	3	0	1	1
	小計		84.2	201	9	199	8	-2	3	3
第2グループ	佐賀西	4	75.6	54	0	50	0	-4	1	0
	佐賀北	4	82.8	41	3	39	3	-2	2	1
	佐賀南	4	84.0	38	0	45	1	7	1	0
	神埼	4	69.1	28	0	32	0	4	1	0
	佐賀空港	4	55.9	16	0	17	1	1	0	0
	小計		73.5	177	3	183	5	6	5	1
第3グループ	有田	4	78.4	36	2	38	2	2	1	1
	武雄	4	83.8	56	0	57	0	1	0	0
	鹿島	4	86.5	39	1	40	2	1	2	0
	嬉野	4	89.6	23	0	24	1	1	0	0
	大町	4	68.0	22	0	24	0	2	0	0
	白石	1	85.9	17	0	16	0	-1	0	1
	太良	4	77.8	9	1	9	1	0	0	0
	小計		81.4	202	4	208	6	6	3	2
第4グループ	唐津	4	89.0	52	0	54	0	2	0	0
	伊万里	4	96.3	36	0	34	0	-2	0	0
	唐津東	5	93.1	52	0	49	0	-3	0	0
	唐津西	4	84.1	40	0	39	0	-1	0	0
	伊万里西	3	74.4	49	0	48	0	-1	0	1
	唐津中央	4	90.6	39	4	40	4	1	1	0
	小計		88.0	268	4	264	4	-4	1	1
第5グループ	佐世保	3	100.0	80	0	84	0	4	2	0
	平戸	4	94.3	41	0	40	0	-1	0	2
	佐世保西	4	100.0	27	0	26	0	-1	0	0
	北松浦	4	77.6	25	0	25	0	0	0	0
	松浦	4	81.8	32	1	33	1	1	0	0
	小計		90.7	205	1	208	1	3	2	2

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				新入	退会	
				6月末	うち女性	当月末	うち女性			増減
第6グループ	佐世保南	4	100.0	77	0	78	0	1	0	0
	佐世保東	4	84.2	31	0	32	0	1	0	0
	佐世保北	4	100.0	46	0	48	0	2	0	0
	佐世保中央	3	100.0	40	0	41	0	1	1	0
	佐世保東南	4	75.0	23	0	23	0	0	0	0
	HTB佐世保	4	74.2	24	3	31	5	7	1	0
	小計		88.9	241	3	253	5	12	2	0
	第7グループ	大村	4	99.4	47	2	50	2	3	0
島原	4	87.5	33	3	34	3	1	0	0	
雲仙	4	93.0	31	0	28	0	-3	0	1	
大村北	4	100.0	32	0	32	0	0	0	0	
島原南	4	78.0	22	2	20	2	-2	0	0	
大村東	4	79.8	45	1	46	1	1	0	0	
小計		89.6	210	8	210	8	0	0	1	
第8グループ	諫早	4	91.6	60	0	64	0	4	1	0
	諫早北	4	78.1	66	0	64	0	-2	2	0
	諫早西	4	89.4	43	0	43	0	0	0	0
	諫早多良見	4	84.4	37	0	40	0	3	0	0
	諫早南	4	77.1	31	4	32	4	1	1	0
	小計		84.1	237	4	243	4	6	4	0
	第9グループ	長崎	4	83.6	93	0	98	0	5	0
福江	4	86.0	40	0	40	0	0	0	0	
長崎北東	4	92.9	53	4	48	4	-5	0	1	
福江中央	3	95.3	36	1	36	1	0	0	1	
長崎西	4	71.3	66	0	69	0	3	1	0	
長崎琴海	4	69.3	23	3	22	3	-1	0	0	
小計		83.1	311	8	313	8	2	1	2	
第10グループ	長崎北	4	77.4	70	0	69	0	-1	0	1
	長崎南	4	81.0	81	0	82	0	1	1	1
	長崎東	3	98.4	66	0	61	0	-5	0	0
	東長崎	4	82.4	35	0	34	0	-1	0	1
	長崎中央	4	92.7	59	0	58	0	-1	0	0
	長崎出島	4	72.4	58	15	60	14	2	0	0
	小計		84.0	369	15	364	14	-5	1	3
合計		84.8	2,421	59	2,445	63	24	22	15	

# 文庫通信 (236号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 記念講演から

- ◎「人間はどこ迄生きられるか—寿命のはなし」  
宮下 正弘 2006 3p  
(「D.2540 インターアクト年次大会指導者講習会報告書」)
- ◎「近未来における大学像」  
八田 英二 2006 12p (D.2650 地区大会)
- ◎「みんな地球に生きる人—日本の国際化と子供の未来」  
アグネス・チャン 2006 16p (D.2520 地区大会)
- ◎「ロータリーからの贈り物」  
関場 慶博 2006 9p (D.2520 地区大会)
- ◎「21世紀の日本 世界に託す夢」  
塩川正十郎 2007 4p (D.2790 地区大会)
- ◎「景観から見た日本の心」  
涌井 雅之 2007 10p (D.2800 地区大会)
- ◎「公益の源流を歩く—ロータリーと公益を考える」  
小松 隆二 2007 5p (D.2800 地区大会)
- ◎「『古池や』は本当か」  
金子 兜太 2006 4p (D.2720 地区大会)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー／PDF)]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝日

伊万里駅

大正



大正10年(1921年)1月1日

当時の第8代駅長 中村 定蔵氏を中心に伊万里駅社員の記念撮影。

伊万里～夫婦石間の駅間距離が、3哩1分と表示。

国鉄が昭和5年(1930年)1月1日にメートル法を採用する以前までは、ヤード・ポンド法を採用していたので、哩表示された写真はめづらしい。

伊万里駅

現在



伊万里駅(佐賀県)

伊万里駅は、明治31年8月に有田・伊万里の陶磁器や農産物及び石炭輸送を目的として、資本金27万円で、当時九州鉄道の有田駅に接続する伊万里鉄道として開通されました。

伊万里は、伊万里焼(肥前磁器)の積み出し港として又、将軍家の献上品として、現在では、日本磁器の最高峰「錦島」が作られていた所として有名であります。

文政7年頃の伊万里の町家は約800軒を数え、「千軒在所」と呼ばれるほど栄えていたと言われていました。

明治4年、廃藩置県によって佐賀藩は佐賀県になり、佐賀県と厳原県(対馬)が合わさって伊万里県になり、県庁が伊万里に置かれました。尚、初代権令(仮県知事)は、勝海舟とならぶ幕末三舟の一人、山岡鉄舟でした。

しかしながら、交通の便の悪いこともあり翌、明治5年にふたたび佐賀県になり県庁が佐賀に移りました。

現在の伊万里は、歴史溢れる街として又、日本の「小京都」として、金沢・萩・尾道・津和野に次ぐ観光地として発展しています。

伊万里駅長 米倉 繁伸



国際ロータリー第2740地区

2006～2007年度ガバナー 田口 厚

事務所

〒850-0854 長崎市銀屋町3番12号(社団法人是真会内)

TEL: 095-818-2660 FAX: 095-818-2663

E-mail: ri2740@juno.ocn.ne.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

## 2006-2007

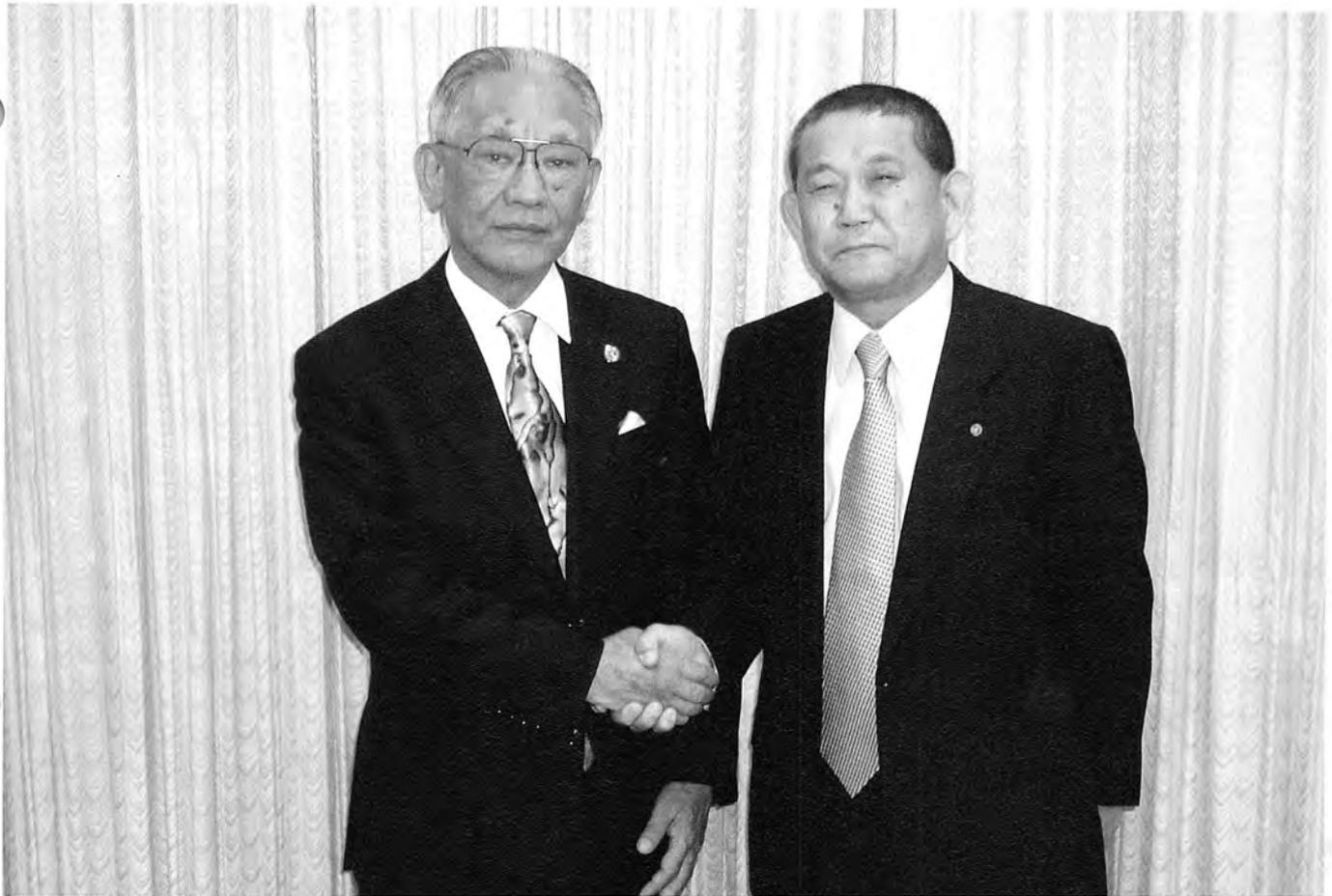
国際ロータリー第2740地区 ガバナー月信  
クラブ会長・幹事各位



2006-2007年度  
国際ロータリーのテーマ

### 率先しよう

2006～2007年度ガバナー  
田口 厚



## CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
ロータリーの友 地区委員退任挨拶	4
ガバナー補佐退任挨拶	5
地区委員長退任挨拶	11
地区幹事寄稿	19
ローターアクト年次大会	21
第4回青少年交換学生オリエンテーション	22
島原南RC 創立20周年	23
牛津RC 創立30周年	24
長崎北RC 創立50周年	25
新会員紹介	26
寄付者紹介	28
会員数・出席報告	30
地区資料	32



# LEAD THE WAY

松本会長と硬い握手  
 佐藤米山カウンセラー  
 江口地区クラブ奉仕委員長

授学生 程 君 終了式  
 卒業生 終了式

ホクレア号が寄航  
 右 船長と  
 左 金子県知事ご夫妻

## 地区大会

- 地球温暖化関連の、パネルディスカッション・小池氏・北野氏の講演会
- 伊藤長崎市長のやさしさ

故 伊藤 一長氏

パネル 田村 全員

## 地区大会記念事業 一枝垂桜

今年度の「意義ある業績賞」は、  
**伊万里西RCに決定！**

地球温暖化防止対策事業として、子供たちからポスターを募集。それを「年間カレンダー」として作成。役所・公民館・各企業に配布。啓蒙活動を実施した。

## 「RI会長賞」お祝いを申し上げ、感謝いたします。

受賞クラブ  
 佐賀RC・有田RC・武雄RC・鹿島RC・佐世保RC・佐世保北RC  
 大村東RC・長崎RC・長崎西RC・長崎南RC・長崎出島RC

## 他地区 地区大会への参加

12地区大会へ参加。  
 夫婦参加 八戸・薩摩川内・播州飯田・東京東・東京西・水戸・大宮・京都  
 単独参加 別府  
 家内参加 宇都宮・大阪南・名古屋



## ロータリーの友 地区委員退任挨拶

森 義 則

友委員の業務は友誌の広報と、友誌編集への関与であります。即ち友誌を読んで戴く、そのために会員全員に買って貰う事、そしてクラブ活動や意見を投稿する事等を促進するのが任務でした。次に年5回東京の本部に向き、全国の地区委員34名と共に本部役職員との編集会議での意見交換、及び毎月号友誌の感想文作成が義務づけられ、12回の報告書を提出致しました。

前段の地区内活動については、田口ガバナーともども公式訪問、卓話、月信投稿等々で聊か向上があったのかとも思っていますが、後任の嬉野地区委員（佐賀）も熱心な方であり、より一層の友誌の浸透を期待しています。

本部との編集会議は、神崎委員長を始め役職員各位はそれこそ経験豊かな能力と見識を

備えたメンバーであり、私共1年任期の委員発言がどれ丈のインパクトを与えたか、その自信はありません。しかし現在の友誌編集方針はロータリー機関誌として、又啓蒙誌として、極めての“優れもの”だなどの認識を深めた貴重な1年間でした。

友委員として適度の緊張感もありましたが、クラブ訪問、補佐会議、各種研修会等を通じての会員との交流の場もあり、楽しい思い出もあった事を感謝しております。

最後に6月号「地区だより」については、ガバナー補佐各位にご尽力賜り、多くの記事の中から、バランスの取れた内容を掲載する事が出来まして、他地区と遜色のないものとなった事にお礼を申し上げます。



## ガバナー補佐 退任 挨拶



第1グループ ガバナー補佐  
宮崎 恒 (佐賀大和RC)

### 「ありがとうございました」

1年の短さを感じながら「ありがとうございました」と、多くの皆さんに申し上げながら、「ガバナー補佐退任」の挨拶を致します。

皆さんに支えられてこの1年間、大きな失敗もなくロータリーの勉強が出来ました。新しい経験・体験が、脳の老化の速度を緩め、行動範囲や視野を広げ、太い人脈（私にとっては大きな財産です）作りにつながりました。

～率先しよう～の先頭に立つことはなかなか出来ませんでした。与えられた活動・行事には可能な限り参加し、理解した2006～07年でした。

この1年が、ロータリー活動を再認識させ私自身のこれからを方向付けるものでした。「奉仕」→私に出来る奉仕は、どんなことがあるのか？ここでもう一度考えて見ます。「仲間作り」→会員増強。大きな目標であったのに、達成することが出来ませんでした。しかし嬉しい事に退任寸前に、国際ロータリーからの表彰が飛び込んで来ました。牛津クラブが、「退会防止」で受賞したことは私にとっても本当に嬉しいことでした。増やすことが出来ないのなら、退会を防ぐこと。それはどうしたらできるのか？大きなテーマでした。牛津クラブが教えてくれました。会員が、共通の大きな目標をもつこと。その目標が共通の楽しさになること。牛津クラブの大きな目標は、「30周年行事の成功」でした。この目

標を達成し嬉しい受賞になったのです。

楽しいクラブ作りを、まず考えます。そんなクラブだったら、きっと新しい会員も入って来てくれるでしょう。その結果、この1年間達成出来なかった「純増1人」を果たすことができる。こんなことを教えてくれたのも、皆さんです。

「本当にありがとうございました。」肩書がなくなっても、これまでと同じでいてください。皆さんにお目にかかる日が楽しみです。

「1年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。」



第2グループ ガバナー補佐  
土井 洸 (佐賀西RC)

予想もしない大波の余波をモロに被って背負わされた、第2グループのガバナー補佐役であった。本来、自分の意志に反する事を引き受ける性格ではない。引き受けてしまった限りは、自分の思う通りにやらせていただく、腰を据えた。

先ず、吉田地区幹事さんとの出会いがあった。唐津ロータリークラブの松尾雄次郎さんの心の支援があった。共に青年会議所の同じ年代を過した方々である。本気でやろう!! 心の中の垣根が取っ払われたような気がして、楽に成り、走り始めた。

ガバナー補佐役の事務局を、自らかつて出てくれた前田博憲さん（佐賀西RC）との二人三脚であった。

第2グループ、5クラブへの訪問は勿論、自分のクラブに於いても、私自身のこれまで

の生き方が、他人の心を鏡として写し出され、知らしめられる時間でもあった。

歓迎していただいた、クラブ訪問のシーンは、深く心に残ったし、宝モノとして持ち続けたい。自分の心の中にも、1年前とは異なった、ロータリアンとしての考え方も、生れて来た1年間でもあった。

クラブ協議会訪問で思った事がある。「年度活動計画」は、実現可能な内容であるべきで、誰が考えても、実現不可能と思えるものは、「計画」とは言わない。ロータリークラブの「年度活動計画」は、決して無理をせず、ある程度の熱意を以て取り組めば、実現可能な範囲で示さないと、結果によっては、単に恥をかく事になる。

会員増強推進について、第2グループ全体として、純増1名を達成した事は、特筆に値する。特に、佐賀南RC、神埼RCの実績による成果である。佐賀南RC、佐賀空港RCは「会員増強・拡大賞」を獲得した。

期末になって、大きな朗報が飛び込んで来た。第2グループ、5クラブ共催で実施した「地球温暖化防止対策セミナー」に対し、田口厚ガバナーより「ガバナー特別賞」が伝達されたのである!! 苦勞が大きかっただけに、田口ガバナーの評価をいただいた事は、なんとなく引きずっていた、自分の胸の中のわだかまりが霧散した。

第2グループの会長、実行委員長をお願いした、円田稔さん（佐賀西RC）と共に、喜びを分かち合い、少々の誇りとした。



第3グループ ガバナー補佐  
蒲原 孝之（鹿島RC）

終わってしまえばアッと言う間の1年間でしたが顧みますと就任当初の不安と緊張の連続での出発でした。7月4日のクラブ協議会

を皮きりに公式訪問と立て続けに6クラブを7月中に終わり、8月10日にはグループ内の全クラブを無事に訪問一巡することが出来ました。この間、ガバナーを初め各クラブの会長、幹事さん会員の皆様方の暖かい友情に支えられ初の大役を無事に果たせた事は、何にも優る大きな喜びであり、又すばらしい多くのロータリアンとの出会いは親交を深め、暖かい友情を得たことは大きな大きな財産であり今後の人生航路の明かりとして大切にしていきたいと思えます。補佐としての訪問を機に特に感じたことはクラブ夫々に独特な運営、活動を活発にやっておられ、大変参考になる事が多くマンネリ化防止にはクラブ間の情報交換も大事ではないかと感じました。IM等での活動情報の交換も参考になるのではないのでしょうか？

又次に今年度の大きな目標であった会員増強の件であります、第3グループでは、1・2のクラブでは増強出来ませんでした、グループとしては7名の増員が出来7クラブ7名の数は一応達成できたのではと思います。会長さん初め会員皆様方の並々ならぬ責任感と努力に心より感謝申し上げ、今後益々の充実発展を祈念申し上げます。唯1年間を振り返りガバナー補佐としての職務を全うすることが出来ず誠に不甲斐なき事のみ多く反省に苦しんでおります。

特に5月31日、突如病魔に倒れ、緊急入院の余儀なきに至り残念無念の思いで病床に臥しました。ガバナー初め皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました、幸い処置が早く順調に回復いたし2週間程度で退院できました。現在自宅にてリハビリかたがた、療養に専念いたしております。幸い後遺症も少なく早期に復帰出来るものと確信致しております。唯、最後のクラブ訪問を計画しておりましたが、急遽中止せざるを得ず、ご挨拶申し上げることが出来なかったことが一番の心残りです。誠に申し訳なく残念でなりません。深くお詫

# LEAD THE WAY

び申し上げます。一日も早く元どおり健康を取り戻して、今日までに賜りました皆様方のご厚情に報いるべく覚悟を新たに精進致す所存でございます。今後とも宜しくご指導、ご支援賜りますようお願い致します。この1年間、田口ガバナー、吉田地区幹事、ガバナー事務所初め会長、幹事、会員の皆様方の暖かいご厚情に深く感謝申し上げます。有難うございました。



第4グループ ガバナー補佐  
立華 浩 (唐津中央RC)

誰が言ったかわかりませんが、「大事を頼む場合、暇な人に頼むな。多忙な人に頼め。」また「トンビは追い風よりも、向かい風の方が高く飛ぶ。」などという諺があり、私の人生を確認する指針でもあります。

ロータリーに入会すると先輩から「ロータリアンはノオといわない」と、意義深い言葉を耳が痛くなるほど言い聞かされました。

最近、大事なプログラムの推進や役職者を決める場合に、「ノオ」という言葉が聞こえるようになり、如何なものかと案じていた矢先にガバナー補佐の問題がおり、諸般の事情から「ノオ」と言えなくなり、口は災いの元と後悔しつつ、急遽、第4グループガバナー補佐を引き受けました。

「枯れ木も山の賑わい」で、平々凡々と出席するだけが精一杯の私でしたので、事あるごとにとまどいとたじろぎを覚える1年であったと思います。

今年度の地区運営はガバナー補佐の位置付を明確にし、「ガバナーと一体となって指定されたクラブの管理（育成強化）に努める」となっていましたが、地区協議会、地区大会、ライラ、I・M、ガバナー補佐会議等々は出席しても上の空、身体と心が分離して居眠り

せずとも夢心地の状態だったと思います。

特に、ガバナー公式訪問前のクラブ協議会是最たるものでしたが、第4グループの皆様には寛容の精神と思いやりの心で接していただきました。

しかしその後、機会をつかんで担当クラブを訪問し、会長を始めメンバーの皆様と懇談するうちに、そのクラブでなければ味わえない、伝統、特徴を感じるようになりました。

更に、表面に現われる以前の歴史と背景、その広さと深さ、重みを感じたことです。

ロータリーの綱領には、「奉仕の機会として知り合いを広めること」とありますが、貴重な体験をさせていただき、正に役得と、有難く感謝申し上げ退任の挨拶といたします。



第5グループ ガバナー補佐  
太田 晴康 (松浦RC)

平成19年6月30日をもって、2740地区田口ガバナーの下でガバナー補佐（第5グループ）の役目が皆様のお陰を持ちまして、無事終ることが出来ました。安堵と共に心より感謝の気持で一杯です。手元に昨年3月にいただいた「ガバナー補佐研修の手引」の本と、ガバナー月信の第1号～第12号を見ながら、1年前から今日までの色々なことが感慨深く思い出されます。ガバナー補佐会議や色々な会の研修セミナーに出席し、多くの方々と出会い、多くのことを学びました。田口ガバナーを初め、吉田地区幹事、事務所の皆様方にもお世話になりました。補佐の各グループの方々にも友愛の心で接していただきました。未知の世界に私なりに気を引き締めて役割と責務に努めて1年が過ぎてゆきました。最初の大役としてクラブ協議会訪問があり、昨年7月18日佐世保西RCから始まりました。各クラブの会長、幹事様と会員の皆

様から心温まる歓迎をいただき、ロータリーの友愛と友情を肌で知り、緊張の中にさわやかさを覚える時間でした。又8月はクラブ協議会が終了後に田口ガバナー公式訪問に同行し、各クラブの概況、事業内容など各会長、幹事と共に話し合う役目を務める補佐を田口ガバナー、吉田地区幹事の温かい友愛の中で務めさせていただきました。そして今年に入り2月24日(土)にミーティングテーマ「ロータリーを楽しもう」のIMを第5グループの松浦RCがホストクラブで松浦で開催いたしました。入会者が減少し、退会者も出る現況を鑑みロータリーの楽しいあり方を模索し、ひいてはロータリーの原点にふれる思いのテーマでした。松浦RC会員が一丸となり、会員皆様方のご協力を得て無事終ることが出来ました。この様に1年間ガバナー補佐の役をいただき色々な思いに馳せていますと、その時、その折々の事柄が浮んで来ます。ロータリーの価値は出会いの重なりにあると……信じ、補佐時代の出会いを大切に、又これからの新しい出会いを求めてゆきたいものです。又一期一会を生きてゆく上の信条としてゆきたい思いです。第5グループの会員の皆様、又多くの出会った会員の方々にお世話になりました。心より感謝の念を申し上げ私の退任の挨拶といたします。ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。



第6グループ ガバナー補佐  
芥川浩一郎 (佐世保中央RC)

昨年、2月に長崎思案橋の「松亭」にて、最初の「顔合わせ会」が開催されてから、長崎詣でが始まり、地区の色々な会合へ補佐として出席いたし、沢山の会員の方々とお知り合いになり、色々な「勉強」をさせて頂きました。

長崎詣ででは「長崎50mプール」で、クロールの700mをノルマといたし、毎回、プールを楽しんでから、会合へ参加いたしました。6月9日(土)の会合が佐賀市でしたので、「佐賀市健康運動センター」にて、ノルマを達成して、「旅館 あげぼの」(佐賀で由緒のある歴史的な旅館)での補佐会議へ出席して、次年度の皆様との「バトンタッチ」が出来ました。

担当の6RCは歴史も違い会員数も違いますので、それぞれの「個性が」あります。順不同ですが各RCへ私の「訪問所感」を贈りました。

- 「ロータリーの河は、流れ続ける 佐世保南RC」(次期50周年です。)
- 「知恵を出し、汗をだして、もっと知ろう 佐世保北RC」(頑張りやさん)
- 「念ずれば 花ひらく HTB佐世保RC」(チューリップ祭りを想い)
- 「岩もあり木の根もあれど さらさらとたださらさらと水の流るる 佐世保東RC」(4月に創立40周年実施した。)
- 「やれば出来る 佐世保東南RC」(IMでのアンケート返事が100%)
- 「水の流れと人の世は あした待たるる 宝船かな 佐世保中央RC」(チャター会員の朝長君が、市長へ当選して、「名誉会員」となられた。)

最後に田口ガバナーさんからも「ガバナー公式訪問」の所感を希望されましたので、『忍耐と自愛の旅 ガバナー公式訪問』(57RCの訪問)をお贈りいたし、本当にハードなスケジュールと感激いたしました。

私が、何とか「ガバナー補佐」の職責をはたせたのも、会員の皆さんの「ご支援」のおかげだと深く感謝いたします。特に「七人の侍」の皆様には、深く深く感謝・感謝・感謝いたします。本当に有難うございました。

ただ、いつも何かに守られている、運がいいな、と思いながら、何とか頑張ってきました。どうも有難うございました。



第7グループ ガバナー補佐  
太田 靖臣 (大村東RC)

一昨年、第7グループのガバナー補佐を仰せつかり、戸惑いながらのスタートでしたが、早いもので1年間の任期が終わりました。今ではあの暑い夏の日のクラブ協議会やガバナー公式訪問が懐かしく思えます。

ロータリーの経験においても、実践も浅い私がロータリーを語り、お願いをしなければならなかった事など、「これで良いのだろうか?」「ああ〜もっと真剣に勉強しておけばよかったな」と疑問と反省しきりの1年でした。

一方、嬉しかったことや楽しかったことも沢山ありました。島原3クラブのメンバーに大変お世話になり、親切にして頂いた事。沢山の友達が出来たこと。日ごろ訪れる機会の少ない島原半島を数回訪ね、島原半島を曲りなりにも理解できたこと。大村のクラブのメンバーとさらに親しくしていただき、そして理解し合えたこと。挙げれば限りがありません。

しかし、島原と大村は地理的な問題があり、序盤においては、距離を感じ、同じ経済圏でないために共通話題に乏しく、最初はちょっと苦しいかなと思いましたが、奉仕の心は一つ、次第に時間が解決してくれました。

これからも島原と大村のロータリアンの心が近くなれば良いなと思っております。各クラブの皆様には、この経済状況の悪い中、会員増強に努力していただきました。

IMの開催につきましても「地球温暖化防止」という難しいテーマに真剣に取り組んで頂きました。そして更に理解を深めて頂き、引き続き実践されることを願っています。第7グループの、各クラブの会長、幹事、会員の皆様には言葉で言い尽くせないくらい感謝しています。ありがとうございました。

また、田口ガバナー、吉田幹事、事務局の

皆様には大変お世話になりました。

ガバナー補佐の皆様にかかれましても、1年間親しくお付き合い頂きありがとうございました。一生の思い出になりました。

最後に、大変貴重な経験をさせてくれた、また支援をしてくれた、我大村東クラブの仲間にご心よりお礼を申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。



第8グループ ガバナー補佐  
宮崎 清彰 (諫早北RC)

国際ロータリーのテーマ「率先しよう」の唱和で始まった2006年～2007年度のロータリーの例会。大声を出すことの大切さ、元気を改めて再認識。第8グループガバナー補佐の大役をおおせつかり皆様の暖かいご協力のもと、あっという間の1年間が過ぎ去りました。私にとって貴重な経験をさせていただき有難うございました。最初は少しばかりの緊張感がありましたが7月に入りガバナー補佐として各クラブ諫早5クラブ(諫早・諫早北・諫早多良見・諫早西・諫早南)の挨拶廻りを済ませた頃には落ち着きを取り戻し、8月初旬から9月中旬にかけてのクラブ協議会、ガバナー公式訪問へと進んでいきました。特にクラブ協議会の時には5クラブ会長・幹事さん始め会員の皆様のクラブでの活動計画報告等活発に発表され、誠に有難うございました。各クラブともロータリーへの思い入れが伝わってとても素晴しかったと思います。

田口ガバナー公式訪問の時、諫早多良見クラブだけ夜の例会でしたので、2次会が用意され、ガバナー、吉田地区幹事、私も出席させていただきました。大いに盛り上がったその中で前年度ガバナー補佐の弟が入会前の体験例会にこられ、ガバナーの前で「私は多良見ロータリークラブに入会します」と力強く発表

され大拍手を受けました。ガバナーも大変喜んでおられました。地区大会懇親ゴルフも雨の中140名の出席、盛大でよかったと思います。ただ1番張切っておられた田口ガバナー、当日体調を崩されプレー出来なかったのが残念でした。IMが成功に終り太田靖臣ガバナー補佐、松村学実行委員長始め大村3クラブの皆様大変お世話になり有難うございました。最後になりましたが、田口ガバナー、吉田地区幹事、事務局の皆様、各クラブの会長、幹事さん始め多くのロータリアンの皆様に感謝申し上げます。又前年度ガバナー補佐鳥山紀男様にはいろいろご指導いただき有難うございました。又各グループのガバナー補佐の皆様感謝申し上げまして、退任の挨拶といたします。有難うございました。



第9・10グループ ガバナー補佐  
野田 直幸 (福江中央RC)

2007年7月1日から2008年6月30日までの1年間は、私の人生において忘れられないものになると思われまます。ガバナー補佐という大役を頂き、第9グループの6クラブ、さらには第10グループの6クラブを訪問させて頂き、そして各クラブのすばらしいロータリアンに出会わせて頂き、そして例会場での美味しい食事を頂き、そして、そして……と私はこれ以上、もう頂くことはできません。文字通り、満腹です。終ってみてふり返ってみて、何と頂き物が多かったことか、思い起こせば次々に彷彿と脳裏に浮かんできます。2008年7月1日を迎え、腹の底から心の底から安堵感、満腹感、満足感がじわりと沸いて来て、1人、ニンマリとしている今日この頃であります。おっと1人で物想いにふけてはいけません。

最後で最後の、これで本当に最後の退任の

ごあいさつを心ウキウキしながらルンルン気分で書いています。昔より“苦あれば楽あり”と申します。不安とハラハラ感、ドキドキ感で迎えた最初のクラブ訪問。時化の中をジェットフォイルに揺られ、気分の悪い中、心で泣きながら笑顔をやささぬむずかしさ。しかし、気分を一新し、心を切り換えていどんだクラブ訪問。“習うより慣れよ”ではないけれど、だんだんと落ち着いてきた自分を感じることたまにありました。

私がこれまで1年間の長きにわたり、大過なくやれましたのは、田口厚ガバナー、吉田正和地区幹事のすばらしいリードがあったればこそであります。

田口ガバナーの本音トーク、歯に衣きせぬお話には脱帽と同時に感激一入でありました。吉田地区幹事は最新の情報をキャッチされ、何かとご指導頂きました。人間は言動の一致は中々むずかしいものがあり、時として裏腹な事もあるわけでありまます。特に“言うは易く、行ないは難し”と言われております。吉田地区幹事は、それを“言うは易く、行ないも易くさらに心づかいは温かい”でありました。そして、常に人は面と面を会わせなければ、その思いは伝わらない。例え電話ですむ事であっても直かに本人とお会いをしてきたということをして1年間やってこられました。その信念は、まさに吉田地区幹事の真骨頂であります。だからこそ、誰からでも慕われる名幹事であったと思います。

新年度を迎え、これからやらなければならない人々、これで終った人々と様々であります。今後ロータリーの綱領にのっとり、自分の為、クラブの為、そして地区の為にこの貴重な体験をどう活かしていくかが私に、いやすべてのロータリアンに課せられたものであると思います。

心より、そして、心から感謝を申し上げ、退任のあいさつといたします。本当にありがとうございました。

## 地区委員長 退任挨拶



クラブ奉仕統括委員会  
会員増強委員会  
江口 泰介（長崎RC）

クラブ奉仕部門は、4つの委員会の委員長ならびに委員の皆さまの連携とご協力によって大過なくその任を終えることが出来ました。統括委員長として心から感謝申し上げます。

本年度は、RI会長賞の必須項目として会員増強が掲げられました。また、田口ガバナーからは6年間つづいている会員数の減少に歯止めをかけたいという強い意思を示されました。そこで、7月8日武雄市において会員増強をテーマとした「クラブ奉仕部門研修セミナー」を開催し、はじめての試みとして全クラブに意見を述べてもらう分科会を行いました。4つの委員会が協力してセミナーの運営に当たっていただき、大変有意義な分科会でした。会員増強活動に対しては、4月末現在の増強状況に対しRI会長より「会員増強・拡大賞」がガバナーに授与され、まことに喜ばしく思います。女性委員会では地区大会の際、女性会員による懇談会を開催され、初めての試みでしたが良い交流の場が持たれました。

翻って、会員増強については、いろいろな考えがあることがわかりました。「数より質だ」とか「会員増強それ自体が目的になっているのではないか」などのご意見を多くいただきました。ロータリー精神の基本である「奉仕の理想」の実現がわれわれロータリアンの目標とするところであり、会員増強はその結果としてついてくるとの感を深くしました。



ロータリー情報・広報委員会  
中尾 直弘（武雄RC）

昨年3月4日、長崎市での地区研修セミナーに始まり、PETS、地区協議会、クラブ奉仕部門研修セミナー、地区大会と続き今年5月20日の最終合同委員会で総括、と、この一連のロータリーでの集まりは、地区委員長として初めて経験することであり、大変貴重な体験でした。7月8日のクラブ部門合同研修セミナーでは、奉仕部門の各委員会は少数メンバー編成のため、委員長・委員、皆結束して分科会のリーダー、報告者を務めました。単なる講演形式ではなく「全クラブから全員発言」をめざして活発な意見交換があり、大変有意義なセミナーであったと思います。

次に検討課題でありましたCLP（クラブ、リーダーシップ、プラン）については、その導入に当たっては、クラブによって意見が分かれるところでしたが、他地区では思い切って採用して生き返り、成功した事例もたくさんありました。これからはモデルクラブを想定した上で、導入時の具体的方法を示唆する時期にきているように思えます。



ロータリー女性委員会  
助村 房子（諫早南RC）

2006～2007年の女性委員長を拝命し、無事1年を過ごすことができました。年度始めは不安な気持ちでいっぱいでしたが、田口ガ

パナー、吉田幹事、江口クラブ奉仕統括委員長、その他大勢の先輩方のお優しいお心に触れ、大変勉強になった1年間でした。皆様方のご協力、ご指導、ご鞭撻に深く感謝申し上げます。

女性委員会としての活動は地区大会の折に「女性会員の集い」を開催しただけでしたが、30名ものご参加をいただき、本当にありがとうございます。この紙面をお借りして再度お礼申し上げます。今後、もしこの会が継続して開催されるのであれば、懇談の時間をもう少しゆっくり取っていただきたいと感じました。

また、就任時に活動目標といたしました、女性会員の増加に資するための“女性委員会の認知度の向上”と“女性を勧誘しやすい雰囲気作り”に関しましては、十分な成果を上げることができませんでした。誠に申し訳なく思っております。今後もその目標を忘れることなく、微力ながら努めてまいりますことを表明し、退任の挨拶に代えさせていただきます。

女性委員会のますますの発展と、若い時津芽久美次期女性委員長のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



**出席委員会**  
**西村 和郎 (神埼RC)**

退任のご挨拶を申し上げます。

出席委員長といたしまして、何も出来ませず、1年間経過し、皆様方にはお詫びのご挨拶の段となりました。

前年度、緒里委員長様から「出席委員会活動に関するアンケートの集約資料」を頂きながら、本年度に活かすことも出来ませず、ただただ反省致しております。

クラブ奉仕委員長をはじめ、各地区委員長

の暖かいご協力を頂きました事を、ここに深く感謝申し上げます。

誠にありがとうございました。



**職業奉仕委員会**  
**中島 閔二 (佐世保北RC)**

本年度の地区職業奉仕委員会は、地球環境問題に取り組むことになり、その中でも「地球温暖化問題」を中心に取り組みました。

事前にこの問題について、2740地区の各クラブに地球温暖化問題についての取り組み事例などのアンケートの実施を行い、その内容を地区協議会においてクラブの職業奉仕委員の方々に発表していただきました。

我々はそれを基に、地区大会のメインテーマとして地球環境問題「温暖化防止」にどう取り組むのかをテーマに早瀬隆司氏（長崎大学環境学部 教授）をコーディネーターとしてパネルディスカッションを開催いたしました。

また、地区大会3日目には、「地球規模の環境問題を考える」をテーマに、北野大氏と前環境大臣の小池百合子氏をお招きしご講演いただきました。

この「地球温暖化問題」については、まだまだ分からないこともいろいろありますが、我々ロータリアンとしてどうすればこの地球温暖化を防止していけるのか、ひとりひとりが真剣に考えていかなければならない時期にきているのではないのでしょうか。

マザーテレサはこんな言葉を残しています。「あなたのしていることは、大海のほんの一滴かもしれません。しかしその一滴がなければ、海は海たり得ないのです」と。

1年間、ありがとうございました。

# LEAD THE WAY



社会奉仕委員会  
白川 十郎 (伊万里RC)

「社会奉仕」ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を通用すること。

地区のガバナー方針、地区重点推進、奉仕プロジェクトとして環境問題、特に地球温暖化防止対策を採り上げられました。

地球に優しく温暖化防止の妙策は無いものかと、模索致しておりました所、ケナフを捜し、これなら身近で、狭い面積で植付も簡単、時期もよく実行した次第です。

改めてケナフを紹介します。

1. 木材資源に代る紙の原料
2. 二酸化炭素を多量に吸収、大気浄化
3. 紙漉き子供教室 (環境に対する意識高揚)
4. 若葉はそのまま天プラ、湯かけ、白あえ等
5. 茎は木に近く処工処理が簡単、用途開発の可能性
6. 花は鑑賞用、染色の材料可
7. 種子は20%程の乾性油を含み、潤滑油、灯火用の油や石鹼の原料、しぼりカスは家畜の餌等

と環境に優しいケナフです。すでに3-4クラブより種の依頼があり、新たに送付致しております。

また、身近な所ではmy<sup>マイ</sup>ハシ、もしくは竹ハシの推進等、たくさんあります。環境保全を身をもって味わうことが、子孫の繁栄にも繋がります。

人類がある限り永遠のテーマです。共に行動をしましょう。

ロータリーの100年の森!! 100年の緑の風、ロータリーの風力発電ができれば良いのですが……



新世代統括委員会  
岩永 信昭 (長崎北東RC)

年度当初、月信で以下の1)~3)を委員会方針とし地区の皆様をお願い致しました。

- 1) 新世代をロータリー家族の一員と考えて下さい



地区大会“新世代の集い”での  
高木貞一郎RI会長代理とローターアクター

- 2) 地区重点推進奉仕プロジェクトに新世代も参加させて下さい



意義ある業績賞に輝いた  
伊万里西ロータリークラブの活動

- 3) 自由な発想で新世代への奉仕を模索して下さい



長崎出島ロータリークラブの  
児童養護施設対抗レクリエーション大会

他にも数え上げたらキリがない程……皆様のご理解とロータリアンシップ溢れた活動に敬意を表します。

絶えずご支援、ご指導を賜りました田口厚ガバナー、吉田正和地区幹事に深謝申し上げ、退任の挨拶と致します。



インターアクト委員会  
天本 俊太 (長崎RC)

2006～07年度 2740地区インターアクト委員長を務めさせて頂きました天本です。

通常 地区委員会出向は3年だそうですが委員としての出来が悪かったため4年勉強させて頂きました。

最近では前期指導者講習会が長崎 佐賀の全体、後期指導者講習会がここ3年はグループ別で行われ、地区委員会は前期と後期指導者講習会を主催しておりましたが、本年は諸般の事情で年次大会を引き受けてくれるクラブが無く 地区委員会主催で7月30日 1日で前期指導者講習会も兼ね行うという、変則的な物になりました。

又地区が主催を行うと決まってから 開催までの期間が半年しかないといった中 卒業する高校3年生 インタアクトメンバーの思い出に残るような 大会にするため、田口ガバナー 吉田幹事 地区役員始め ガバナー事務所の方々 長崎市内 長崎女子高校 長崎女子商業 海星高校 活水高校の顧問教諭 生徒さんに助けられ無事 成功裏に終了にする事が出来ました事を 心より感謝申し上げます。

最後に、私の不勉強 不手際の為、田口ガバナー以下多くの関係の方々に ご迷惑 ご心配 お掛けいたしましたことを 心よりお詫びしますと共に、私を支えて下さった地区インターアクト委員会メンバーに感謝致しま

して 退任の挨拶とさせて頂きます。1年間大変有難うございました。



ローターアクト委員会  
大島 隆 (佐賀RC)

本年度は荒木地区ローターアクト代表を中心として各々のアクトクラブの活動は素晴らしいものだったと思います。田口ガバナーの方針の1つである、温暖化対策についてはまず勉強会からスタートし、マイ箸運動、エコバックの推進など地区ローターアクトメンバーが1つになっての活動が出来た事は、今後の発展につながる1年ではなかったかと思えます。又2年後の全国ローターアクト研修会の誘致に名乗りを上げ実現出来たことは真に喜ばしく、全研に向けてアクト活動がそれぞれの地域で高まって行く事だと思えます。これを機に提唱ロータリークラブに限らず、アクトクラブの創始の精神に立ち戻り、ロータリーとアクトクラブのあり方、ロータリーの家族としてのあり方を見直して行ければと思えます。

田口ガバナーを始め吉田幹事、地区役員、委員会の皆様又提唱ロータリークラブの皆様方にご助言ご協力を頂いた事に感謝を申し上げます。今後もアクトクラブを立派に育てて頂く事をお願い致します。



ライラ委員会  
岡部 景光 (有田RC)

今期のライラ地区委員会は、ロータリーの友情を感じる1年でした。

今年度がスタートし、しかも3ヶ月以上も経った後に、突然第28回ライラホストをお

# LEAD THE WAY

願いした唐津中央クラブの友情と勇断に感謝しています。

立華 浩第4グループガバナー補佐、水田 彰男会長、中山 和義実行委員長、会員の皆様ありがとうございました。無事に今期の役目を終えることが出来ました。

ライラ地区委員会の役目は、地区新世代育成プログラムの一翼を担う「ロータリー青少年指導者養成セミナー（RYLA ライラ）」を、毎年開催して行くことです。

歴代の地区ガバナーもインターアクト、ローターアクト、国際青少年交換留学と同様に、ライラ実施には高い関心と理解を示されておりまして、地区委員会はその意を受けています。

ライラは1980年5月に第1回目が開催されて以来、途絶えることなく毎年実施して、幾多の若者の参加を得て来ました。

殆どの若者は国際ロータリーのことを知らない人で、ライラがどのような大会かも知らずに来ます。

今まで知らなかった者が、2740地区内から多数集って講演を聞いたり、施設見学したり、食事、入浴、宿泊、大会テーマでのディスカッションなどの研修を受けます。

そして帰る時には、ロータリーのこと、大会テーマの意図すること、自分を見つめ直すこと、新しい友を得たことなど多くを学んでいます。

これらの場や時間を提供するのが、ロータリーであり会員の皆様だと思っています。

新世代育成を含めた社会奉仕活動には、会員の皆様からの浄財がなければ出来ません。

永年のご理解とご指導をお願いします。ライラへのご助成ありがとうございました。

来期は小城クラブのホストで実施します。よろしくをお願いします。



国際青少年交換委員会  
瀬戸口智彦（長崎南RC）

06-07年度 青少年交換委員長をひとまず終了して

06-07年度もやっと終了することが出来ました。この事業は青少年交換事業を引き受けて頂いた各クラブの関係者ならびに快く交換学生をお世話いただいたホストファミリーの多くの皆様のお陰で事業が無事終了しました。また地区青少年交換委員の皆様には文句も言わずこの1年、それぞれの担当でご苦労さっていただき感謝しております。省みれば06-07年度は青少年交換事業が始まって以来の難題が噴出し、ドイツからの来日学生が個人的な事情により早期帰国、フランスへ派遣した学生さんが遭遇した事件など今までの青少年交換事業では到底考えられなかった緊急事態が発生しました。地区委員会も関係クラブもこの対応におおわらでした。幸い、関係クラブの皆様の素早い対応で事なきをえました。残りの来日学生の皆さんは川口地区委員の名コンダクターのもとで九州旅行、東京・関西旅行も無事終了することができました。一方、今迄継続していた豪州との青少年交換事業が希望クラブがなく今年度で中止という寂しいことになってしまいました。

青少年交換事業に参加するクラブでも来日学生のホストファミリー捜しが困難となり、さらに交換学生事業の経費も相当な負担になり、交換事業の良さを理解はするもののこれをクラブの事業として継続にはやや難色を示すクラブも出ております。青少年交換事業の運営方法の再検討の時期にきているようです。

06-07年度の地区青少年交換学生事業

- 3月25日 新旧地区委員会（嬉野）
- 5月7日 第1回地区委員会（嬉野）
- 3月12/13日 ロータリー青少年交換・長

## 崎会議 (HTB)

- 5月21日 地区協議会
- 6月27日 第2回地区委員会 長崎
- 7月7日 第3回地区委員会 長崎
- 8月6日 第4回地区委員会  
(ANAホテルグラバーヒル長崎)  
派遣学生選考会
- 8月11日 第5回地区委員会
- 8月26/27日 第1回オリエンテーション  
第6回地区委員会  
(諫早青少年自然の家)
- 9月12日 第7回地区委員会
- 10月7/8日 長崎おくんち見学と原爆資料館 (長崎)
- 10月17日 第8回地区委員会
- 10月29日 第2回オリエンテーション  
第9回地区委員会  
(ウェルサンピア伊万里)
- 12月2/3日 地区大会 (新世代活動)  
来日学生九州旅行
- 12月17日 クリスマスと Jasta さんお別れ会 (雲仙ホテル東洋館)
- 1月20日 第10回地区委員会
- 2月17日 ROTEX (帰国学生) との  
交換学生との交流会 (諫早  
センリュウ)
- 3月18日 第3回オリエンテーション  
第11回地区委員会  
(全日空ホテルグラバーヒル)
- 5月8～12日 来日学生東京関西旅行  
青少年交換学生募集開始
- 5月12日 第3回全国青少年交換委員  
長会議 (東京)
- 6月24日 第4回オリエンテーション  
( 歓送会とお別れ会 )  
第7回地区委員会  
(武雄センチュリーホテル)



国際奉仕統括委員会  
常多 勝己 (長崎北RC)

幸か不幸か、次年度もまた本委員会に居座ることになりました。

まずは本年度ガバナー事務所を始め配下各委員会委員長に大変ご協力いただいたことに深く感謝申し上げます。

この委員会は田口厚ガバナーの組織編成に伴い本年度新たに作られた委員会で特に目新しい内容を持ったものではありません。国際奉仕に関するロータリー財団委員会、財団奨学・学友委員会、およびGSE委員会の3つの委員会の活動を円滑に行えるよう統括をすることを目的として設置されました。私自身もこの分野の活動は初めてであり、ベテランの諸先輩からいろいろ教えていただき勉強しながら役目を終了することができました。

我々ロータリアンひとりひとりの中にあるであろう「何か他のひとの役に立ちたい、ニュースで見る状況をそのまま放っておけない」という純粋な奉仕の気持ちを大きく集約してこれを国際間の協力、親善、平和に寄与しようということがRIの国際奉仕に対する基本方針の要旨でしょう。この方針に従って今後も各委員会活動を統括していきたいと考えております。

来年度も配下各委員会には新進気鋭の委員長・委員が配置されており、皆さんとともに与えられた仕事を一つ一つこなしてゆきたいと思えます。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

**LEAD THE WAY**

ロータリー財団委員会  
松尾 英機 (佐世保中央RC)

2004 - 2005 年度の地区財団委員長を拝命して以来、早いもので任期の3年目を迎えました。

最初の1年は地区補助金制度が導入されたばかりの頃で、その責任者として四苦八苦の1年でした。2年目は地区補助金のフローチャートの作成、D.D.Fの活動資金報告書の作成、そしてR財団セミナーテキストの作成に追われました。

そして3年目の今年は、地区補助金の給付が年々減少し始め、当初の40%近くまで落ち込んできて、これまでの申請クラブに寄付額に応じて按分しても、平均6~8万円にしかない現実をみて、果たして有効に使われているのか疑問が生じてまいりました。確かに地区補助金の支給額は3年前の年次寄付額の50%の20%を上限として、地区・クラブの人道的補助金として使える訳です。一方でR財団の“クラブの年次寄付・恒久基金寄付を増加すれば、D.D.Fへその50%をもどします”というクラブの寄付額を増加させるもくろみでもありました。しかし結果は長引く景気の低迷による会員数の激減により、大きく落ち込んでまいりました。

この現実を踏まえた上で、より効果的な地区補助金の給付のあり方が問われてくると思います。ロータリー財団は生きものです。次年度委員長に次なる期待をしながら、この3年間のご協力に心より感謝を申し上げます。

ありがとうございました。



財団奨学・学友委員会  
田中 克憲 (長崎西RC)

財団奨学・学友委員会は、澤山俊雄副委員長、笠慶宣委員、永田武義委員の4名で1年間の事業計画を消化して来ました。財団奨学・学友委員会の活動は、ロータリー財団国際親善奨学生のための年3回(7月、12月、4月)の研修会と4月には留学先が決定した奨学生の壮行会を開催しました。また、6月にはロータリー財団国際親善奨学金候補者の面接選考会を開催しました。

選考会には、田口 厚ガバナー、野口 清ガバナーエレクト、吉田正和地区幹事、四元幸彦財団奨学・学友委員会担当、福岡龍一郎次年度財団奨学・学友委員会担当、常多勝己国際統括委員長、松尾英機地区財団委員長、森永 太次年度地区財団委員長、地区財団奨学・学友委員会田中克憲委員長、澤山俊雄副委員長、笠慶宣委員、永田武義委員の出席のもとに開催いたしました。

この国際奨学金制度は、夢と希望を持った優秀な若者達が集い、世界に向けて羽ばたくことのできる、民間レベルでは世界最大規模の素晴らしい制度です。

今年度も素晴らしい奨学生5名が選考されました。しかし、残念でしたが病気のために2名が留学を断念しましたが、3名は、世界に向けて羽ばたいて行きます。

次年度は地区財団奨学・学友委員会田中克憲委員長は退き、澤山俊雄副委員長、笠慶宣委員、永田武義委員は次年度も財団奨学・学友委員会で、新委員に長崎中央ロータリークラブの有田信一君が頑張っていたりたく事になっております。

次年度の、国際親善財団奨学・学友委員会にも、ご支援・ご協力いただきますよう、何卒宜しくお願いいたします。

3年間長い間、大変お世話さまになりました。有難う御座いました。



GSE委員会（委員長代行）  
高江洲一雄（長崎南RC）

2006-07年度の『活動目標』の特色は、長くGSE委員会活動に携わり、GSE計画の成果を高く評価されていた東島秀明委員長の意向で、継続的GSEの実施体制作りを視野に入れて、(1)GSE実施報告書【注】の作成(2)GSE実施要領(マニュアル)の作成(3)2008-09年度GSE実施の準備の3項を特別項目として掲げたことでした。

所が、東島委員長が、平成18年9月7日に急逝されました。経験豊かなリーダー無く

しては、この目標は荷が勝ちすぎでした。既に具体的方針が定まっていた(1)項を除き、残念ながら全ての活動計画を後ろ倒しにせざるを得なくなりました。

先日、佐世保の御自宅へ伺い、完成した報告書を供えて、本年度の委員会活動が『不本意でしょうが終了しました』旨御報告しました。恐る恐る見上げた遺影は和やかな顔をされていました。『ご苦労さんでした』と言ってもらったようでした。

今後、(2)、(3)項が達成され、故東島委員長の遺志が成就する事を願って止みません。吉田地区幹事、常多統括委員長には、多大のご指導とご支援を頂きました。深謝です。

【注】：RI6290地区とのGSE実績として、2004-05年度に『受入れ』、2005-06年度に『派遣』の交換研修が実施された。

## 各委員会活動も活発に行われた。



# 田口 厚ガバナーと行動を共にして 「ありがとう！感謝！」の2年間

国際ロータリー第2740地区

地区幹事 吉田正和

2005年5月。田口ガバナーから地区幹事としてのお話があった。同じ時期に野崎バストガバナーからも……。社長は長男に譲ってはいないものの、会社の現状を考えるととても受けられる状況ではない。しかし、そのときはその時。覚悟を決め返事をさせていただいた。「何をしなければいけないか」は全く理解していないが、「何かをしなければいけない」ことは百も承知だし、「何かをすること」については自信がある。「よし。とことんしてみよう」とスタートしたのを思い出す。地区事務局には、野崎年度、福井年度でも活躍された山田耕一会員、福井年度で事務局を務めた西村真理さんと、体制は完璧である。

田口ガバナーは、「次年度方針として何を取り上げるか」として「地球環境問題」、とりわけ「地球温暖化防止」を取り上げたいと具体的に提案された。その頃は、まだ、今ほど脚光を浴びていなかった問題であったが、地区幹事予定者である私にとっては、その後の地区組織策定、各委員長などの人選を進める立場として、非常にインパクトのある「地区方針」の決定だった。

国際協議会での他地区ガバナーとの出会いは、最高のものだったとうかがい知ることができる。ビルボイド会長の「率先しよう」をご自分の体験から「率先垂範」として掲げ、地区重点方針「地球温暖化防止」と結びつけたのである。ガバナー補佐会議、地区チーム

研修セミナー、PETSそして地区協議会など諸会議では、具体的なテーマとして歓迎されたと感じている。その特徴的なものが「クールビズ」であり、「冷房温度の設定」であった。

ガバナーとしての最初の仕事である公式訪問は、平成18年9月18日鹿島クラブから始まった。祐徳稲荷神社での大願成就の「清祓い」の後、会長・幹事との懇談会そして例会場に入る。いつものガバナーとちょっと違う。緊張感が漂い、舌の滑りも快調ではない。それでも鹿島クラブの会員皆様から温かい歓迎を受け、初体験も無事終了。夜の例会である佐賀南クラブに向かう。車中でも何かいつもの元気さがない。佐賀の会場に到着した後、「温泉」に入って来られる事を奨める。約1時間後、戻ってこられた顔を見て一安心。いつものガバナーの姿であった。

公式訪問では自作の「パワーポイント」を駆使し、時折、当意即妙なジョークを交えての熱弁だった。また、例会風景も各クラブのそれぞれの特徴が出ており、食事を楽しみ、握手を重ね、体操で身体をほぐし、時には、新会員の入会式に立会い、バッジを着けてあげるなど、次のクラブでは何があるか楽しみであった。反面、地区幹事としての苦労は、卓話の時間が延びることであった。事前に、クラブの幹事・SAAと打ち合わせをして、できるだけ前倒しに時間設定をしてもらうの

だが、ガバナーはその分余裕ができ、逆に伸びてしまう。まいった。まいったである。

地区大会は、さすががホスト長崎クラブであり、西村金造実行委員長である。1日大会への変革とそれに伴っての万全の態勢づくりを進め、出色の地区大会であったと確信する。高木貞一郎R I会長代理ご夫妻とは、一度目は東京でガバナーご夫妻と共にお会いし、親近感を抱かせていただき、二度目は、群馬・館林のご自宅へお伺いして、打ち合わせをさせていただいた。その折に、「地区幹事が言うとおりにするから心配するな」と励ましをいただき感激したものである。この地区大会に12地区ガバナーご夫妻の出席、また、ご夫妻での返礼をこめての12地区大会への出席など、同期の団結力は相当なものであることを感じている。

ガバナー補佐の方々とは、予定者の頃から親しくさせていただいた。とはいいいながら、3名の方は新年度が始まる前に交代されている。地区名簿などの発行直前とあって、写真など記事の提出をめぐって一騒動(?)も、今では笑い話である。ガバナー補佐の役割は大きく、クラブ情報の提供、IMの開催などグループの取り纏めにも苦勞されたものと感

謝している。

諮問委員会。地区幹事にとって一番緊張する会議である。特に、年度当初より青少年交換を始めとする事業の「危機管理委員会」設置については、パストガバナーの皆さんから、「この地区は危機に陥ってなんかない。何故危機管理か！」などお叱りを受けながらも、事情を説明し、やっと4回目の諮問委員会で「新世代危機管理委員会」との名称で了承していただいたことなど、さすがに、歴代パストガバナーの鋭いご意見に納得させていただくことが多かったものである。

田口ガバナー、昌子令夫人がガバナー職に対する使命感を強く持っておられたことで、地区幹事という大役を曲がりなりにも務めることができたものと感謝している。

そして、この2年間で約650名会員の方々と名刺交換をさせていただいた。(地区内約2,450名として4名中1人である)思い起こせば、多くの人と出会い、見守られてきたことに、心からありがとうございますと申し上げます。

最後に、地区ガバナー事務所の10名の会計長・副幹事・委員の皆さん、3名の事務職員の皆さんにも心から感謝いたします。



国際ロータリー第2740地区ローターアクト

# 第25回年次大会報告書

国際ロータリー第2740地区

地区代表 荒木 真一

今回おこなわれた第25回年次大会は「鏡花水月」をテーマとし、鹿島ローターアクトクラブがホストクラブとして開催されました。

今年度は地区ガバナーが「STOP THE 温暖化」を地区目標に掲げているということもあり、環境に関することをプログラム等に組み込み、地区内のみならず地区外のローターアクトのメンバーにも環境について学んでもらい、今後の活動や日常生活で環境に対する配慮をしてもらおうという素晴らしい年次大会になりました。

1日目の懇親会では、割り箸を使用しないで「マイ箸」を持参してもらい食事をしていただくことにし、マイ箸を忘れた方々は代表事務局にて作成したものを購入していただき地区活動（売上金での植林）へ貢献していただきました。

2日目のメインプログラムでは環境ウォークラリーをおこない、各チェックポイントで環境に関する問題等を出題しクリアすると、

土や花の苗等を獲得していくという方法で参加者へ勉強してもらいました。このプログラムで完成した花のプランターは鹿島市の社会福祉協議会等に寄贈することになっています。

また、今年度は地区内の全てのローターアクトクラブが環境に関する活動をおこない、RIよりローターアクト会長賞をいただくことができましたので、閉会式にて授賞式をおこないました。

この会長賞を無駄にしない為にもローターアクトでは今後も更なる意義のある活動をしていきたいと考えています。

最後になりましたが、この1年間の集大成でもある年次大会が無事に成功したのも、各提唱ロータリークラブのロータリアンの皆様方の暖かいご指導やご助力の賜物であり、本当に嬉しく思います。

是非、今後とも皆様方のご指導、ご助力を宜しくお願いいたします。



# 第4回青少年交換学生オリエンテーション

国際ロータリー第2740地区

国際青少年交換委員長 瀬戸口 智彦

## 第6回交換学生地区委員会 開催される

平成19年6月24日(日)、武雄センチュリーホテル(3階)にて、第4回青少年交換地区委員会とお別れ会と壮行会をかねたオリエンテーションが開催された。

参加対象者：ガバナー 地区幹事 新旧地区委員会+ガバナー事務所交換学生専任  
派遣学生、来日学生 家族 関係クラブのカウンセラー 計37名

## 第4回地区委員会：10：00～11：30

1. 06-07年度YEPを振り返って(特に早期帰国学生等)
2. 来日学生の国内旅行(九州旅行、東京関西旅行 ながさきくんち)
3. 危機管理委員会の設立経緯
4. 今年度の予算と決算(5月まで)

## オリエンテーション 11：30～16：00

1. ガバナー挨拶
2. 修了証書と記念品 授与：kimmo Sairanen (フィンランド) (佐賀北)  
侍 依仁 (Jenifer) (台湾) (佐世保)  
Colin Julien (フランス) (諫早多良見)
3. 感謝状 授与 ホストファミリー ホストクラブ
4. 来日学生：日本滞在の感想(日本語)
5. 派遣学生：私の学校、私の町(現地語+日本語訳付き)の紹介  
中山 康平(佐賀)(フランス)  
大浦 薫(佐世保南)(ノルウェー)  
平野 美里(諫早北)(アメリカ)  
橋本 将(長崎南)(アメリカ)
6. ROTEXの送る言葉：飯田 千織、古賀 陽平、若杉友香里、
7. ホストファミリー：感謝の言葉
8. 地区委員長：お別れと送る言葉



# 創立 20 周年記念式典

島原南ロータリークラブ 会長 吉田 秀 隆

## 島原南ロータリークラブ創立 20 周年記念特別演奏会

創立 20 周年に際し、地域の方々にロータリーを理解してもらうことと、何か役に立つ事はないか検討を重ねました。玉名女子高校吹奏楽部は、全国大会で優秀な成績を数多く収め、米国グレンミラーフェスティバルに招待されるなど大変有名で、島原半島からも毎年数名の生徒が吹奏楽を目指して入学しています。そこで、玉名女子高校吹奏楽部のすばらしい演奏を地域の方々にありえコレジョホールで堪能してもらおうと決定しました。

中学生は無料招待としましたが、一般客の出足がどうか大変心配をしました。ところが満員の盛況で、若さいっぱい澁刺として迫力ある素敵な演奏に、観客の皆さんにとっても満

足戴いたようでした。また演奏の様子は地元有線の「ひまわりてれび」で何回も繰り返し今も放映されていて、ロータリーの広報にも大変役立っています。



## 島原南ロータリークラブ創立 20 周年記念式典

演奏会に引き続き 17 時より原城温泉「真砂」で田口ガバナー、佐古パストガバナー、松島南島原市長、スポンサークラブの島原 RC、姉妹クラブの丸岡 RC など列席の下、挙行されました。丸岡 RC は、有馬の殿様の末裔が明治維新を丸岡で迎えられた縁で当クラブと姉妹クラブを締結し、周年行事ごとに相互訪問をしています。開式に先立ち竹下豊秋物故会員 1 名の追悼の予定でしたが、前日島原南 RC 創立時の初代会長の池永弘名誉会員が亡くなり、急遽 2 名の追悼となりました。田口ガバナーはじめ市長ほか多数の来賓祝辞を頂戴しました。また記念事業の一環として、南島原市長に市立図書館の図書購入費として金一封が贈呈されました。

閉式の後、会場を移動して祝宴へ。第 7 グループ太田靖臣ガバナー補佐の挨拶を戴き、雲仙 RC 森会長のご発声で乾杯し、張り詰めた式典と打って変わって開放感に変わりました。互いに酒を酌み交わし、親睦の輪が方々に出来ました。途中、島原 RC 大場会員の取り計らいの島原マンドリン倶楽部のアトラクションで、さらに宴会に花を添えていただきました。メーターが少々上がったところで佐古パストガバナーの万歳三唱で最後を締めて戴き、めでたく終了いたしました。ガバナーはじめ多くの皆様方に、遠方より時間を割いてご出席いただきまして衷心より厚く感謝申し上げます。



# 創立 30 周年記念式典にあたり

牛津ロータリークラブ 実行委員長 西岡 健次

本日、ここに牛津ロータリークラブの創立30周年記念式典を挙行することが出来ましたことは会員一同にとりましてこの上もない喜びでございます。本日式典にご出席を戴きました皆様方を心より歓迎申し上げます。誠に有難うございました。

牛津ロータリークラブは1977年に国際ロータリーの加盟承認を受け、先代玉屋の社長田中丸善一郎パストガバナー、ならびに佐賀銀行頭取可香月氏、またスポンサークラブ佐賀ロータリークラブのご指導を戴き発足いたしました。あらためて厚くお礼申し上げます。

当初牛津ロータリークラブは創立会員27名でスタート致しました。現在32名、チャーターメンバー1名でございます。

ロータリーの目的である奉仕の理想実践に鋭意努めている所でございます。会員同士親睦を図りつつ我々が目指す目的は地域社会に密着した奉仕を心がけております。またロータリーの家族の海外旅行を夫婦で2年に1回実施し本年度はイタリア旅行を行い大変好評でございました。

30周年記念事業は小城市牛津町福祉セン

ター「アイル」にハナミズキを寄贈いたしました。市長や牛津幼稚園児とともに記念植樹をおこないました。さらに三日月町ドゥイングにおきまして元京都府立伏見工業ラグビー部監督山口良治様をお迎えして記念講演をおこないました。「信は力なり」という演題で伏見工業を日本一のラグビー王国に作り上げた道程やエピソードを交えて教育の果たす力を問いかける講演であり、涙と笑いを散りばめつつ大いなる感動をいただけるお話で大変好評でございました。

地域に貢献し、地域の発展を願うロータリー活動。先輩方が築かれた足跡を尊重し改めて30周年歴史を振り返り奉仕活動への心を改めて強くした次第でございます。30周年のクラブ活動をさらにひろげ、会員一人ひとりがロータリーの理念、目的に沿った活動に頑張る所存でございます。

本日は多数の皆様にご臨席いただき盛大に30周年の式典を挙行できましたことに心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



## 創立 50 周年記念行事を終えて

長崎北ロータリークラブ 創立 50 周年記念行事実行委員長 松山 要

私共長崎北ロータリークラブでは本年 6 月に創立 50 周年を迎えました。

例えば 50 年前、長崎ロータリークラブの皆さん方の子息や若い人々を中心として長崎市内を流れる中島川から北をエントリーとして長崎北ロータリークラブが誕生したそうがあります。

以来長崎クラブさんのご指導の元に親睦と奉仕をむねとして地域発展に微力ながら寄与して参りました。その 1 つが、目のご不自由な方々に本を読んで差し上げるマリヤ文庫に毎年寄附をし続け、又、青少年の育成のための剣道大会を共催したり、創立 40 周年記念事業としてクラブ独自で国際協力資金を設け、留学資金を提供して参りましたが、その人員も延 70 人になりました。今後も毎年 3～4 人の留学生に贈る積りであります。

斯様な活動が認められ、式典当日には田口ガバナー始めパストガバナー、ガバナーノミニーは申す迄もなく、金子長崎県知事、田上長崎市長、更には姉妹クラブである京都北ロータリーの多数の方々にご出席頂き、晴れやかな席上では、命の大切さを教えておられる長崎いのちの電話の代表である三原さんに活動資金を贈呈して大変感謝して頂きました。

一連の行事の中で、今更の如くロータリー活動の大切さを認識させて頂きました。

式典後は和やかに長崎検番や会員有志に依る宴会と楽しい一刻を過ごしました。

創立 50 周年を終えた今、更に次の 60 年・70 年に向かって会員一同努力することを誓い合った 1 日でした。

ご出席頂いた皆様には改めて厚くお礼申し上げます。



# 新会員紹介

ロータリーの新しい仲間になりました方々をご紹介します。

## 《5月》



佐賀 RC  
佐藤 龍二郎君



佐賀西 RC  
金藤 徳久君



佐賀西 RC  
佐伯 鎮範君



佐賀北 RC  
宮原 和弘君



佐賀北 RC  
吉野 英明君



神埼 RC  
陣ノ内久昭君



唐津東 RC  
岩崎 泰裕君



平戸 RC  
千場 正幸君



佐世保北 RC  
是永 典彦君



大村 RC  
工藤 洋子君



大村北 RC  
上野祐太郎君



諫早西 RC  
野中 英己君



福江 RC  
春原 嘉之君



長崎北東 RC  
荒木 辰雄君



長崎北東 RC  
江崎 聡君



長崎北東 RC  
中橋 道代君



長崎北東 RC  
中山 要君



長崎北 RC  
中部 省三君



長崎南 RC  
谷山 任宏君



長崎南 RC  
内山 洋明君



長崎南 RC  
藤田 淳君



# LEAD THE WAY

		岡崎 敏幸	佐世保南 R C
		山口 嘉浩	佐世保南 R C
大口寄付者		鶴田 司	佐世保南 R C
		池田 敏章	佐世保南 R C
ベネファクター		渡邊 進	佐世保東 R C
		久保田健二	ハウステンボス佐世保 R C
米山記念奨学会	米山功労者	金子 卓也	佐世保南 R C
		久保 志郎	佐賀西 R C
		牧山 隆雄	大村北 R C
		丸山 明	佐賀西 R C
		大塚 良弘	佐賀西 R C
		田中丸絃一郎	伊万里 R C
		緒方 重利	唐津東 R C
		加城 一成	ハウステンボス佐世保 R C
		松田 裕二	ハウステンボス佐世保 R C
		松永 忠義	雲仙 R C
	米山功労者 (マルチプル)	牧山 隆雄	大村北 R C
		松原 究	諫早 R C
		宮崎 正浩	諫早多良見 R C
		堀川 雄一	諫早多良見 R C
		織田 徳彌	佐賀 R C
		斉藤 稚一郎	牛津 R C
		久保 志郎	佐賀西 R C
		前田 博憲	佐賀西 R C
		森永 太	佐賀西 R C
		平 龍三郎	佐賀西 R C
	丸山 茂夫	唐津東 R C	
	山口 國行	佐世保西 R C	
	角尾 澄夫	諫早 R C	
	白倉 一男	諫早北 R C	
	溝越 孝	諫早北 R C	
	野田 直幸	福江中央 R C	

## 訃報

慎んでお別れいたします。



故 空閑 清高 君  
(佐賀 R C)



故 豊島 壯光 君  
(東長崎 R C)

## 2007年5月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				6月末	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	4	77.7	69	0	70	0	1	1	2
	小城	4	93.8	32	1	29	2	-3	0	0
	牛津	3	93.4	32	0	33	0	1	0	0
	多久	4	87.8	43	5	41	3	-2	0	0
	佐賀大和	4	73.0	25	3	25	3	0	0	0
	小計		85.1	201	9	198	8	-3	1	2
第2グループ	佐賀西	4	78.3	54	0	50	0	-4	2	2
	佐賀北	5	88.4	41	3	41	3	0	2	0
	佐賀南	4	81.3	38	0	45	1	7	0	0
	神埼	4	70.6	28	0	33	0	5	1	0
	佐賀空港	3	56.9	16	0	17	1	1	0	0
	小計		75.1	177	3	186	5	9	5	2
第3グループ	有田	4	79.2	36	2	38	3	2	0	0
	武雄	4	85.5	56	0	57	0	1	0	0
	鹿島	4	89.1	39	1	40	2	1	0	0
	嬉野	3	88.9	23	1	24	1	1	0	0
	大町	4	75.8	22	0	25	0	3	1	0
	白石	4	71.9	17	0	16	0	-1	0	0
	太良	4	77.8	9	1	9	1	0	0	0
小計		81.2	202	5	209	7	7	1	0	
第4グループ	唐津	4	89.5	52	0	54	0	2	0	0
	伊万里	4	94.1	36	0	34	0	-2	0	0
	唐津東	4	88.9	52	0	50	0	-2	1	0
	唐津西	5	84.9	40	0	39	0	-1	0	0
	伊万里西	4	76.9	49	0	48	0	-1	0	0
	唐津中央	3	83.9	39	4	39	4	0	0	1
	小計		86.3	268	4	264	4	-4	1	1
第5グループ	佐世保	5	100.0	80	0	83	0	3	0	1
	平戸	4	91.2	41	0	41	0	0	1	0
	佐世保西	4	95.5	27	0	26	0	-1	0	0
	北松浦	5	80.0	25	0	25	0	0	0	0
	松浦	3	80.8	32	1	32	1	0	0	1
	小計		89.5	205	1	207	1	2	1	2

※上記の表の新入・退会は当月中の数字

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				6月末	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	3	100.0	77	0	78	0	1	0	0
	佐世保東	4	75.0	31	0	32	0	1	0	0
	佐世保北	4	100.0	46	0	49	0	3	1	0
	佐世保中央	4	98.8	40	0	40	0	0	0	1
	佐世保東南	4	79.4	23	0	23	0	0	0	0
	HTB佐世保	4	69.8	24	3	31	5	7	0	0
	小計		87.2	241	3	253	5	12	1	1
第7グループ	大村	4	82.7	47	2	50	3	3	1	1
	島原	4	80.9	33	3	34	3	1	0	0
	雲仙	3	91.3	31	0	28	0	-3	0	0
	大村北	5	100.0	32	0	33	0	1	1	0
	島原南	4	76.0	22	2	20	2	-2	0	0
	大村東	4	85.8	45	1	46	1	1	0	0
	小計		86.1	210	8	211	9	1	2	1
第8グループ	諫早	3	88.9	60	0	64	0	4	0	0
	諫早北	4	77.9	66	0	64	0	-2	0	0
	諫早西	4	88.4	43	0	44	0	1	1	0
	諫早多良見	5	86.5	37	0	39	0	2	0	1
	諫早南	4	77.4	31	4	32	4	1	0	0
	小計		83.8	237	4	243	4	6	1	1
第9グループ	長崎	4	84.7	93	0	97	0	4	0	1
	福江	3	82.9	40	0	41	0	1	1	0
	長崎北東	4	95.6	53	4	52	5	-1	4	0
	福江中央	5	96.6	36	1	36	1	0	0	0
	長崎西	4	70.5	66	0	69	0	3	0	0
	長崎琴海	4	64.8	23	3	22	3	-1	0	0
	小計		82.5	311	8	317	9	6	5	1
第10グループ	長崎北	4	80.2	70	0	70	0	0	1	0
	長崎南	4	82.4	81	0	85	0	4	3	0
	長崎東	3	98.4	66	0	61	0	-5	0	0
	東長崎	4	80.2	35	0	33	0	-2	0	1
	長崎中央	3	94.8	59	0	58	0	-1	0	0
	長崎出島	3	61.2	58	15	60	14	2	0	0
	小計		82.9	369	15	367	14	-2	4	1
合計		84.0	2,421	60	2,455	66	34	22	12	

## LEAD THE WAY

## 2007年6月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会	
				6月末	うち女性	当月末	うち女性	増減			
第1グループ	佐賀	4	75.2	69	0	65	0	-4	1	6	
	小城	4	90.0	32	1	29	2	-3	1	1	
	牛津	4	93.4	32	0	33	0	1	0	0	
	多久	4	84.4	43	5	41	3	-2	0	0	
	佐賀大和	4	81.0	25	3	24	3	-1	0	1	
	小計		84.8	201	9	192	8	-9	2	8	
第2グループ	佐賀西	4	79.5	54	0	48	0	-6	0	2	
	佐賀北	4	89.1	41	3	40	3	-1	0	1	
	佐賀南	4	80.5	38	0	44	2	6	2	3	
	神埼	4	70.0	28	0	32	0	4	0	1	
	佐賀空港	4	60.3	16	0	16	1	0	0	1	
	小計		75.9	177	3	180	6	3	2	8	
第3グループ	有田	4	88.3	36	2	37	3	1	0	1	
	武雄	4	84.5	56	0	55	0	-1	1	3	
	鹿島	4	86.5	39	1	40	2	1	0	0	
	嬉野	5	86.1	23	1	24	1	1	0	0	
	大町	3	79.7	22	0	26	0	4	1	0	
	白石	4	73.4	17	0	16	0	-1	0	0	
	太良	4	83.3	9	1	9	1	0	0	0	
小計		83.1	202	5	207	7	5	2	4		
第4グループ	唐津	4	93.9	52	0	51	0	-1	0	3	
	伊万里	4	94.9	36	0	32	0	-4	0	2	
	唐津東	4	92.1	52	0	47	0	-5	0	3	
	唐津西	4	88.1	40	0	37	0	-3	0	2	
	伊万里西	4	85.0	49	0	44	0	-5	0	4	
	唐津中央	5	91.3	39	4	38	4	-1	0	1	
	小計		90.9	268	4	249	4	-19	0	15	
	第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	80	0	0	3	6
平戸	4	91.7	41	0	41	0	0	0	0		
佐世保西	4	93.5	27	0	26	0	-1	1	1		
北松浦	5	78.9	25	0	25	0	0	0	0		
松浦	5	84.8	32	1	30	1	-2	0	2		
小計		89.8	205	1	202	1	-3	4	9		
第6グループ	佐世保南	5	100.0	77	0	75	0	-2	1	4	
	佐世保東	4	75.8	31	0	29	0	-2	0	3	
	佐世保北	4	100.0	46	0	45	0	-1	0	4	
	佐世保中央	4	99.4	40	0	39	0	-1	1	2	
	佐世保東南	4	78.1	23	0	24	0	1	1	0	
	HTB佐世保	4	71.1	24	3	28	4	4	0	3	
	小計		87.4	241	3	240	4	-1	3	16	
	第7グループ	大村	4	100.0	47	2	51	3	4	1	0
		島原	4	85.3	33	3	34	3	1	0	0
		雲仙	5	96.2	31	0	28	0	-3	0	0
大村北		4	100.0	32	0	33	0	1	0	0	
島原南		4	78.0	22	2	20	2	-2	0	0	
大村東		4	85.6	45	1	47	1	2	1	0	
小計			90.8	210	8	213	9	3	2	0	
第8グループ	諫早	4	91.8	60	0	60	0	0	0	4	
	諫早北	4	85.2	66	0	61	0	-5	0	3	
	諫早西	4	93.0	43	0	44	0	1	0	0	
	諫早多良見	4	91.0	37	0	38	0	1	0	1	
	諫早南	4	72.6	31	4	29	4	-2	0	3	
	小計		86.7	237	4	232	4	-5	0	11	
第9グループ	長崎	4	80.2	93	0	94	0	1	0	3	
	福江	5	84.3	40	0	39	0	-1	0	2	
	長崎北東	4	96.9	53	4	55	6	2	3	0	
	福江中央	4	93.6	36	1	35	1	-1	0	1	
	長崎西	4	71.2	66	0	70	0	4	1	0	
	長崎琴海	4	68.2	23	3	22	3	-1	0	0	
	小計		82.4	311	8	315	10	4	4	6	
第10グループ	長崎北	4	78.9	70	0	68	0	-2	1	3	
	長崎南	4	86.3	81	0	84	0	3	0	1	
	長崎東	5	98.2	66	0	57	0	-9	0	4	
	東長崎	4	82.0	35	0	30	0	-5	0	3	
	長崎中央	4	93.6	59	0	56	0	-3	1	3	
	長崎出島	5	68.8	58	15	57	12	-1	0	3	
	小計		84.6	369	15	352	12	-17	2	17	
合計		85.7	2,421	60	2,382	65	-39	21	94		

※上記の表の新入・退会は当月中の数字



2006 ~ 2007 年度

# 地区資料

# 目 次

主な活動実績	34
会員異動	37
出席率推移	38
ロータリー財団クラブ別寄付額	39
ロータリー米山記念奨学会寄付金明細表	40
ロータリー財団寄付者	41
ロータリー米山記念奨学会寄付者	43
ロータリー財団国際親善奨学生	45
米山奨学生	46
国際青少年交換学生	47
インターアクトクラブ一覧	48
ローターアクトクラブ一覧	48
年間行事報告	49
2006～2007年度物故会員	52
地区資金一般会計収支決算書	53
地区委員会費内訳	54
地区資金「特別会計」収支決算書	54
ガバナー事務所費・月信費会計収支決算書	54
国際青少年交換事業会計収支決算書	55
米山記念奨学会補助金会計収支決算書	55
ROTEX勘定 収支決算書	55
地区大会収支決算報告	56
地区研修セミナー収支決算報告	56
ローターアクト代表事務局収支決算報告	57
インターアクト年次大会収支決算報告	58
第28回 RYLA収支決算報告	58

## 主な活動実績

### I 2006～07年度実績報告（平成19年6月30日現在による）

#### ■ 「会員増強拡大」関係

##### ◎ 会員数報告

地区会員数 2,382名 前年度末比 目標 57名増 実績 39名減  
 （内 女性会員 65名 前年度末比 5名増）

##### ◎ 優秀クラブ（クラブ別会員動向）

種 類	ロ ー タ リ ー ク ラ ブ		
会 員 増 減 率	大町 RC 118.2%	佐世保 RC 116.7%	佐賀南 RC 115.8%
最 多 新 規 会 員	長崎北 RC 10名	長崎南 RC 10名	
退会防止(退会者0名)	大村東 RC・牛津 RC・佐世保東南 RC・太良 RC		

#### ■ 寄付関係

##### ◎ ロータリー財団

年次寄付目標	実 績	達 成 率	1人当たり寄付額
255千ドル	201千ドル	78.8%	83.0ドル

種 類	第1位	第2位	第3位
寄 付 額 順 位	長崎南 RC 10,500ドル	佐世保 RC 10,000ドル	佐世保北 RC 9,217ドル
1人当たり寄付額	佐世保北 RC 200.4ドル	佐世保南 RC 129.9ドル	長崎南 RC 129.6ドル

ベネファクター	
目標 57名	実績 18名

##### ◎ 米山記念奨学会寄付

年次寄付目標	実 績	達 成 率	1人当たり寄付額
3,000万円	2,457万円	81.8%	10,219円

種 類	第1位	第2位	第3位
寄 付 額 順 位	長崎南 RC 1,110千円	伊万里 RC 1,042千円	佐賀西 RC 1,024千円
1人当たり寄付額	伊万里 RC 30,647円	佐賀西 RC 19,692円	佐世保西 RC 17,307円

**LEAD THE WAY****II 第2740地区 各種表彰 受賞クラブご紹介****■ RI 会長賞**

会員目標 2007年4月1日までに純増1名達成及び4分野の活動の遂行に対して

クラブ名	会長名	クラブ名	会長名
佐賀 RC	織田 徳彌	大村東 RC	松村 学
有田 RC	酒井田正宏	長崎 RC	松本 慶蔵
武雄 RC	馬場 博	長崎西 RC	馬場 政徳
鹿島 RC	国広 武治	長崎南 RC	濱本 好哉
佐世保 RC	中島 祥一	長崎出島 RC	草野 幸子
佐世保北 RC	古賀 新二		

**■ RI ローターアクト会長賞**

地区重点推進奉仕プロジェクト「地球温暖化防止」活動。「マイ箸運動」の成果に対して

RAC 名	提唱クラブ	RAC 名	提唱クラブ
佐賀	佐賀 RC・佐賀西 RC・佐賀北 RC	佐世保東	佐世保東 RC
佐世保	佐世保 RC	島原	島原 RC
長崎北	長崎北 RC	鹿島	鹿島 RC
諫早	諫早 RC	長崎東	長崎東 RC
長崎	長崎 RC	伊万里西	伊万里西 RC
唐津東	唐津東 RC	長崎国際大学	佐世保 RC

**■ RI 「意義ある業績賞」**

伊万里西ロータリークラブ

会長 多久島 隆

田口ガバナーが、当地区重点推進奉仕プロジェクト「地球温暖化防止」活動の中から、特に優れたクラブ事業を選出し、RI から授与されるもの

**■ RI 「会員増強推進計画賞」**

大村ロータリークラブ

会長 西川 義文

RI は、クラブが会員増強を奨めるに当たって、その計画を立案し、組織としての取組みを実施したクラブに授与するもの

## ■ RI 「会員増強・拡大賞」

☆ 最高の増加率〔期初 24名 今期（4月末）31名 増加率 29.17%〕

ハウステンボス佐世保ロータリークラブ

会長 松田 裕二

☆ 最多数の新会員入会〔今期（4月末）9名入会〕

諫早ロータリークラブ

会長 菅原 眞博

☆ 最高の会員保持〔今期（4月末）退会者0名〕

牛津ロータリークラブ ・ 佐賀南ロータリークラブ

佐賀空港ロータリークラブ ・ 太良ロータリークラブ

唐津ロータリークラブ ・ 佐世保東南ロータリークラブ

大村東ロータリークラブ ・ 諫早多良見ロータリークラブ

## ■ ガバナー特別賞

当地区重点推進奉仕プロジェクト「地球温暖化防止」活動の中から、特に優れたグループ及びクラブ事業を選出し、ガバナー特別賞を授与した。

☆ 第2740地区第2グループ

5クラブ合同例会として「地球温暖化防止対策セミナー」を開催。さらに、その模様をメディアによる広報・広聴を展開し、啓蒙活動を行った。

☆ 地区ローターアクト代表事務局

地区ターゲットとして「Earth」を掲げ、アクト会員に「活動に対する思いをもっと強くもとう」と呼びかけ、「温暖化防止」事業として「マイ箸運動」を展開、その成果が大きな実を育つことを期待したい。

☆ 諫早北ロータリークラブ

クラブ方針として、会員企業が積極的にCO<sub>2</sub>削減に取り組む、「地球温暖化防止」への努力を実施することとした。結果、運送業の会員企業では、エコドライブを徹底し、1年間の活動の成果として25%の燃費節約を達成したとの報告があった。

## LEAD THE WAY

## 2006～2007年度 会員異動

	クラブ名	6月30日 会員数	うち 女性会員	本年度中 新規会員	うち 女性会員	本年度中 退会会員	うち 女性会員	本年度末 会員数	うち 女性会員	6月30日比 増減数	うち 女性会員
第1グループ	佐賀	69	0	8	0	12	0	65	0	-4	0
	小城	32	1	4	1	7	0	29	2	-3	1
	津	32	0	1	0	0	0	33	0	1	0
	多	43	5	6	0	8	2	41	3	-2	-2
	佐賀大和	25	3	3	0	4	0	24	3	-1	0
小計	201	9	22	1	31	2	192	8	-9	-1	
第2グループ	佐賀西	54	0	7	0	13	0	48	0	-6	0
	佐賀北	41	3	6	0	7	0	40	3	-1	0
	佐賀南	38	0	9	2	3	0	44	2	6	2
	神埼	28	0	6	0	2	0	32	0	4	0
	佐賀空	16	0	1	1	1	0	16	1	0	1
小計	177	3	29	3	26	0	180	6	3	3	
第3グループ	有田	36	2	4	1	3	0	37	3	1	1
	武雄	56	0	3	0	4	0	55	0	-1	0
	鹿島	39	1	4	1	3	0	40	2	1	1
	嬉野	23	1	2	0	1	0	24	1	1	0
	大町	22	0	7	0	3	0	26	0	4	0
	白石	17	0	1	0	2	0	16	0	-1	0
	太良	9	1	0	0	0	0	9	1	0	0
小計	202	5	21	2	16	0	207	7	5	2	
第4グループ	唐津	52	0	2	0	3	0	51	0	-1	0
	伊万里	36	0	2	0	6	0	32	0	-4	0
	唐津東	52	0	3	0	8	0	47	0	-5	0
	唐津西	40	0	0	0	3	0	37	0	-3	0
	伊万里西	49	0	2	0	7	0	44	0	-5	0
唐津中央	39	4	2	0	3	0	38	4	-1	0	
小計	268	4	11	0	30	0	249	4	-19	0	
第5グループ	佐世保	80	0	9	0	9	0	80	0	0	0
	平戸	41	0	5	0	5	0	41	0	0	0
	佐世保西	27	0	3	0	4	0	26	0	-1	0
	北松浦	25	0	1	0	1	0	25	0	0	0
	松浦	32	1	3	0	5	0	30	1	-2	0
小計	205	1	21	0	24	0	202	1	-3	0	
第6グループ	佐世保南	77	0	3	0	5	0	75	0	-2	0
	佐世保東	31	0	2	0	4	0	29	0	-2	0
	佐世保北	46	0	5	0	6	0	45	0	-1	0
	佐世保中央	40	0	3	0	4	0	39	0	-1	0
	佐世保東南	23	0	1	0	0	0	24	0	1	0
	H T B 佐世保	24	3	8	2	4	1	28	4	4	1
小計	241	3	22	2	23	1	240	4	-1	1	
第7グループ	大村	47	2	7	1	3	0	51	3	4	1
	島原	33	3	3	0	2	0	34	3	1	0
	雲仙	31	0	0	0	3	0	28	0	-3	0
	大村北	32	0	2	0	1	0	33	0	1	0
	島原南	22	2	1	0	3	0	20	2	-2	0
	大村東	45	1	2	0	0	0	47	1	2	0
小計	210	8	15	1	12	0	213	9	3	1	
第8グループ	諫早	60	0	9	0	9	0	60	0	0	0
	諫早北	66	0	3	0	8	0	61	0	-5	0
	諫早西	43	0	3	0	2	0	44	0	1	0
	諫早多良見	37	0	3	0	2	0	38	0	1	0
	諫早南	31	4	2	0	4	0	29	4	-2	0
小計	237	4	20	0	25	0	232	4	-5	0	
第9グループ	長崎	93	0	7	0	6	0	94	0	1	0
	福江	40	0	2	0	3	0	39	0	-1	0
	長崎北東	53	4	8	2	6	0	55	6	2	2
	福江中央	36	1	3	0	4	0	35	1	-1	0
	長崎西	66	0	9	0	5	0	70	0	4	0
	長崎琴海	23	3	1	0	2	0	22	3	-1	0
小計	311	8	30	2	26	0	315	10	4	2	
第10グループ	長崎北	70	0	10	0	12	0	68	0	-2	0
	長崎南	81	0	10	0	7	0	84	0	3	0
	長崎東	66	0	2	0	11	0	57	0	-9	0
	東長崎	35	0	0	0	5	0	30	0	-5	0
	長崎中央	59	0	1	0	4	0	56	0	-3	0
	長崎出島	58	15	4	0	5	3	57	12	-1	-3
小計	369	15	27	0	44	3	352	12	-17	-3	
合計		2,421	60	218	11	257	6	2,382	65	-39	5

## 2006～2007年度 出席率推移

グループ	クラブ名	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	平均
第1グループ	佐賀	77.6	82.8	80.5	76.5	74.9	83.7	76.4	77.2	80.5	76.6	77.7	75.2	78.3
	小城	90.3	96.0	89.3	90.8	93.3	96.7	90.3	95.2	91.0	94.0	93.8	90.0	92.6
	牛津	88.3	90.8	88.6	82.6	85.9	88.6	77.8	81.8	84.2	87.1	93.4	93.4	86.9
	多々	84.4	75.0	90.6	84.7	85.5	89.5	90.4	90.1	84.1	87.2	87.8	84.4	86.1
	佐賀大和	84.4	86.5	79.2	80.0	77.0	81.3	85.0	75.0	80.0	76.0	73.0	81.0	79.9
小計	85.0	86.2	85.6	82.9	83.3	88.0	84.0	83.9	84.0	84.2	85.1	84.8	84.7	
第2グループ	佐賀西	78.0	77.6	77.6	69.8	71.0	77.6	79.0	78.3	80.9	75.6	78.3	79.5	76.9
	佐賀北	84.0	91.3	84.1	76.0	79.0	81.5	84.3	76.3	86.5	82.8	88.4	89.1	83.6
	佐賀南	83.6	85.5	82.2	85.6	78.6	82.4	84.9	76.7	82.2	84.0	81.3	80.5	82.3
	神埼	83.2	85.5	78.6	73.4	66.9	71.0	68.5	74.2	66.7	69.1	70.6	70.0	73.1
	佐賀空	73.4	59.4	59.4	59.4	63.8	64.6	62.5	67.2	66.7	55.9	56.9	60.3	62.4
小計	80.4	79.9	76.4	72.8	71.9	75.4	75.8	74.5	76.6	73.5	75.1	75.9	75.7	
第3グループ	有田	81.3	85.3	86.1	82.4	74.9	79.6	81.4	84.6	83.5	78.4	79.2	88.3	82.1
	武雄	84.4	81.0	86.2	82.8	81.6	80.7	81.9	88.9	80.7	83.8	85.5	84.5	83.5
	鹿島	87.5	85.5	89.5	89.0	92.8	90.2	91.9	91.2	88.5	86.5	89.1	86.5	89.0
	嬉野	84.8	82.6	85.3	82.6	90.3	95.9	87.5	87.5	82.6	89.6	88.9	86.1	87.0
	大町	79.0	79.0	73.0	74.0	74.0	76.0	75.0	72.0	76.0	68.0	75.8	79.7	75.1
	白石	75.0	79.4	72.1	72.1	70.6	75.0	75.0	73.5	78.4	85.9	71.9	73.4	75.2
	太良	94.5	88.9	88.9	97.2	91.7	100.0	100.0	94.5	72.2	77.8	77.8	83.3	88.9
小計	83.8	83.1	83.0	82.9	82.2	85.3	84.7	84.6	80.3	81.4	81.2	83.1	83.0	
第4グループ	唐津	91.9	92.4	90.5	94.4	91.2	92.4	91.3	88.6	89.1	89.0	89.5	93.9	91.2
	伊万里	98.0	95.4	97.4	96.7	94.4	95.6	95.6	97.8	91.4	96.3	94.1	94.9	95.6
	唐津東	97.6	95.1	93.7	93.8	91.7	97.5	97.6	92.7	93.7	93.1	88.9	92.1	93.9
	唐津西	89.3	89.8	91.2	86.7	81.3	85.5	88.6	86.7	87.9	84.1	84.9	88.1	87.0
	伊万里西	85.6	80.0	73.2	82.7	80.1	76.9	78.3	82.3	76.9	74.4	76.9	85.0	79.4
唐津中央	90.0	85.0	92.0	93.3	94.2	93.6	93.2	87.8	96.8	90.6	83.9	91.3	91.0	
小計	92.1	89.6	89.7	91.3	88.8	90.3	90.8	89.3	89.3	87.9	86.3	90.9	89.7	
第5グループ	佐世保	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	平戸	81.0	84.5	90.8	84.7	92.0	89.3	94.3	92.6	87.8	94.3	91.2	91.7	89.5
	佐世保西	94.1	94.1	94.3	96.9	97.9	97.9	97.9	92.8	96.8	100.0	95.5	93.5	96.0
	北松浦	89.5	86.3	93.4	87.4	94.7	89.7	77.5	77.6	76.3	77.6	80.0	78.9	84.1
	松浦	87.5	86.0	81.8	88.2	81.4	83.8	87.8	94.5	86.1	81.8	80.8	84.8	85.4
小計	90.4	90.2	92.1	91.4	93.2	92.1	91.5	91.5	89.4	90.7	89.5	89.8	91.0	
第6グループ	佐世保南	100.0	98.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.7	100.0	100.0	100.0	100.0	99.8
	佐世保東	88.5	84.7	81.5	81.4	79.7	80.7	81.1	79.2	75.8	84.2	75.0	75.8	80.6
	佐世保北	97.8	98.1	98.2	94.4	97.9	99.3	99.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.7
	佐世保中央	100.0	100.0	100.0	100.0	98.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.8	99.4	99.7
	佐世保東南	73.9	76.1	82.6	81.5	74.8	75.4	70.7	76.1	75.3	75.0	79.4	78.1	76.6
	H T B 佐世保	77.0	80.2	74.4	69.1	76.1	80.3	69.4	75.7	78.9	74.2	69.8	71.1	74.7
小計	89.5	89.6	89.4	87.7	87.8	89.3	86.7	88.3	88.3	88.9	87.2	87.4	88.3	
第7グループ	大村	100.0	98.1	96.9	92.3	79.5	92.9	92.6	98.3	100.0	99.4	82.7	100.0	94.4
	島原	83.2	86.8	83.1	83.0	81.6	88.2	79.4	74.3	73.9	87.5	80.9	85.3	82.3
	雲仙	93.8	92.1	86.7	89.6	82.6	88.1	85.4	86.3	89.0	93.0	91.3	96.2	89.5
	大村北	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	島原南	75.0	82.0	85.0	76.0	75.0	80.0	75.0	78.0	75.0	78.0	76.0	78.0	77.8
	大村東	85.5	84.0	80.4	80.4	82.0	80.4	90.5	80.4	78.2	79.8	85.8	85.6	82.7
小計	89.6	90.5	88.7	86.9	83.5	88.3	87.2	86.2	86.0	89.6	86.1	90.8	87.8	
第8グループ	諫早	93.6	92.1	90.8	87.2	94.9	91.4	88.6	90.5	93.3	91.6	88.9	91.8	91.2
	諫早北	85.7	88.1	82.4	80.2	89.5	82.3	87.1	87.1	78.8	78.1	77.9	85.2	83.5
	諫早西	98.2	92.3	90.7	87.0	87.6	86.0	94.8	95.2	92.4	89.4	88.4	93.0	91.3
	諫早多良見	89.6	88.2	85.8	84.2	89.1	88.0	88.7	88.1	87.5	84.4	86.5	91.0	87.6
	諫早南	79.7	77.1	76.1	75.0	68.8	78.1	70.8	75.0	75.8	77.1	77.4	72.6	75.3
小計	89.3	87.6	85.2	82.7	86.0	85.2	86.0	87.2	85.6	84.1	83.8	86.7	85.8	
第9グループ	長崎	82.6	87.5	83.9	80.7	87.2	90.3	81.9	92.5	78.7	83.6	84.7	80.2	84.5
	福江	90.8	88.6	84.7	85.1	83.0	93.4	87.5	93.4	87.0	86.0	82.9	84.3	87.2
	長崎北東	95.3	93.5	91.3	89.4	97.2	99.3	96.0	89.4	97.0	92.9	95.6	96.9	94.5
	福江中央	89.2	87.7	93.2	93.7	93.6	93.6	98.6	95.8	96.5	95.3	96.6	93.6	93.9
	長崎西	74.0	80.4	78.0	76.5	80.3	83.3	83.3	79.6	70.2	71.3	70.5	71.2	76.6
	長崎琴海	76.9	81.5	71.4	67.4	77.2	68.1	71.8	76.0	77.1	69.3	64.8	68.2	72.5
小計	84.8	86.5	83.7	82.1	86.4	88.0	86.5	87.8	84.4	83.1	82.5	82.4	84.9	
第10グループ	長崎北	84.7	81.1	80.8	82.3	75.5	88.4	81.2	90.4	78.1	77.4	80.2	78.9	81.6
	長崎南	82.9	76.9	83.6	75.7	77.6	82.0	83.8	93.1	78.6	81.0	82.4	86.3	82.0
	長崎東	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	98.4	98.4	98.3	98.4	98.4	98.2	98.4
	東長崎	75.7	80.9	82.4	85.3	82.4	74.5	85.3	80.9	80.9	82.4	80.2	82.0	81.1
	長崎中央	97.0	91.5	96.1	96.6	95.3	94.1	94.8	95.4	90.5	92.7	94.8	93.6	94.4
	長崎出島	78.2	75.0	74.8	70.7	80.3	72.5	71.9	77.3	69.3	72.4	61.2	68.8	72.7
小計	86.2	84.0	86.0	84.8	84.9	85.0	85.9	89.2	82.6	84.0	82.9	84.6	85.0	
合計	87.1	86.7	86.0	84.7	84.8	86.8	86.0	86.4	84.6	84.8	84.0	85.7	85.6	

## LEAD THE WAY

## ロータリー財団クラブ別寄付額 (2006年7月1日～2007年6月30日)

(単位:ドル)

クラブ名	会員数 (7月1日)	目標額	達成率	一人当たり	年次寄付	使途指定寄付	恒久基金寄付	合計
佐賀	69	7,300.00	106%	112.17	7,740.00	0.00	0.00	7,740.00
小城	31	3,600.00	17%	19.68	610.00	0.00	0.00	610.00
牛津	32	3,200.00	98%	98.16	3,141.14	0.00	0.00	3,141.14
多久	40	4,300.00	47%	50.00	2,000.00	0.00	0.00	2,000.00
佐賀大和	25	2,500.00	20%	20.00	500.00	0.00	0.00	500.00
佐賀西	54	5,700.00	45%	47.04	1,540.00	0.00	1,000.00	2,540.00
佐賀北	41	4,200.00	36%	37.27	1,528.18	0.00	0.00	1,528.18
佐賀南	38	4,000.00	61%	64.47	2,450.00	0.00	0.00	2,450.00
神埼	28	2,900.00	103%	107.14	3,000.00	0.00	0.00	3,000.00
佐賀空港	16	1,900.00	17%	20.00	320.00	0.00	0.00	320.00
有田	36	3,400.00	29%	27.78	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00
武雄	56	5,600.00	91%	91.10	5,101.79	0.00	0.00	5,101.79
鹿島	40	4,000.00	126%	126.06	4,042.38	0.00	1,000.00	5,042.38
嬉野	23	2,400.00	36%	37.35	235.00	624.00	0.00	859.00
大町	22	2,200.00	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
白石	17	1,700.00	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
太良	9	1,000.00	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
唐津	52	5,500.00	20%	21.31	1,108.00	0.00	0.00	1,108.00
伊万里	36	3,800.00	59%	62.60	2,253.63	0.00	0.00	2,253.63
唐津東	52	5,100.00	20%	19.23	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00
唐津西	39	4,000.00	35%	35.64	1,390.00	0.00	0.00	1,390.00
伊万里西	49	4,000.00	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
唐津中央	39	4,000.00	56%	57.44	1,240.00	0.00	1,000.00	2,240.00
佐世保	80	8,600.00	49%	53.15	4,252.00	0.00	0.00	4,252.00
平戸	41	4,100.00	73%	73.17	1,000.00	0.00	2,000.00	3,000.00
佐世保西	29	3,000.00	63%	65.52	1,900.00	0.00	0.00	1,900.00
北松浦	25	2,600.00	81%	84.00	2,100.00	0.00	0.00	2,100.00
松浦	34	3,600.00	99%	105.26	2,918.88	660.00	0.00	3,578.88
佐世保南	77	7,800.00	128%	129.87	9,000.00	0.00	1,000.00	10,000.00
佐世保東	31	3,000.00	109%	105.77	3,279.00	0.00	0.00	3,279.00
佐世保北	46	4,800.00	192%	200.37	7,217.00	0.00	2,000.00	9,217.00
佐世保中央	40	4,400.00	96%	105.13	4,205.00	0.00	0.00	4,205.00
佐世保東南	23	2,300.00	0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ハウスチンボス佐世保	24	2,700.00	37%	41.67	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00
大村	47	4,800.00	118%	120.64	5,670.00	0.00	0.00	5,670.00
島原	34	3,400.00	118%	117.65	2,000.00	0.00	2,000.00	4,000.00
雲仙	31	3,200.00	31%	31.74	984.00	0.00	0.00	984.00
大村北	32	3,200.00	88%	88.44	1,830.00	0.00	1,000.00	2,830.00
島原南	22	2,200.00	45%	45.45	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00
大村東	45	4,400.00	114%	111.11	4,000.00	1,000.00	0.00	5,000.00
諫早	60	6,300.00	73%	76.67	3,600.00	0.00	1,000.00	4,600.00
諫早北	66	6,500.00	56%	55.30	3,650.00	0.00	0.00	3,650.00
諫早西	43	4,400.00	86%	88.19	2,792.00	0.00	1,000.00	3,792.00
諫早多良見	37	3,800.00	71%	73.03	2,702.03	0.00	0.00	2,702.03
諫早南	31	3,200.00	56%	58.06	630.00	170.00	1,000.00	1,800.00
長崎	93	10,000.00	63%	67.21	5,250.79	0.00	1,000.00	6,250.79
福江	41	3,900.00	22%	20.67	847.50	0.00	0.00	847.50
長崎北東	53	5,600.00	118%	124.53	5,600.00	0.00	1,000.00	6,600.00
福江中央	37	3,700.00	75%	75.31	1,786.46	0.00	1,000.00	2,786.46
長崎西	66	7,000.00	63%	66.67	4,400.00	0.00	0.00	4,400.00
長崎琴海	23	2,300.00	43%	43.48	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00
長崎北	70	7,200.00	78%	80.43	5,630.00	0.00	0.00	5,630.00
長崎南	81	8,000.00	131%	129.63	9,500.00	0.00	1,000.00	10,500.00
長崎東	66	6,800.00	88%	90.91	6,000.00	0.00	0.00	6,000.00
東長崎	35	3,600.00	88%	90.04	3,151.36	0.00	0.00	3,151.36
長崎中央	59	5,900.00	71%	71.03	3,190.49	0.00	1,000.00	4,190.49
長崎出島	58	6,000.00	118%	122.41	6,100.00	0.00	1,000.00	7,100.00
2740					20,376.22	0.00	0.00	20,376.22
合計	2,424	255,000.00	79%	83.01	178,762.85	2,454.00	20,000.00	201,216.85

## 米山記念奨学会寄付金明細表 (2006年7月1日～2007年6月30日)

(単位:円)

クラブ名	普通寄付金 単価(年額)	2006/07月～2007/06月			会員数 (1月1日)	一人当り 平均寄付額	過去累計額		
		普通寄付金	特別寄付金	合計			普通寄付金	特別寄付金	合計
佐賀	6,000	423,000	100,000	523,000	72	7,263	9,606,000	14,710,000	24,316,000
小城	3,000	91,500	178,500	270,000	30	9,000	2,925,250	3,443,500	6,368,750
牛津	3,000	97,500	300,000	397,500	33	12,045	2,442,250	7,600,000	10,042,250
多久	3,000	126,000	100,000	226,000	41	5,512	1,951,500	3,900,000	5,851,500
佐賀大和	2,500	62,500	300,000	362,500	25	14,500	892,250	4,700,000	5,592,250
佐賀西	6,000	324,000	700,000	1,024,000	52	19,692	6,936,650	11,250,000	18,186,650
佐賀北	3,000	124,500	150,000	274,500	42	6,535	4,742,750	5,900,000	10,642,750
佐賀南	3,000	114,000	100,000	214,000	43	4,976	1,840,500	3,323,000	5,163,500
神埼	3,000	87,000	0	87,000	31	2,806	1,597,500	2,300,000	3,897,500
佐賀空港	4,000	64,000	0	64,000	16	4,000	392,500	0	392,500
有田	3,000	108,000	240,000	348,000	38	9,157	3,762,000	1,860,000	5,622,000
武雄	4,000	226,000	143,000	369,000	57	6,473	6,154,650	4,783,950	10,938,600
鹿島	3,000	117,000	310,000	427,000	39	10,948	4,575,950	4,580,000	9,155,950
嬉野	2,000	47,000	0	47,000	24	1,958	2,361,500	1,480,000	3,841,500
大町	2,000	45,500	20,000	65,500	23	2,847	3,086,000	2,750,000	5,836,000
白石	2,000	34,000	0	34,000	17	2,000	2,184,000	1,260,000	3,444,000
太良	2,000	18,000	0	18,000	9	2,000	459,000	2,000,000	2,459,000
唐津	2,500	132,500	400,000	532,500	54	9,861	5,413,820	7,800,000	13,213,820
伊万里	4,000	142,000	900,000	1,042,000	34	30,647	5,112,700	7,320,000	12,432,700
唐津東	2,000	102,000	200,000	302,000	49	6,163	4,176,750	6,335,000	10,511,750
唐津西	4,000	156,000	100,000	256,000	39	6,564	3,988,500	6,400,000	10,388,500
伊万里西	4,500	215,500	200,000	415,500	47	8,840	4,719,500	5,904,000	10,623,500
唐津中央	2,000	78,000	300,000	378,000	39	9,692	1,323,000	3,930,000	5,253,000
佐世保	3,000	243,000	500,000	743,000	82	9,060	7,691,800	70,286,000	77,977,800
平戸	4,000	168,000	100,000	268,000	41	6,536	3,880,450	10,252,435	14,132,885
佐世保西	2,000	57,000	328,000	385,000	28	13,750	4,328,450	16,628,000	20,956,450
北松浦	4,000	100,000	350,000	450,000	26	17,307	3,887,500	10,016,370	13,903,870
松浦	3,000	100,500	300,000	400,500	33	12,136	2,705,200	4,836,221	7,541,421
佐世保南	2,000	155,000	700,000	855,000	78	10,961	7,073,300	31,548,846	38,622,146
佐世保東	2,000	63,000	384,000	447,000	32	13,968	5,523,500	15,475,679	20,999,179
佐世保北	2,000	95,000	700,000	795,000	47	16,914	2,429,250	24,100,000	26,529,250
佐世保中央	2,000	81,000	300,000	381,000	40	9,525	2,225,000	4,600,000	6,825,000
佐世保東南	2,000	46,000	0	46,000	23	2,000	597,500	1,200,000	1,797,500
ハウステン	4,000	104,000	200,000	304,000	26	11,692	1,276,000	3,950,000	5,226,000
大村	6,000	291,000	200,000	491,000	49	10,020	4,475,350	3,850,000	8,325,350
島原	3,000	99,000	30,000	129,000	34	3,794	3,785,550	1,600,000	5,385,550
雲仙	4,000	124,000	200,000	324,000	31	10,451	3,590,250	4,409,500	7,999,750
大村北	3,000	96,000	200,000	296,000	32	9,250	2,740,000	5,490,000	8,230,000
島原南	3,000	63,000	0	63,000	21	3,000	1,376,000	700,000	2,076,000
大村東	3,000	136,500	100,000	236,500	46	5,141	1,513,500	2,780,000	4,293,500
諫早	1,500	90,000	500,000	590,000	65	9,076	5,357,750	10,100,000	15,457,750
諫早北	4,000	260,000	500,000	760,000	64	11,875	5,603,000	15,660,000	21,263,000
諫早西	2,500	108,750	200,000	308,750	44	7,017	2,184,750	4,100,000	6,284,750
諫早多良見	3,000	117,000	366,554	483,554	39	12,398	1,614,500	3,143,472	4,757,972
諫早南	5,000	157,500	200,000	357,500	32	11,171	1,151,500	1,200,000	2,351,500
長崎	5,000	483,000	460,000	943,000	99	9,525	12,811,850	26,138,658	38,950,508
福江	3,000	123,000	100,000	223,000	41	5,439	4,724,250	11,863,949	16,588,199
長崎北東	5,000	270,000	630,000	900,000	51	17,647	5,592,000	21,817,500	27,409,500
福江中央	3,000	111,000	460,000	571,000	36	15,861	4,127,500	14,017,647	18,145,147
長崎西	3,000	209,160	630,840	840,000	70	12,000	4,034,160	12,350,840	16,385,000
長崎琴海	2,000	46,000	100,000	146,000	23	6,347	894,500	4,095,000	4,989,500
長崎北	4,000	280,000	100,000	380,000	70	5,428	8,710,500	19,750,000	28,460,500
長崎南	4,000	324,000	786,000	1,110,000	81	13,703	9,873,050	22,305,000	32,178,050
長崎東	5,000	315,000	100,000	415,000	64	6,484	9,001,100	18,855,000	27,856,100
東長崎	3,000	105,000	200,000	305,000	35	8,714	2,791,250	7,230,000	10,021,250
長崎中央	3,000	175,500	370,000	545,500	58	9,405	2,678,000	7,664,000	10,342,000
長崎出島	2,000	118,000	602,000	720,000	60	12,000	953,000	4,958,000	5,911,000
その他	0	0	1,200,000	1,200,000	0		2,251,000	6,360,500	8,611,500
合計		8,250,410	16,838,894	25,089,304	2,455	10,219	224,096,780	536,862,067	760,958,847

**LEAD THE WAY****ロータリー財団寄付者**

## ポールハリスフェロー (25名)

氏名	クラブ名
武富 浩二	牛 津 R C
秀島 裕之	多 久 R C
江里口尚子	多 久 R C
垣内 利秋	佐 賀 西 R C
神代 剛	佐 賀 南 R C
福山 和彦	神 埼 R C
南 茂	有 田 R C
久保 康俊	武 雄 R C
藤山 英周	唐 津 R C
重田 勲	伊 万 里 R C
坂本 國實	平 戸 R C
西沢 雅幸	佐世保南 R C
八重野一洋	佐世保中央 R C
本村 政信	佐世保中央 R C
副島 正則	大 村 R C
亀田 廣望	島 原 R C
喜多 清基	島 原 R C
鎚流馬清規	大 村 東 R C
小林 靖明	諫 早 R C
小鳥居 湛	諫早多良見 R C
宮崎 達雄	長 崎 R C
安永 勝信	長 崎 西 R C
須藤 英明	長 崎 琴 海 R C
芥 寛	長 崎 北 R C
河井 耕治	長 崎 出 島 R C

## マルチプルポールハリスフェロー (58名)

Stone	氏名	クラブ名
2	桐山 欣三	佐 賀 R C
4	牧野邦司郎	佐 賀 R C
3	池田 秀夫	佐 賀 R C
2	永池 公一	佐 賀 R C
3	古賀 醸治	佐 賀 R C

Stone	氏名	クラブ名
1	森山寿美男	牛 津 R C
1	古賀 久志	佐 賀 北 R C
1	西田 信行	佐 賀 北 R C
1	園田 嘉生	佐 賀 南 R C
1	山崎 清二	神 埼 R C
1	服巻 和孝	神 埼 R C
2	太田 善久	唐 津 東 R C
1	中島登志雄	唐 津 西 R C
2	中島 祥一	佐世保 R C
2	長島 正	佐世保 R C
2	山下 尚登	佐世保 R C
1	西尾 弘毅	北 松 浦 R C
2	中村 虎男	北 松 浦 R C
1	藤永 辰弘	佐世保南 R C
2	川尻 治	佐世保南 R C
3	井上 泉	佐世保南 R C
4	岡崎 敏幸	佐世保南 R C
1	山口 嘉浩	佐世保南 R C
5	鶴田 司	佐世保南 R C
6	池田 敏章	佐世保南 R C
2	渡邊 進	佐世保東 R C
4	松永 清	佐世保東 R C
7	村上 寅雄	佐世保北 R C
2	宮原 明夫	佐世保北 R C
1	高松 裕吉	佐世保中央 R C
1	志村 祐二	佐世保中央 R C
1	久保田健二	ハウステンボス佐世保 R C
1	久松 清彦	大 村 R C
3	古川 和子	大 村 R C
1	西川 義文	大 村 R C
7	南野 健	大 村 北 R C
2	松村 学	大 村 東 R C
1	櫻井 伸一	大 村 東 R C

Stone	氏名	クラブ名
1	堀 洋	諫早 R C
1	芦塚 猛	諫早 R C
4	宮崎 清彰	諫早北 R C
3	池田 久幸	諫早西 R C
1	平野 義信	諫早西 R C
1	田口 厚	長崎 R C
1	浜中 洋	長崎北東 R C
3	大原 玉瑞	長崎北東 R C
2	馬場 政徳	長崎西 R C
2	上田 恵三	長崎北 R C
1	常多 勝己	長崎北 R C
1	松島 福男	長崎南 R C
3	内田 信康	長崎東 R C
1	阿保 守邦	東長崎 R C
1	西岡 英一	東長崎 R C
1	多良 正治	東長崎 R C
1	岡田 康信	長崎中央 R C
7	塚崎 寛	長崎中央 R C
1	高津 喬雄	長崎中央 R C
1	高田昌一郎	長崎中央 R C

**大口寄付者 (5名)**

氏名	クラブ名
福田 金治	佐世保 R C
金子 卓也	佐世保南 R C
福田 俊郎	佐世保北 R C
西村 金造	長崎 R C
高木聰一郎	長崎 R C

**メモリアルコントリビューター (5名)**

氏名	クラブ名	
横田 隆亮	北松浦 R C	令夫人 故 横田美佐江様を偲んで
山本 浩平	松浦 R C	弟御 故 山本有三様を偲んで
浦田 直彦	大村北 R C	ご尊父 故 浦田直様を偲んで
松尾 茂	大村北 R C	令夫人 故 松尾喜美様を偲んで
松島 福男	長崎南 R C	令夫人 故 松島スヤ様を偲んで

**ベネファクター (18名)**

氏名	クラブ名
久保 志郎	佐賀西 R C
蒲原 孝之	鹿島 R C
水田 彰男	唐津中央 R C
木田 昌宏	平戸 R C
川本 邦公	平戸 R C
丸田 東一	佐世保南 R C
古賀 新二	佐世保北 R C
高城 昭紀	島原 R C
山本悌一郎	島原 R C
牧山 隆雄	大村北 R C
緒里勇三郎	諫早西 R C
樋口 茂樹	諫早南 R C
松本 慶蔵	長崎 R C
町田 憲明	長崎北東 R C
今村 音松	福江中央 R C
濱本 好哉	長崎南 R C
馬場 泰憲	長崎中央 R C
草野 幸子	長崎出島 R C

**ポリオプラス・パートナー (1名)**

氏名	クラブ名
松村 学	大村東 R C

## 米山記念奨学会寄付者

## 米山功労者 (50名)

氏名	クラブ名
中島 一峯	多久 R C
中尾 偕主	佐賀西 R C
丸山 明	佐賀西 R C
大塚 良弘	佐賀西 R C
岡部 景光	有田 R C
酒井田正宏	有田 R C
西山 泰雄	有田 R C
酒井 成文	武雄 R C
蒲原 孝之	鹿島 R C
大串 重幸	唐津 R C
田中 英夫	伊万里 R C
重田 勲	伊万里 R C
田中丸紘一郎	伊万里 R C
緒方 重利	唐津東 R C
小島 清嗣	伊万里西 R C
金子和斗志	伊万里西 R C
中村 磯海	唐津中央 R C
中島 祥一	佐世保 R C
川富 正弘	佐世保 R C
福藺 英智	佐世保西 R C
丸田 光顕	北松浦 R C
大坪 忠義	北松浦 R C
小川 信	佐世保南 R C
井上 泉	佐世保南 R C
加島 栄紀	佐世保東 R C
福留 武親	佐世保東 R C
深町 等	佐世保北 R C
峯 徳秀	佐世保北 R C
加城 一成	ハウステンボス佐世保 R C
松田 裕二	ハウステンボス佐世保 R C
古川 和子	大村 R C
西川 義文	大村 R C
森 義春	雲仙 R C
松永 忠義	雲仙 R C
牧山 隆雄	大村北 R C
松原 究	諫早 R C
山崎 祥弘	諫早西 R C

氏名	クラブ名
菖蒲 公治	諫早多良見 R C
宮崎 正浩	諫早多良見 R C
堀川 雄一	諫早多良見 R C
助村 房子	諫早南 R C
永井 剛	長崎 R C
今村 音松	福江中央 R C
須藤 英明	長崎琴海 R C
安達 一郎	長崎北 R C
豊島 壯光	東長崎 R C
馬場 泰憲	長崎中央 R C
本田 徳光	長崎中央 R C
堤 祐敬	長崎出島 R C
伊東 啓雄	長崎出島 R C

## 米山功労者 (マルチプル59名)

回数	氏名	クラブ名
2	織田 徳彌	佐賀 R C
3	斉藤稚一郎	牛津 R C
8	久保 志郎	佐賀西 R C
5	前田 博憲	佐賀西 R C
2	森永 太	佐賀西 R C
2	平 龍三郎	佐賀西 R C
2	田中 洋介	佐賀南 R C
3	蒲原 孝之	鹿島 R C
9	松尾雄次郎	唐津 R C
2	岩永 龍幸	伊万里 R C
2	田尻 徳麿	伊万里 R C
4	千葉 健史	伊万里 R C
9	白川 十郎	伊万里 R C
2	丸山 茂夫	唐津東 R C
2	中島登志雄	唐津西 R C
6	山口 信義	唐津中央 R C
2	中山 虎雄	唐津中央 R C
4	大神 邦明	佐世保 R C
3	安部 重幸	平戸 R C
5	山口 國行	佐世保西 R C

回数	氏名	クラブ名
4	太田 晴康	松 浦 R C
7	朝永 春郎	松 浦 R C
2	松浦 孝明	松 浦 R C
7	岡崎 敏幸	佐世保南 R C
4	鶴田 司	佐世保南 R C
8	前田 一彦	佐世保南 R C
2	中村 文昭	佐世保南 R C
5	渕 健治	佐世保北 R C
6	池田 敏明	佐世保北 R C
2	須田 昇	佐世保北 R C
5	山北 恭行	佐世保北 R C
4	芥川浩一郎	佐世保中央 R C
4	牟田 憲市	佐世保中央 R C
4	福田 英彦	佐世保中央 R C
3	中村 正年	島 原 R C
8	南野 健	大村北 R C
2	前田 啓介	大村東 R C
2	山下 博之	諫 早 R C
2	池田 光利	諫 早 R C
2	井手 雅康	諫 早 R C
4	角尾 澄夫	諫 早 R C
2	緒方 聖	諫 早北 R C
6	黒田 隆雄	諫 早北 R C
4	白倉 一男	諫 早北 R C
2	溝越 孝	諫 早北 R C
2	辻本 善樹	諫 早西 R C
4	高木 正隆	諫 早南 R C
6	宮崎 達雄	長 崎 R C
2	岩永 正人	長 崎 R C
3	大久保隆生	長 崎 R C
4	山本 鶴男	福 江 R C
7	田中 忠昭	福江中央 R C
3	野田 直幸	福江中央 R C
5	森 信興	長 崎西 R C
5	内田 信康	長 崎東 R C
4	野上 龍彦	東長崎 R C
8	塚崎 寛	長崎中央 R C
2	浦川 一孝	長崎中央 R C
3	押渕 禮子	長崎出島 R C

## 米山功労者 (メジャードナー10名)

回数	氏名	クラブ名
24	堤 和之	佐賀大和 R C
24	江頭 泰幸	佐賀北 R C
12	隅田 達男	伊万里 R C
10	武井 洋一	佐世保 R C
15	福田 金治	佐世保 R C
10	鈴木 泰彦	佐世保南 R C
11	田中純智男	佐世保東 R C
13	福田 俊郎	佐世保北 R C
11	宮崎 清彰	諫早北 R C
42	田中 紀男	長崎北東 R C

## 米山功労クラブ (14クラブ)

クラブ名	
佐賀西 R C	諫早西 R C
伊万里 R C	諫早多良見 R C
佐世保 R C	長 崎 R C
北松浦 R C	福江中央 R C
佐世保南 R C	長 崎西 R C
佐世保北 R C	長崎琴海 R C
諫 早 R C	長 崎南 R C

## 米山功労法人 (2法人)

準米山功労法人 医療法人敬仁会 松浦病院  
株式会社籠井 宝来軒別館

**LEAD THE WAY****《 2007 ～ 2008 年度ロータリー財団国際親善奨学生 》**

## ◆ 一学年度国際親善奨学申請者（アカデミック・イヤー）

氏名	留学国	指定志望教育機関	研究分野	推薦RC
池田 祥規	イギリス	グラスゴー大学	平和学／開発学	佐賀西RC
下村 安代	オランダ	ユトレヒト大学	教育学（教育政策）	諫早北RC

**《 2008 ～ 2009 年度ロータリー財団国際親善奨学金候補者 》**

## ◆ 一学年度国際親善奨学申請者（アカデミック・イヤー）

氏名	留学国	研究分野	推薦RC
石井 祐子	U. S. A	芸術学	佐賀大和RC
吉田 育美	U. S. A	国際文化	佐賀北RC

## ◆ 二学年度国際親善奨学申請者（マルチ・イヤー）

氏名	留学国	研究分野	推薦RC
堀田 彰子	オーストラリア	経済開発学	佐賀西RC
福永 洋介	スイス	国際文化	島原RC
古井 陽子	カナダ	教育学	長崎RC
三浦あゆみ	スコットランド	英語史	長崎RC
川崎絵里子	イタリア	声楽	長崎出島RC

## 《2007 学年度 米山奨学生》

氏名	カナ	性別	国籍	大学	専攻	課程	奨学金種別	世話クラブ
楊柳	ヨウリュウ	女	中国	佐賀大学	企業経営	修士 2	YM	佐賀
湯艶	トウエン	女	中国	佐賀大学	教科教育	修士 2	YM	牛津
任萍	ニンハイ	女	中国	佐賀大学	教科教育	修士 2	YM	佐賀大和
時旋	シシュアン	女	中国	佐賀大学	企業経営	修士 2	YM	佐賀西
黄晟	コウセイ	男	中国	佐賀大学	企業経営	修士 2	YM	佐賀北
達慶紅	タクケイコウ	女	中国	佐賀大学	学校教育	修士 2	YM	佐賀南
アラヤヴィラシット, シッテイナン		男	タイ	佐賀大学	応用生物科学	修士 2	YM	神埼
裴国哲	ハイコクテツ	男	中国	佐賀大学	企業経営	修士 2	YM	大町
林欣儀	リンキンギ	女	台湾	長崎県立 大学	流通経営	学部 4	YU	佐世保
辜筱筑	コシウチク	女	台湾	長崎国際 大学	観光学	修士 1	YM	佐世保北
李明姬	イミンヒ	女	韓国	長崎国際 大学	観光学	修士 2	YM	佐世保中央
テオ・チュイン		女	マレー シア	長崎総合 科学大学	経営システム 工学	学部 4	YU	諫早西
申鉉浩	シンヒョンホ	男	韓国	長崎大学	海洋生産科学	博士 2	YD	長崎
鄭奭鎬	チョンソクホ	男	韓国	長崎大学	物質科学	博士 3	YD	長崎西
陳佳健	タンチャチエン	男	マレー シア	長崎総合 科学大学	生産技術学	修士 2	YM	長崎北
張仁山	ジャンインサン	女	韓国	長崎大学	医療科学	歯博 3	YD	長崎南
チャン・ティ・フォン		女	ベト ナム	長崎総合 科学大学	経営情報	学部 3	YU	東長崎
袁源	エンゲン	女	中国	長崎大学	教科教育	修士 2	YM	長崎出島

**LEAD THE WAY****《国際青少年交換学生》****◆ 2006～2007年度 来日学生**

氏名	ニックネーム	出身国	ホストクラブ
Kimmo Sairanen	Kimmo	フィンランド	佐賀北 R C
Zasta Sieczka	Zasta	オーストラリア	唐津 R C
侍 依仁	Jennifer	台湾	佐世保 R C
Coline Julien	Coline	フランス	諫早多良見 R C

**◆ 2006～2007年度 派遣学生**

氏名	在籍校	派遣国	スポンサークラブ
對馬あづみ	致遠館高校	ドイツ	佐賀 R C
平川 知明	佐賀西高校	カナダ	佐賀北 R C
飯田 千織	唐津西高校	オーストラリア	唐津 R C
松永 夕加	九州文化学園高校	台湾	佐世保 R C
中島 綾子	諫早高校	フランス	諫早多良見 R C
松谷 啓介	長崎南高校	アメリカ・ミネソタ	長崎 R C

**◆ 2007～2008年度 来日学生**

氏名	ニックネーム	出身国	ホストクラブ
Timothee Helmstetter	Timothee	フランス	佐賀 R C
Robert E.C.Sverre	Robert	ノルウェー	佐世保南 R C
Jeremy Lawrence	Jeremy	アメリカ・コネチカット	諫早北 R C
Samantha Downes-Borowski	Sam	アメリカ・ミネソタ	長崎 R C
Frackenpohl Alexander	Alex	アメリカ・ニューヨーク	長崎南 R C

**◆ 2007～2008年度 派遣学生**

氏名	在籍校	派遣国	スポンサークラブ
中山 康平	佐賀西高校	フランス	佐賀 R C
大浦 薫	聖和女子学院高校	ノルウェー	佐世保南 R C
平野 美里	西陵高校	アメリカ・ニューハンプシャー	諫早北 R C
橋本 将	南山高校	アメリカ・ニューヨーク	長崎南 R C

## インターアクトクラブ一覧

IAC名	提唱RC	創立	会員数	例会日時	事務所住所
佐賀清和高校	佐賀	1972.7.27	19	月 4:00	〒840-0047 佐賀市与賀町 78
牛津高校	牛津	1982.7.18	18	月 4:00	〒849-0303 佐賀県小城市牛津町牛津 274
佐賀工業高校	佐賀西	1965.6.10	13	水 3:50	〒840-0841 佐賀市緑小路 1-1
佐賀女子高校	佐賀北	1978.9.19	14	第3土 1:00	〒840-0047 佐賀市与賀町 153
有田工業高校	有田	1965.2.24	24	火or木 3:50	〒844-0018 佐賀県西松浦郡有田町中部丙954-9 大有田健会館3F 有田RC
武雄高校	武雄	1967.12.13	11	第1・3火 4:30	〒843-0024 武雄市武雄町大字富岡 7719 武雄商工会議所内 武雄RC
塩田工業高校	嬉野	1976.1.8	8	火・金 4:00	〒849-1411 佐賀県藤津郡塩田町大字馬場下甲 1418
唐津西高校	唐津	1969.11.10	11	第1木他 5:00	〒847-0012 唐津市大名小路 1-54 唐津商工会館5F 唐津RC
敬徳高校	伊万里	1970.4.25	10	不定 4:00	〒848-0027 伊万里市立花町 86
西海学園高校	佐世保	1980.10.20	5	第2・4水 3:40	〒857-0011 佐世保市春日町 29-22
聖和女子学院	佐世保南	1976.1.27	24	水 1:10	〒857-0015 佐世保市松山町 495
E.J.キングスクール	佐世保南	1989.5.1	7	隔週1回 3:00	〒857-0056 佐世保市平瀬町 米海軍佐世保基地内
向陽高校	大村	1971.6.22	13	第2・4木 12:25	〒856-0825 大村市西三城町 16
島原中央高校	島原	1978.5.20	13	不定 不定	〒855-8550 島原市高島 2-7217 島原商工会議所内 島原RC
大村工業高校	大村北	1963.11.30	38	火・金 3:45	〒856-0815 大村市森園町 1079-3
大村城南高校	大村東	2001.4.23	15	水 1:10	〒856-0835 大村市久原 1-416
諫早農業高校瑞穂寮	諫早	1979.2.21	41	第3水 8:00pm	〒854-0043 諫早市立石町 1003
鎮西学院高校	諫早北	1985.5.21	20	第3水 4:00	〒854-0081 諫早市柴田町 1057
長崎女子高校	長崎	1979.1.16	20	木 4:40	〒850-0033 長崎市万才町 6-38 明治生命長崎ビル4F 長崎RC
長崎北陽台高校	長崎北東	1984.5.12	3	水 3:50	〒851-2127 長崎県西彼杵郡長与町高田郷 3672
五島高校	福江中央	1985.3.24	38	月 4:00	〒853-0018 五島市池田町 1-1
海星学園	長崎西	1997.1.18	11	第1・3土 1:30	〒850-8586 長崎市東山手町 5-3
長崎女子商業高校	長崎南	1976.2.24	31	火 4:10	〒850-0875 長崎市栄町 2-10
活水中学高等学校	長崎出島	2001.9.12	38	第2火 12:30	〒852-8016 長崎市宝栄町 15-11

## ローターアクトクラブ一覧

RAC名	提唱RC	創立	会員数	例会日時	事務所住所
佐賀	佐賀・西・北	1968.12.12	9	第1・3水 7:30	〒840-0831 佐賀市松原 1-2-35 佐賀商工会館3階 ローターリー合同事務所
唐津東	唐津東	1973.10.18	8	第2・4水 7:30	〒847-0012 唐津市大名小路 1-54 唐津商工会館5階 唐津東RC
鹿島	鹿島	1981.5.20	14	第1・3木 8:00	〒849-1311 鹿島市大字高津原 4296-41 鹿島商工会館2階 鹿島RC
伊万里西	伊万里西	1987.3.15	7	第1・3月 7:30	〒848-0041 伊万里市新天町 663 伊万里商工会館3階 伊万里西RC
佐世保	佐世保	1969.12.17	1	第1・3水 7:30	〒857-0806 佐世保市島瀬町 10-12 親和銀行本店内 佐世保RC
長崎国際大学	佐世保	2005.3.13	30	第2・4月 12:00	〒857-0806 佐世保市島瀬町 10-12 親和銀行本店内 佐世保RC
佐世保東	佐世保東	1974.4.9	5	第1・3火 7:30	〒859-3215 佐世保市早岐 2-16-10 佐世保東RC
島原	島原	1981.4.10	9	第1・3水 7:30	〒855-8550 島原市高島 2-7217 島原商工会議所内 島原RC
諫早	諫早	1970.5.29	5	第2・4水 7:30	〒854-0016 諫早市高城町 5-10 諫早商工会議所 諫早RC
長崎	長崎	1971.2.4	11	第1・3火 7:30	〒850-0033 長崎市万才町 6-38 明治安田生命長崎ビル4階 長崎RC
長崎北	長崎北	1970.5.20	7	第2・4木 7:15	〒850-0033 長崎市万才町 6-38 明治安田生命長崎ビル4階 長崎北RC
長崎東	長崎東	1983.3.11	1	第2・4水 7:15	〒850-0033 長崎市万才町 3-13 千代田生命ビル8階 長崎東RC

佐世保ローターアクトクラブは2007年6月30日をもって解散しました。

## LEAD THE WAY

## ●年間行事報告

7 月	1 日(土)	ガバナー事務所開設	
		全国ガバナー会	東 京
	8 日(土)	クラブ奉仕部門・米山記念奨学部門研修セミナー	武 雄
	15 日(土)	第1回諮問委員会	長 崎
	18 日(火)	鹿島RC、佐賀南RC公式訪問	鹿島、佐賀
	19 日(水)	小城RC公式訪問	小 城
	20 日(木)	多久RC、太良RC公式訪問	多久、太良
	21 日(金)	嬉野RC、唐津中央RC公式訪問	嬉野、唐津
	23 日(日)	第1回財団国際親善奨学生研修会	長 崎
	24 日(月)	武雄RC公式訪問	武 雄
	25 日(火)	有田RC、佐賀大和RC公式訪問	有田、佐賀
	26 日(水)	佐賀空港RC、佐賀北RC公式訪問	佐 賀
	27 日(木)	佐世保東RC公式訪問	佐 世 保
	28 日(金)	牛津RC公式訪問	牛 津
	30 日(日)	IAC年次大会	長 崎
31 日(月)	佐賀西RC公式訪問	佐 賀	
8 月	1 日(火)	佐世保西RC、神埼RC公式訪問	佐世保、神埼
	2 日(水)	白石RC、唐津西RC公式訪問	白石、唐津
	3 日(木)	唐津東RC公式訪問	唐 津
	5 日(土)	雲仙RC公式訪問	雲 仙
	6 日(日)	ロータリー財団地域セミナー	横 浜
		第1回国際青少年交換派遣学生選考会	長 崎
	8 日(火)	唐津RC公式訪問	唐 津
	9 日(水)	伊万里RC、伊万里西RC公式訪問	伊 万 里
	10 日(木)	大町RC、佐賀RC公式訪問	大町、佐賀
	11 日(金)	諫早RC公式訪問、	諫 早
		第2回国際青少年交換派遣学生選考会	長 崎
	18 日(金)	福江RC、福江中央RC公式訪問	福 江
	21 日(月)	諫早南RC、大村東RC公式訪問	諫早、大村
	22 日(火)	ハウステンボス佐世保RC、大村RC公式訪問	佐世保、大村
	23 日(水)	佐世保RC、佐世保東南RC公式訪問	佐 世 保
	24 日(木)	平戸RC公式訪問	平 戸
25 日(金)	松浦RC公式訪問	松 浦	
26 日(土)	国際青少年交換来日学生・派遣学生第1回オリエンテーション	諫 早	

	28 日(月)	長崎北 R C 公式訪問	長 崎
	29 日(火)	北松浦 R C 公式訪問	北 松 浦
	30 日(水)	米山評議員会	東 京
	31 日(木)	長崎琴海 R C 公式訪問	長 崎
9 月	5 日(火)	長崎西 R C 公式訪問	長 崎
	6 日(水)	長崎南 R C、長崎北東 R C 公式訪問	長 崎
	8 日(金)	長崎東 R C、長崎出島 R C 公式訪問	長 崎
	10 日(日)	米山の集い	武 雄
		国際奉仕部門研修セミナー	武 雄
	11 日(月)	長崎中央 R C、佐世保北 R C 公式訪問	長崎、佐世保
	12 日(火)	島原 R C 公式訪問	長 崎
	13 日(水)	諫早西 R C、大村北 R C 公式訪問	諫早、大村
	14 日(木)	諫早北 R C、佐世保中央 R C 公式訪問	諫早、佐世保
	15 日(金)	佐世保南 R C 公式訪問	佐 世 保
	19 日(火)	東長崎 R C、諫早多良見 R C 公式訪問	長崎、諫早
	20 日(水)	島原南 R C 公式訪問	島 原
	21 日(木)	長崎 R C 公式訪問	長 崎
		第 1 回ガバナー補佐会議	長 崎
10 月	7 日(土)	国際青少年交換来日学生おくんち・さるく博旅行	長 崎
	11 日(水)	職業奉仕・社会奉仕合同委員会	長 崎
	12 日(木)	第 2 回諮問委員会	佐 世 保
	29 日(日)	国際青少年交換来日学生・派遣学生第 2 回オリエンテーション	伊 万 里
11 月	18 日(土)	地区大会記念懇親ゴルフ大会	諫 早
	23 日(木)	全国ガバナー会議、財団地域セミナー	岡 山
	25 日(土)	ロータリーゾーン研究会（～ 26 日）	岡 山
12 月	1 日(金)	地区大会（～ 3 日）	長 崎
	10 日(日)	第 2 回財団国際親善奨学生研修会	長 崎
	17 日(日)	国際青少年交換来日学生・派遣学生 クリスマス会・お別れ会	雲 仙
1 月	12 日(金)	第 3 回諮問委員会	佐 世 保
		第 2 回ガバナー補佐会議	佐 世 保
	14 日(日)	米山奨学生選考会	長 崎
	23 日(火)	唐津ロータリークラブ 50 周年記念式典	唐 津
	28 日(日)	国際協議会（～ 2 / 4）	サンディエゴ
地区大会記念事業 植樹		長 崎	

**LEAD THE WAY**

2月	3日(土)	IAC指導者研修会	武雄
	12日(月)	国際青少年交換来日学生・派遣学生とROTEXの交流会	諫早
	18日(日)	9・10グループIM	長崎
	22日(木)	長崎RC70周年記念例会	長崎
	24日(土)	4・5・6グループIM	松浦
	25日(日)	3グループIM 2007～2008年度地区チーム研修セミナー	鹿島 佐賀
3月	4日(日)	米山奨学生終了式	諫早
	10日(土)	1・2グループIM	佐賀
	11日(日)	2007～2008年度PETS	佐賀
	15日(木)	長崎琴海RC15周年記念式典	長崎
	18日(日)	国際青少年交換来日学生・派遣学生第3回オリエンテーション	長崎
	24日(土)	7・8グループIM	大村
4月	7日(土)	佐世保東RC40周年記念式典	佐世保
	8日(日)	第3回財団国際親善奨学生研修会兼壮行会	長崎
		第28回ライラ	唐津
	14日(土)	第2グループ「地球温暖化防止」合同会議	佐賀
	22日(日)	規定審議会(～28日)	シカゴ
		RACリーダーシップフォーラム	島原
5月	8日(火)	国際青少年交換来日学生 京都・奈良・東京旅行(～12日)	藤・頼・棘
	12日(土)	新世代危機管理委員会	佐賀
		2007～2008年度地区協議会	佐賀
	17日(木)	第4回諮問委員会	佐世保
	26日(土)	米山奨学生オリエンテーション・カウンセラー研修会	諫早
		島原南RC20周年記念式典	南島原
6月	2日(土)	RAC年次大会(～3日)	鹿島
		牛津RC30周年記念式典	佐賀
	7日(木)	米山評議員会	東京
	8日(金)	長崎北RC50周年記念式典	長崎
	9日(土)	新旧ガバナー補佐会議	佐賀
	10日(日)	財団国際親善奨学生選考会	長崎
	17日(日)	国際大会(～20日)	ソトリティ
	24日(日)	国際青少年交換来日学生・派遣学生第4回オリエンテーション	武雄

## 2006～2007年度 物故会員

(敬称略)

服 卷 勝 也	唐津東 R C	2006. 8. 6 逝去	享年 77 歳
谷 口 秀 雄	多 久 R C	2006. 8. 19 逝去	享年 85 歳
藤 岡 滋	長崎北 R C	2006. 8. 30 逝去	享年 83 歳
東 島 秀 明	佐世保北 R C	2006. 9. 7 逝去	享年 66 歳
内 山 守 人	伊万里西 R C	2006. 9. 9 逝去	享年 86 歳
兵 頭 輝 久	長崎南 R C	2006. 10. 7 逝去	享年 79 歳
大 塚 清 信	鹿 島 R C	2006. 10. 18 逝去	享年 72 歳
島 田 勝 利	諫早北 R C	2006. 11. 13 逝去	享年 70 歳
折式田 豊	長崎西 R C	2006. 12. 4 逝去	享年 76 歳
小笠原 平 吾	鹿 島 R C	2007. 1. 3 逝去	享年 84 歳
山 田 吉太郎	長崎北 R C	2007. 1. 17 逝去	享年 84 歳
飯 田 清	佐世保西 R C	2007. 3. 6 逝去	享年 78 歳
阿 部 義 幸	島 原 R C	2007. 3. 7 逝去	享年 74 歳
藤 岡 邦 雄	長 崎 R C	2007. 3. 18 逝去	享年 70 歳
河 本 定 久	長崎東 R C	2007. 3. 22 逝去	享年 87 歳
豆 谷 源一郎	長崎西 R C	2007. 3. 26 逝去	享年 70 歳
杉 澤 敏 雅	長崎北東 R C	2007. 4. 4 逝去	享年 48 歳
畑 中 操	福江中央 R C	2007. 4. 15 逝去	享年 81 歳
川 副 敏 郎	伊万里西 R C	2007. 4. 30 逝去	享年 71 歳
空 閑 清 高	佐 賀 R C	2007. 5. 25 逝去	享年 64 歳
豊 島 壯 光	東長崎 R C	2007. 5. 25 逝去	享年 63 歳

対象期間 2006.7.1～2007.6.30で各クラブからの報告に基づき作成しました。

## LEAD THE WAY

## 2006～07年度 地区会計報告

## 地区資金一般会計、収支決算書

科 目		内 訳 科 目	予 算	決 算	予 算 対 比	
収 入 の 部	[1]	地区資金分担金	15,810,000	15,124,900	-685,100	
	[2]	地区大会分担金	15,300,000	14,814,000	-486,000	
	[3]	日本事務局分担金	R文庫協力金	765,000	731,850	-33,150
			全国G会分担金	510,000	487,900	-22,100
	[4]	特別会計分担金	GSE資金	1,275,000	1,219,750	-55,250
			世界社会奉仕資金	918,000	878,220	-39,780
	[5]	その他収入	0	90,633	90,633	
	本年度収入合計		A	34,578,000	33,347,253	-1,230,747
	前年度繰越金			12,910,907	12,910,907	0
	収入合計		B	47,488,907	46,258,160	-1,230,747

科 目		内 訳 科 目	予 算	決 算	予 算 対 比	
支 出 の 部	[1]	ガバナー関係費	GE国際協議会	1,200,000	1,200,000	0
			全国G・PG会議費	2,500,000	2,476,231	-23,769
			地区G・PG会議費	1,300,000	1,012,203	-287,797
			各種会議費	900,000	965,202	65,202
			G記念品代	100,000	100,000	0
			渉外・広報費	450,000	619,945	169,945
			小 計	6,450,000	6,373,581	-76,419
	[2]	地区活動補助金	地区大会	15,300,000	14,814,000	-486,000
			地区協議会	700,000	1,189,349	489,349
			PETS	300,000	142,053	-157,947
			地区チーム研修セミナー	300,000	399,609	99,609
			インターアクト年次大会	600,000	306,770	-293,230
			ローターアクト年次大会	700,000	700,800	800
			ライラ年次大会	300,000	300,525	525
			R財団学友会	100,000	0	-100,000
			小 計	18,300,000	17,853,106	-446,894
	[3]	ガバナー補佐費		1,500,000	1,525,000	25,000
	[4]	地区委員会費	クラブ奉仕部門	400,000	398,632	-1,368
			職業奉仕部門	150,000	10,552	-139,448
			社会奉仕部門	120,000	82,754	-37,246
			新世代部門	2,160,000	515,169	-1,644,831
			国際奉仕部門	970,000	1,176,958	206,958
			米山記念奨学部門	360,000	159,810	-200,190
			小 計	4,160,000	2,343,875	-1,816,125
	[5]	日本事務局分担金	R文庫協力金	765,000	731,850	-33,150
			全国G会分担金	510,000	487,900	-22,100
			小 計	1,275,000	1,219,750	-55,250
	[6]	特別会計繰入金	GSE資金	1,275,000	1,219,750	-55,250
			世界社会奉仕資金	918,000	878,220	-39,780
			規程審議会積立金	200,000	200,000	0
小 計			2,393,000	2,297,970	-95,030	
[7]	その他支出		500,000	348,629	-151,371	
本年度支出合計		C	34,578,000	31,961,911	-2,616,089	
本年度収支差額		A-C	0	1,385,342	1,385,342	
次年度繰越金		B-C	12,910,907	14,296,249	1,385,342	

## ※地区委員会費内訳

委員会	予算	決算	委員会	予算	決算
クラブ奉仕統括委員会	80,000	390,765	ローターアクト委員会	400,000	318,030
出席委員会	80,000	0	ライラ委員会	80,000	0
拡大・会員増強委員会	80,000	0	国際青少年交換委員会	1,100,000	0
R情報広報委員会	80,000	0	国際奉仕統括委員会	80,000	478,500
R女性委員会	80,000	7,867	R財団委員会	450,000	25,331
職業奉仕委員会	150,000	10,552	財団奨学・学友委員会	360,000	584,417
社会奉仕委員会	120,000	82,754	GSE委員会	80,000	88,710
新世代統括委員会	80,000	31,899	米山記念奨学委員会	360,000	159,810
インターアクト委員会	500,000	165,240	小計	2,910,000	1,654,798
小計	1,250,000	689,077	合計	4,160,000	2,343,875

## 地区資金特別会計 収支決算書

		前年度繰越	本年度繰入	本年度取崩	次年度繰越
世界社会奉仕資金	予算	*****	918,000	0	*****
	決算	8,912,030	878,220	0	9,790,250
GSE資金	予算	*****	1,275,000	2,000,000	*****
	決算	5,006,970	1,219,750	300,000	5,926,720
規程審議会積立金	予算	*****	200,000	600,000	*****
	決算	400,000	200,000	600,000	0

GSE資金 活動記録紙作成のため、300千円を取り崩しました。

規程審議会積立金 本年4月開催の規程審議会出席費用として、600千円を取り崩しました。

## ガバナー事務所費・月信費会計 収支決算書

	科目	予算	決算	予算対比
収入の部	G事務所分担金	8,160,000	7,806,400	-353,600
	月信費分担金	4,845,000	4,418,450	-426,550
	RI補助金	1,500,000	1,941,453	441,453
	ガバナー支援金	0	1,206,000	1,206,000
	地区資金より	0	278,102	278,102
	その他収入	0	64,134	64,134
	収入合計	A	14,505,000	15,714,539

	科目	予算	決算	予算対比
支出の部	公式訪問旅費	400,000	709,440	309,440
	人件費	2,500,000	3,652,730	1,152,730
	月信費	4,845,000	4,735,132	-109,868
	通信費	700,000	505,335	-194,665
	消耗品費	1,200,000	1,402,966	202,966
	室料及び会議費	1,200,000	987,451	-212,549
	旅費交通費	400,000	720,960	320,960
	GE事務所費	3,000,000	3,000,525	525
	直前G事務所費	100,000	0	-100,000
	予備費	160,000	0	-160,000
支出合計	B	14,505,000	15,714,539	1,209,539
収支差額	A-B	0	0	0

**LEAD THE WAY****国際青少年交換事業会計 収支決算書**

	科 目	予 算	決 算	予 算 対 比	
収 入 の 部	青少年交換分担金	5,100,000	4,879,000	-221,000	
	地区資金補助	1,100,000	0	-1,100,000	
	クラブ負担金	0	240,000	240,000	
	来日学生負担金	0	253,029	253,029	
	その他	0	1,058	1,058	
	本年度収入合計	A	6,200,000	5,373,087	-826,913
	前年度繰越金		0	0	0
	収入合計	B	6,200,000	5,373,087	-826,913

	科 目	予 算	決 算	予 算 対 比
支 出 の 部	学生滞在費補助	2,900,000	1,053,675	-1,846,325
	学生合同旅行	1,100,000	925,677	-174,323
	オリエンテーション費	1,100,000	546,433	-553,567
	学生歓送迎費ほか	50,000	37,605	-12,395
	委員会・全国委員長会議費	550,000	411,865	-138,135
	印刷費ほか	200,000	58,590	-141,410
	通信費	200,000	22,810	-177,190
	事務委託費	0	713,174	713,174
	予備費	100,000	0	-100,000
	本年度支出合計	C	6,200,000	3,769,829
本年度収支差額	A - C	0	1,603,258	1,603,258
次年度繰越金	B - C	0	1,603,258	1,603,258

地区人頭分担金の受入会計である地区資金（一般・特別）会計、G事務所・月信費会計及び国際青少年交換事業の収支決算を、上記の通りご報告いたします。

上記に関し疑義がございましたら、来る9月末日までにお申し出下さい。

期限内にお申し出がない場合は、ご承認戴いたものとさせていただきます。

2006～07年度 ガバナー 田口 厚 / 地区幹事 吉田 正和 / 会計長 山田 耕一

2006～17年度収支決算について、帳簿並びに諸証憑を監査いたしましたところ、適正に執行されておりましたことを報告いたします。

監査人 会計士 田中 紀 男（長崎北東RC）

**●米山記念奨学会補助金会計、収支決算書**

	収入の部	支出の部	収支差額
奨学生活動費	820,664	839,726	-19,062
選考試験補助費	322,500	209,572	112,928
合 計	1,143,164	1,049,298	93,866

この会計は、米山記念奨学会からの補助金を所定のルールに則って米山記念奨学会事業に支出するもので、収支差額は同奨学会へ返金する。

**●ROTEX勘定、収支決算書**

前年度繰越金	収入の部	支出の部	次年度繰越金
1,837,920	400,002	276,967	1,960,955

この会計は、ROTEX（国際青少年交換の派遣・帰国学生）の留学準備や帰国後の交流に資する資金の勘定で、収入金は全て派遣学生の負担金による。

## 地区資金から補助金を支出した先の収支決算報告

### ① 地区大会収支決算報告（確定分）

収 入 の 部				支 出 の 部	
科 目	内 訳 科 目	登録料・出席者数	金 額	委 員 会 名	金 額
人頭分担金		6000円×2469名	14,814,000	大会事務局	3,160,407
大会登録料	会員	10000円×1634名	16,340,000	総務委員会	4,680,002
	新世代	5000円×62名	310,000	登録委員会	203,604
	小計		16,650,000	会場設営委員会	7,183,737
懇親会登録料	会員	6000円×531名	3,186,000	会場運営委員会	1,432,199
	家族	5000円×3名	15,000	新世代委員会	360,564
	小計		3,201,000	懇親委員会	5,517,200
歓迎懇親会登録料		12000円×117名	1,404,000	接待委員会	2,570,605
ゴルフ登録料	登録料	5000円×152名	760,000	広報記録委員会	4,504,475
	特別賞寄贈金		165,000	記念事業委員会	1,555,670
	小計		925,000	宿泊食事委員会	1,633,305
来賓登録料	地区外来賓登録料	総員 23名	359,000	交通計画委員会	671,000
	地区内来賓ご祝儀	総員 25名	850,000	ゴルフ委員会	918,628
	小計		1,209,000	観光委員会	173,466
雑収入			3,102	救護委員会	30,000
				支出合計	34,594,862
				差引剰余金	3,611,240
収入合計			38,206,102	支出・剰余金合計	38,206,102

剰余金処分の内訳

ロータリー財団寄付 236万円（2万ドル）／米山記念奨学会寄付 120万円／地区資金繰入 51,240円

### ② 地区研修セミナー収支決算報告

研修セミナー種別	収 入		支 出	
	項 目	金 額	項 目	金 額
■地区チーム 研修セミナー	地区補助金	399,609	会場費	150,000
			懇親会費	249,609
	収入合計	399,609	支出合計	399,609
■PETS及び 地区協議会幹事部会	登録料収入	1,344,000	会場費	632,700
	地区補助金	142,053	会場設営費等	43,779
	収入合計	1,486,053	懇親会費	809,574
■地区協議会	登録料収入	2,772,000	会場費	557,500
	地区補助金	1,189,349	懇親会費	2,764,438
	その他収入	10,000	資料印刷費	117,810
			記録誌印刷費	472,710
	収入合計	3,971,349	その他	58,891
		支出合計	3,971,349	

## LEAD THE WAY

## ③ R A代表事務局収支決算報告

## 収入の部

科 目		予 算	決 算	予算対比	備 考
地区補助金		700,000	700,000	0	
負担金	代表事務局	1,380,000	1,380,000	0	
	地区情報誌	150,000	146,000	-4,000	
	名簿	120,000	141,600	21,600	
	地区行事	240,000	240,000	0	
	小 計	1,890,000	1,907,600	17,600	
年度大会広報支援金		120,000	120,000	0	
他地区登録料		0	398,000	398,000	
雑収入		0	660,438	660,438	
本年度収入合計 A		2,710,000	3,786,038	1,076,038	
前年度繰越金		212,049	212,049	0	
収入合計 B		2,922,049	3,998,087	1,076,038	

## 支出の部

科 目		予 算	決 算	予算対比	備 考
負担金	地区行事	240,000	240,000	0	
	24 T V 支援金	30,000	52,500	22,500	
	小 計	270,000	292,500	22,500	
登録料	周年行事	40,000	0	-40,000	
	その他	0	0	0	
	小 計	40,000	0	-40,000	
他地区交流費	登録料	435,000	171,000	-264,000	
	交通費	500,000	441,821	-58,179	
	全国 R A 研修会	122,000	134,000	12,000	
	交流費	40,000	40,000	0	
	小 計	1,097,000	786,821	-310,179	
旅費	交通費	140,000	200,950	60,950	
	駐車場代	5,000	4,160	-840	
	宿泊費	0	0	0	
	小 計	145,000	205,110	60,110	
事務管理費	事務用品費	5,000	10,879	5,879	
	通信費	55,000	50,417	-4,583	
	印刷・製本費	130,000	165,888	35,888	
	記録費	0	0	0	
	地区情報誌発行費	150,000	143,779	-6,221	
	小 計	340,000	370,963	30,963	
年次大会	年次大会記念品	24,000	33,844	9,844	
	表彰関係	15,000	7,952	-7,048	
	ガバナー助成金	700,000	700,000	0	
	小 計	739,000	741,796	2,796	
保険料		7,000	0	-7,000	
慶弔費		10,000	8,751	-1,249	
他地区登録料		0	398,000	398,000	
雑費		15,000	342,676	327,676	
参加 12 R A C へ返金		0	391,000	391,000	
アクトの森基金 (植樹資金)		0	246,837	246,837	
予備費		47,000	0	-47,000	
本年度支出合計 C		2,710,000	3,784,454	1,074,454	
本年度収支差額 A - C		0	1,584	1,584	
次年度繰越金 B - C		212,049	213,633	1,584	

## ④ I A C年次大会収支決算報告（確定分）

## 収入の部

項 目	金 額	備 考
ロータリアン登録料	600,000	10千円× 60名
顧問教師登録料	155,000	5千円× 31名
インターアクター登録料	505,000	5千円× 101名
地区助成金	306,560	地区補助金
雑収入	556	預金利息
合計	1,567,116	

## 支出の部

項 目	金 額	備 考
会場費	315,210	稲佐山観光ホテル
交流会費	454,980	稲佐山観光ホテル
印刷費	378,420	大会資料・大会報告書
会議費	263,931	委員会開催、計7回
参加記念品	25,000	図書カード
賞状	10,400	
送迎バス代	110,250	
事務費	8,925	送金手数料
合計	1,567,116	

## ⑤ 第 28 回 R Y L A 収支決算報告

## 収入の部

項 目	金 額	備 考
ロータリアン登録料	316,000	2千円× 158名
青少年登録料	98,000	1千円× 98名
クラブ負担金	1,710,000	30千円× 57 R C
地区補助金	300,000	
雑収入	1,119	
本年度収入合計	A	2,425,119
前年度繰越金		208,532
収入合計	B	2,633,651

## 支出の部

項 目	金 額	備 考
会場設営費	1,346,860	会場費・食事代・看板代
登録関係費	28,030	名札代・終了証
交通費	310,000	バス代
記念品代	381,000	書籍代
会議費	77,560	準備委員会・実行委員会
記録誌代	315,999	記録誌印刷代・写真代
通信費	72,535	案内状・記録誌送料など
事務費	10,512	事務少年品費など
本年度支出合計	C	2,542,496
本年度収支差額	A - C	-117,377
次年度繰越金	B - C	91,155

鳥栖駅

昔



昭和の初め

明治末



鳥栖駅

現在



鳥栖駅（佐賀県）

鳥栖駅は、大正年間に発行された地元刊行物によれば明治36年に建築されたとの記述があることから、九州鉄道株時代の貴重な駅舎と言われており、今も当時の姿をそのまま残しています。平成23年春の九州新幹線全線開業時に新鳥栖駅（仮称）が別途開設されますが、九州内屈指の在来線分岐駅として100有余年の歴史があるこの鳥栖駅の持ち味を地元の皆さまと一緒に活かしていきたいと考えています。

注）鳥栖駅は、九州鉄道株が明治22年（1889年）12月、博多～千歳川間で営業を開始した際に開設されています。

鳥栖駅長 宮家 道弥



国際ロータリー第2740地区

2006～2007年度ガバナー 田口 厚

事務所

〒850-0854 長崎市銀屋町3番12号（社団法人是真会内）

TEL：095-818-2660 FAX：095-818-2663

E-mail：ri2740@juno.ocn.ne.jp